

新潟市まち・ひと・しごと創生に
関するアンケート調査
(結果報告書)

平成27年11月

新潟市 地域・魅力創造部
新潟暮らし奨励課

目次

1 調査結果報告書の概要	1
(1) 調査実施の概要	1
(2) 調査の目的	1
(3) 調査対象と抽出	1
(4) 配布数と回収数	1
(5) 調査の方法	1
(6) 調査の期間	1
(7) 報告書での留意点	1
2 調査結果	2
(1) 高校生年齢相当調査	2
ア 属性について	2
イ 進路について	7
ウ 結婚のしやすさについて	14
エ 子育てのしやすさについて	16
オ 働きやすさについて	19
カ 住みやすさについて	24
(2) 大学生年齢相当調査	33
ア 属性について	33
イ 進路について	40
ウ 結婚のしやすさについて	46
エ 子育てのしやすさについて	50
オ 働きやすさについて	53
カ 住みやすさについて	59
(3) 在住者・転入者調査	69
ア 属性について	69
イ 転入について	75
ウ 結婚のしやすさについて	81
エ 子育てのしやすさについて	86
オ 働きやすさについて	92
カ 住みやすさについて	97
(4) 転出者調査	105
ア 属性について	105
イ 転出について	112
ウ 結婚のしやすさについて	116
エ 子育てのしやすさについて	120
オ 働きやすさについて	124
カ 住みやすさについて	128

1 調査結果報告書の概要

(1) 調査実施の概要

国の「まち・ひと・しごと創生法」が制定されたことを受け、新潟市（以下、本市という。）における人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」及び、地域の実情に応じた今後の5か年の施策の方向を提示する「地方版総合戦略」を策定する。

これらの策定にあたり、市民の結婚・出産・子育ての希望、地方移住に関する希望などを実現する観点を調査すべく、アンケート調査を実施した。

(2) 調査の目的

新潟市における今後の居住希望や生活環境等に関する意識・希望を調査し、「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定の参考とする。

(3) 調査対象と抽出

調査対象	抽出方法
高校生 年齢相当	市内在住の高校生相当年齢の市民（15～18歳）を無作為抽出
大学生 年齢相当	市内在住の大学生・短期大学生・専門学校生相当年齢（18～22歳）の市民を無作為抽出
在住者・ 転入者	市内在住の市民（22～49歳）を無作為抽出
転出者	WEB調査会社のリサーチパネルから、新潟市に2年以上居住していた者を抽出。エリア対象として、首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）を中心とし、地方都市部（関西地域、中部地域等）に対しても抽出を行った。

(4) 配布数と回収数

調査対象	配布数（件）	回収数（件）	回収率
高校生 年齢相当	3,630	827	22.8%
大学生 年齢相当	3,690	529	14.3%
在住者・ 転入者	4,090	1,144	28.0%
転出者	-	296	-

(5) 調査の方法

高校生・大学生・一般（在住者）： 郵送配布・郵送回収
転出者： Web アンケート調査

(6) 調査の期間

高校生・大学生・一般（在住者）： 平成27年6月22日（月）～7月6日（月）
転出者： 平成27年6月22日（月）～7月3日（金）

(7) 報告書での留意点

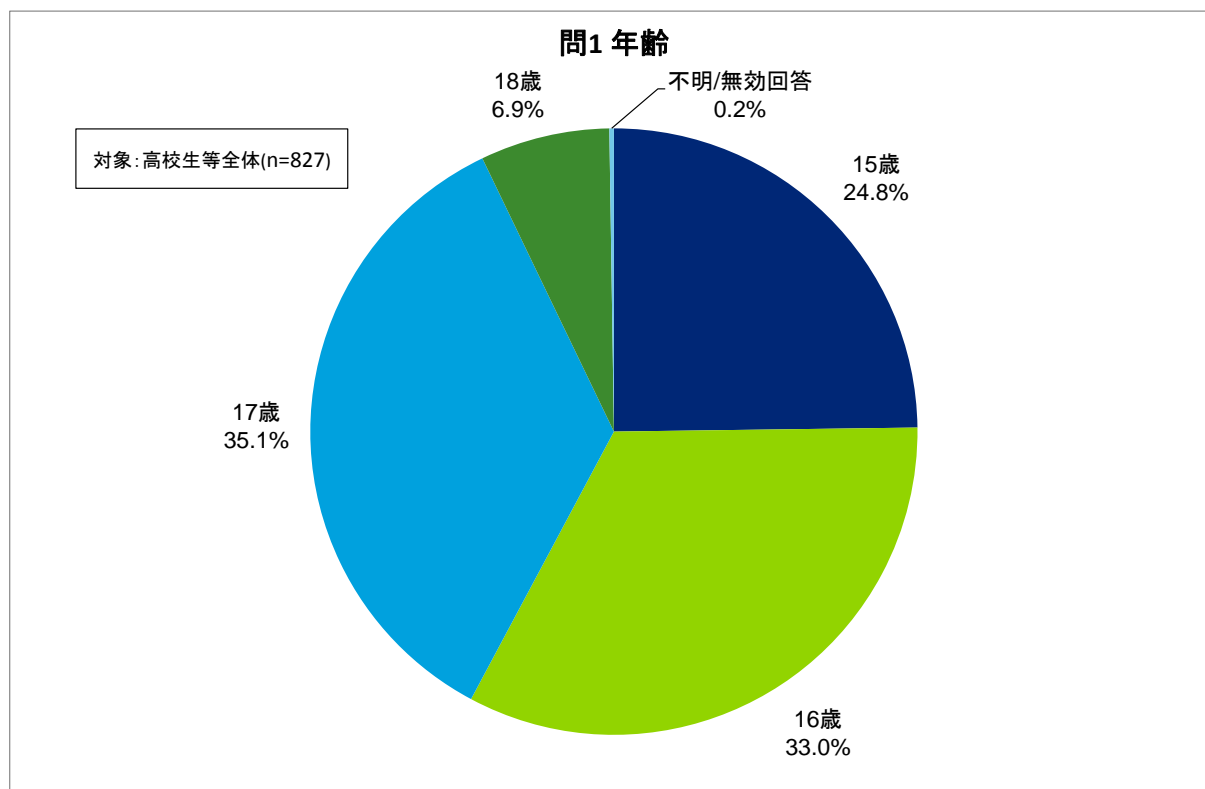
報告書内でのクロス結果について、該当クロスの項目の不明・無回答分があるため、全体の結果と合計値が合致しません。

2 調査結果

(1) 高校生年齢相当調査

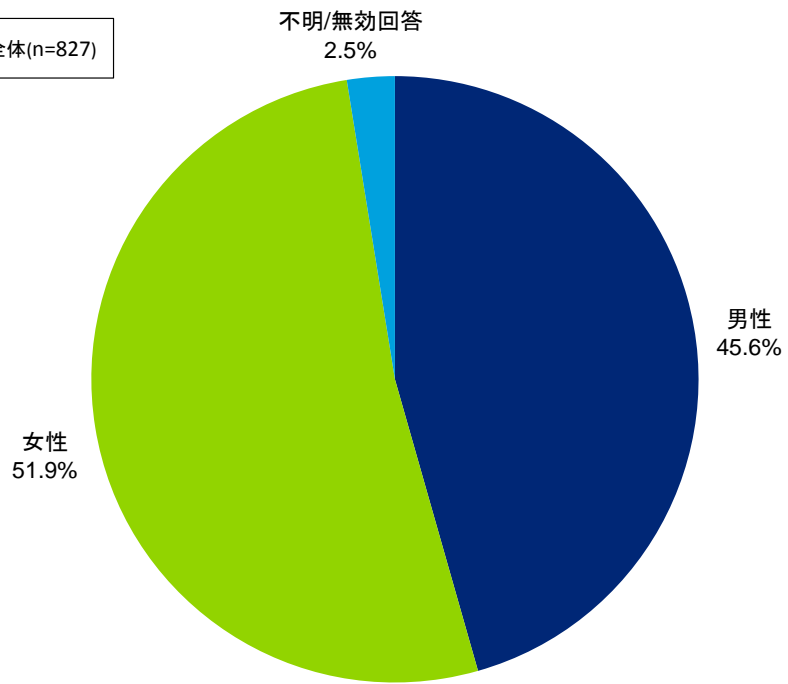
ア 属性について

- ・ 年齢は「15歳 (24.8%)」、「16歳 (33.0%)」、「17歳 (35.1%)」、となっている。
- ・ 性別は「男性 (45.6%)」、「女性 (51.9%)」となっている。
- ・ 続柄は「長男・長女 (66.0%)」、「次男・次女 (25.5%)」、「三男・三女以降 (6.0%)」となっている。
- ・ 学年は「高校1年生 (32.5%)」、「高校2年生 (34.9%)」、「高校3年生 (31.3%)」となっている。
- ・ 高等学校の所在地は「市内 (91.3%)」、「市外 (7.3%)」となっている。
- ・ 所属高等学校は、「新潟中央高等学校 (9.0%)」、「新潟南高等学校 (7.6%)」、「新潟高等学校 (7.4%)」の順で高い。
- ・ 居住区は「中央区 (24.1%)」、「西区 (20.2%)」、「東区 (16.7%)」の順で高い。
- ・ 居住年数は「15年以上 (74.7%)」、「10～14年 (14.3%)」、「6～9年 (5.4%)」の順で高い。
- ・ 住居形態は「持ち家 (83.3%)」、「賃貸 (11.7%)」、「社宅・寮・官舎等 (1.7%)」、「公営住宅 (2.5%)」となっている。



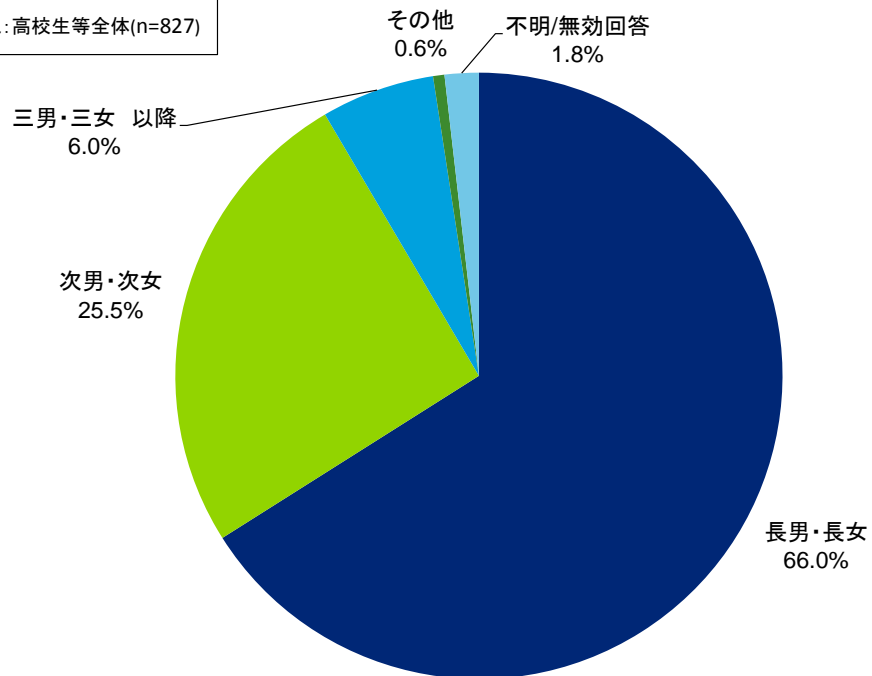
問1 性別

対象: 高校生等全体(n=827)



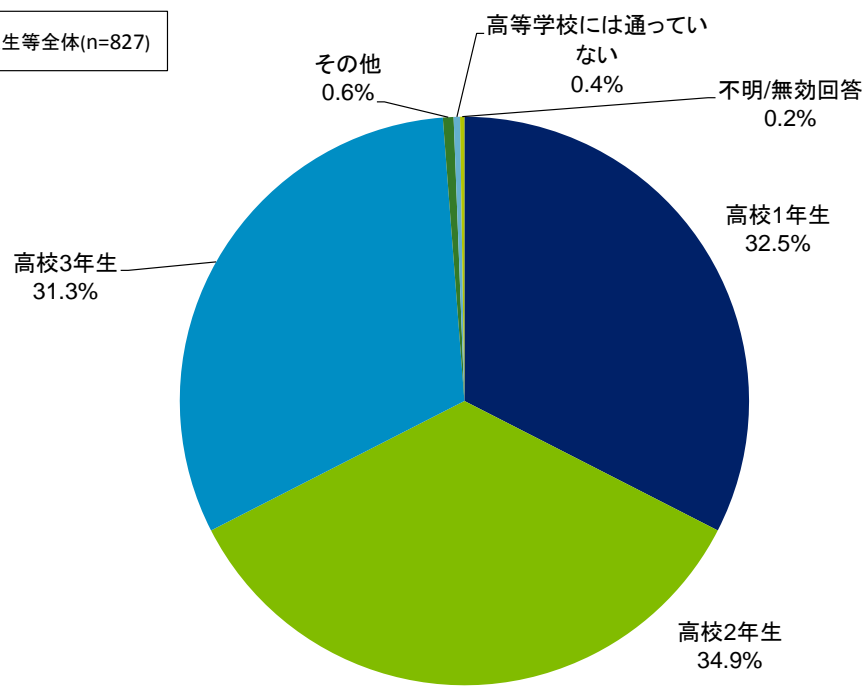
問1 続柄

対象: 高校生等全体(n=827)



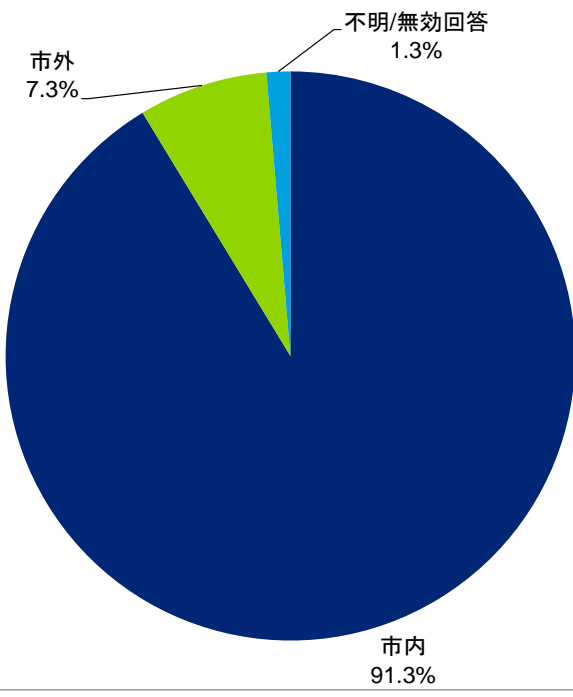
問2 所属(学年など)

対象: 高校生等全体(n=827)

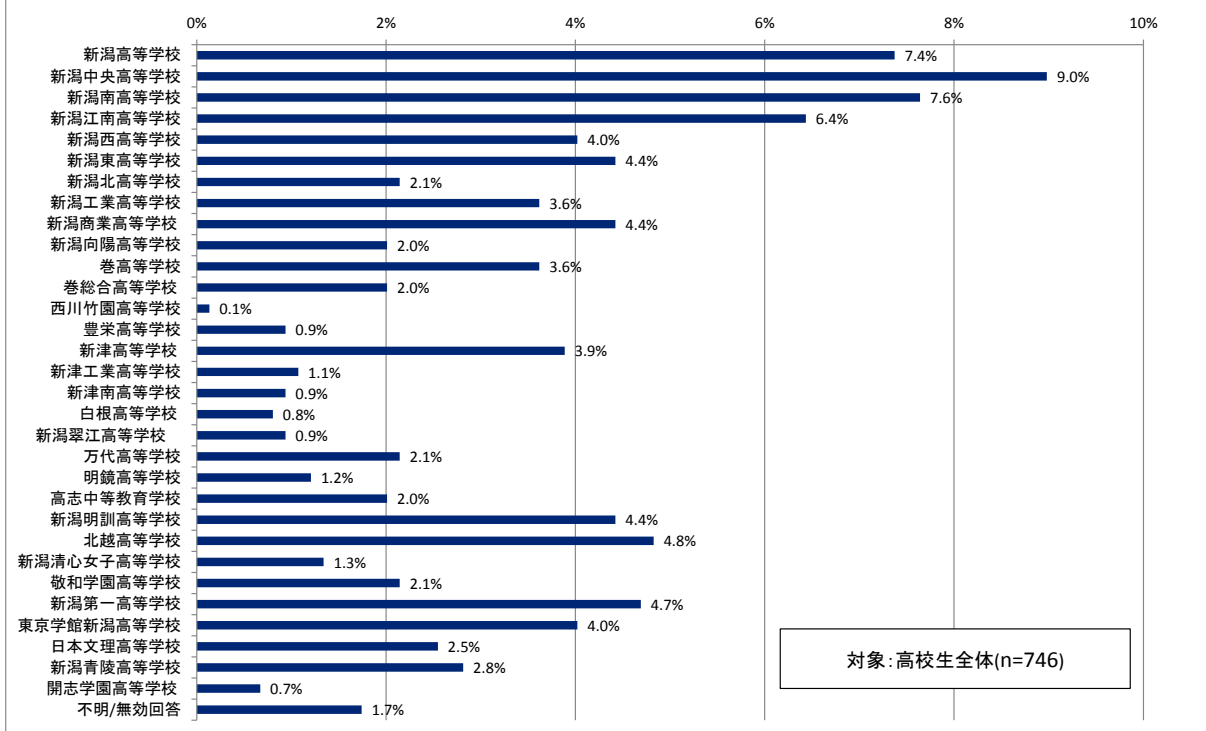


問2-1 高等学校の所在地

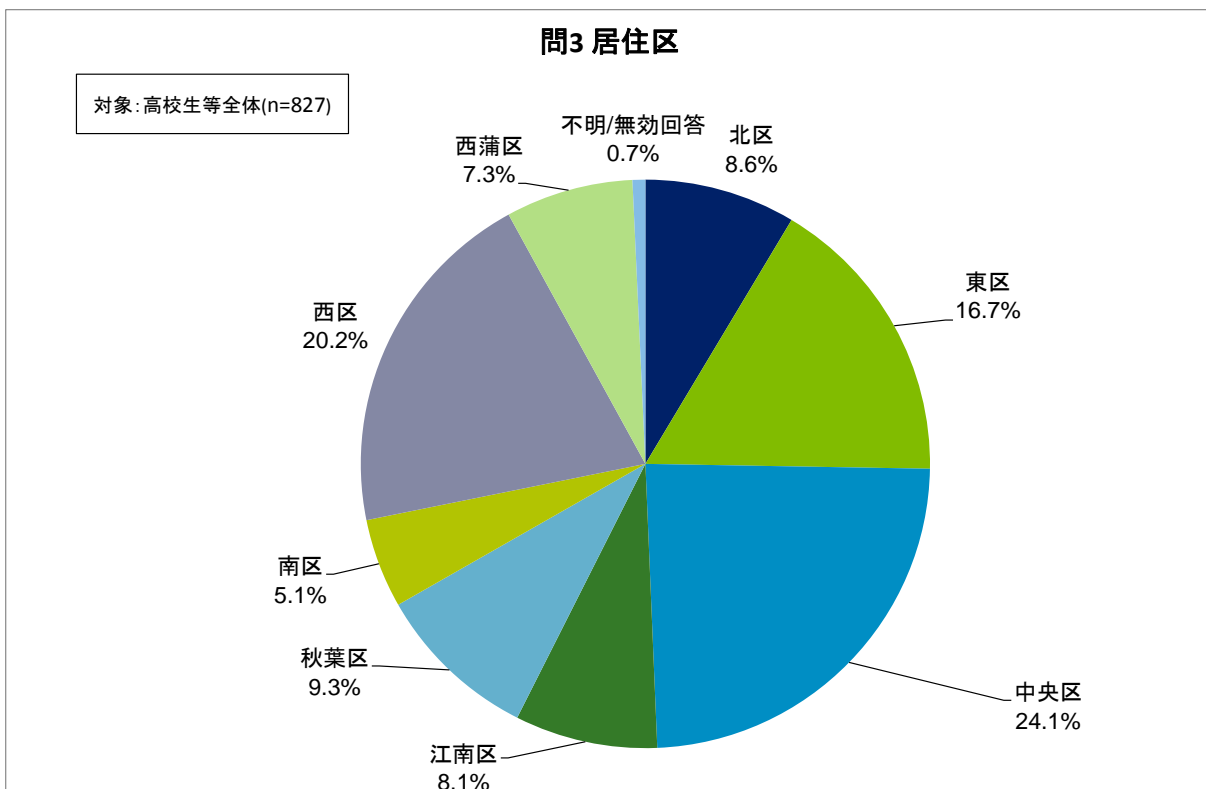
対象: 高校生全体(n=817)



問2-2 所属高等学校名

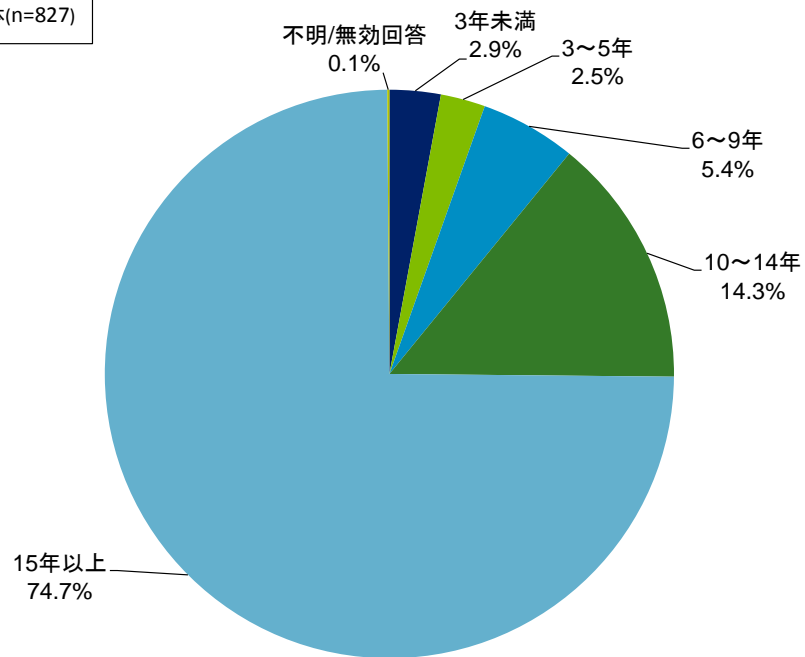


問3 居住区



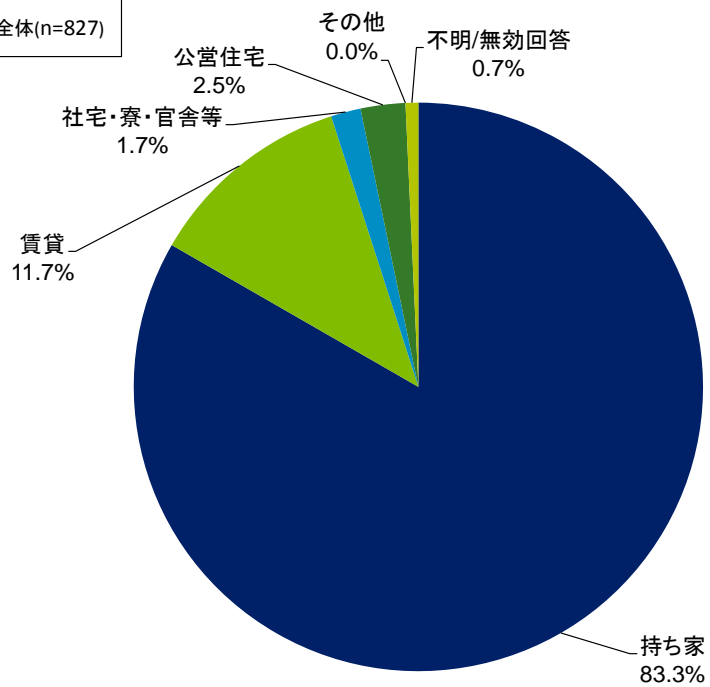
問4 居住年数

対象：高校生等全体(n=827)



問5 住居形態

対象：高校生等全体(n=827)

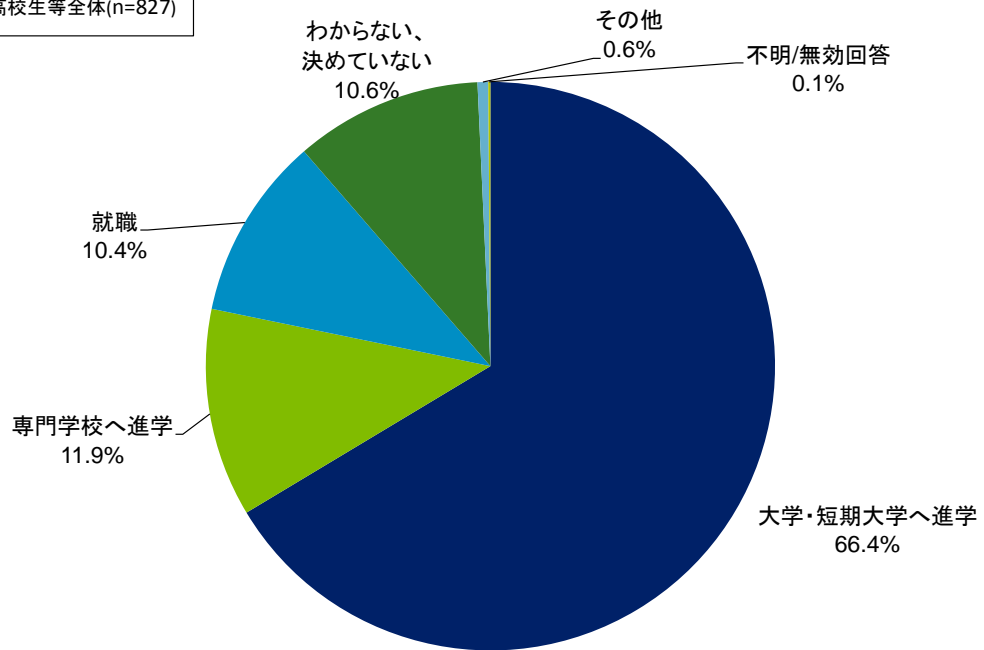


イ 進路について

- 卒業後の進路は「大学・短期大学へ進学（66.4%）」、「専門学校へ進学（11.9%）」、「就職（10.4%）」、「わからない、決めていない（10.6%）」となっている。
- 希望する進学先は、国公立大学が71.2%（「文系学部（35.5%）」、「理系学部（35.7%）」の合計）、私立大学が27.1%（「文系学部」（20.2%）、「理系学部」（6.9%）の合計）となっている。
- 希望する職業・職種は「医療、保健、福祉関係（16.4%）」、「公務員（行政職員）（14.3%）」、「教員、保育士（11.5%）」の順で高い。
- 希望する職業・職種の理由は「仕事のやりがいを感じるから（47.7%）」、「自分の能力を活かせるから（32.0%）」、「将来が安定しているから（23.4%）」の順で高い。
- 卒業後の居住予定地（進学・就職に伴う転出予定先）は、「新潟市内（58.5%）」、「首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）（23.5%）」となっている。
- 男女別にみると、首都圏への転出予定者は「男性（25.2%）」、「女性（21.9%）」と男性の方が高い。
- 卒業後の居住予定地を選んだ理由は、「希望する進学先や就職先があるから」の回答者が全体では51.2%で、首都圏居住予定者では74.2%となっている。また、首都圏居住予定者の理由は「その地域に住むことにあこがれがあるから（23.2%）」、「生活環境が楽しそうだから（27.8%）」となっており、他地域への居住予定者と比較して高い。
- 将来の新潟市へのUターン意向は、Uターン意向のある者が36.6%（「思う（16.2%）」、「どちらかといえば思う（20.4%）」の合計）となっている。
- 男女別にみると、Uターン意向は「男性（39.5%）」、「女性（33.5%）」と男性の方が高い
- 新潟市へいずれは戻りたい理由は「家族・親戚・知人など親しい人がいるから（66.4%）」、「出身地であるから（63.1%）」、「食べ物や水、空気がおいしいから（50.0%）」の順で高い。
- 新潟市に戻る時期は「わからない（35.2%）」、「就職するとき（32.8%）」、「結婚するとき（9.8%）」の順で高い。
- 男女別にみると、結婚のタイミングで戻りたいという意向は「男性（5.0%）」、「女性（15.5%）」と女性の方が高い。

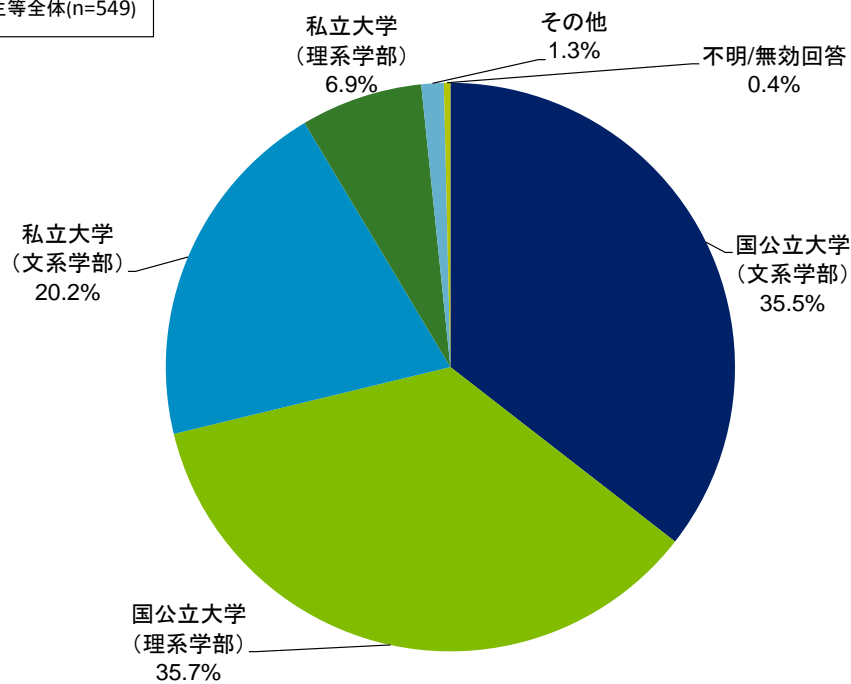
問6 卒業後の進路

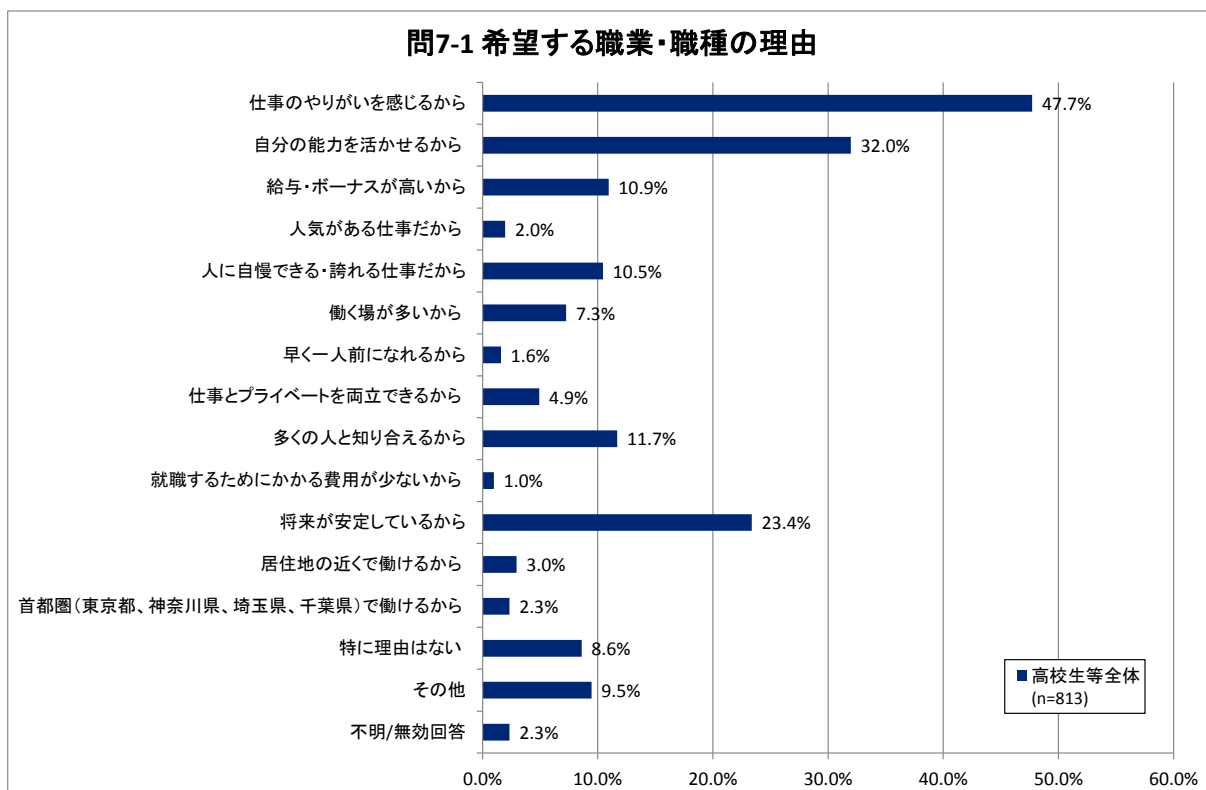
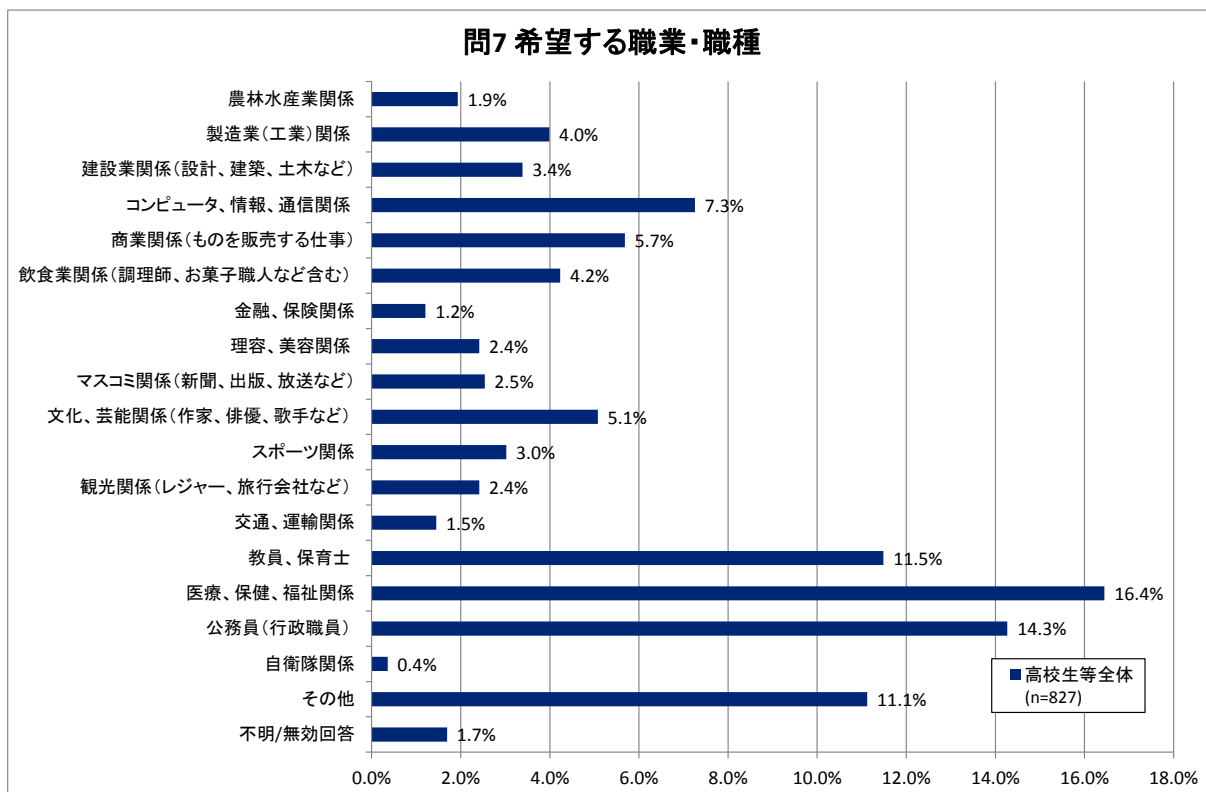
対象: 高校生等全体(n=827)



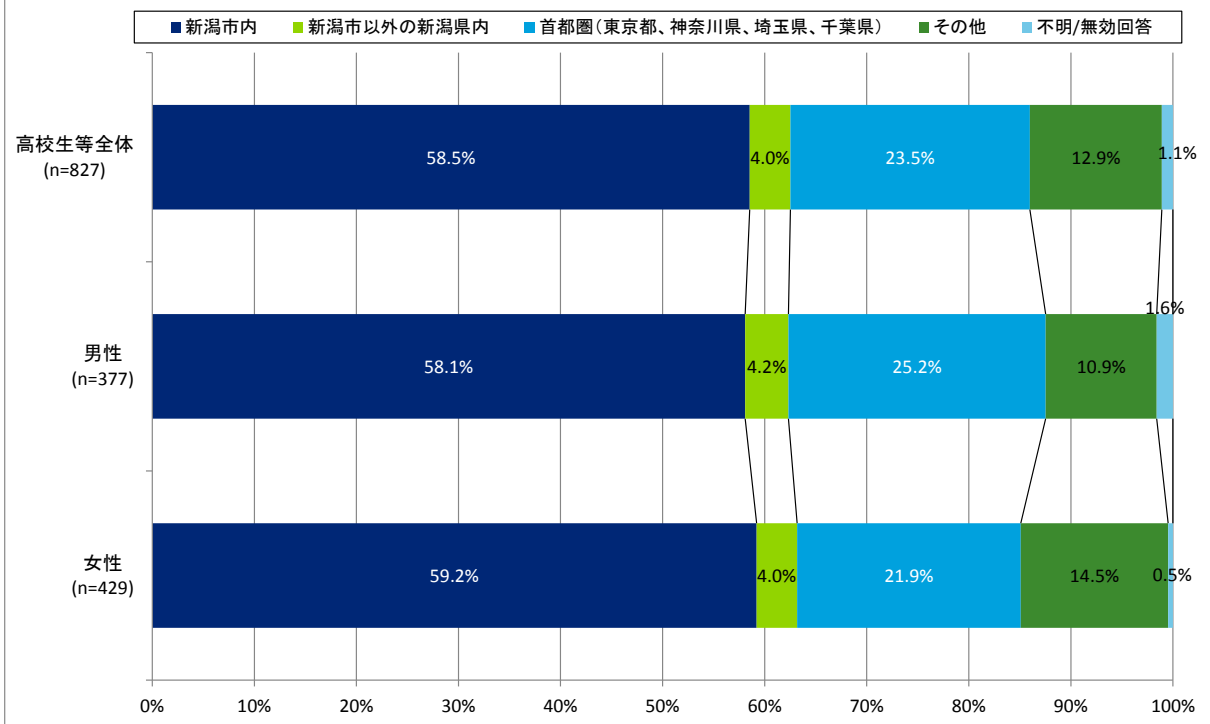
問6-1 希望する進学先(大学・短期大学希望者)

対象: 高校生等全体(n=549)

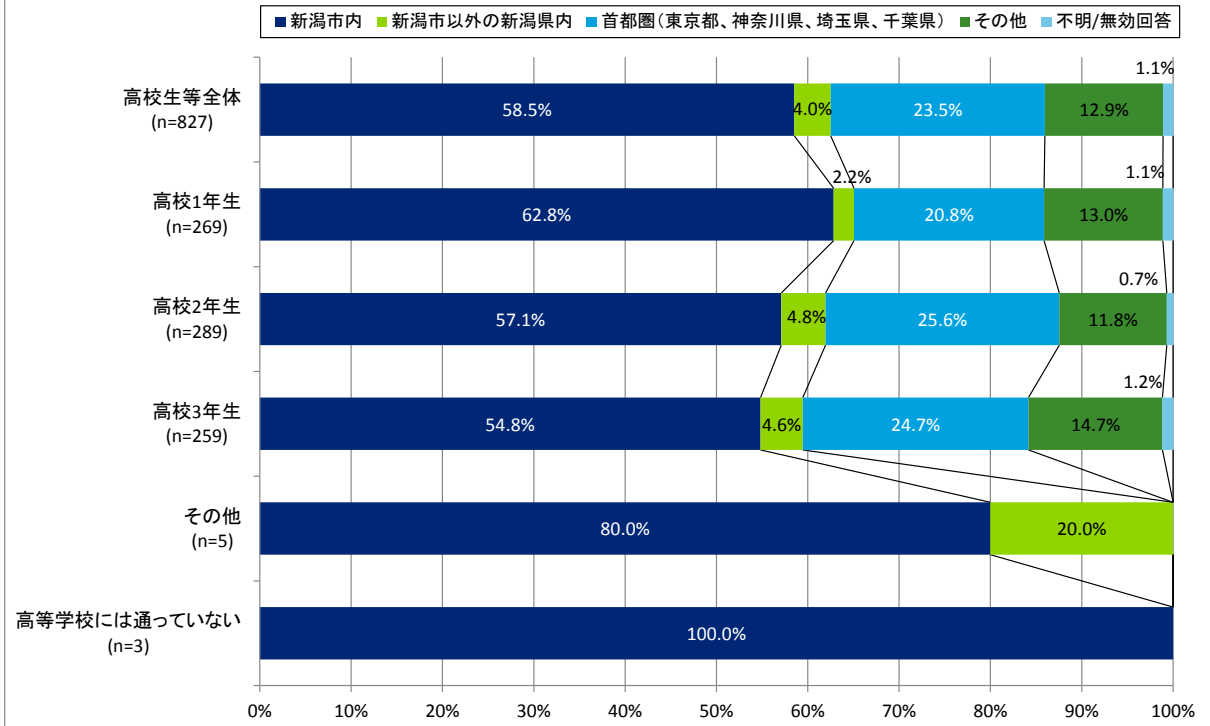




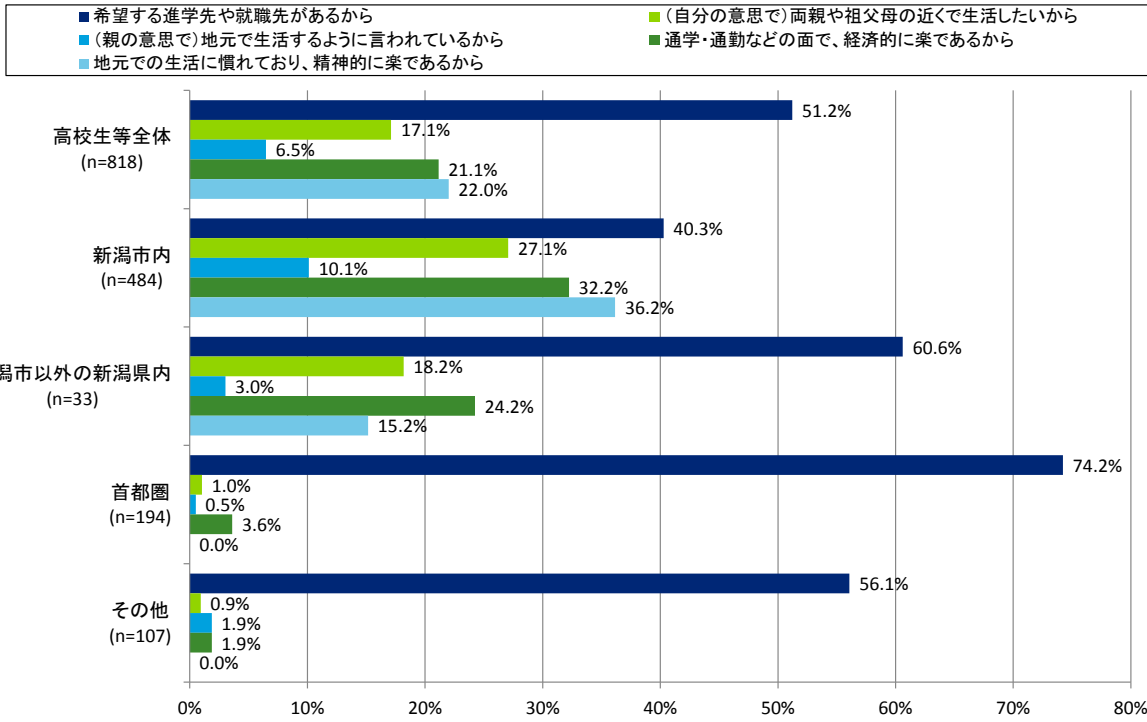
問8 卒業後の居住予定地(男女別)



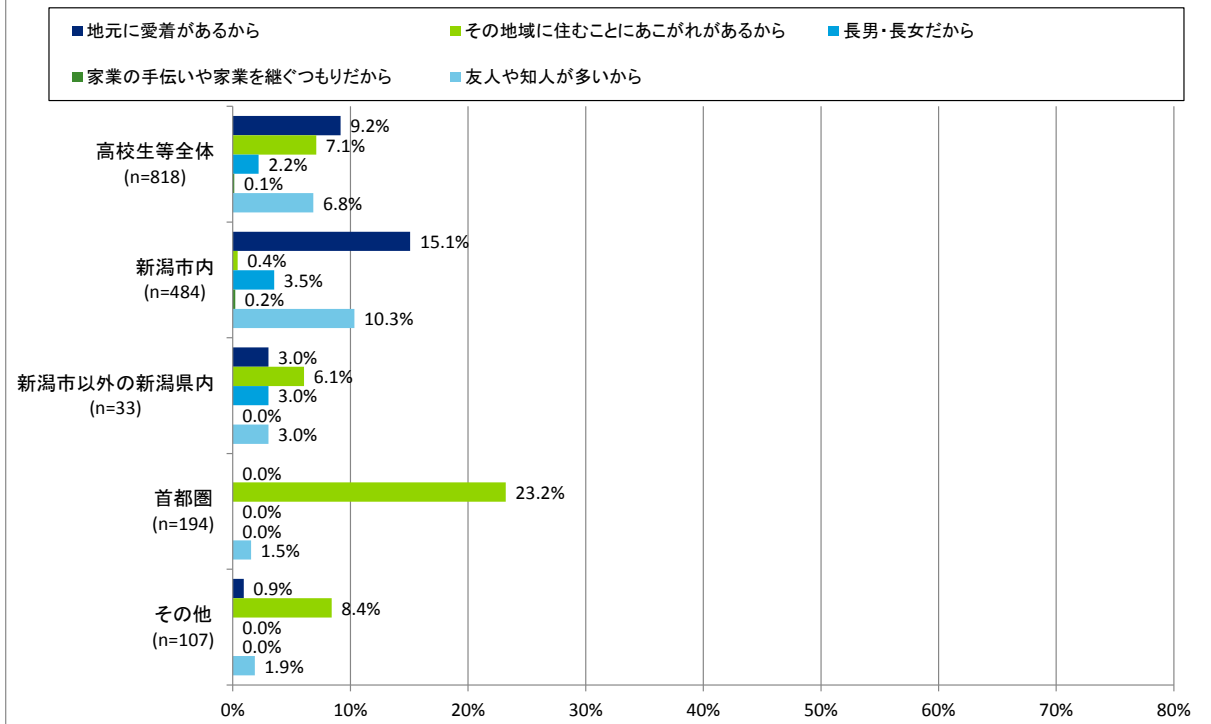
問8 卒業後の居住予定地(所属別)



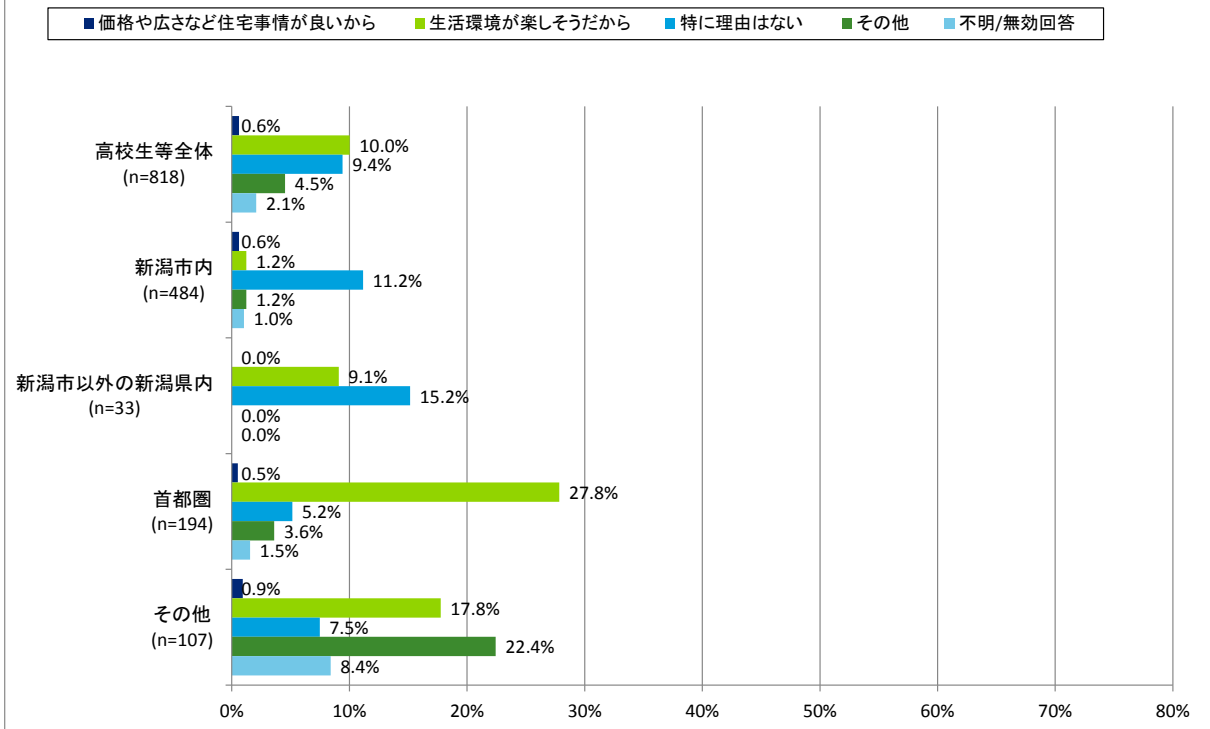
問8-1 卒業後の居住予定地を選んだ理由(1/3)(卒業後居住予定地別)



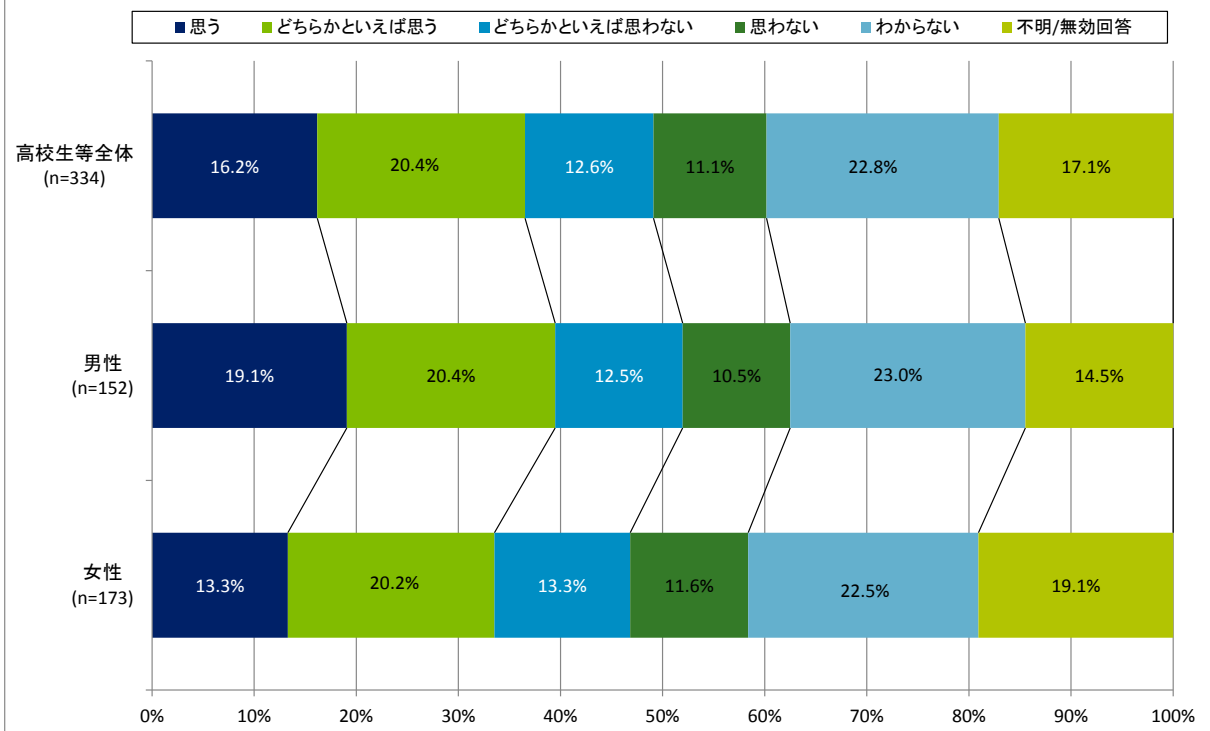
問8-1 卒業後の居住予定地を選んだ理由(2/3)(卒業後居住予定地別)



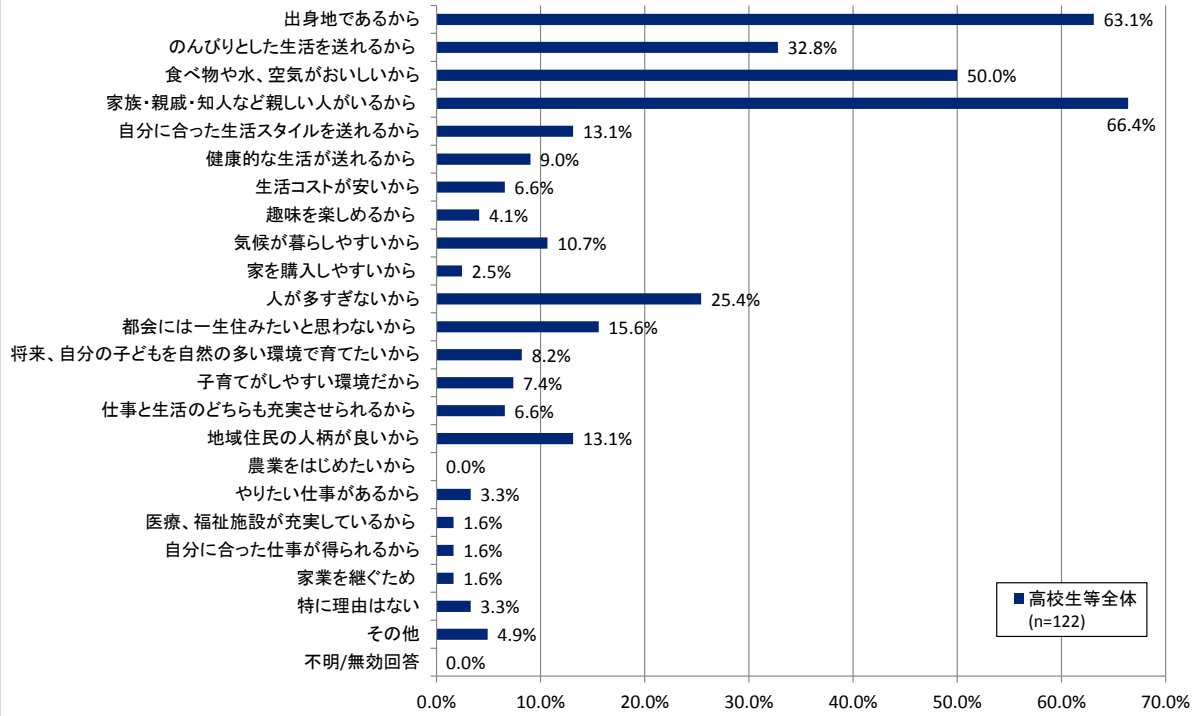
問8-1 卒業後の居住予定地を選んだ理由(3/3)(卒業後居住予定地別)



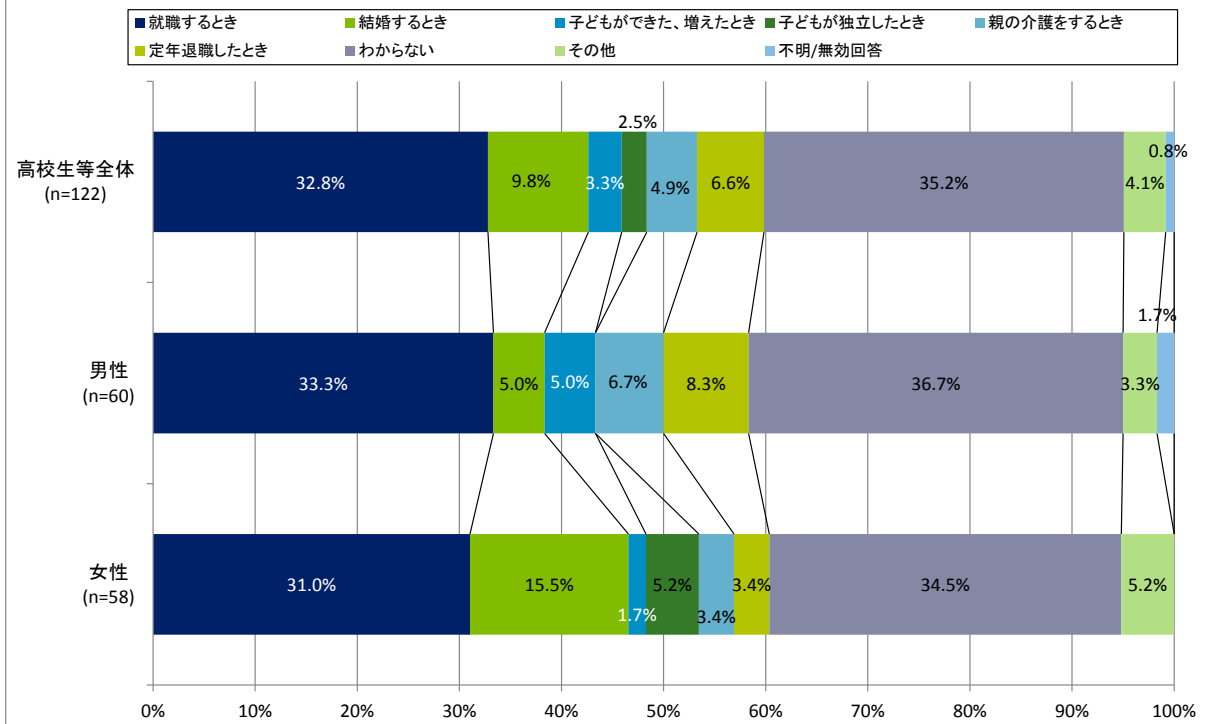
問8-2 将来の新潟市へのUターン意向(男女別)



問8-3 新潟市へいずれは戻りたいという理由

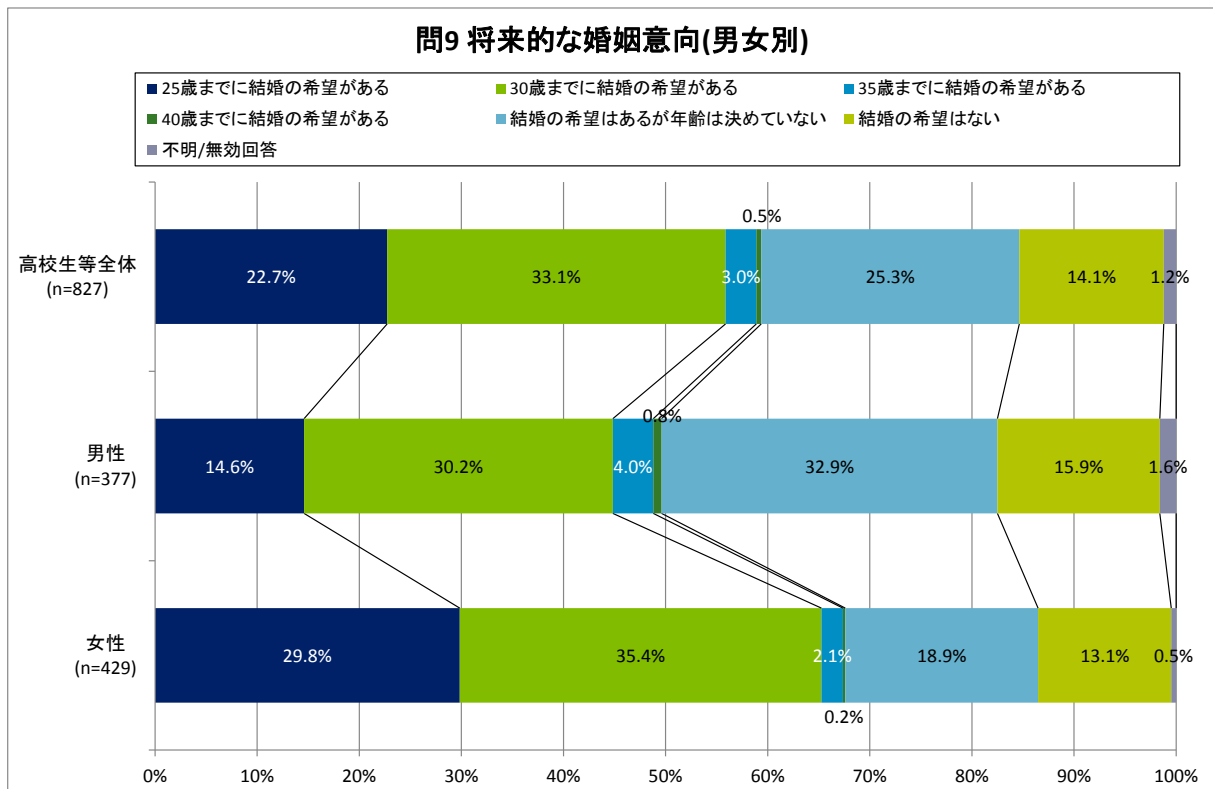


問8-4 新潟市に戻る時期(男女別)

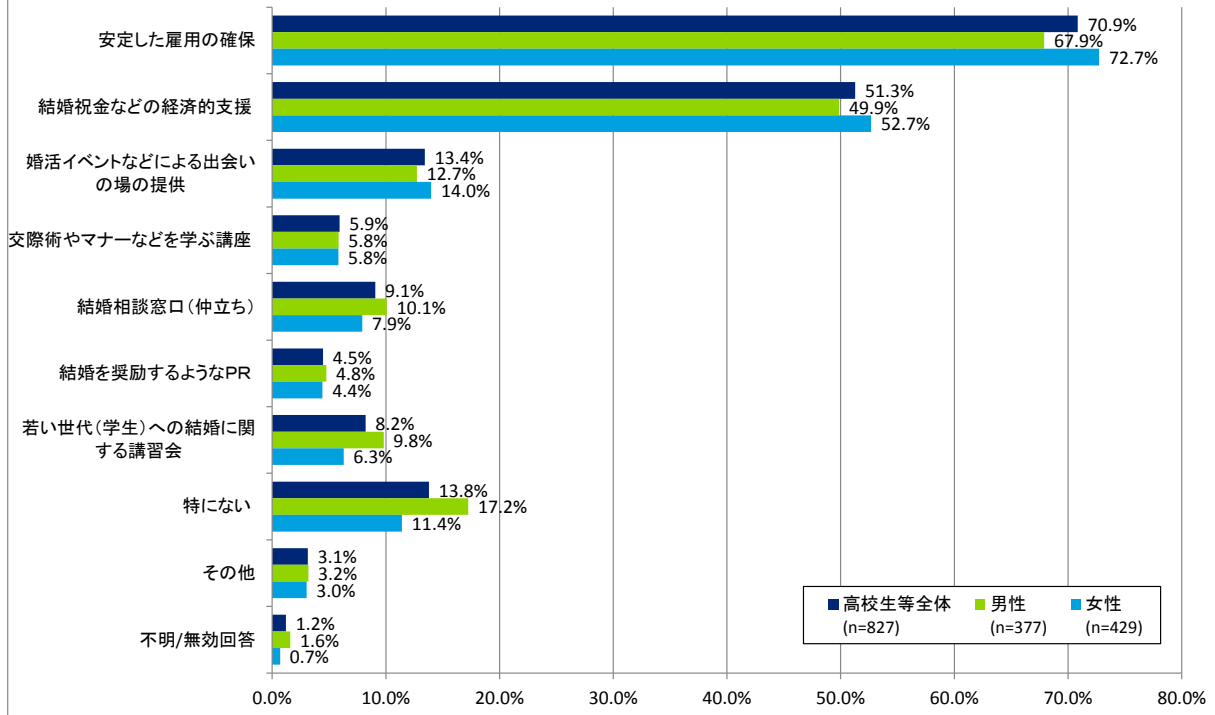


ウ 結婚のしやすさについて

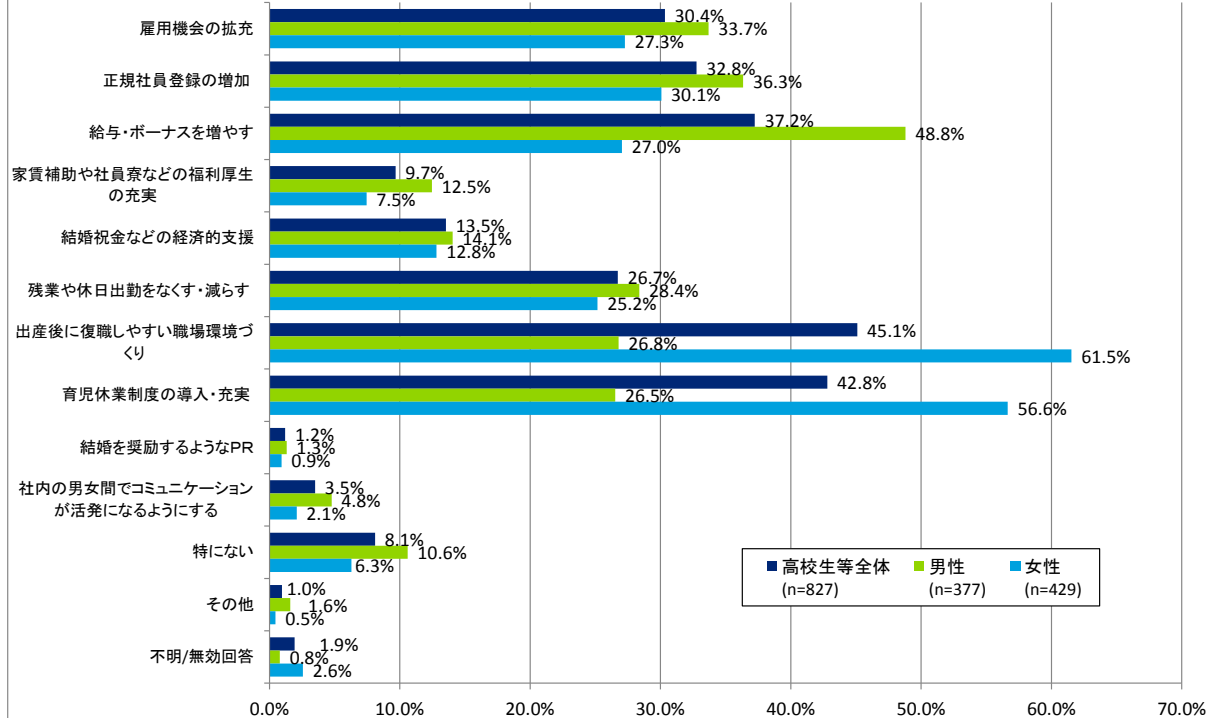
- 将来的な婚姻意向は、男女別にみると、男性は「結婚の希望はあるが年齢は決めていない (32.9%)」、「30歳までに結婚の希望がある (30.2%)」、「結婚の希望はない (15.9%)」の順で高く、女性は「30歳までに結婚の希望がある (35.4%)」、「25歳までに結婚の希望がある (29.8%)」、「結婚の希望はあるが年齢は決めていない (18.9%)」の順で高い。
- 結婚支援のために行政が取り組むべきことは、「安定した雇用の確保 (70.9%)」、「結婚祝金などの経済的支援 (51.3%)」の順で高い。
- 企業が取り組むべきことは、男女別にみると、男性は「給与・ボーナスを増やす (48.8%)」、「正規社員登録の増加 (36.3%)」、「雇用機会の拡充 (33.7%)」の順で高く、女性は「出産後に復職しやすい職場環境づくり (61.5%)」、「育児休業制度の導入・充実 (56.6%)」、「正規社員登録の増加 (30.1%)」の順で高い。



問10 結婚支援のために行政が取り組むべきこと(男女別)

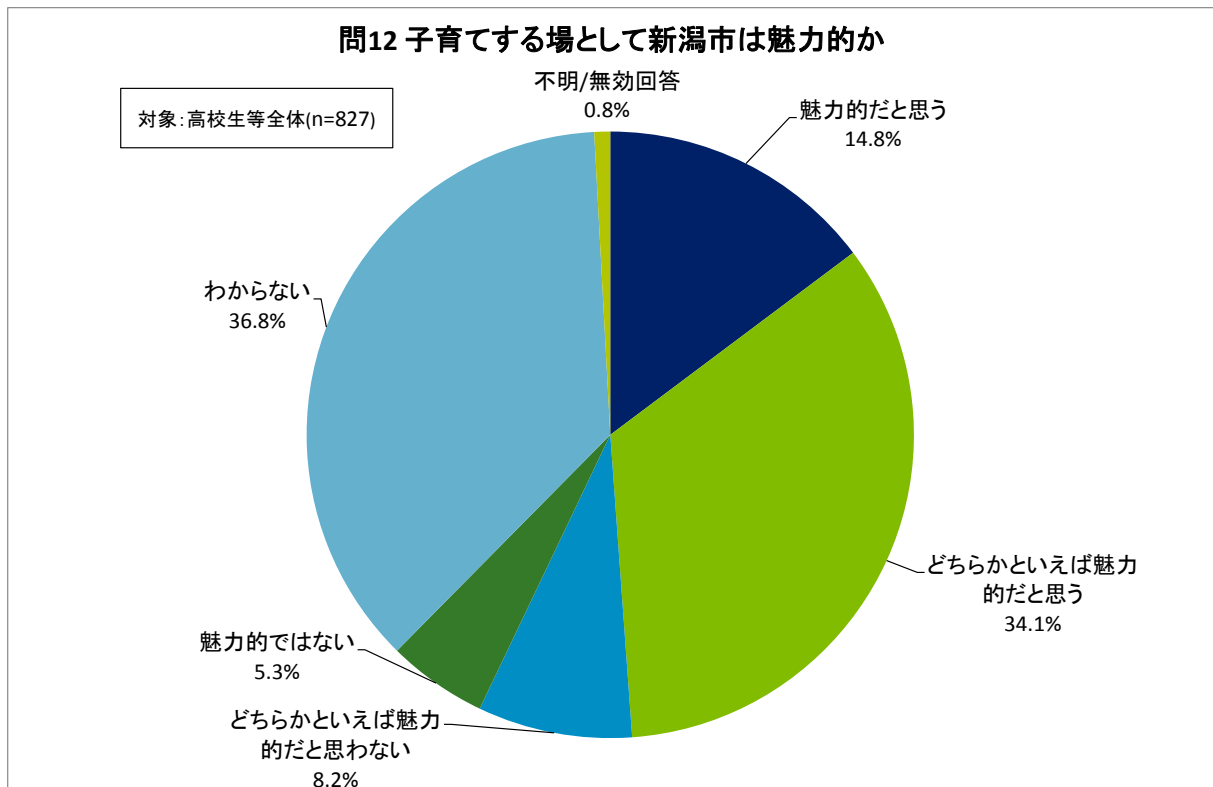


問11 結婚支援のために企業が取り組むべきこと(男女別)

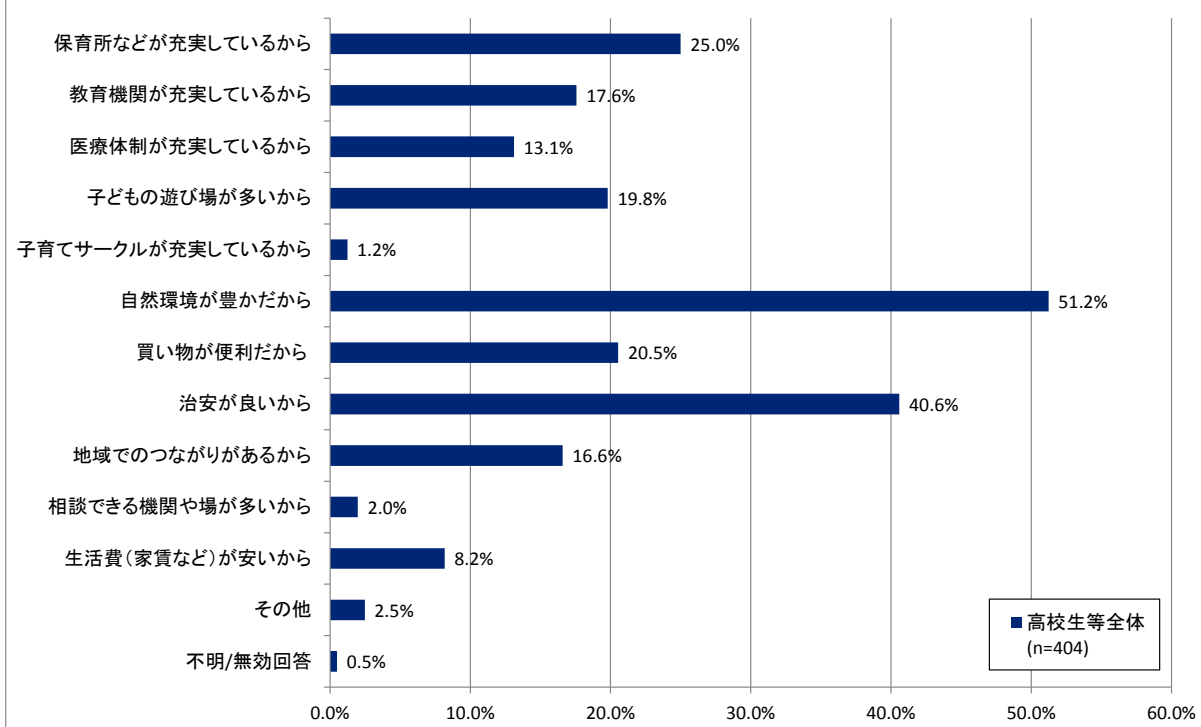


エ 子育てのしやすさについて

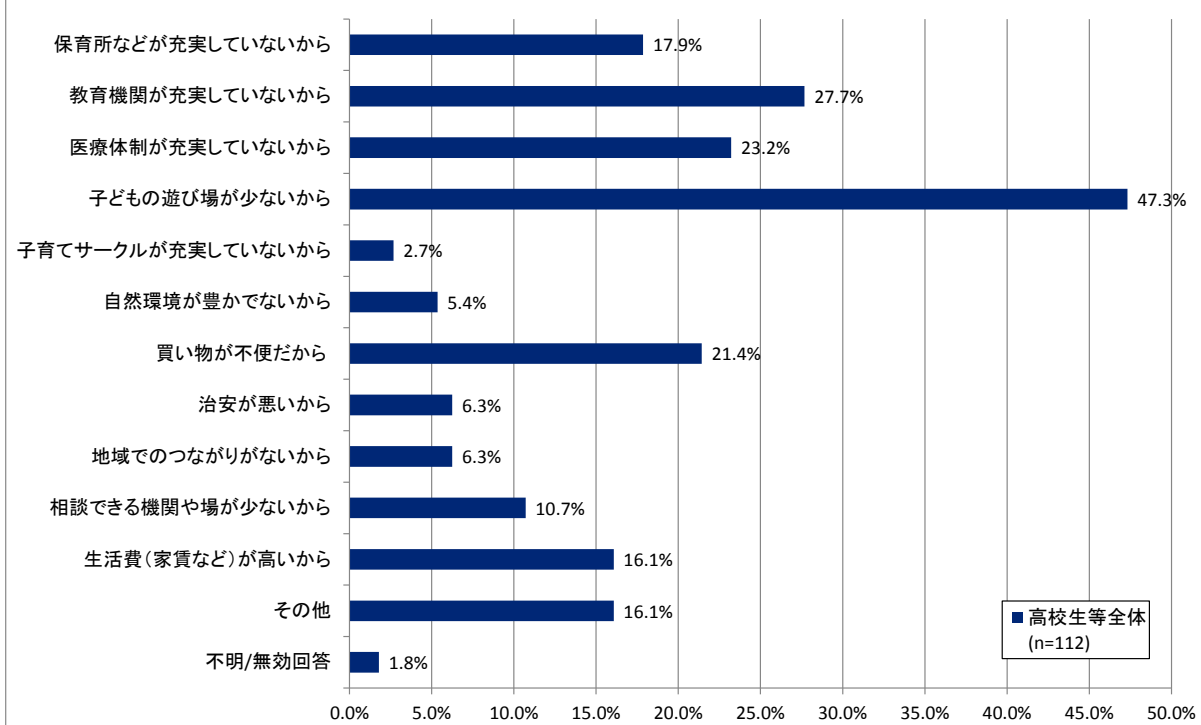
- ・ 子育てする場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が48.9%（「魅力的だと思う（14.8%）」、「どちらかといえば魅力的だと思う（34.1%）」の合計）となっている。
- ・ 魅力的だと思う理由は「自然環境が豊かだから（51.2%）」、「治安が良いから（40.6%）」、「保育所などが充実しているから（25.0%）」の順で高い。
- ・ 魅力的だと思わない理由は「子どもの遊び場が少ないから（47.3%）」、「教育機関が充実していないから（27.7%）」、「医療体制が充実していないから（23.2%）」の順で高い。
- ・ 将来自分を持ちたい子どもの数は「2人（61.4%）」、「3人（17.8%）」、「1人（8.8%）」の順で高い。
- ・ 子どもの数が増えるための支援・対策は「安定した雇用の確保（44.1%）」、「子育てに伴う経済的負担の軽減（39.9%）」、「子育てしやすい職場環境の整備（37.2%）」の順で高い。



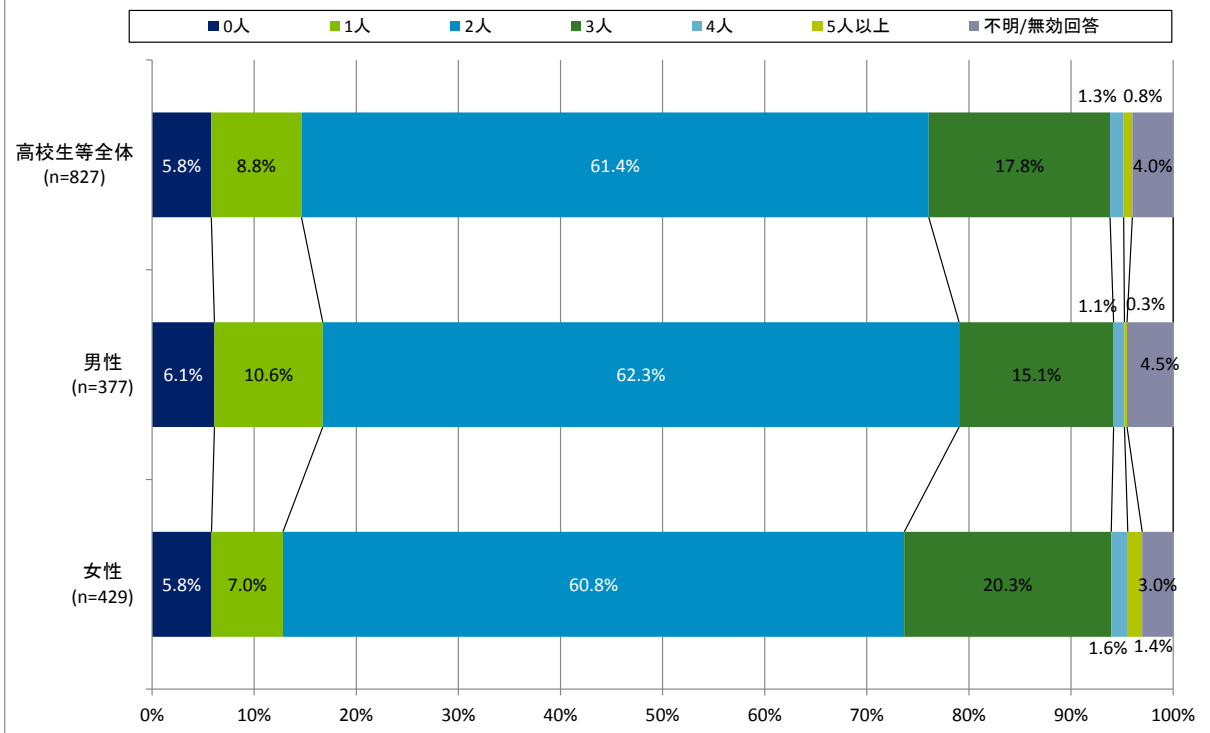
問12-1「新潟市が子育てする場として魅力的だと思う」理由



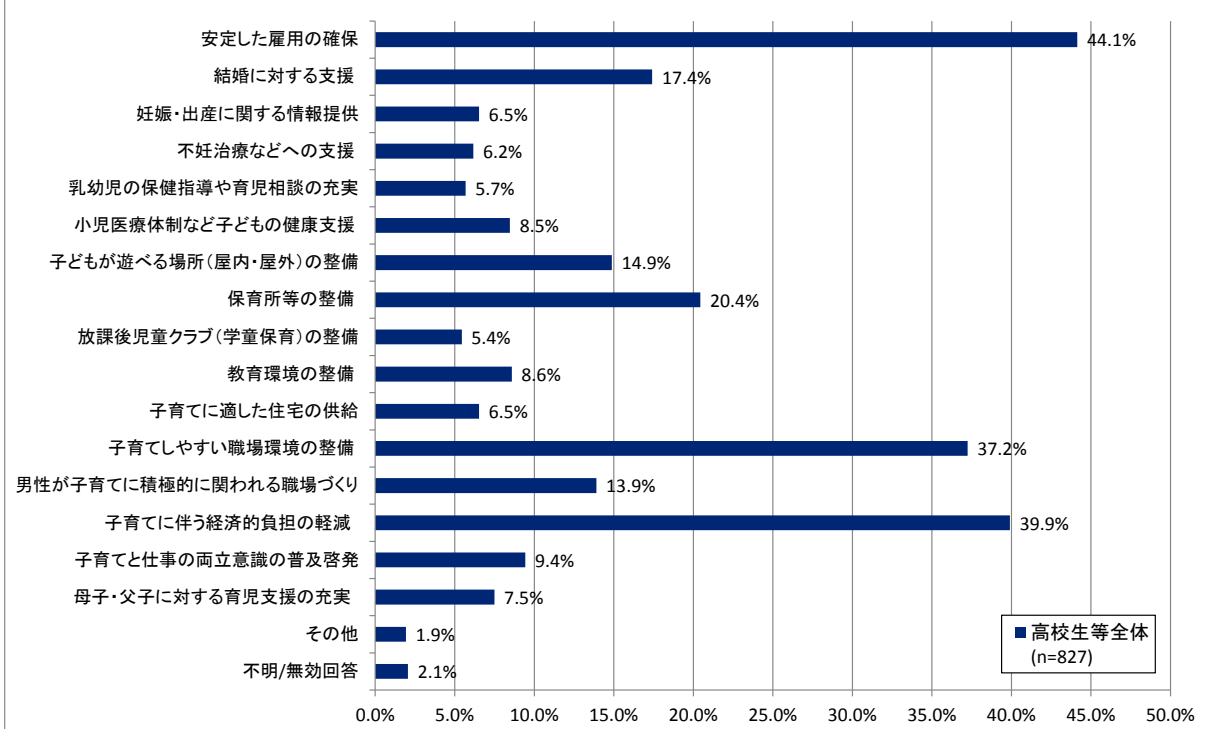
問12-2「新潟市が子育てする場として魅力的だと思わない」理由



問13 将来自分が持ちたい子どもの数(男女別)

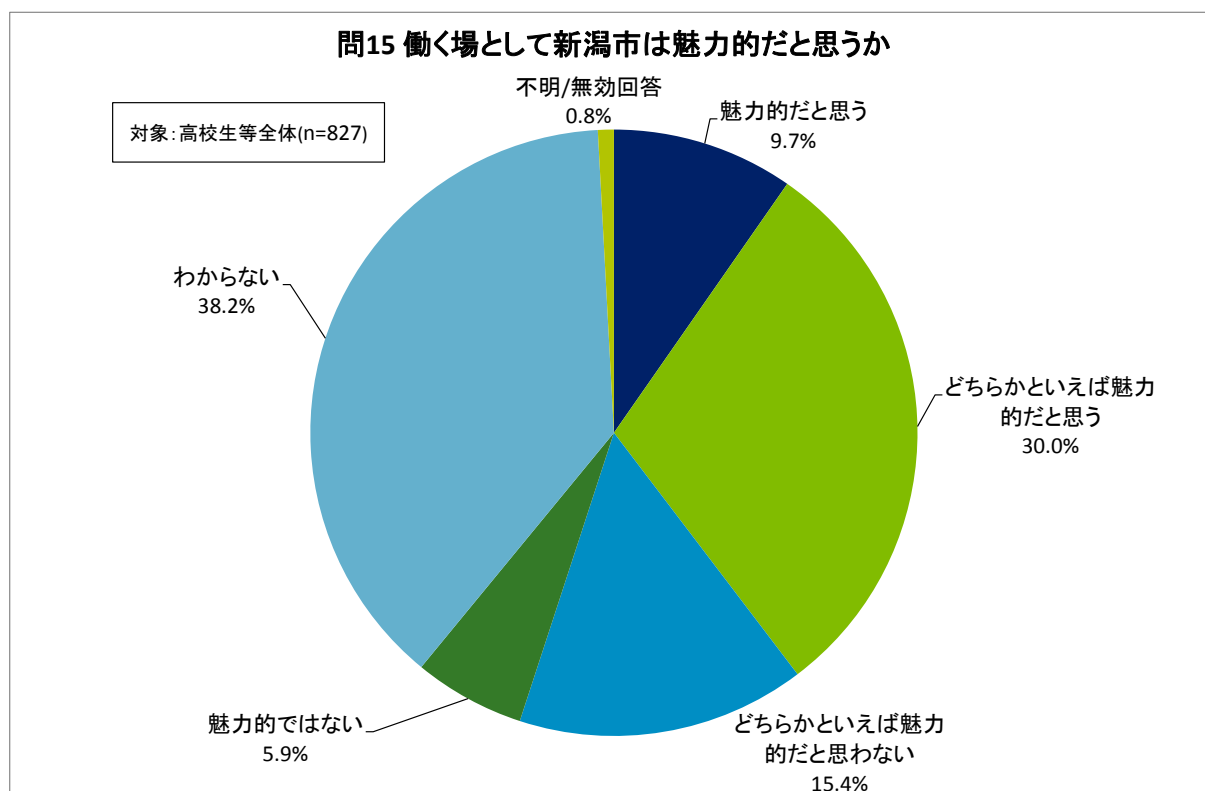


問14 子どもの数が増えるための支援・対策

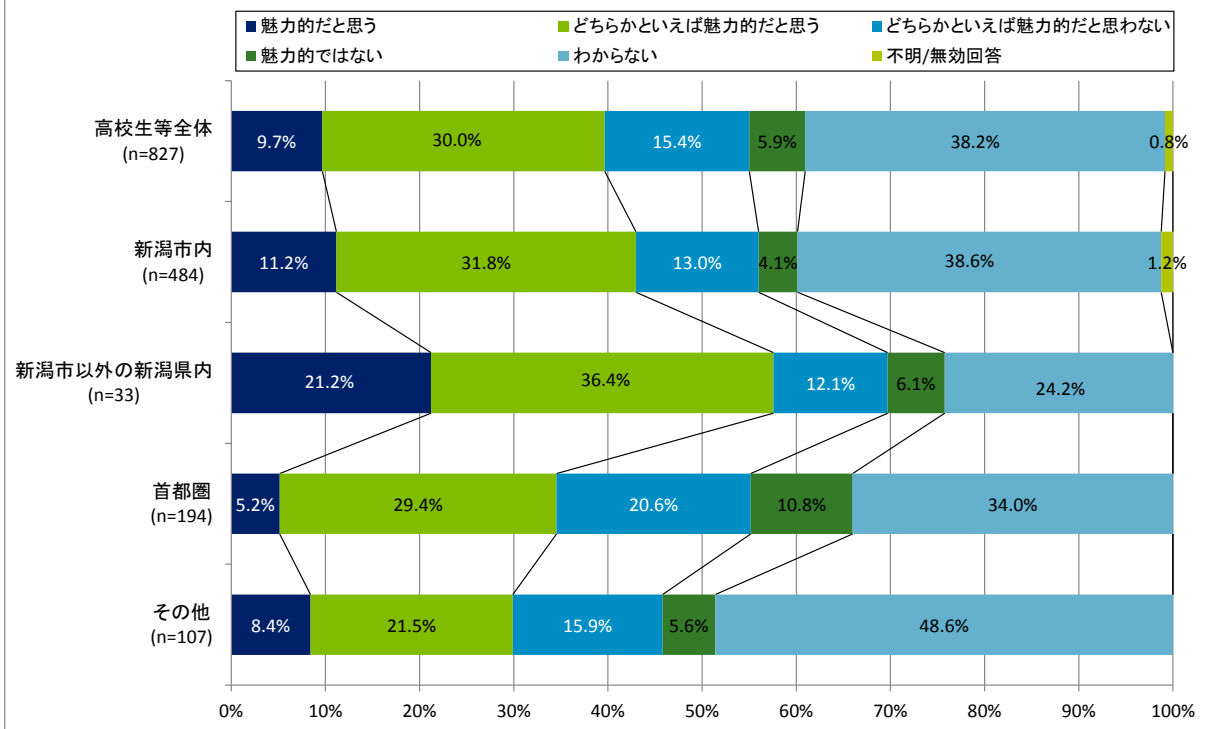


オ 働きやすさについて

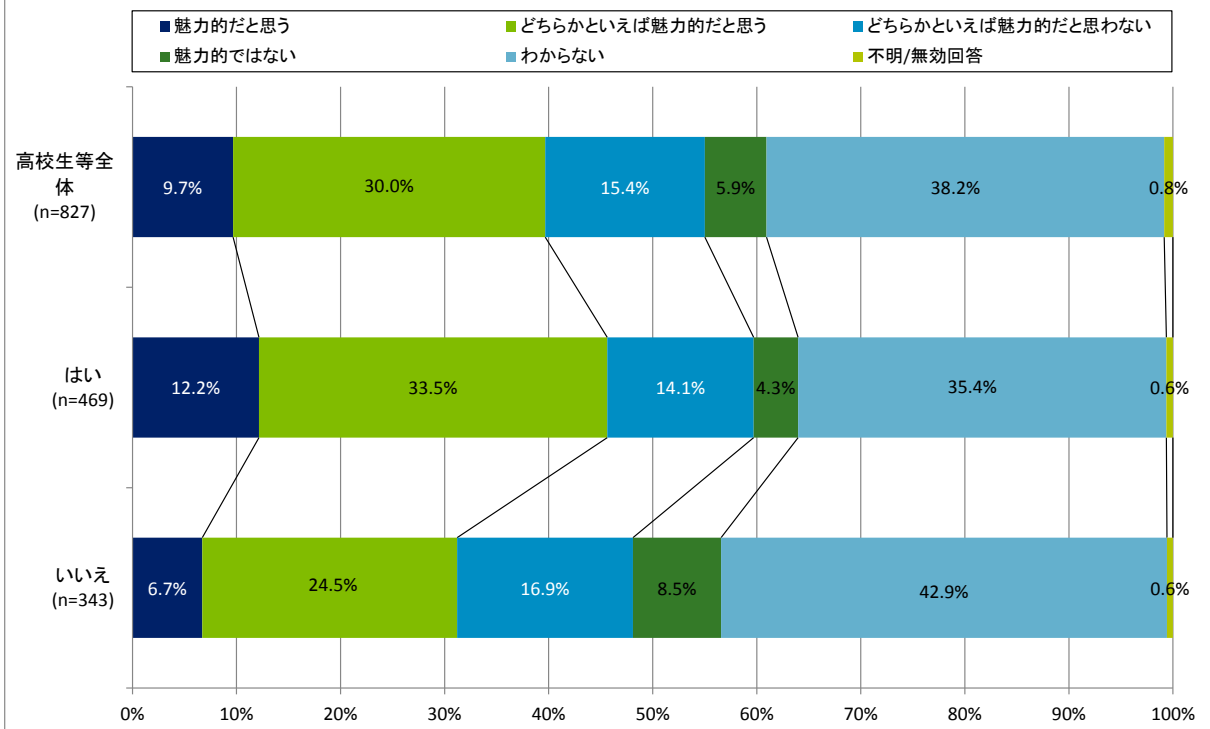
- ・ 働く場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が 39.7%（「魅力的だと思う（9.7%）」、「どちらかといえば魅力的だと思う（30.0%）」の合計）となっている。
- ・ 魅力的だと思う理由は「実家に住める・近いから（41.2%）」、「長く働ける企業が多いから（25.9%）」、「職場と自宅の距離が近いから（25.6%）」の順で高い。
- ・ 魅力的だと思わない理由は「優良な大手企業が少ないから（65.3%）」、「優良な中小企業が少ないから（30.7%）」、「採用に積極的な企業が少ないから（22.2%）」の順で高い。
- ・ 新潟市の優良企業として思いつく企業はあるかについては「はい（56.7%）」、「いいえ（41.5%）」となっている。
- ・ 働きやすさのために行政が取り組むべきことは「企業誘致による雇用拡大（46.6%）」、「ブラック企業などへの注意喚起（33.5%）」、「育児・介護休業制度の啓発（26.6%）」の順で高い。（ただし、「育児・介護休業制度の啓発」は男女差が大きく、男性 15.1%に対し、女性は 36.6%であった。）
- ・ 企業が取り組むべきことは「正規社員登録の増加（44.7%）」、「給与・ボーナスを増やす（43.5%）」、「雇用機会の拡充（39.5%）」の順で高い。
- ・ 男女差が大きい項目は、「出産後に復職しやすい職場環境づくり（男性：17.2%、女性：42.2%）」、「育児・介護休業制度の導入・充実（男性：17.2%、女性：38.7%）」と男性より女性の割合が高い。
- ・ 将来の最低希望年収は、高校生等全体では「300 万円代（17.7%）」、「400 万円代（16.1%）」、「500 万円代（13.5%）」の順で高い。大学・短期大学への進学予定者でみると、「500 万円代」以下の割合が減少し、一方で「500 万円代」以上の割合が増加していることがわかる。



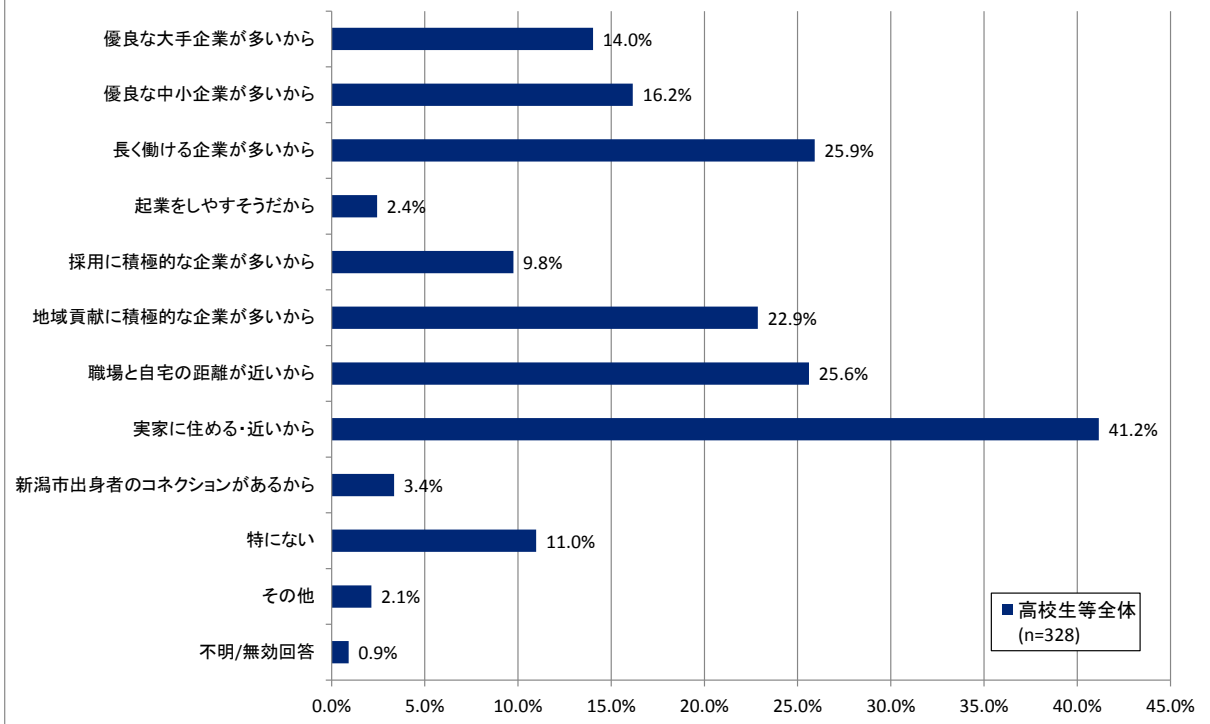
問15 働く場として新潟市は魅力的だと思うか(卒業後居住地別)



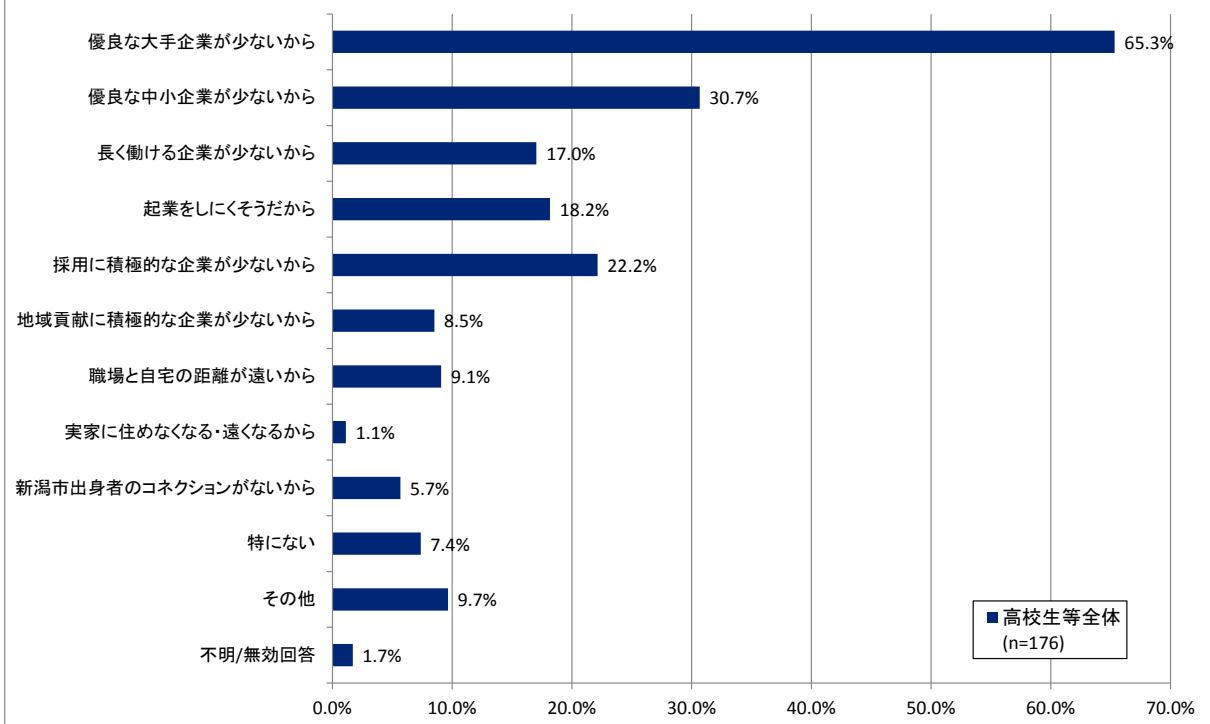
問15 働く場として新潟市は魅力的だと思うか(新潟市の優良企業認知度別)



問15-1「新潟市が働く場として魅力的だと思う」理由

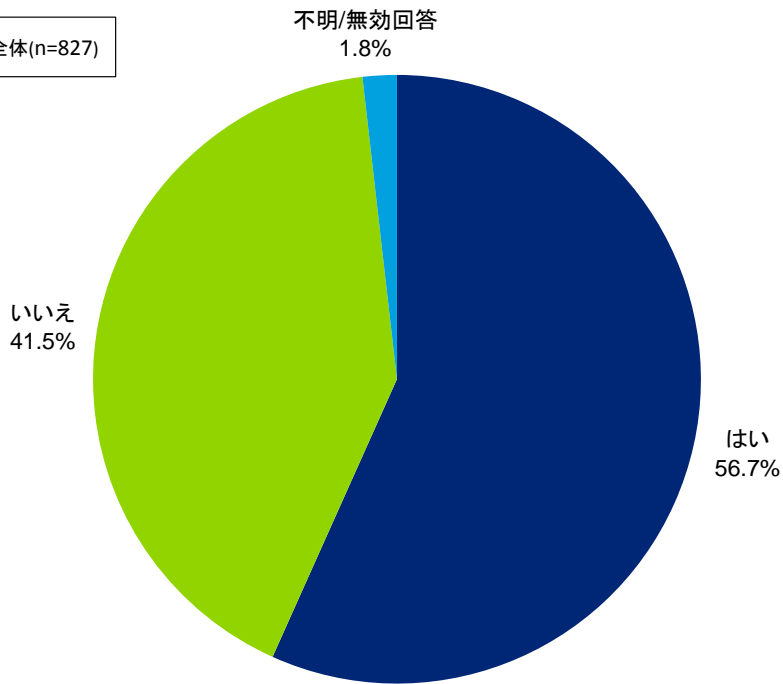


問15-2「新潟市が働く場として魅力的だと思わない」理由

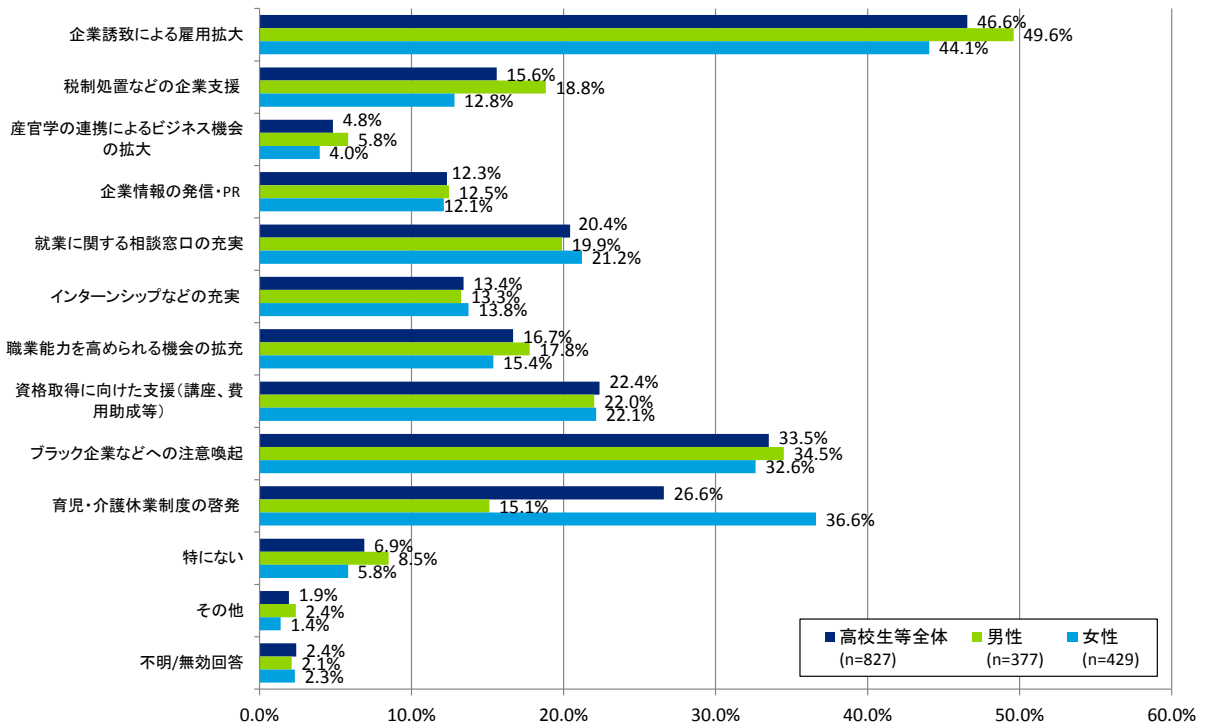


問16 新潟市の優良企業として思いつく企業はあるか

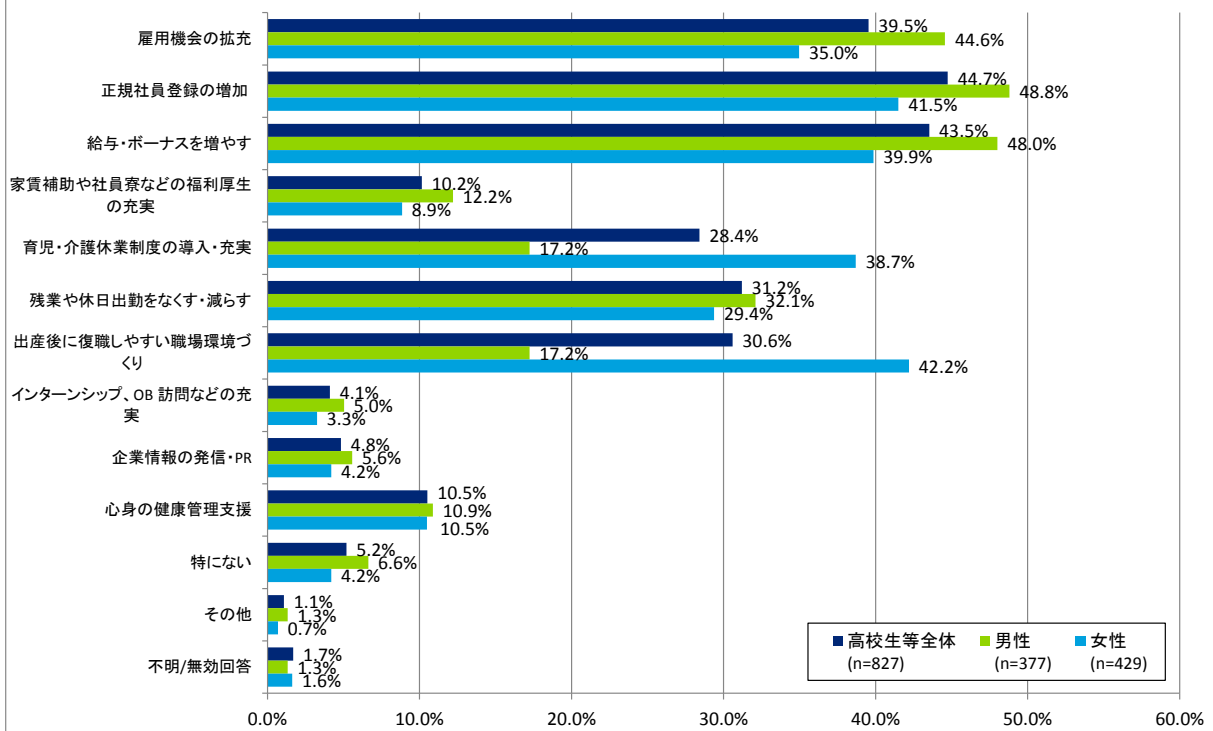
対象: 高校生等全体(n=827)



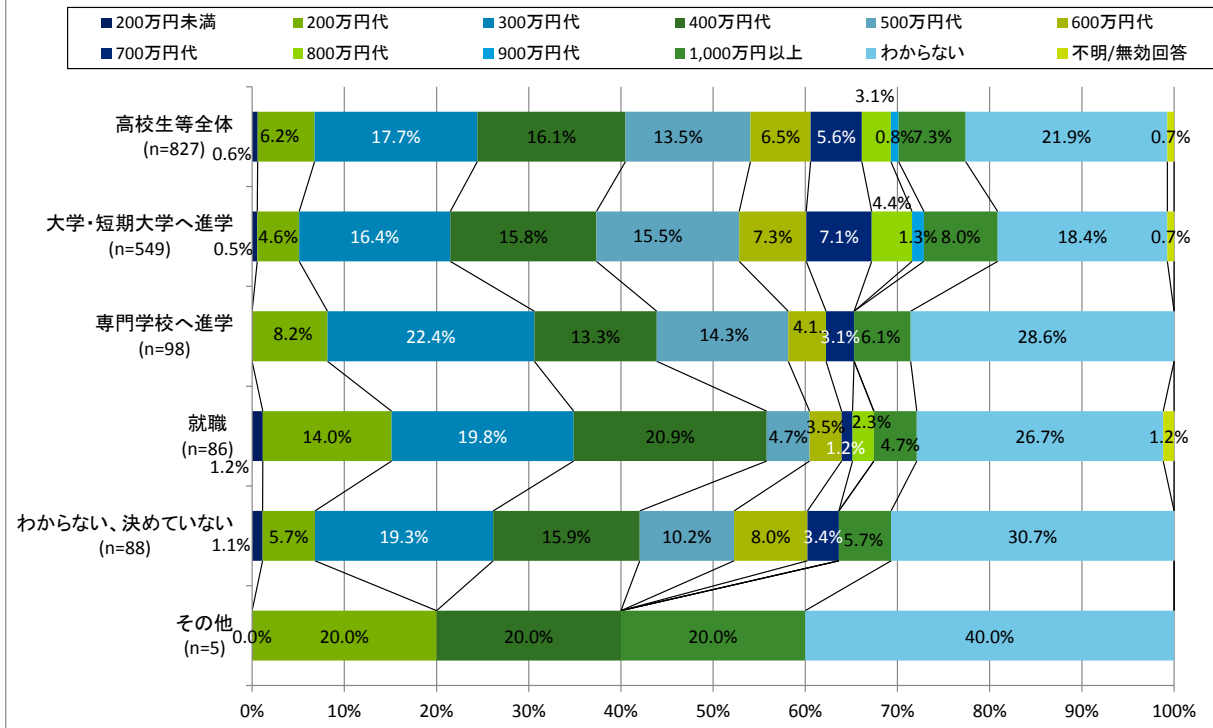
問17 働きやすさのために行政が取り組むべきこと(男女別)



問18 働きやすさのために企業が取り組むべきこと(男女別)

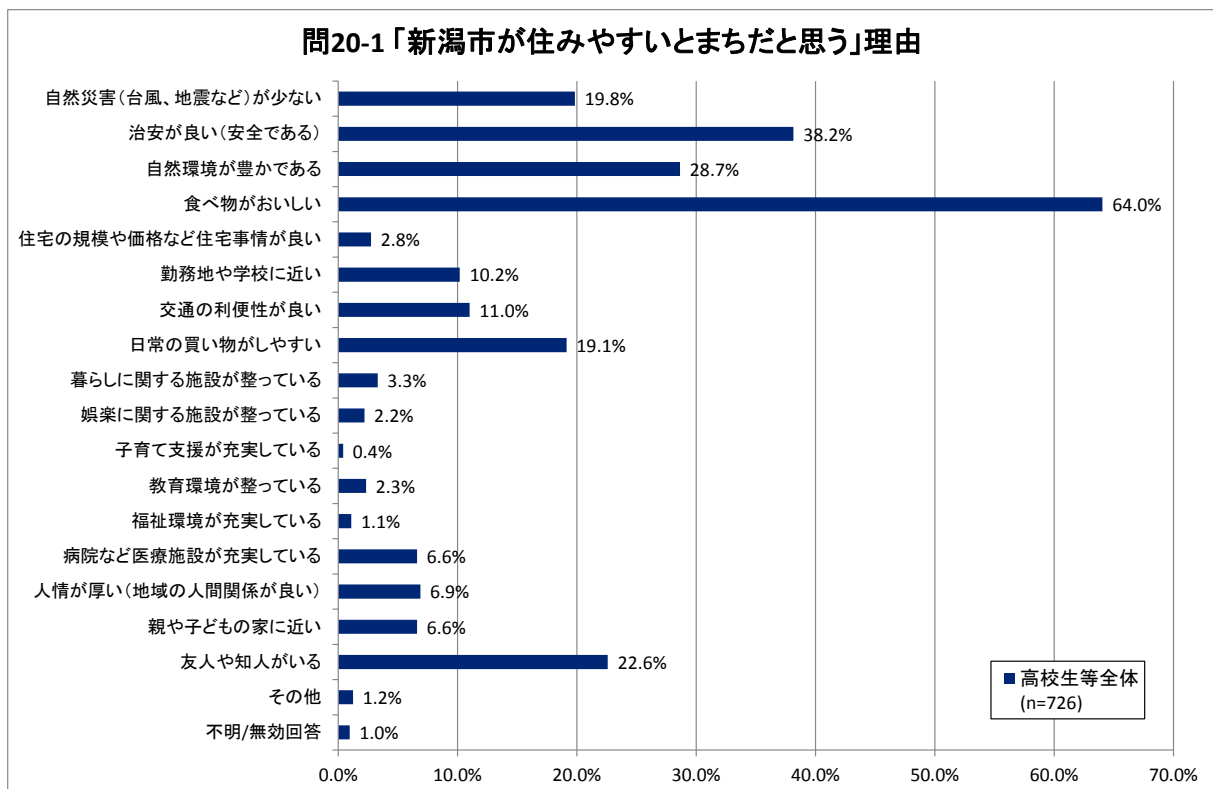
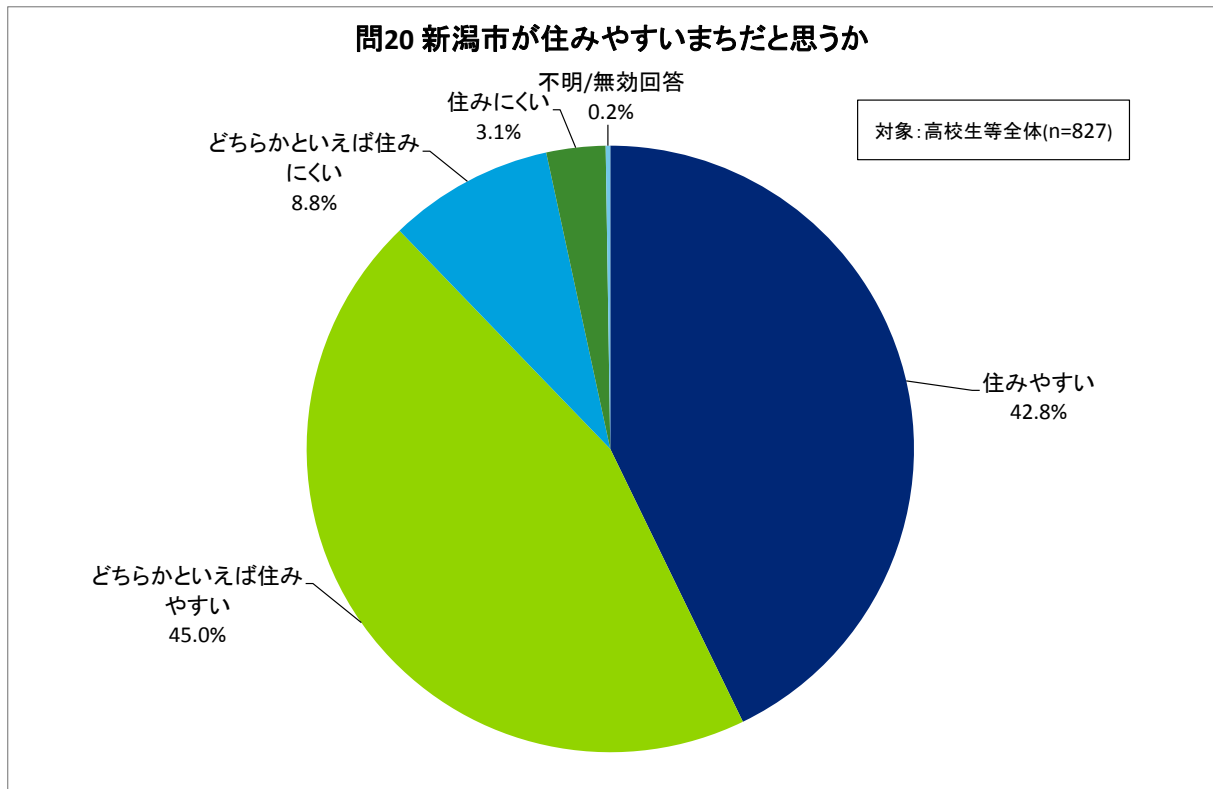


問19 将来の最低希望年収(進路希望別)

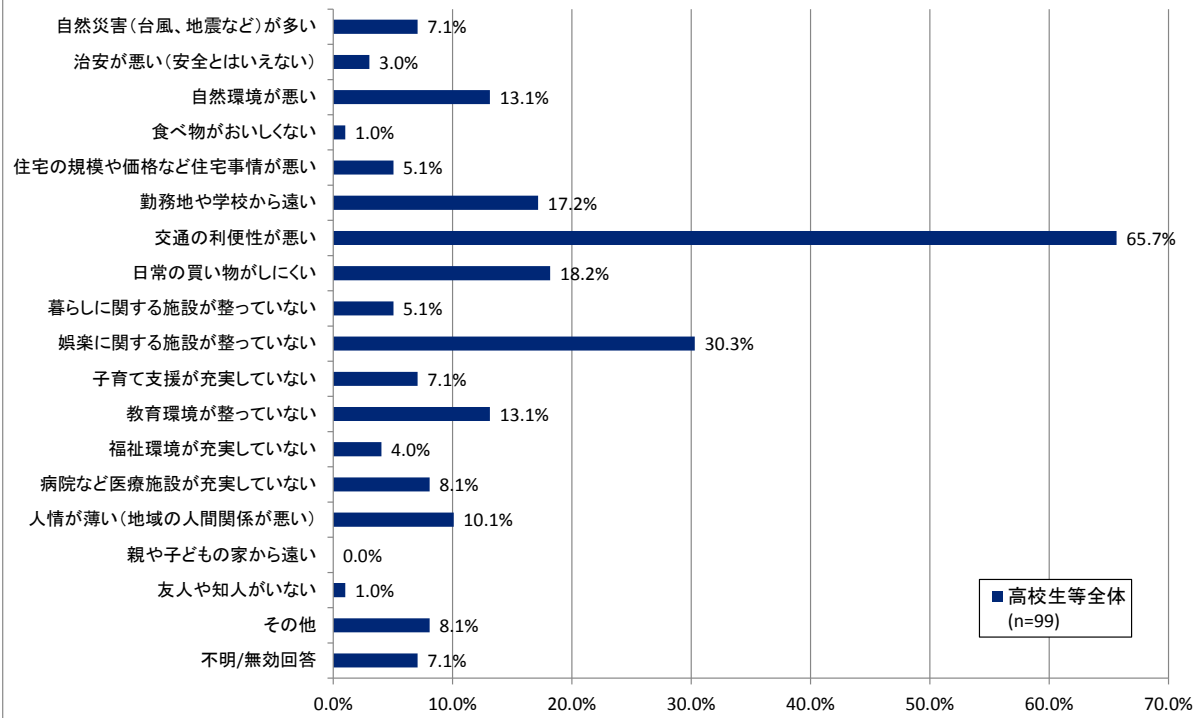


カ 住みやすさについて

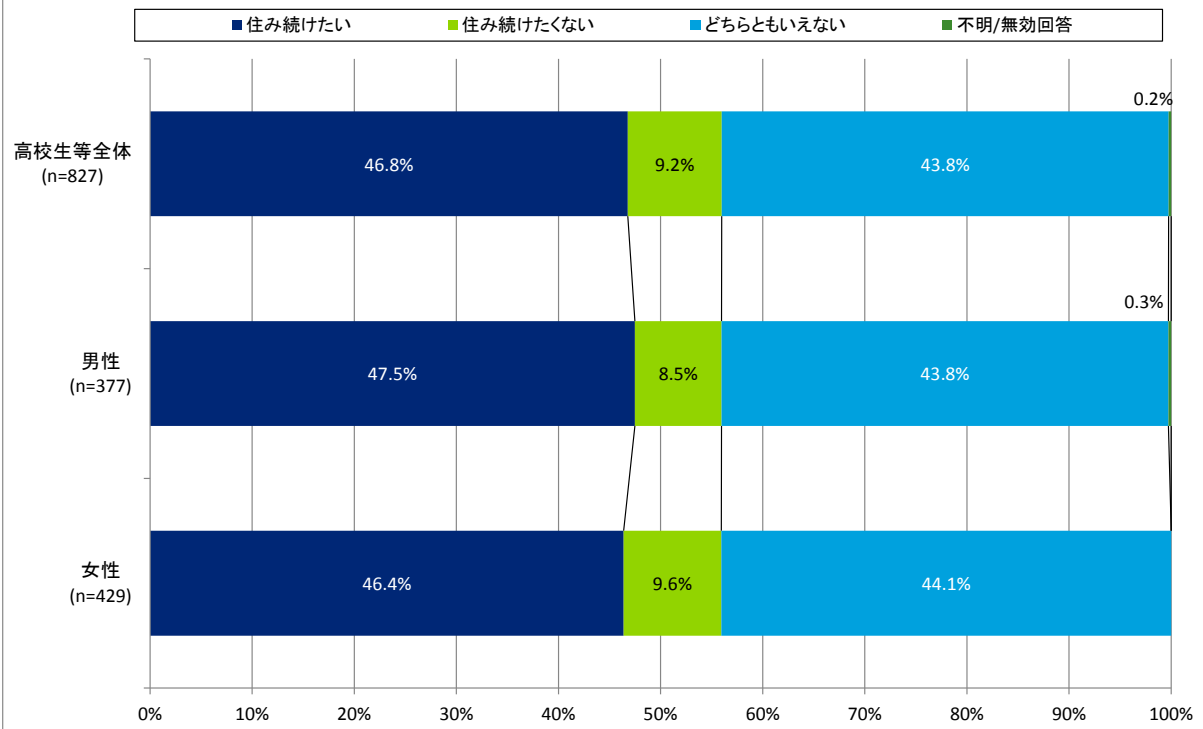
- 新潟市が住みやすいまちだと思うかについては、住みやすいと思う者が87.8%（「住みやすい（42.8%）」、「どちらかといえば住みやすい（45.0%）」の合計）となっている。
- 住みやすい理由は「食べ物がおいしい（64.0%）」、「治安が良い（安全である）（38.2%）」、「自然環境が豊かである（28.7%）」の順で高い。
- 住みにくい理由は「交通の利便性が悪い（65.7%）」、「娯楽に関する施設が整っていない（30.3%）」、「日常の買い物がしにくい（18.2%）」の順で高い。
- 新潟市の定住意向は「住み続けたい（46.8%）」、「住み続けたくない（9.2%）」、「どちらともいえない（43.8%）」となっている。
- 新潟市に住み続けるために必要なことは「働く場の充実（39.3%）」、「地域内の公共交通の充実（27.9%）」、「趣味や余暇活動の場の充実（24.5%）」の順で高い。
- 新潟市内で住みたい区は「中央区（44.3%）」、「どこでもよい（19.6%）」、「西区（12.6%）」の順で高い。
- 地域コミュニティ活動の参加状況は、参加している者が33.6%（「参加している（11.2%）」、「どちらかといえば参加している（22.4%）」の合計）となっており、参加していない者が57.8%（「どちらかといえば参加していない（22.2%）」、「参加していない（35.6%）」の合計）となっている。
- 参加している地域コミュニティ活動は「盆踊り・祭り（83.1%）」となっており、他の回答と比較して高い。
- 休日にでかけるエリアは「新潟市内（95.8%）」、「新潟市外（3.5%）」となっている。
- 休日出かける場所は、高校生等全体では「デパートや百貨店（41.6%）」が最も高い。出かけるエリアが新潟市外の場合でみると、「デパートや百貨店（34.5%）」、「学校・大学（クラブ活動含む）（34.5%）」が最も高い。
- 新潟のまちが好きかについては、好きだと思う者が71.7%（「そう思う（28.9%）」、「どちらかといえばそう思う（42.8%）」の合計）となっている。
- 東京都を魅力的だと思うかについては、魅力的だと思う者が78.0%（「魅力的だと思う（43.3%）」、「どちらかといえば魅力的だと思う（34.7%）」の合計）となっている。
- 東京都を魅力的だと思う理由は「おしゃれな店（飲食店、服飾店など）が多い（55.0%）」、「レジャー・娯楽が充実している（52.4%）」、「優良企業や有名大学が集まっている（48.1%）」の順で高い。



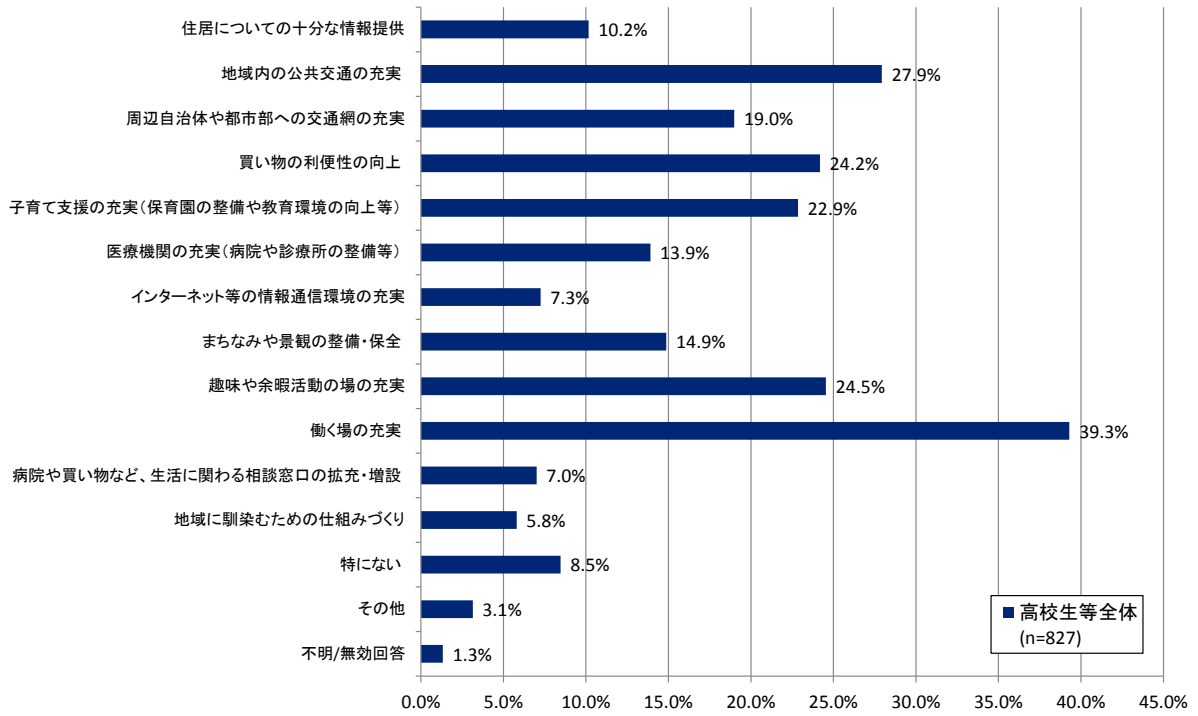
問20-2「新潟市が住みにくいとまちだと思」理由



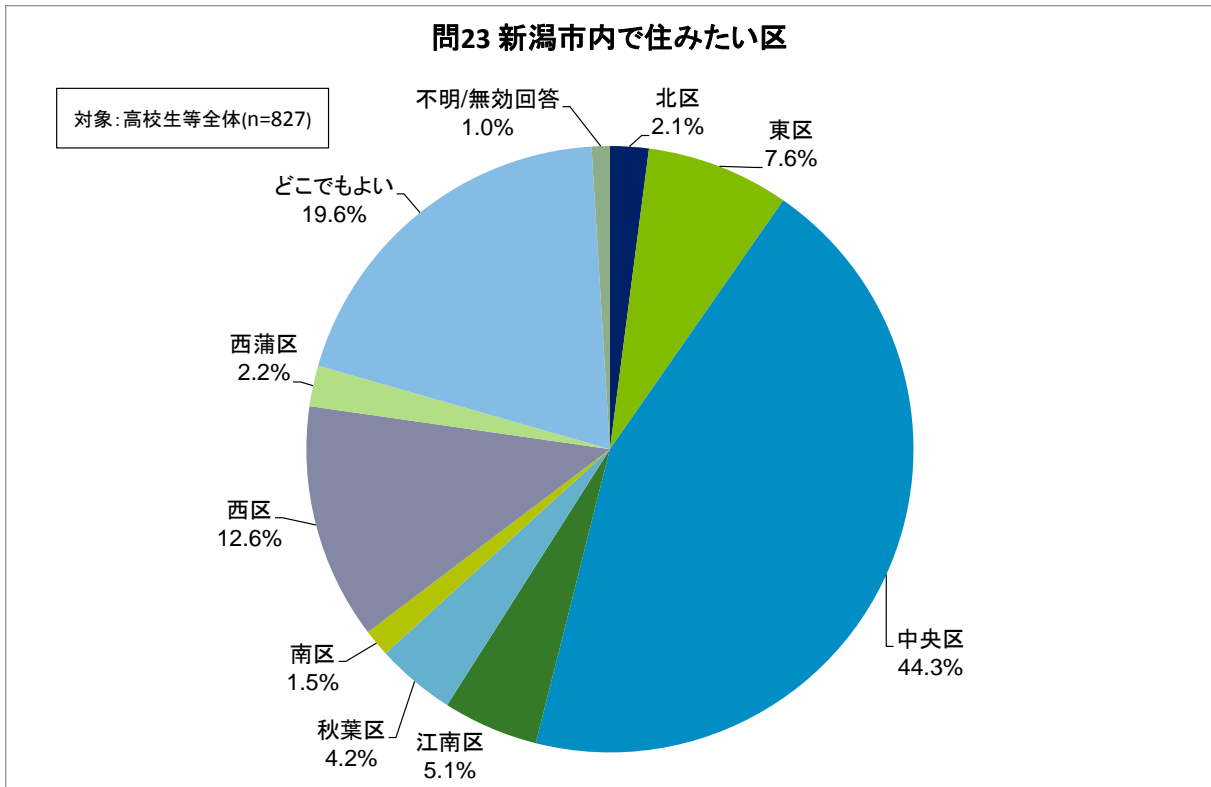
問21 新潟市の定住意向(男女別)

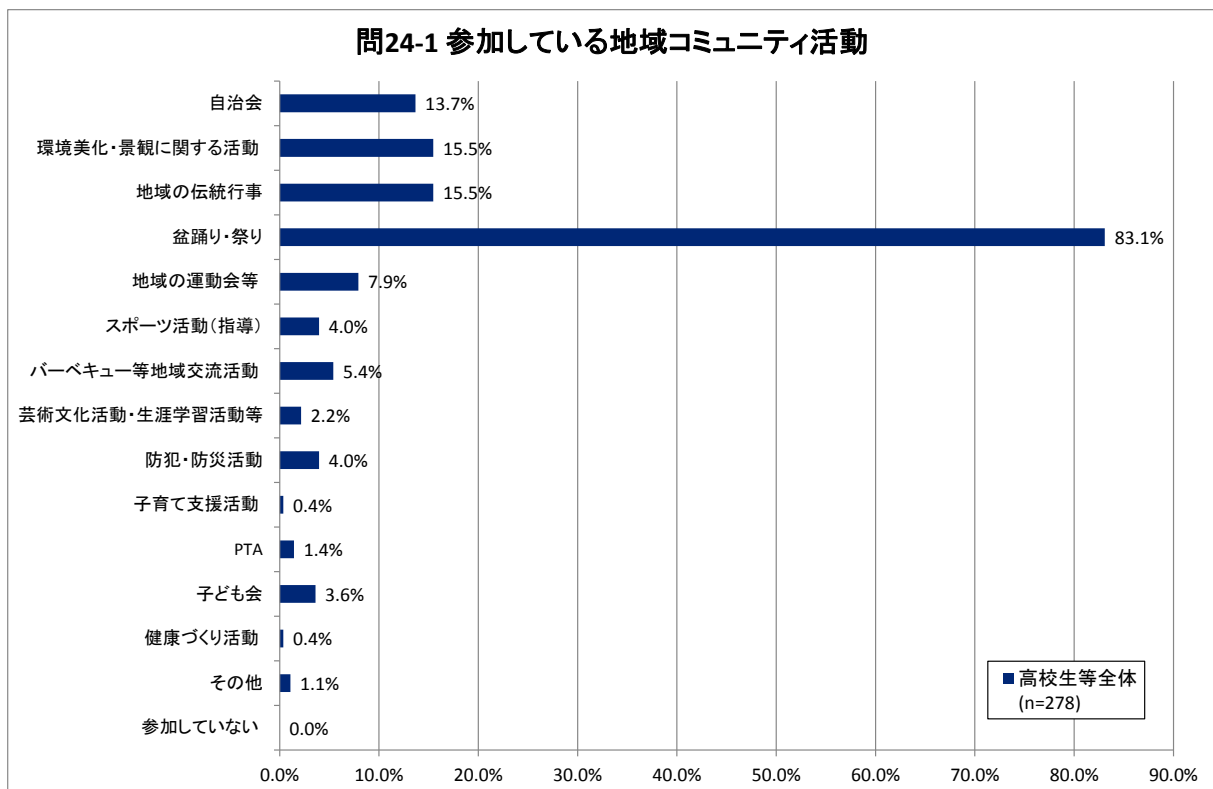
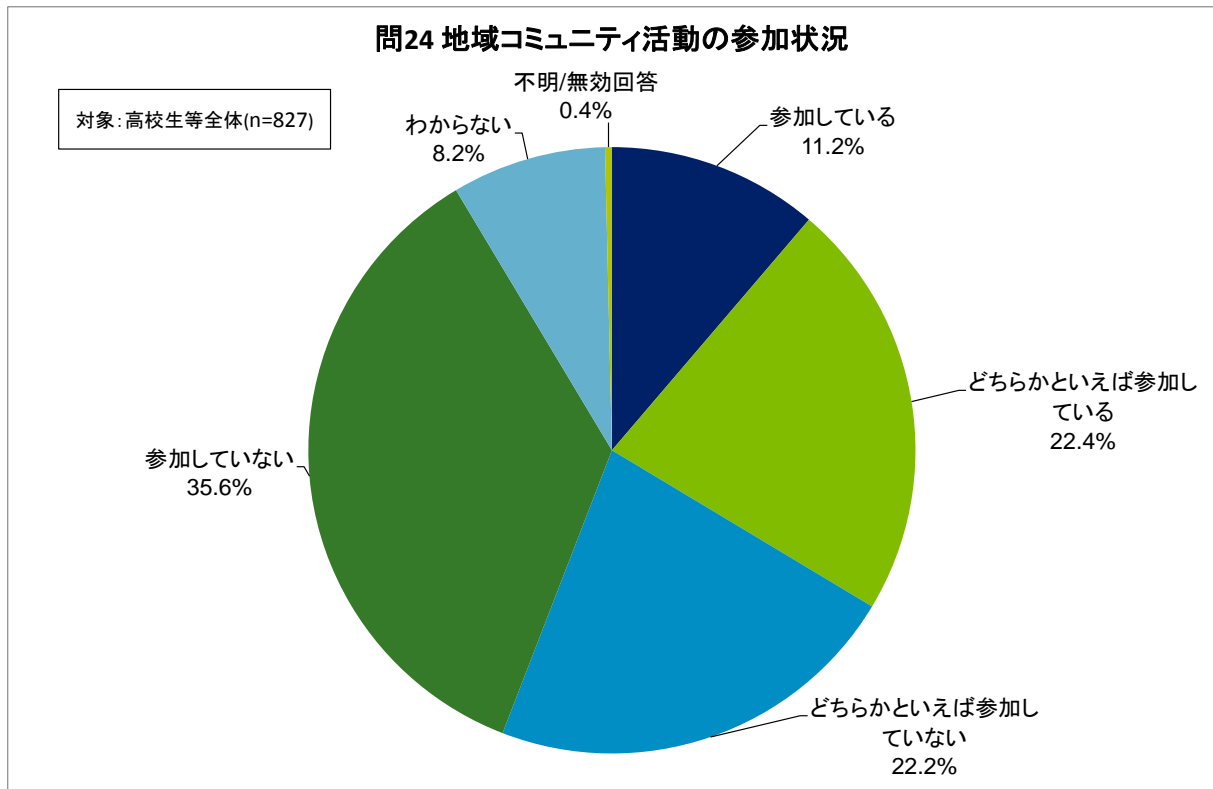


問22 新潟市に引き続き住むために必要なこと



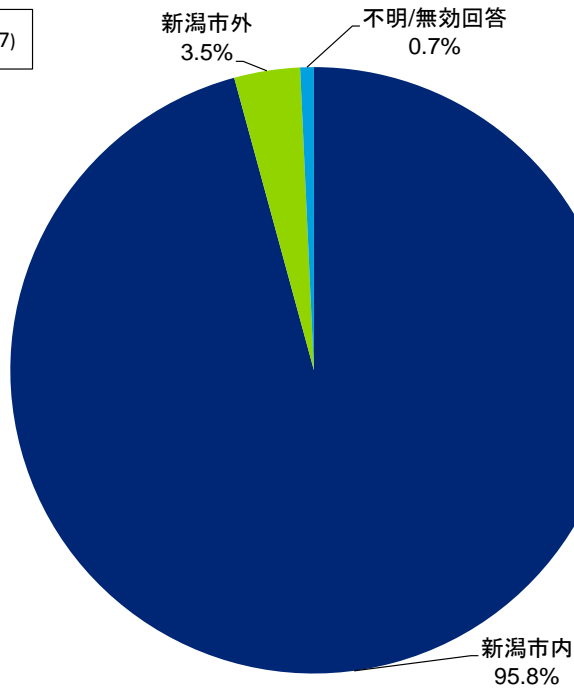
問23 新潟市内で住みたい区



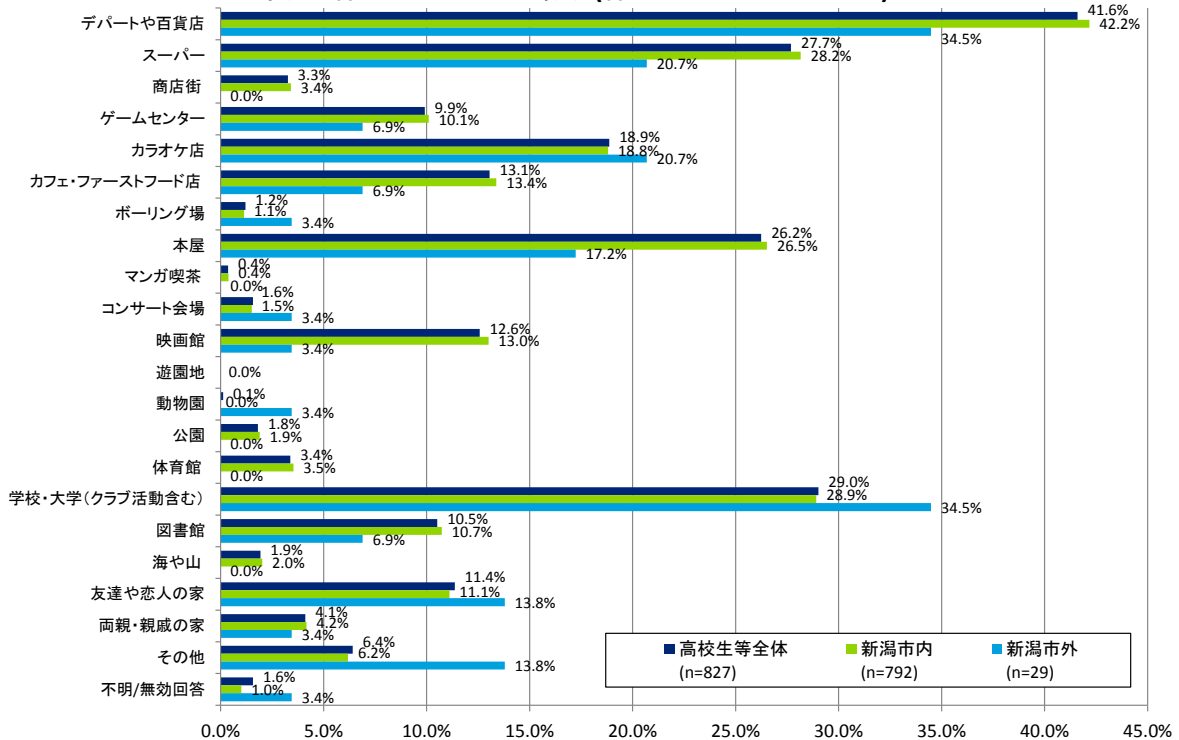


問25 休日にでかけるエリア

対象: 高校生等全体(n=827)

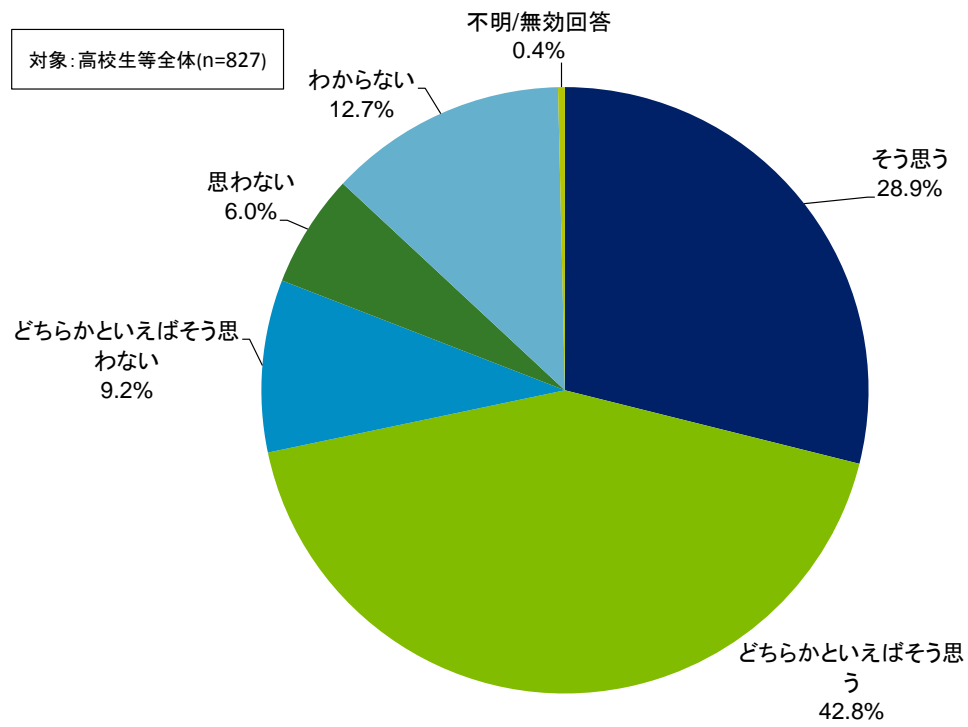


問26 休日に出かける場所(休日出かけるエリア別)



問27 新潟市のまちが好きか

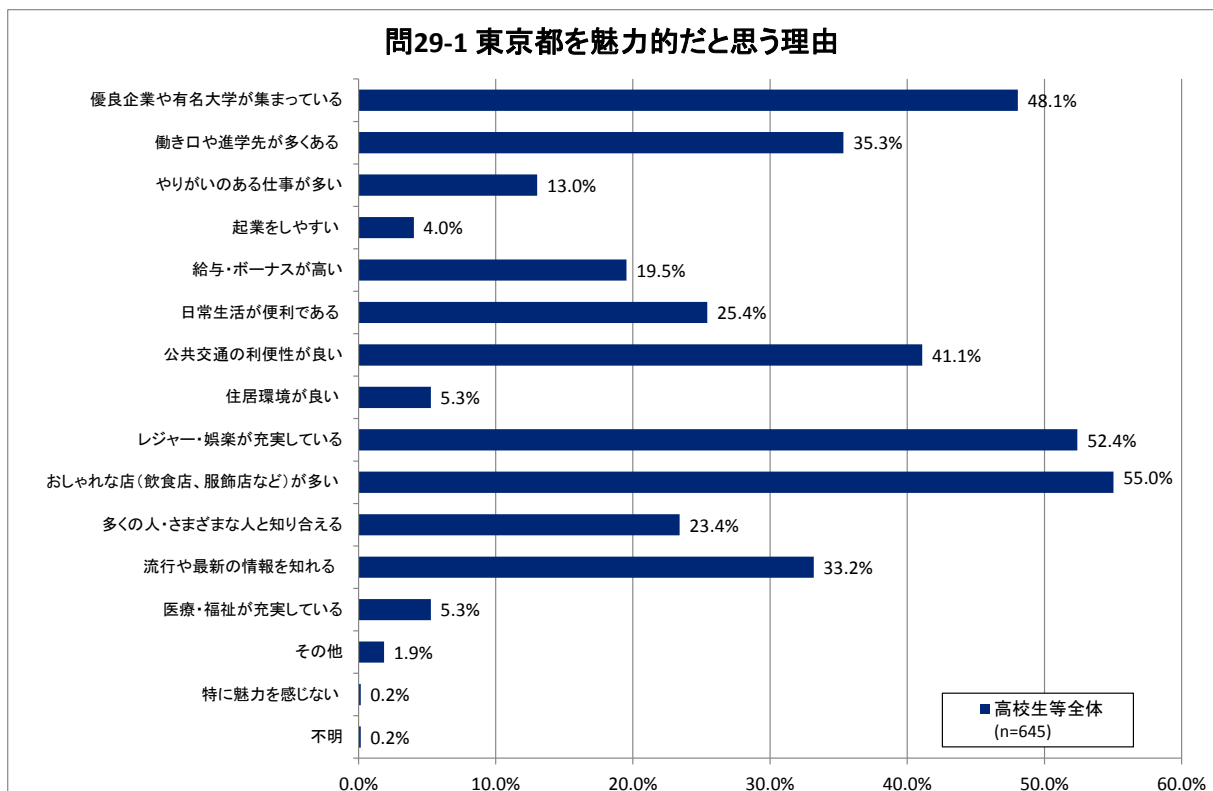
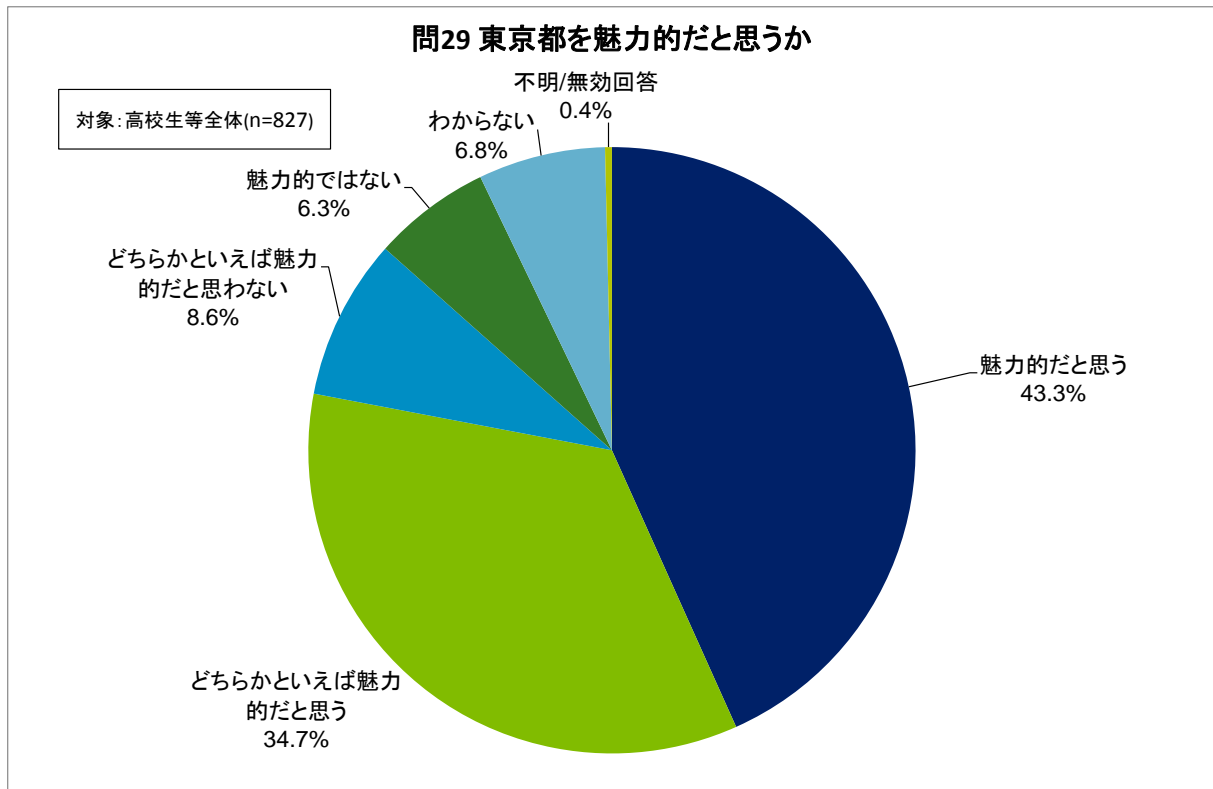
対象: 高校生等全体(n=827)



問 28 県外の人に勧める新潟市の紹介スポット Top10

(高校生等全体 n=827、総回答件数=1,216 件)

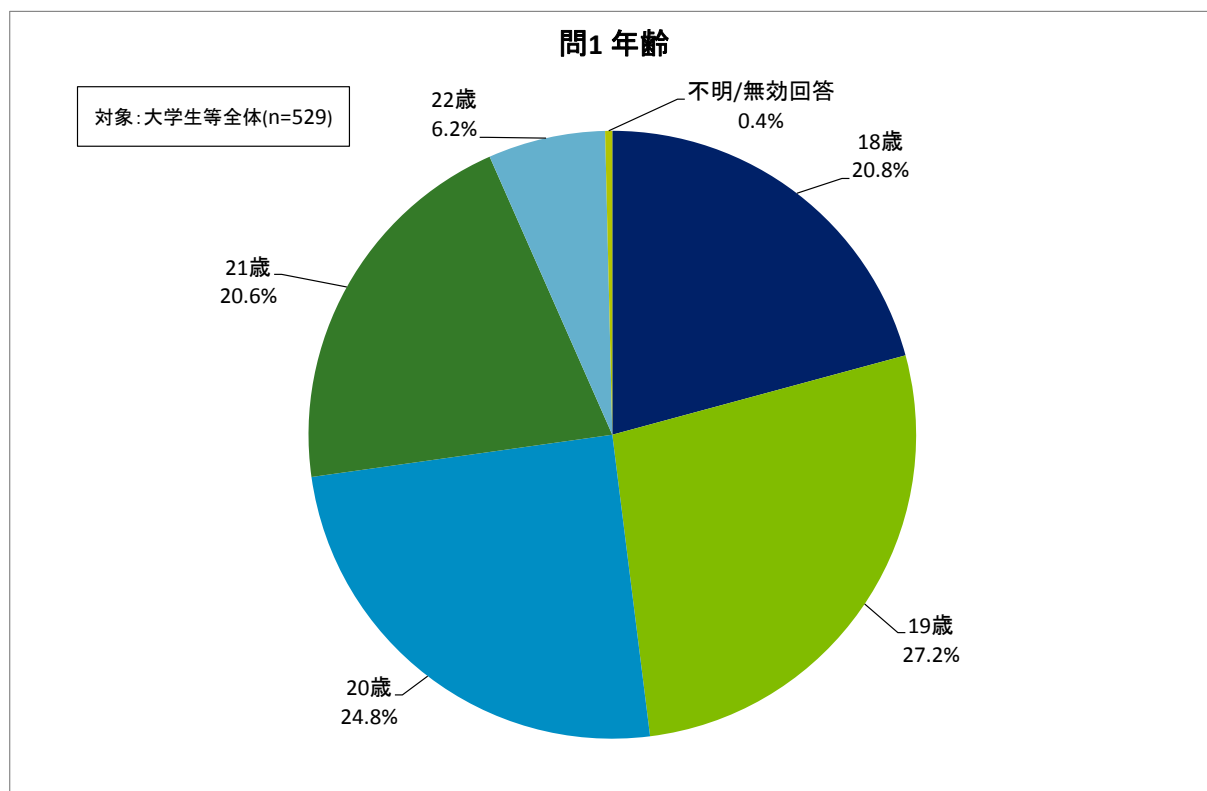
場所	件数	主な理由
万代(万代橋、万代シティ)	171	商業施設が充実しており、何でも買えるから 新潟市の中心街で、一番活気があるから NGT48 の劇場が出来るから
マリンピア日本海	111	誰と行っても楽しく過ごせるから イルカショーが素晴らしいから リニューアルオープンしたから
日本海(日本海夕日ライン、 笹川流れ、関屋浜など)	74	夕日が綺麗だから 海水浴を楽しめるから
新潟ふるさと村	55	新潟の様々なお土産が売っているから 新潟の歴史を学べるから いろいろなイベントがあるから
朱鷺メッセ	41	展望室から新潟を一望できるから いろいろなイベントがあるから
デンカビッグスワンスタジアム	38	日本最大級のスタジアムだから アルビレックス新潟の本拠地だから
やすらぎ堤	34	自然が豊かだから 信濃川を楽しめるから ゆっくり過ごせるから
古町(NEXT21、商店街)	33	新潟の歴史を感じられるから 多種多様なお店があるから 落ち着いた雰囲気だから
白山(神社、公園、新潟県民 会館)	23	素晴らしいホールがあるから 自然が豊かだから
新潟駅	20	新潟の有名なものが揃っているから 美味しい飲食店が多いから 交通利便性が高いから

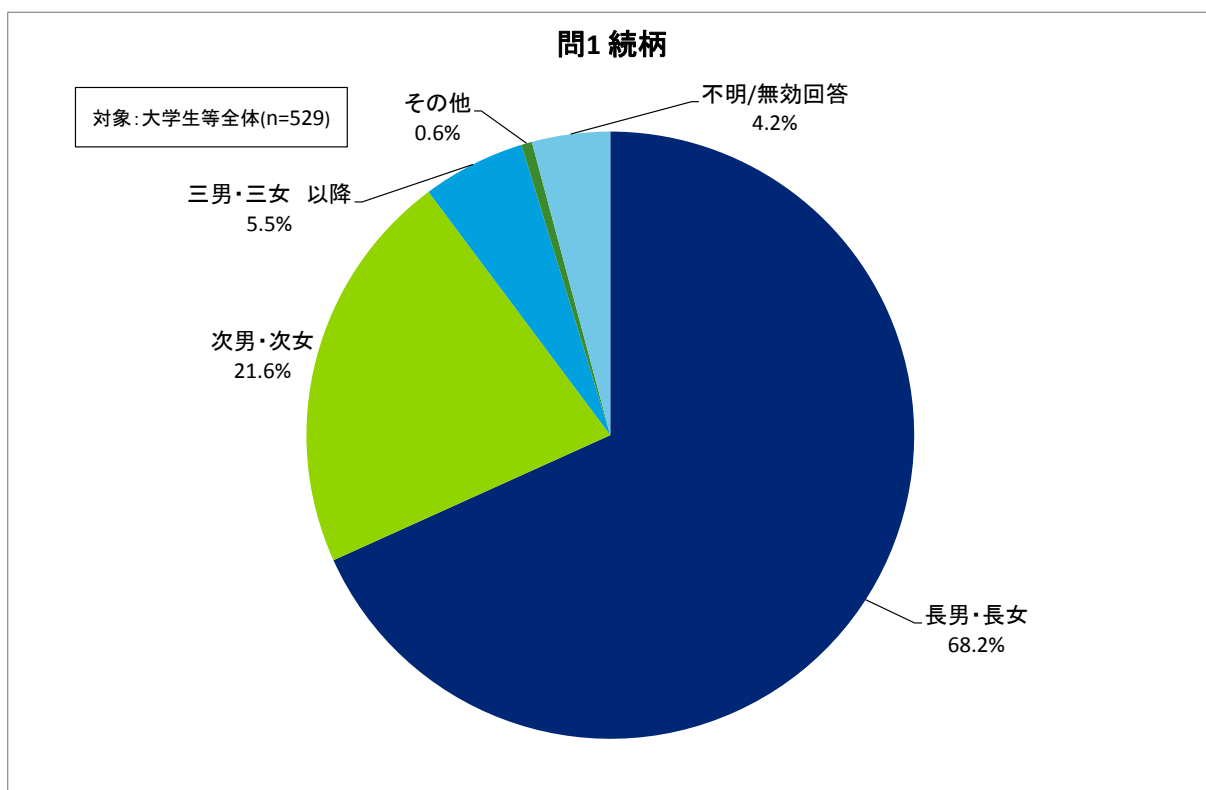
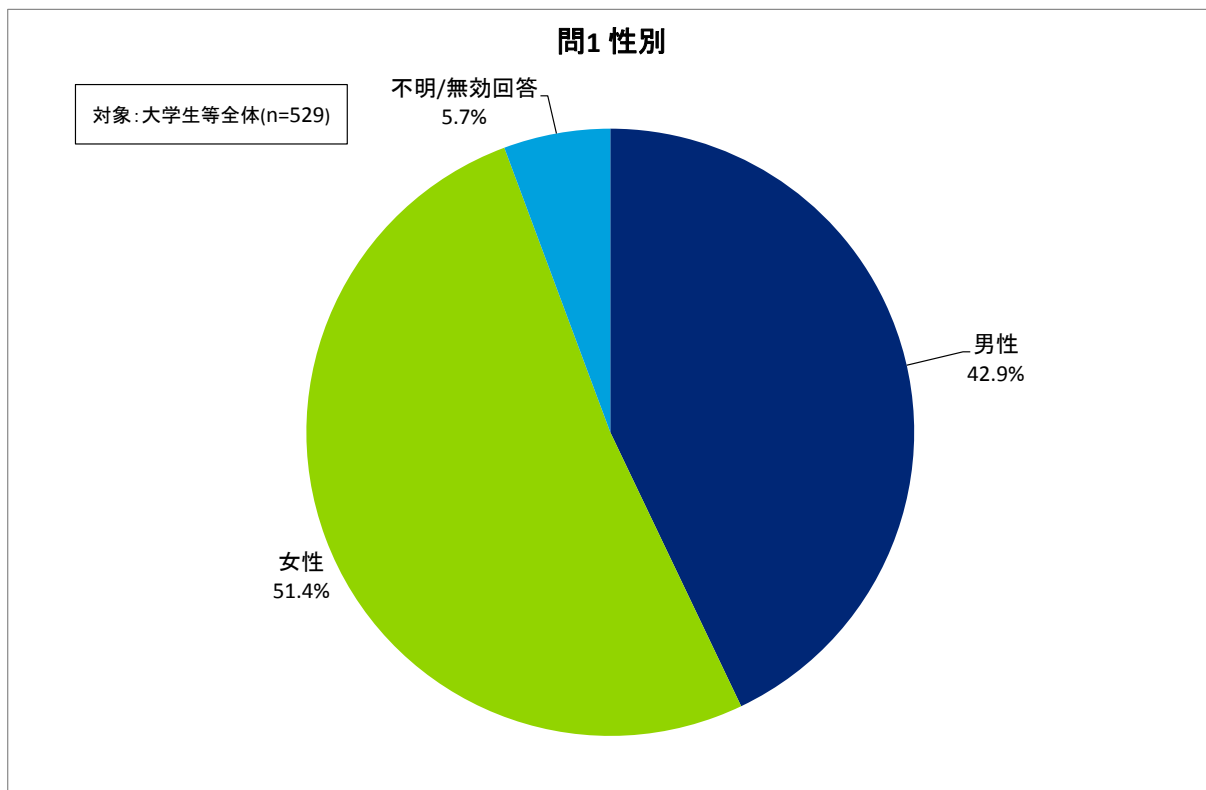


(2) 大学生年齢相当調査

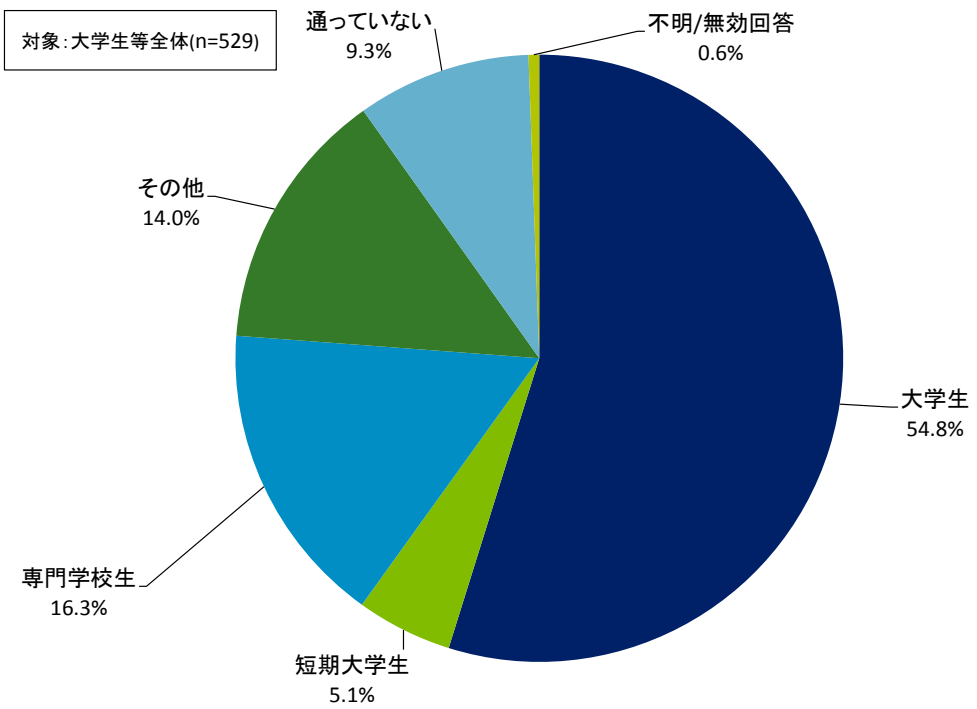
ア 属性について

- ・ 年齢は「18歳 (20.8%)」、「19歳 (27.2%)」、「20歳 (24.8%)」、「21歳 (20.6%)」、「22歳 (6.2%)」となっている。
- ・ 性別は「男性 (42.9%)」、「女性 (51.4%)」となっている。
- ・ 続柄は「長男・長女 (68.2%)」、「次男・次女 (21.6%)」、「三男・三女以降 (5.5%)」となっている。
- ・ 所属(学校の種別など)は「大学生 (54.8%)」、「短期大学生 (5.1%)」、「専門学校生 (16.3%)」となっている。
- ・ 学校の所在地については、「市内 (73.2%)」、「市外 (26.1%)」となっている。
- ・ 所属学校は「新潟大学 (31.2%)」、「新潟医療福祉大学 (13.2%)」、「新潟国際情報大学 (9.5%)」の順で高い。
- ・ 居住区は「西区 (22.3%)」、「中央区 (21.6%)」、「東区 (15.7%)」の順で高い。
- ・ 居住年数は「15年以上 (75.4%)」、「10～14年 (7.4%)」、「6～9年 (2.1%)」の順で高い。
- ・ 住居形態は「持ち家 (74.3%)」、「賃貸 (19.8%)」、「社宅・寮・官舎等 (2.5%)」、「公営住宅 (1.5%)」となっている。
- ・ 出身地は「新潟市内 (82.0%)」、「新潟市以外の新潟県内 (7.8%)」、「首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県) (1.5%)」となっている。
- ・ 自動車の所有については、所有している者が44.1%（「自分で購入し、所有している (6.8%)」、「他者(親など)に購入してもらい、所有している (21.6%)」、「他者(親など)から借りて、所有している (15.7%)」の合計)となっており、所有していない者は54.6%となっている。

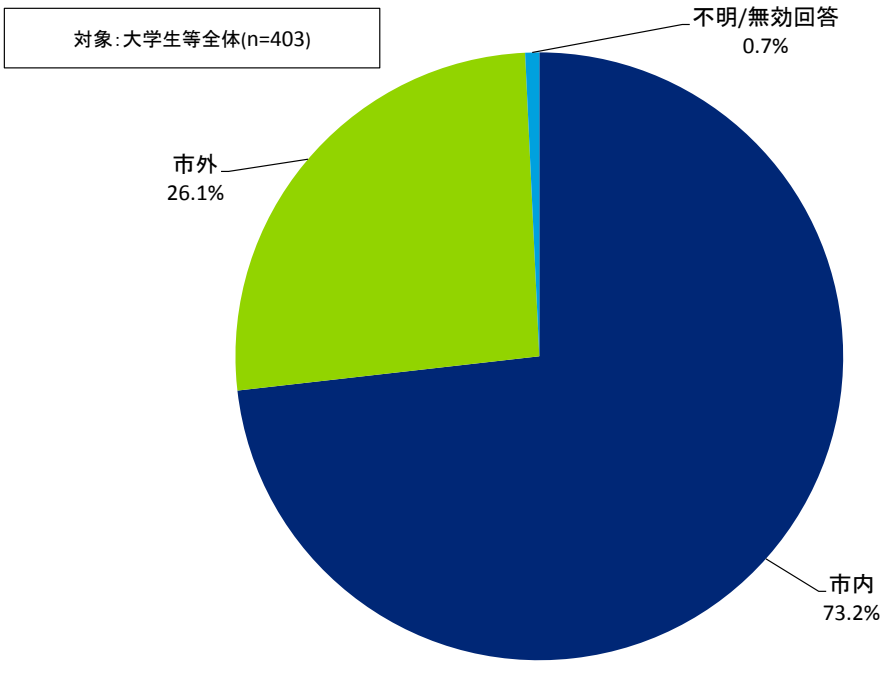




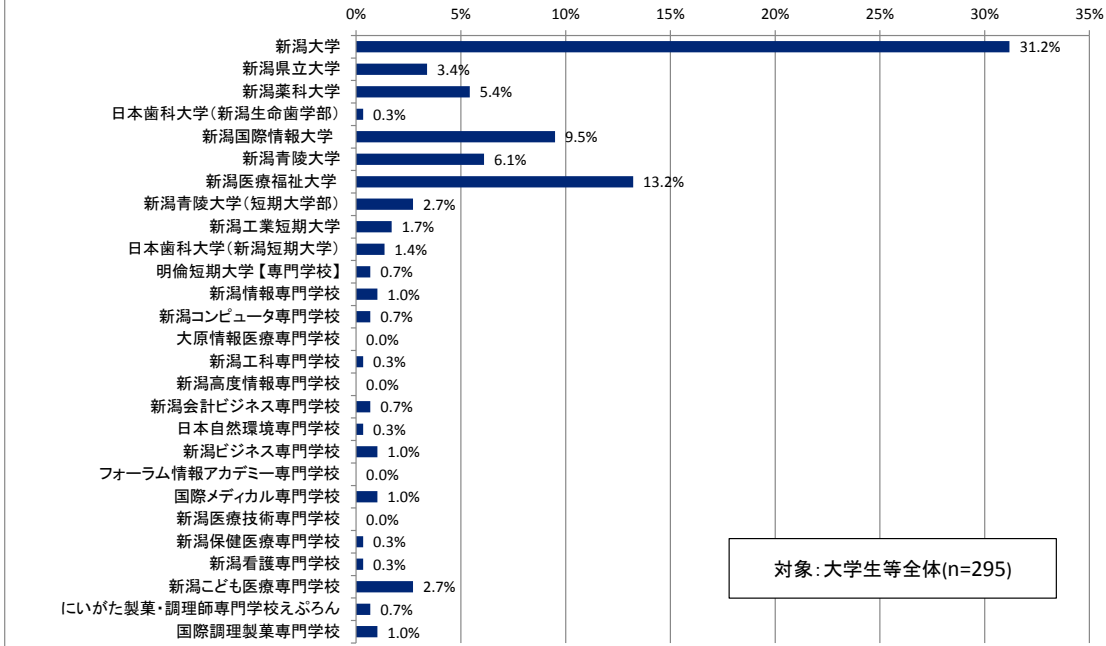
問2 所属(学校の種別など)



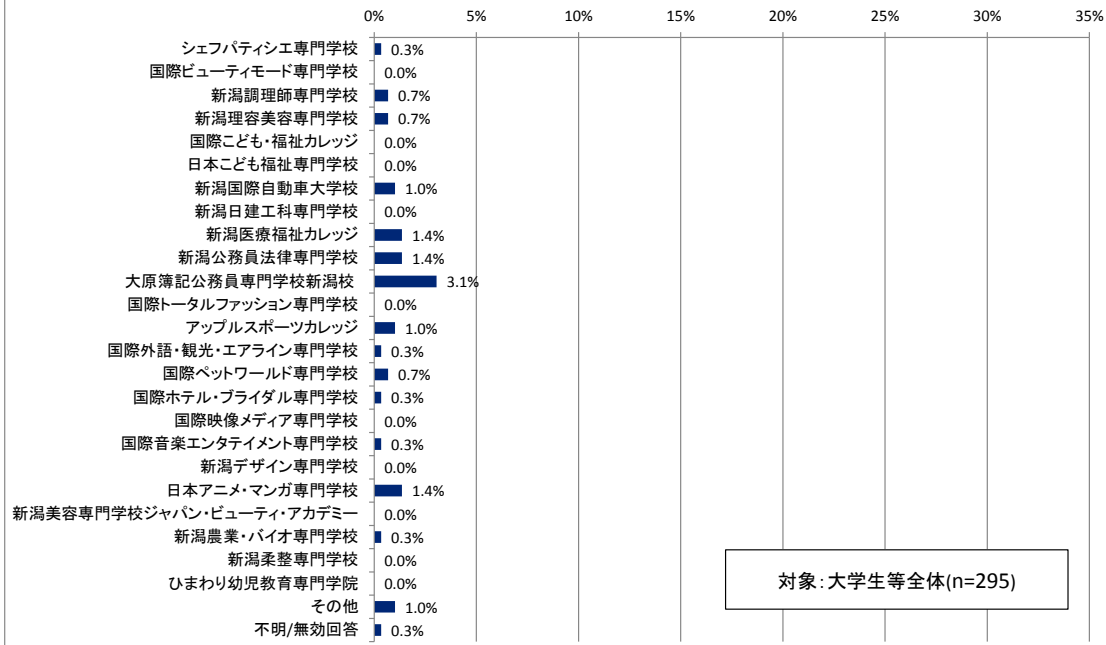
問2-1 学校の所在地

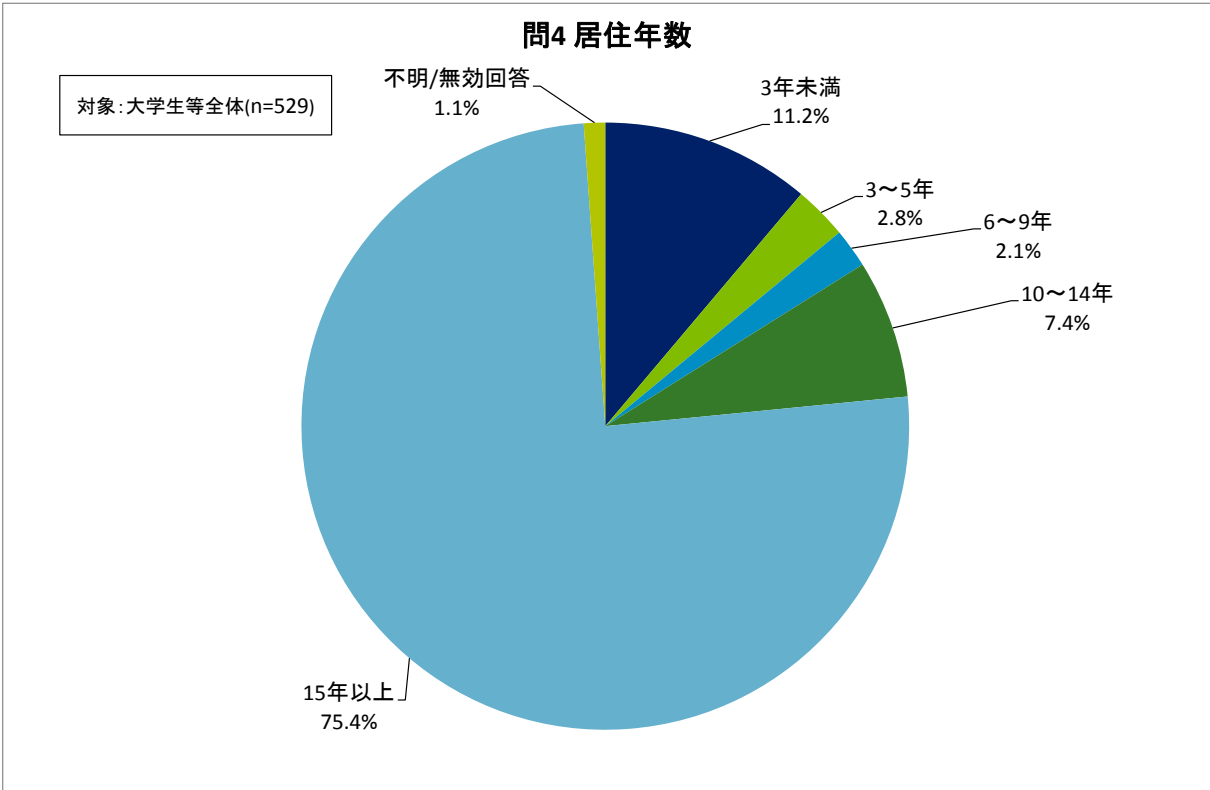
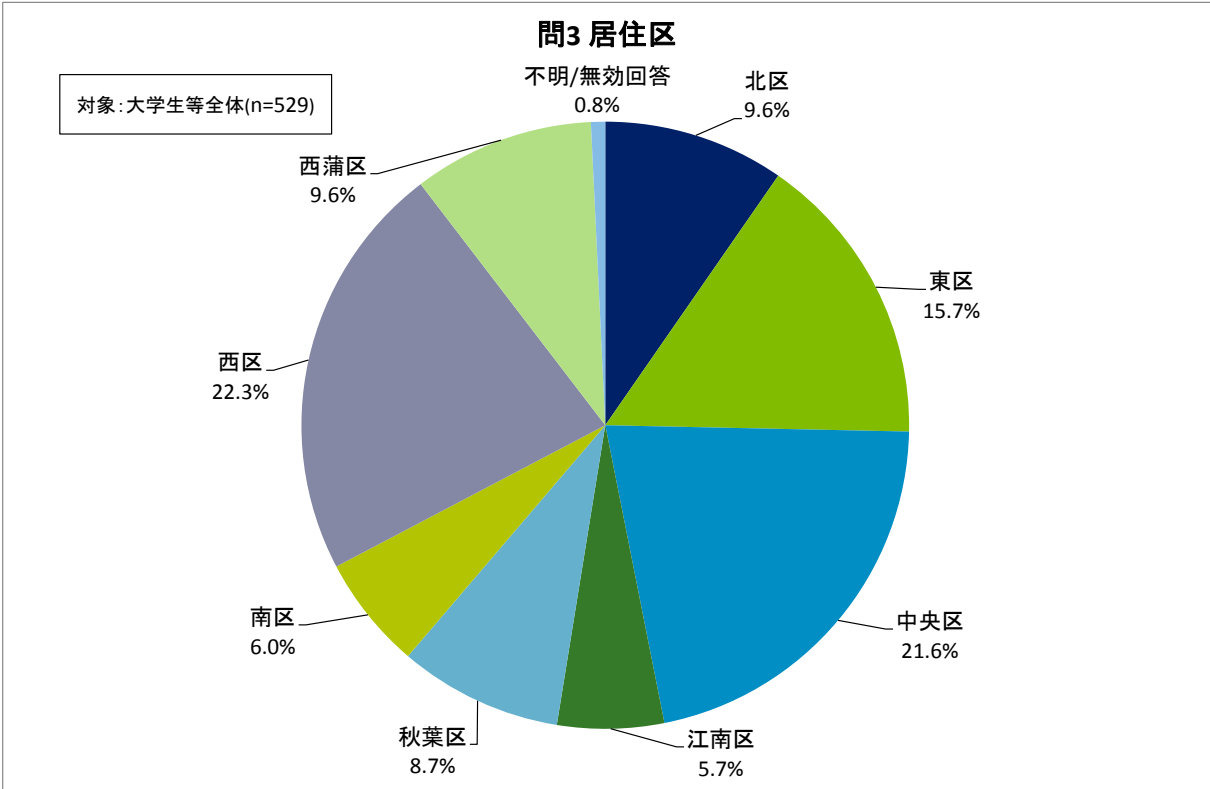


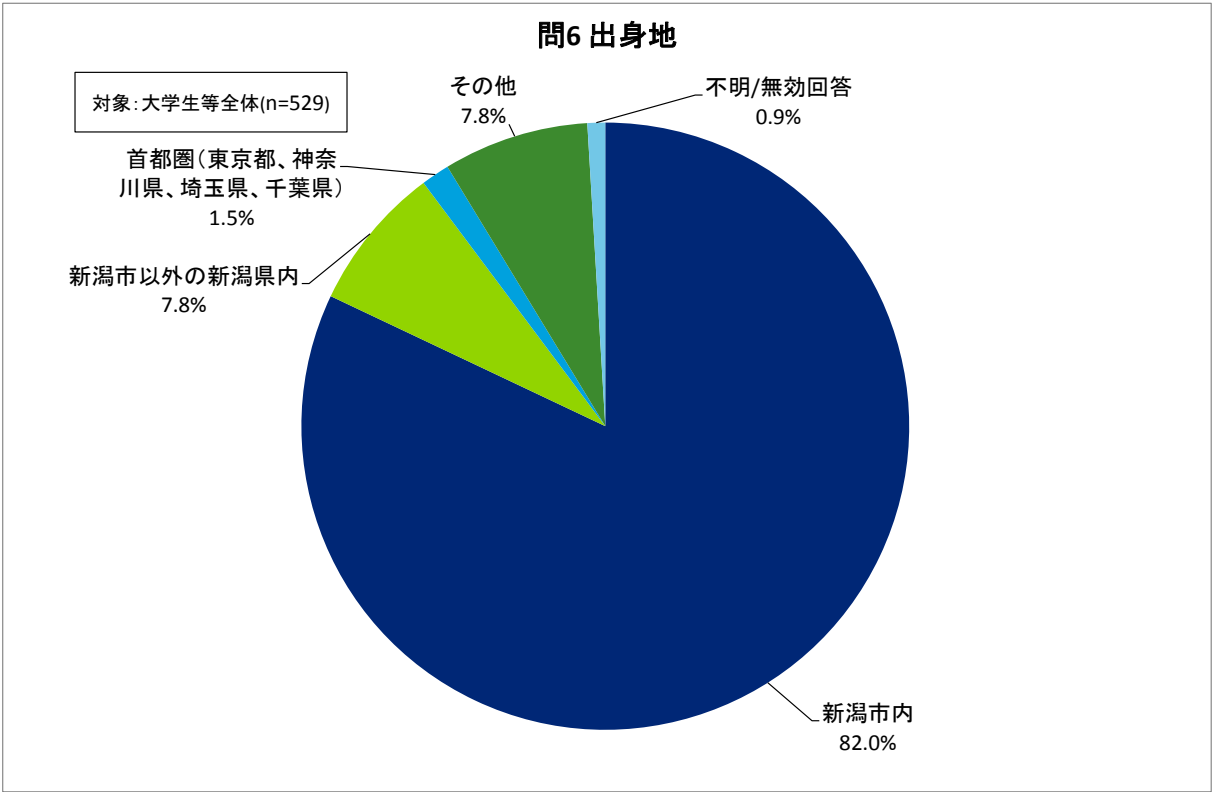
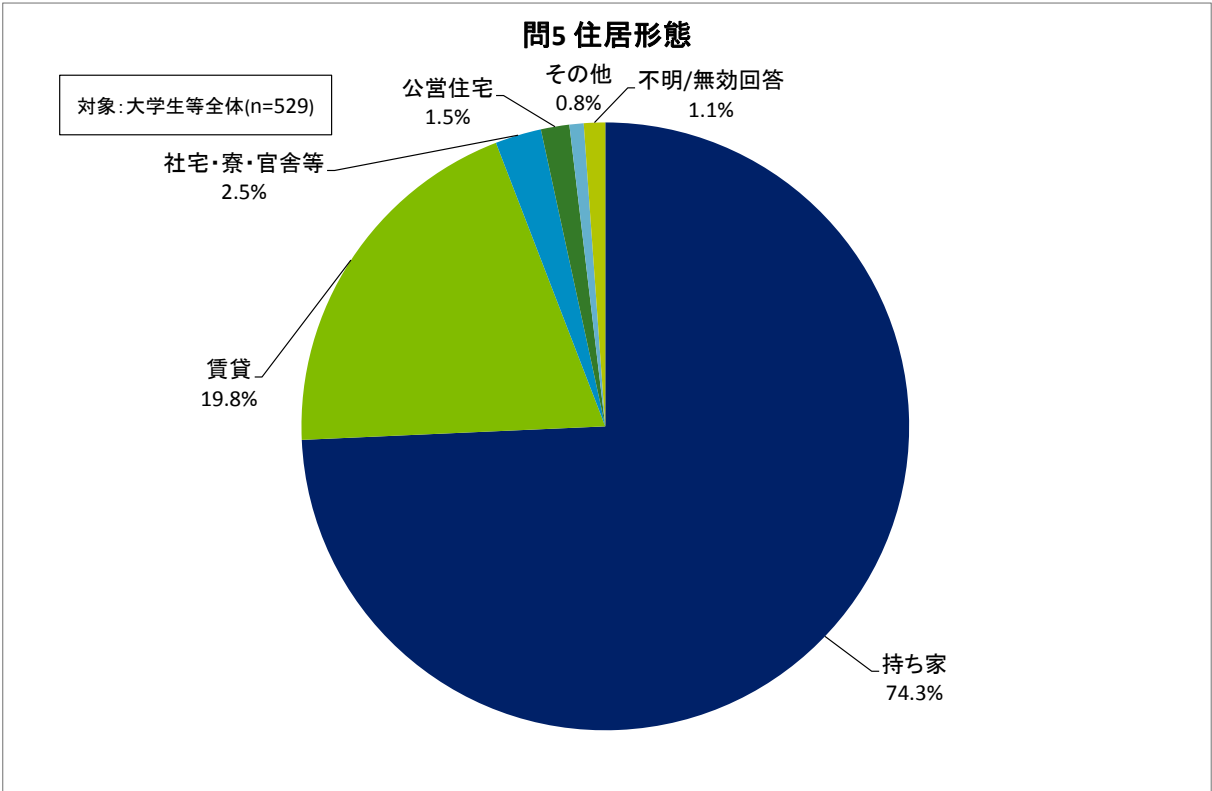
問2-1 所属学校名(1/2)



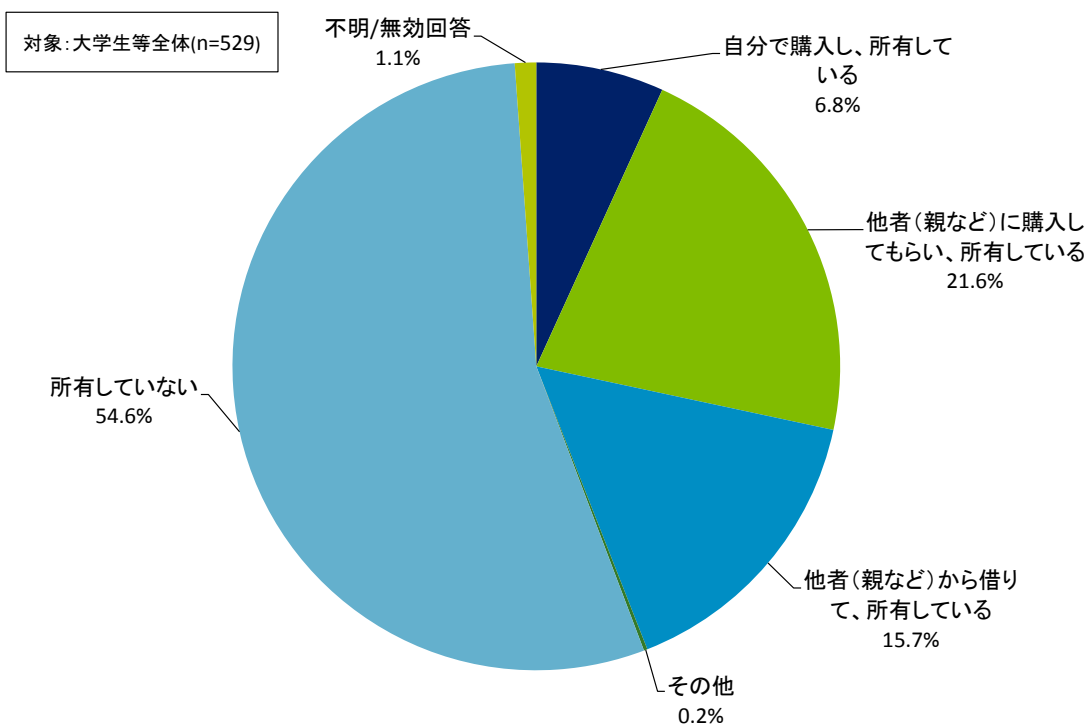
問2-1 所属学校名(2/2)



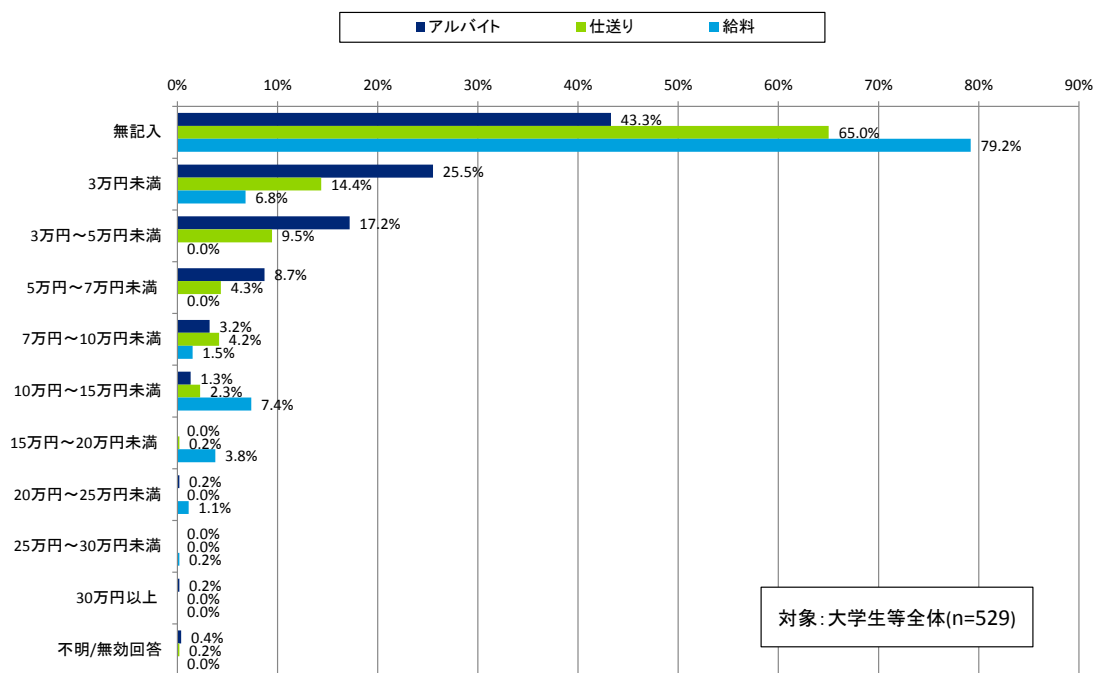




問7 自動車の所有

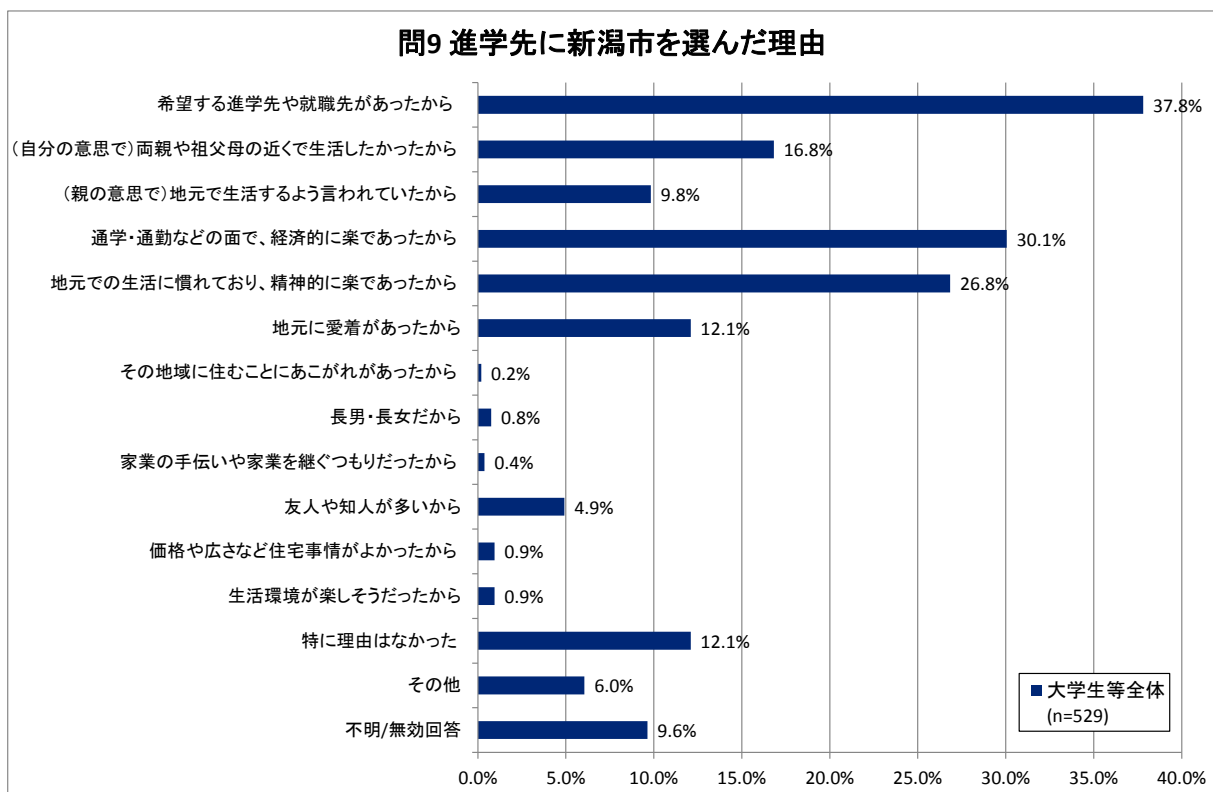


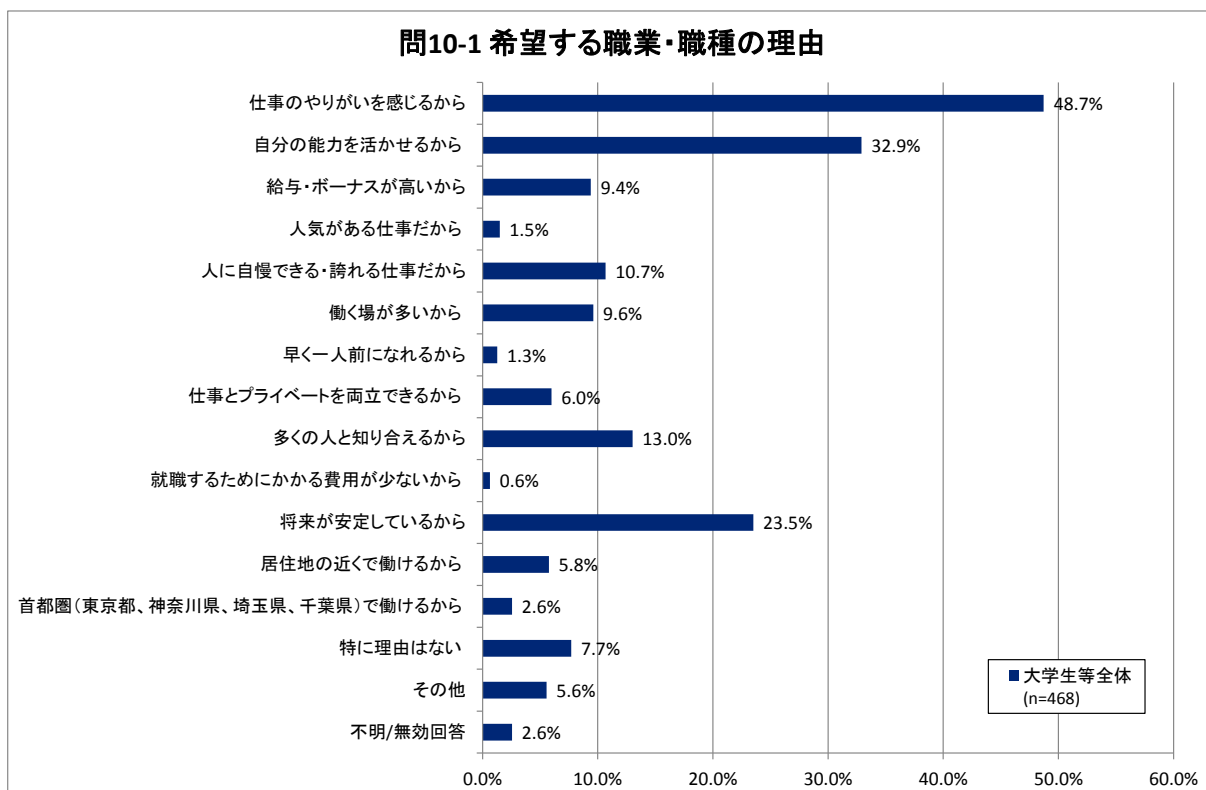
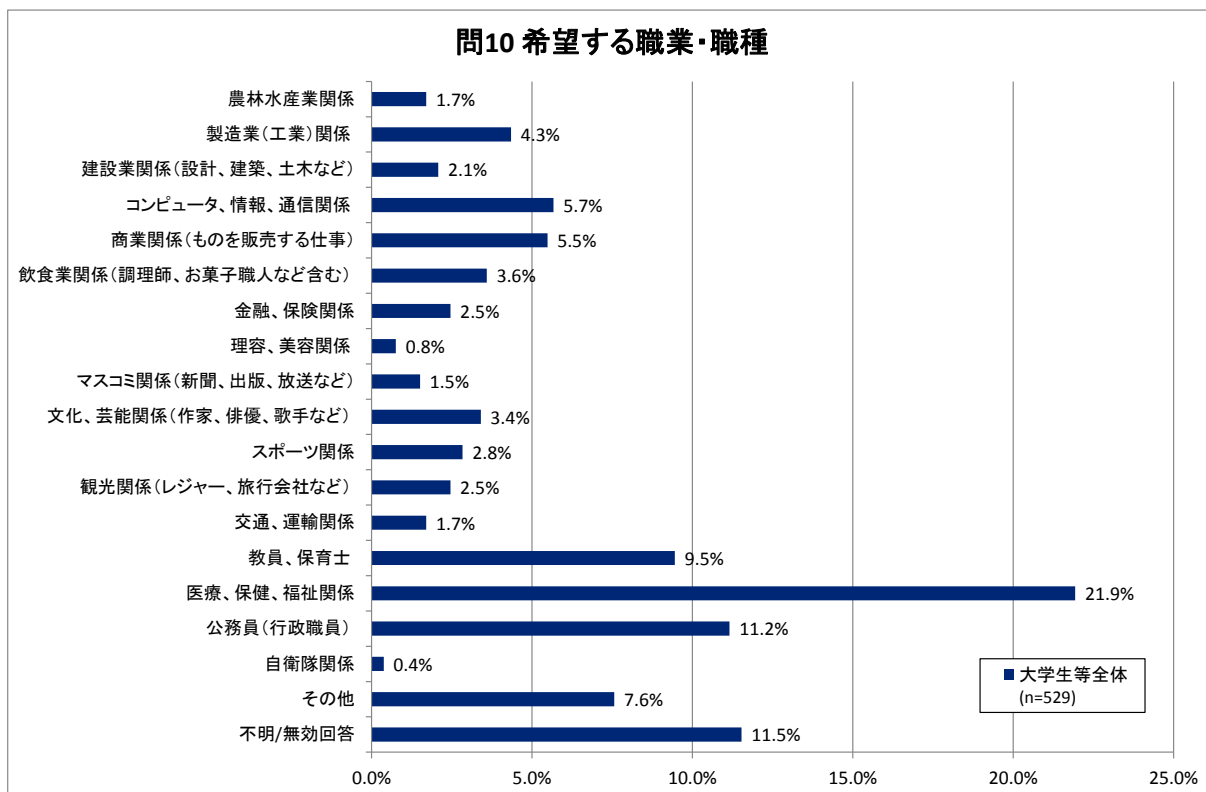
問8 収入



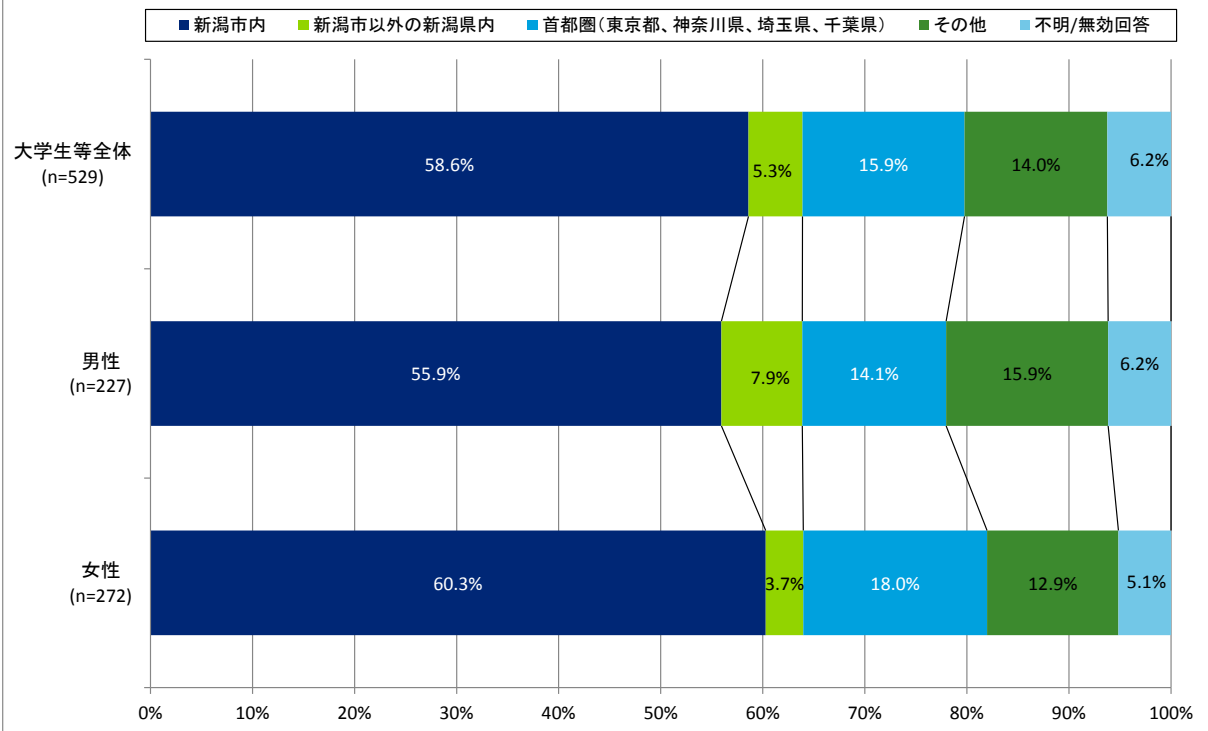
イ 進路について

- 進学先に新潟市を選んだ理由は「希望する進学先や就職先があったから (37.8%)」、「通学、通勤などの面で、経済的に楽であったから (30.1%)」、「地元での生活に慣れており、精神的に楽であったから (26.8%)」の順で高い。
- 希望する職業・職種は「医療、保健、福祉関係 (21.9%)」、「公務員 (行政職員) (11.2%)」、「教員、保育士 (9.5%)」の順で高い。
- 希望する職業・職種の理由は「仕事のやりがいを感じるから (48.7%)」、「自分の能力が活かせるから (32.9%)」、「将来が安定しているから (23.5%)」の順で高い。
- 卒業後の居住予定地 (就職等に伴う転出予定先) は「新潟市内 (58.6%)」、「首都圏 (東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県) (15.9%)」となっている。
- 男女別にみると、首都圏への転出予定者は「男性 (14.1%)」、「女性 (18.0%)」と女性の方が高い。
- 所属別にみると、新潟市内に住み続ける予定の者の割合は、「大学生 (57.2%)」、「短期大学生 (74.1%)」、「専門学校生 (65.1%)」と大学生の割合が低い。
- 卒業後の居住予定地を選んだ理由は、「希望する進学先や就職先があるから」の回答者が全体では 37.1%で、首都圏居住予定者では 64.3%となっている。また、首都圏居住予定者では「その地域に住むことにあこがれがあるから (26.2%)」、「生活環境が楽しそうだから (25.0%)」となっており、他地域への居住予定者と比較して高い。
- 将来の新潟市へのUターン意向は、Uターン意向のある者が 29.6% (「思う (10.2%)」、「どちらかといえば思う (19.4%)」の合計) となっている。
- 男女別にみると、「男性 (20.9%)」、「女性 (38.3%)」と女性の方が高い。
- 新潟市へいずれは戻りたい理由は「出身地であるから (54.5%)」、「家族・親戚・知人など親しい人がいるから (54.5%)」、「食べ物や水、空気がおいしいから (41.8%)」の順で高い。
- 新潟市に戻る時期は「わからない (50.9%)」、「結婚するとき (18.2%)」、「定年退職したとき (7.3%)」の順で高い。

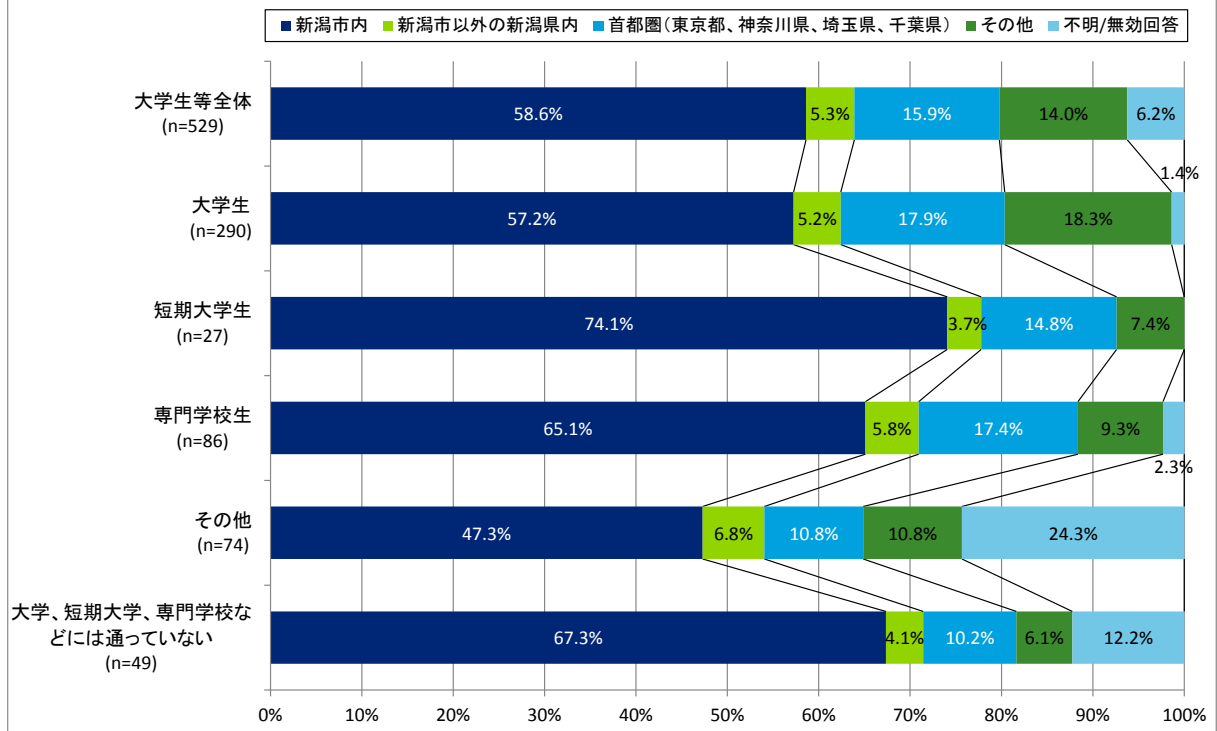




問11 卒業後の居住予定地(男女別)

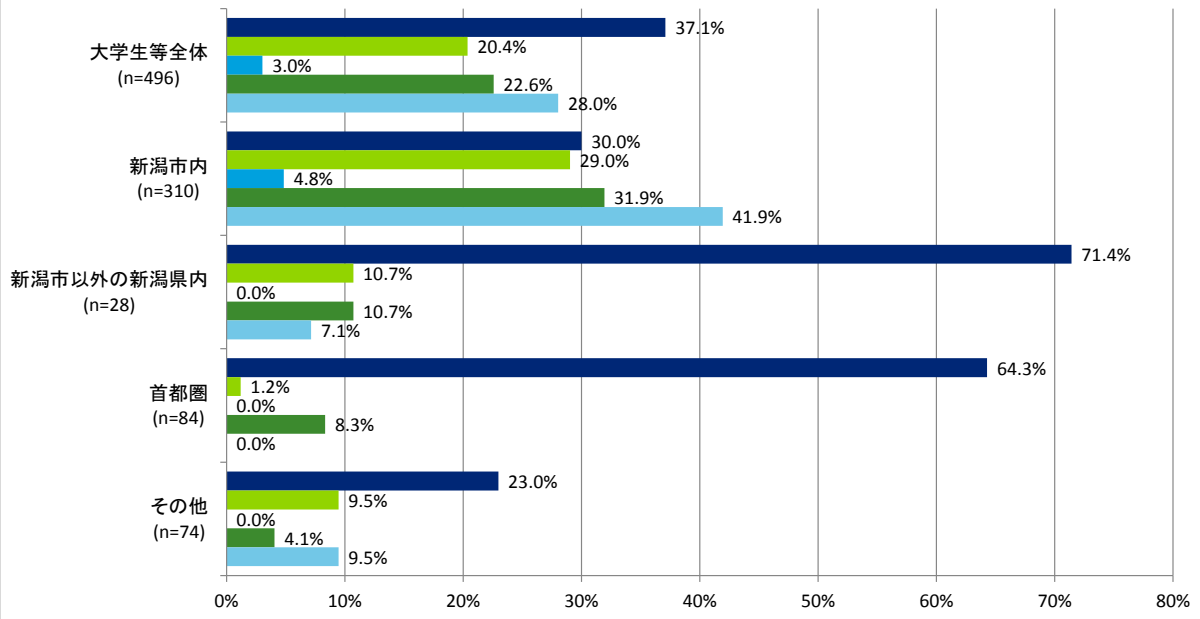


問11 卒業後の居住予定地(所属別)



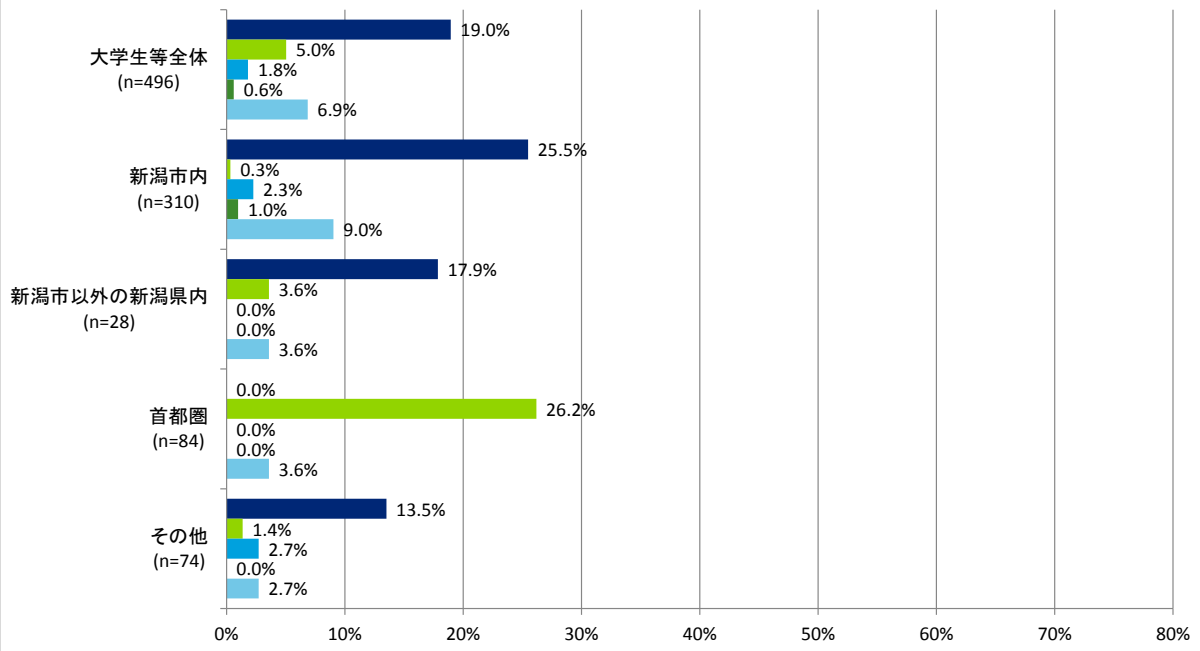
問11-1 卒業後の居住予定地を選んだ理由(1/3)(卒業後居住予定地別)

- 希望する進学先や就職先があるから
- (自分の意思で)両親や祖父母の近くで生活したいから
- (親の意思で)地元で生活するように言われているから
- 通学・通勤などの面で、経済的に楽であるから
- 地元での生活に慣れており、精神的に楽であるから

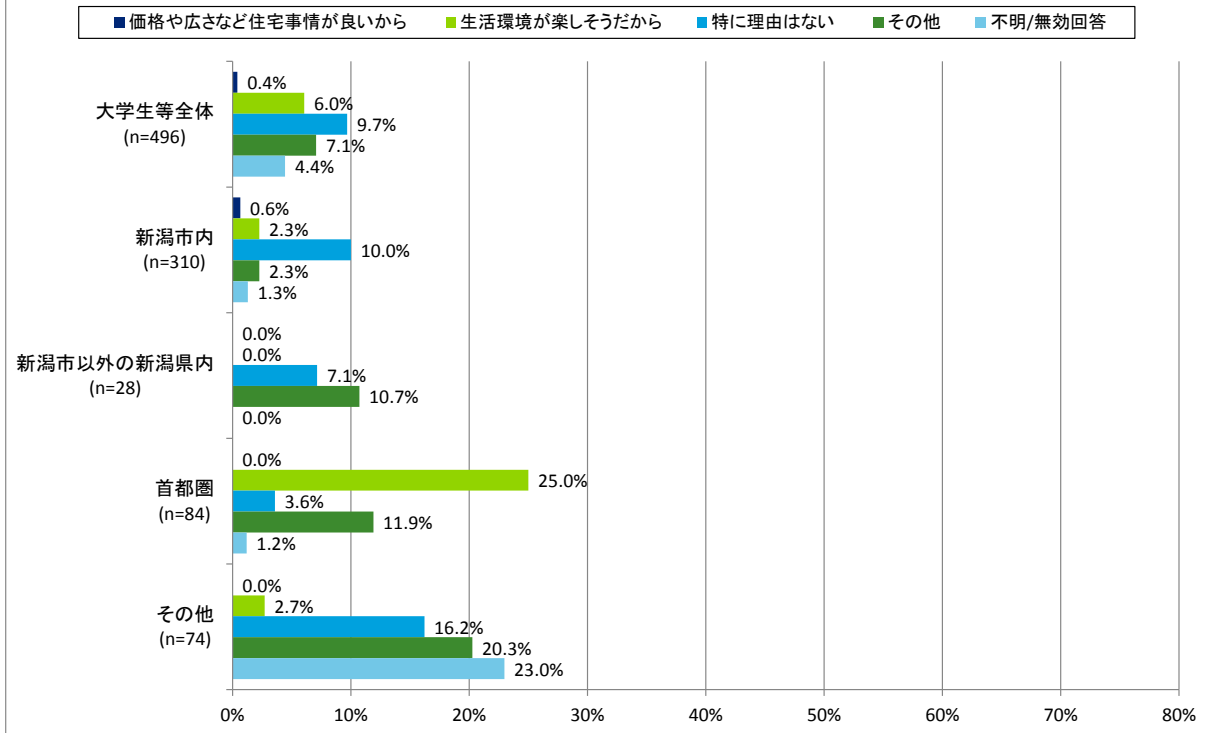


問11-1 卒業後の居住予定地を選んだ理由(2/3)(卒業後居住予定地別)

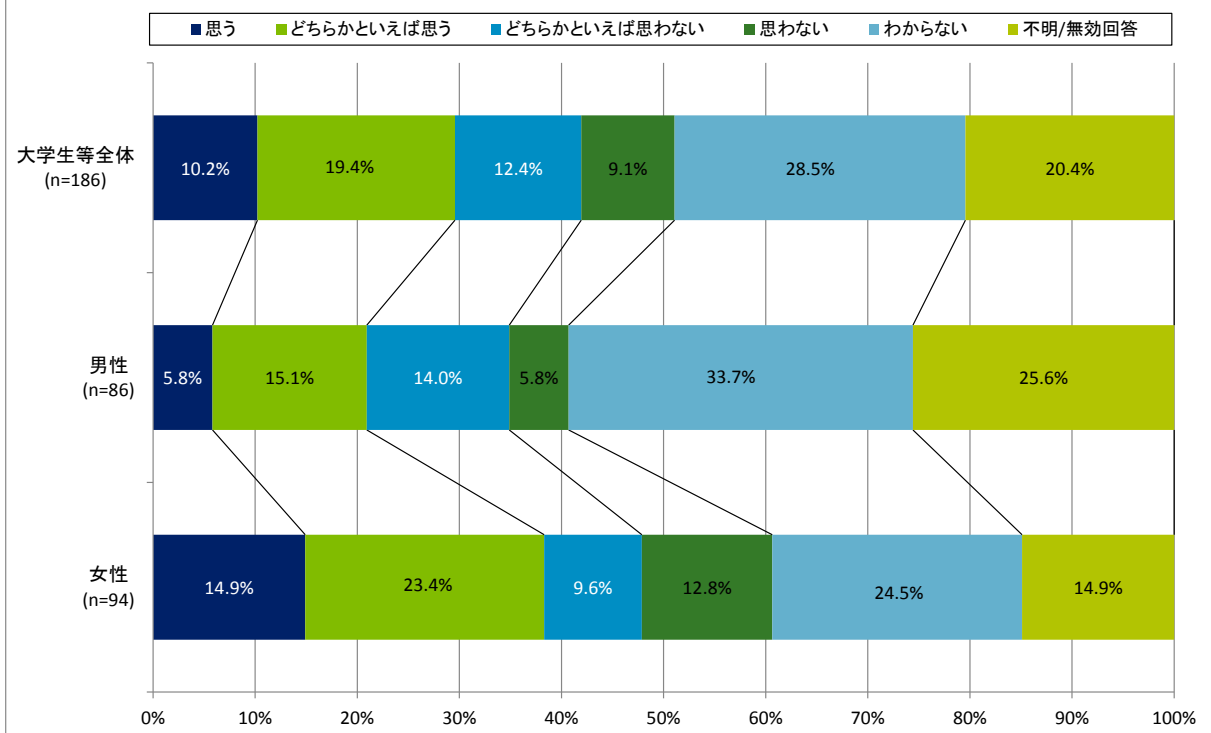
- 地元に着用があるから
- 長男・長女だから
- 友人や知人が多いから
- その地域に住むことにあこがれがあるから
- 家業の手伝いや家業を継ぐつもりだから



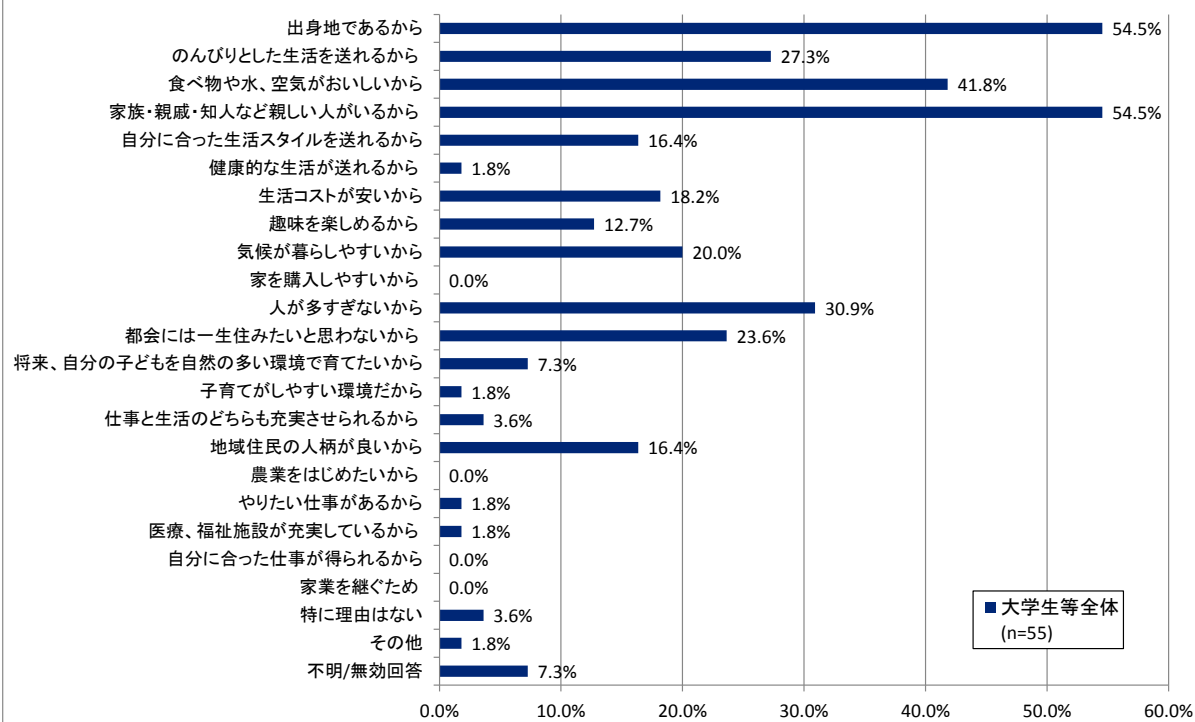
問11-1 卒業後の居住予定地を選んだ理由(3/3)(卒業後居住予定地別)



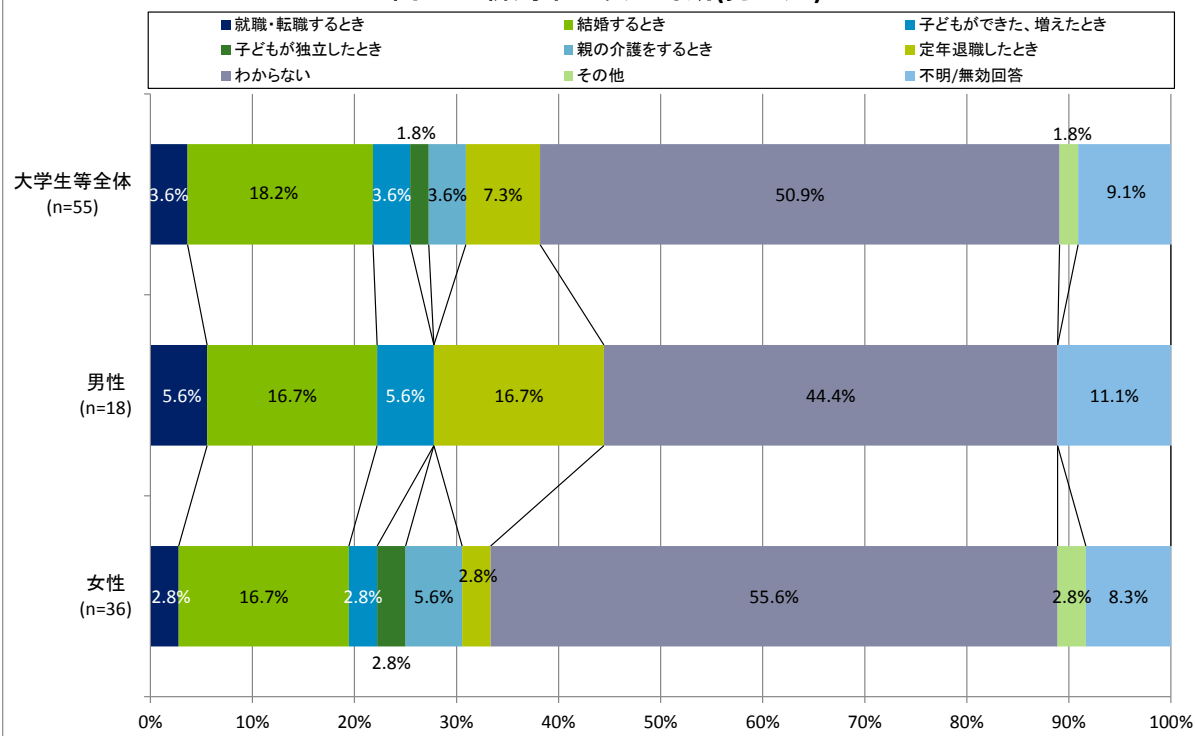
問11-2 将来の新潟市へのUターン意向(男女別)



問11-3 新潟市へいずれは戻りたいという理由

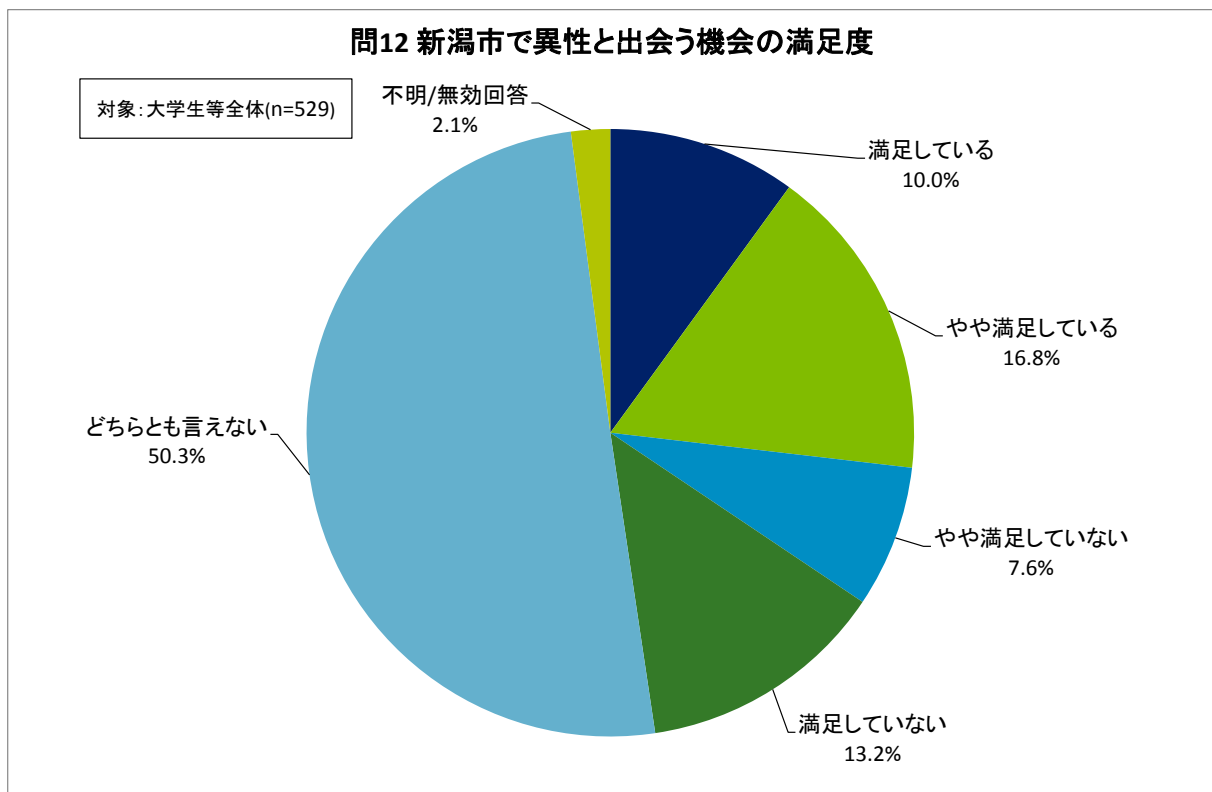


問11-4 新潟市に戻る時期(男女別)



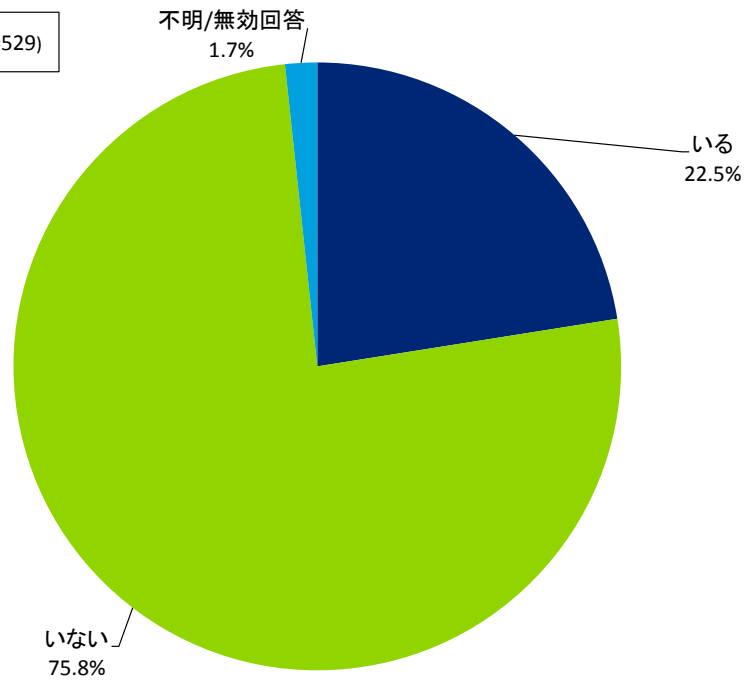
ウ 結婚のしやすさについて

- ・ 異性と出会う機会の満足度は、満足している者が 26.8%（「満足している（10.0%）」、「やや満足している（16.8%）」の合計）、「どちらとも言えない（50.3%）」となっている。
- ・ 現在、交際している人の有無は「いる（22.5%）」、「いない（75.8%）」となっている。
- ・ 知り合ったきっかけや場所は「大学や学校で（65.5%）」が最も高い。
- ・ 将来的な婚姻意向は、男女別にみると、男性は「30歳までに結婚の希望がある（39.2%）」、「結婚の希望はあるが年齢は決めていない（28.6%）」、「25歳までに結婚の希望がある（15.0%）」の順で高く、女性は「30歳までに結婚の希望がある（38.6%）」、「25歳までに結婚の希望がある（21.7%）」、「結婚の希望はあるが年齢は決めていない（19.5%）」の順で高い。
- ・ 結婚支援のために行政が取り組むべきことは「安定した雇用の確保（71.3%）」、「結婚祝金などの経済的支援（50.3%）」の順で高い。
- ・ 企業が取り組むべきことは、男女別にみると、男性は「給与・ボーナスを増やす（50.7%）」、「育児休業制度の導入・充実（37.9%）」、「残業や休日出勤をなくす・減らす（36.6%）」の順で高く、女性は「出産後に復職しやすい職場環境づくり（66.9%）」、「育児休業制度の導入・充実（58.1%）」、「給与・ボーナスを増やす（30.5%）」の順で高い。



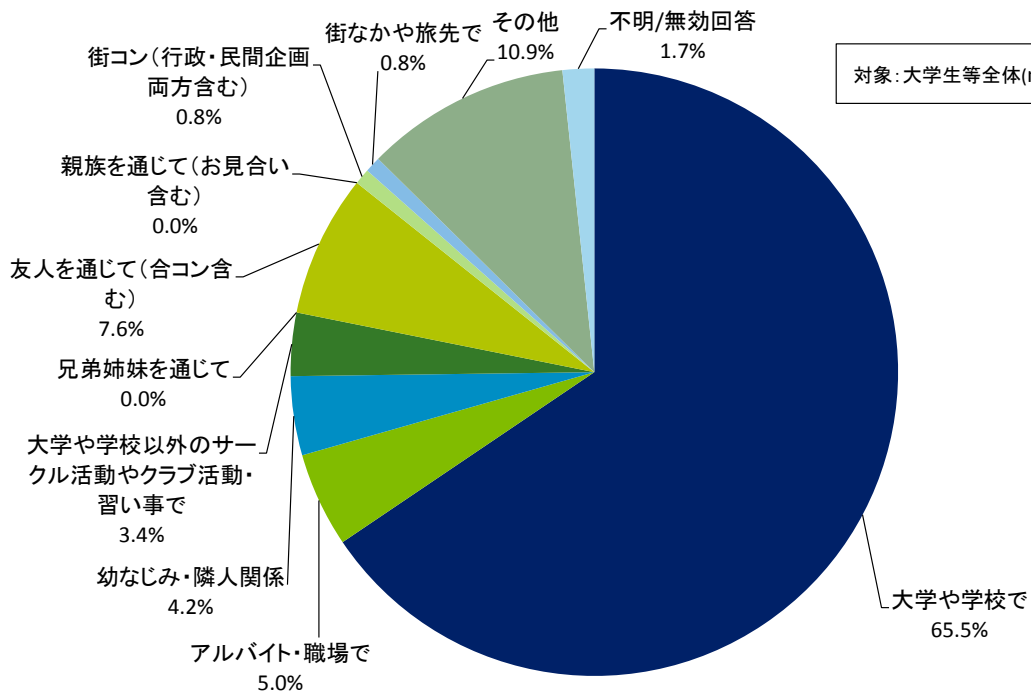
問13 現在、交際している人の有無

対象: 大学生等全体(n=529)

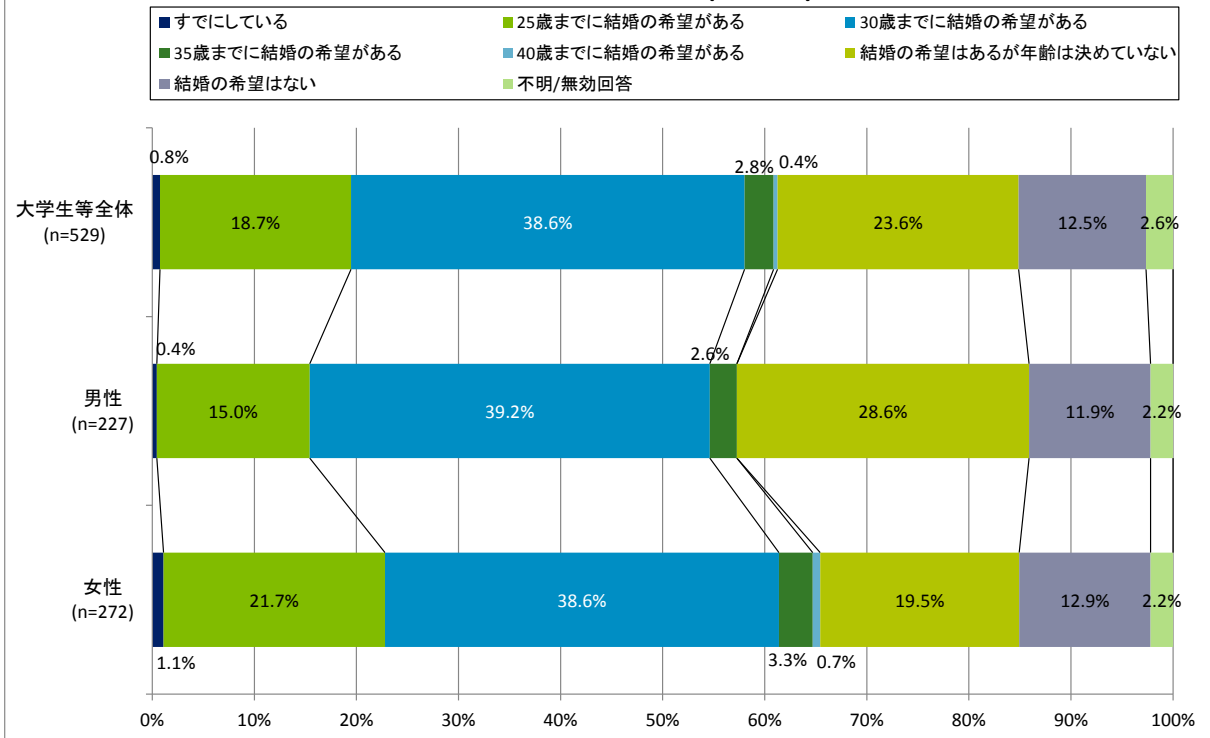


問13-1 知り合ったきっかけや場所

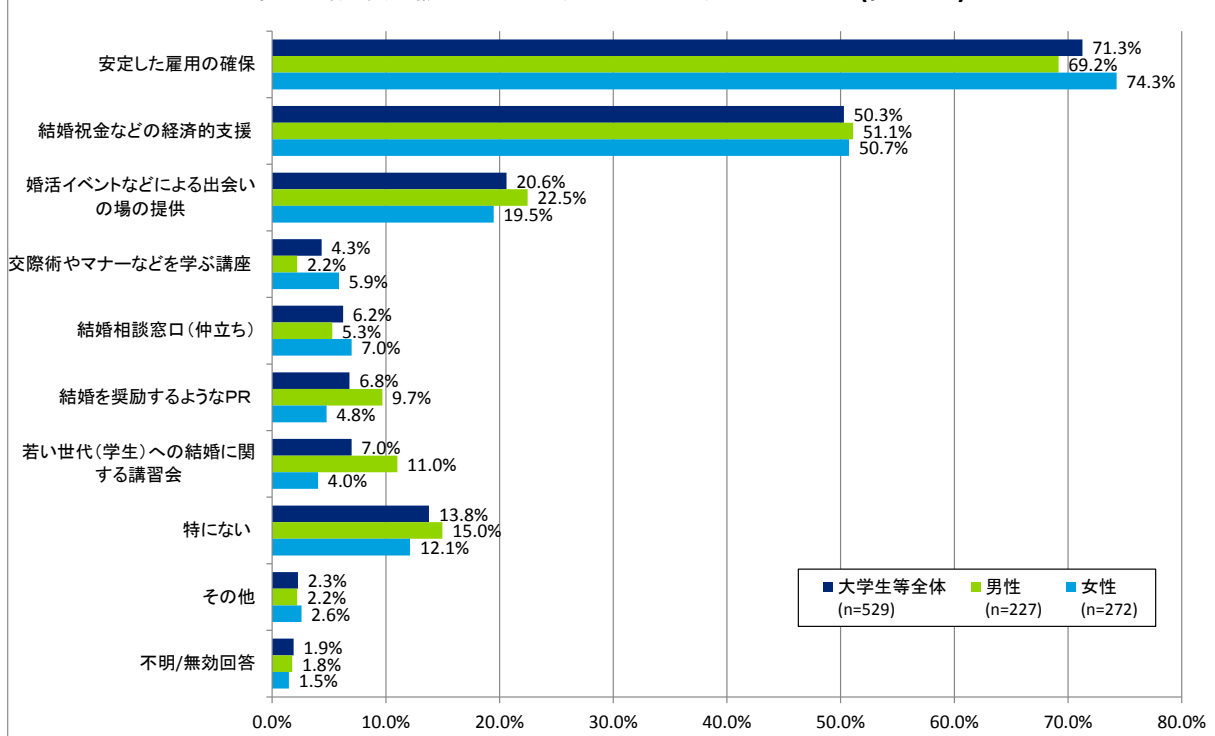
対象: 大学生等全体(n=119)



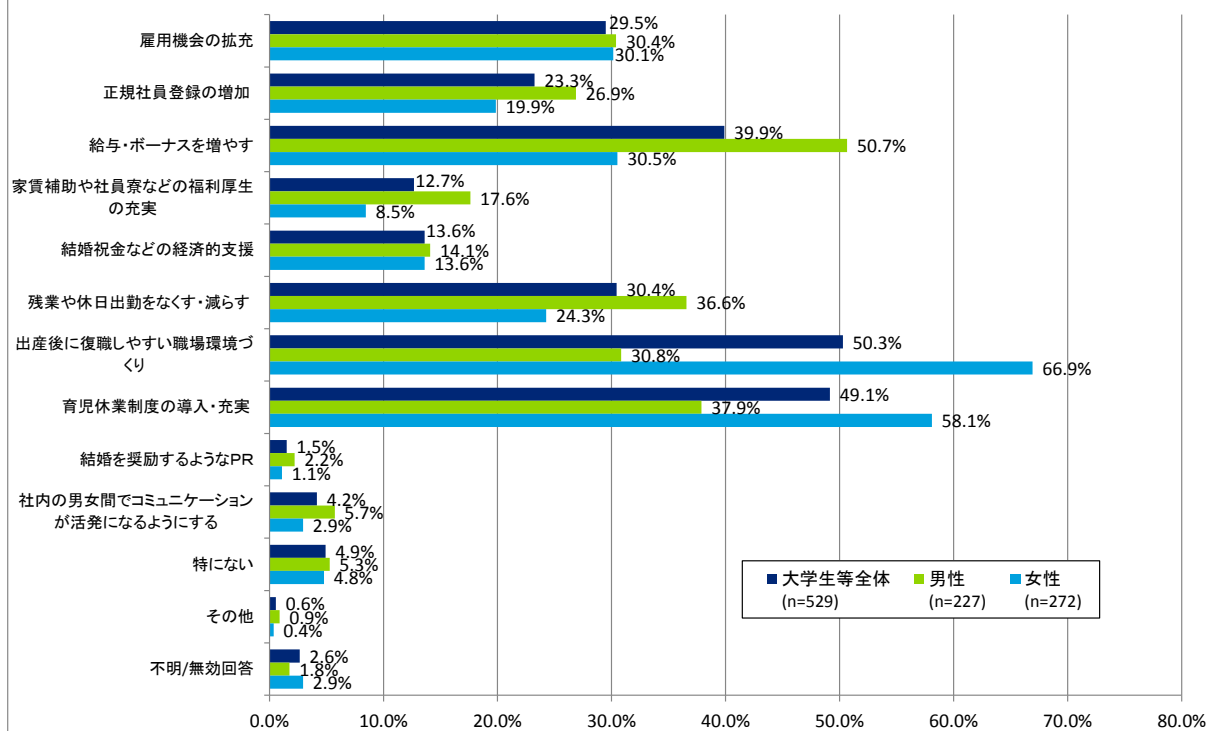
問14 将来的な婚姻意向(男女別)



問15 結婚支援のために行政が取り組むべきこと(男女別)

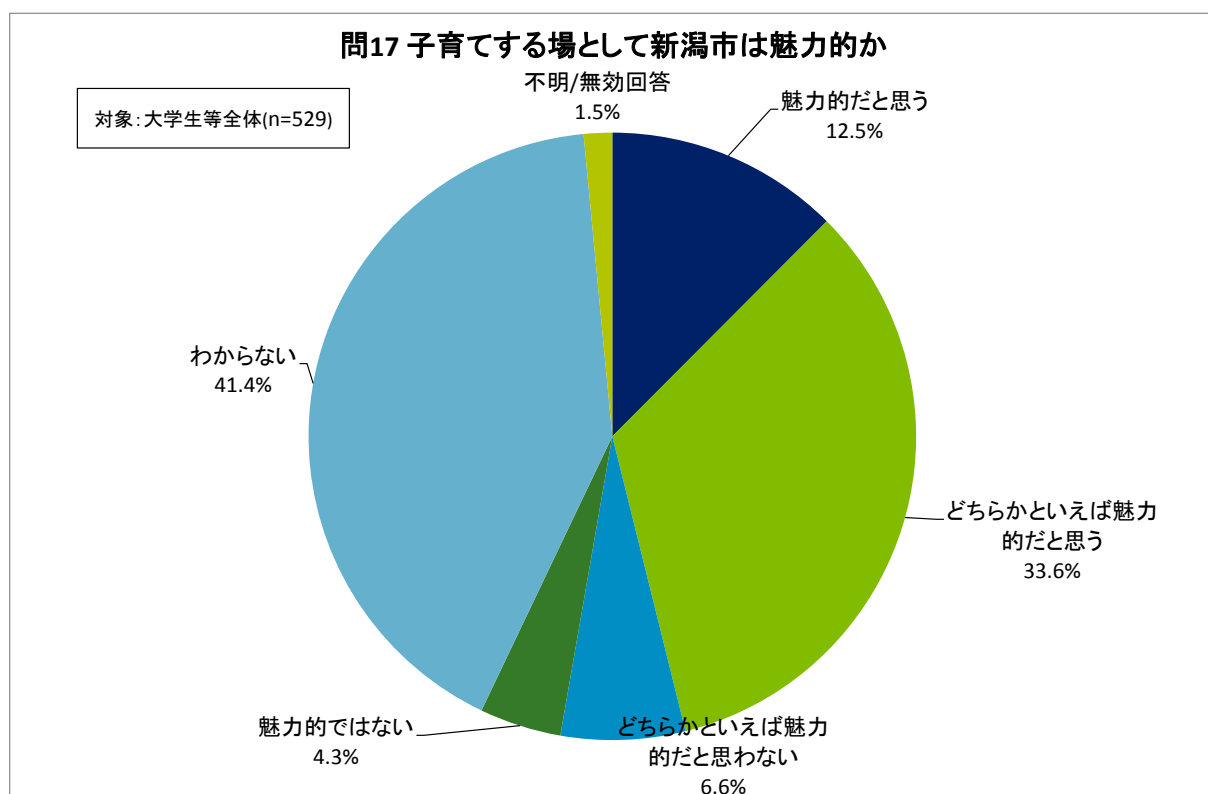


問16 結婚支援のために企業が取り組むべきこと(男女別)

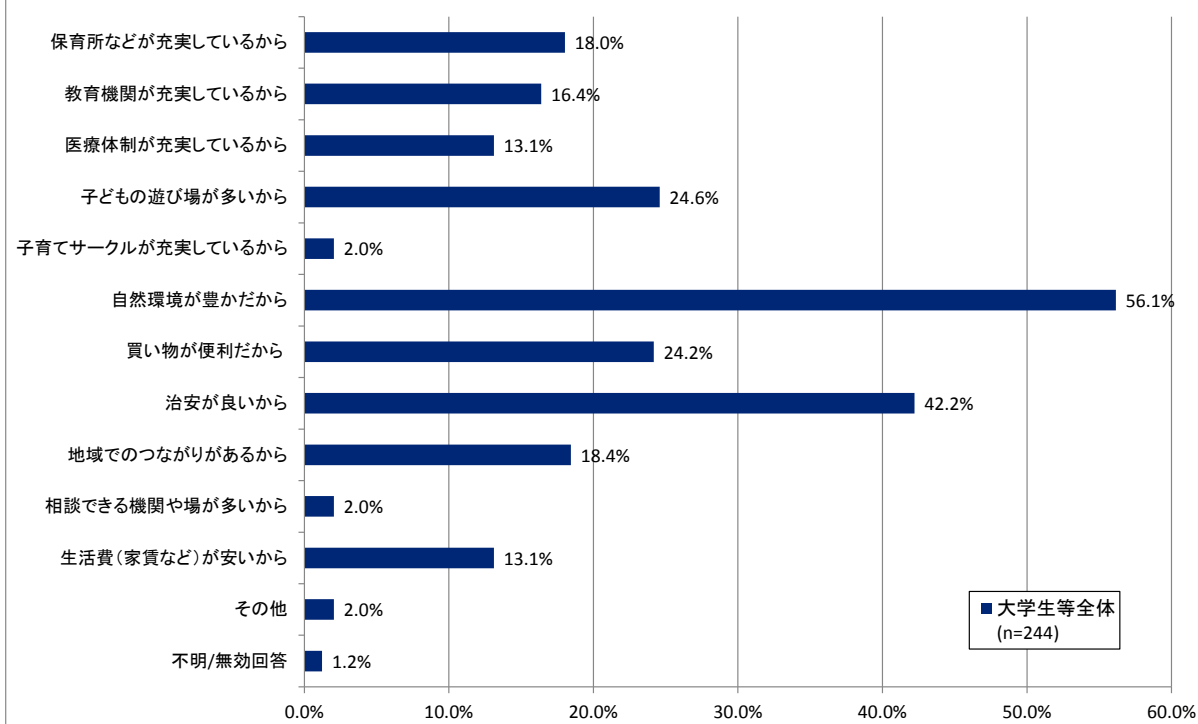


エ 子育てのしやすさについて

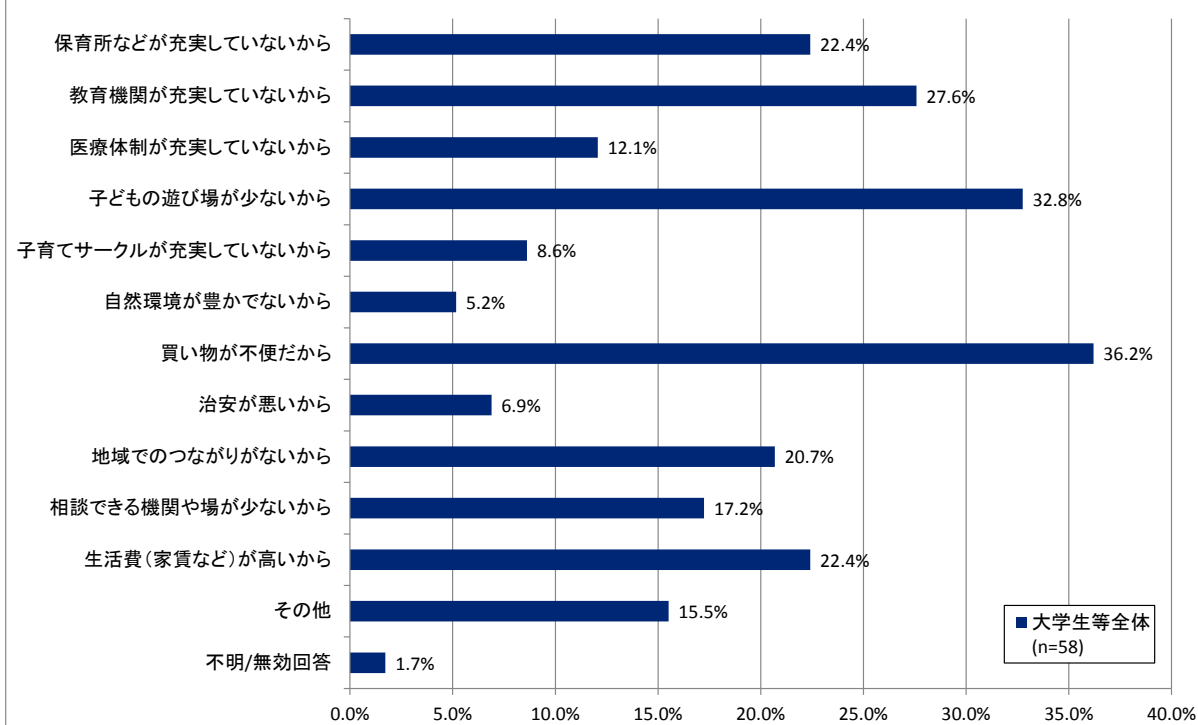
- ・ 子育てする場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が46.1%（「魅力的だと思う（12.5%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（33.6%）」の合計）となっている。
- ・ 魅力的だと思う理由は「自然環境が豊かだから（56.1%）」、「治安が良いから（42.2%）」、「子どもの遊び場が多いから（24.6%）」の順で高い。
- ・ 魅力的だと思わない理由は「買い物が不便だから（36.2%）」、「子どもの遊び場が少ないから（32.8%）」、「教育機関が充実していないから（27.6%）」の順で高い。
- ・ 将来自分を持ちたい子どもの数は、「2人（64.3%）」、「3人（18.9%）」、「1人（6.0%）」の順で高い。
- ・ 子どもの数が増えるための支援・対策は、「安定した雇用の確保（46.5%）」、「子育てに伴う経済的負担の軽減（46.5%）」、「子育てしやすい職場環境の整備（36.3%）」の順で高い。

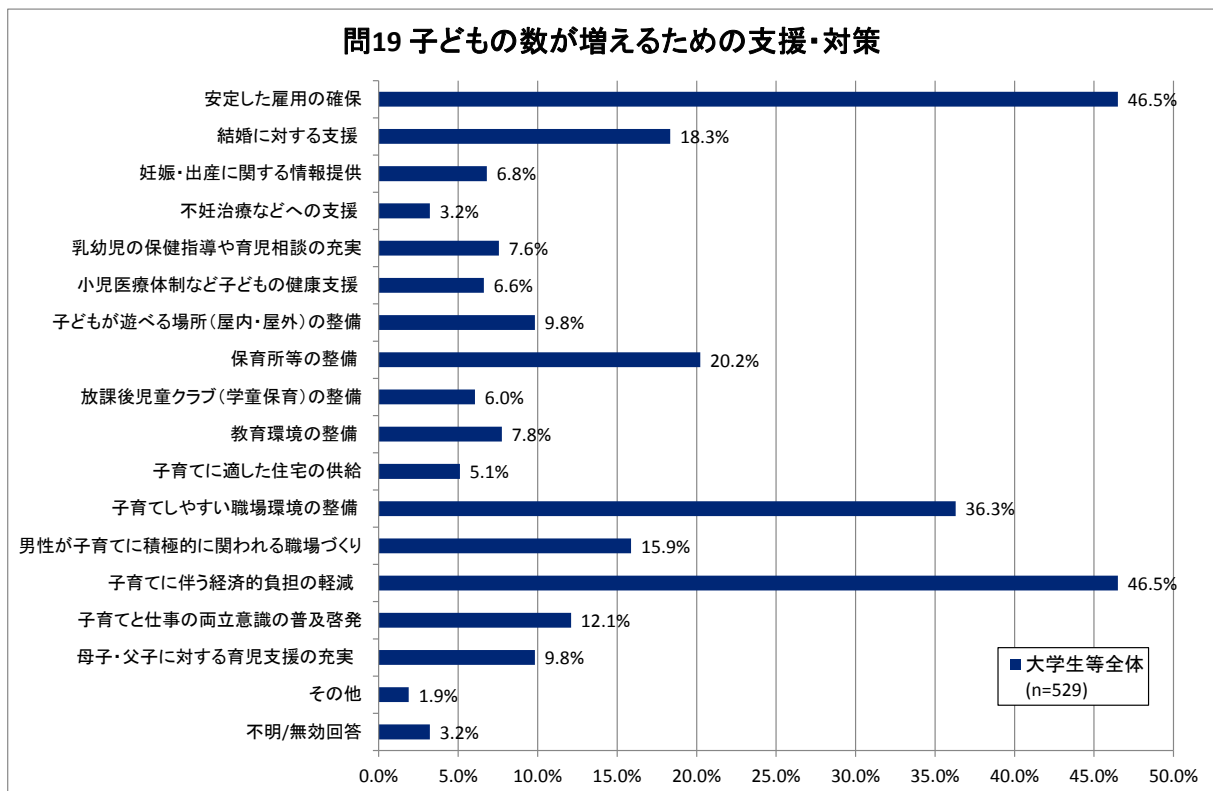
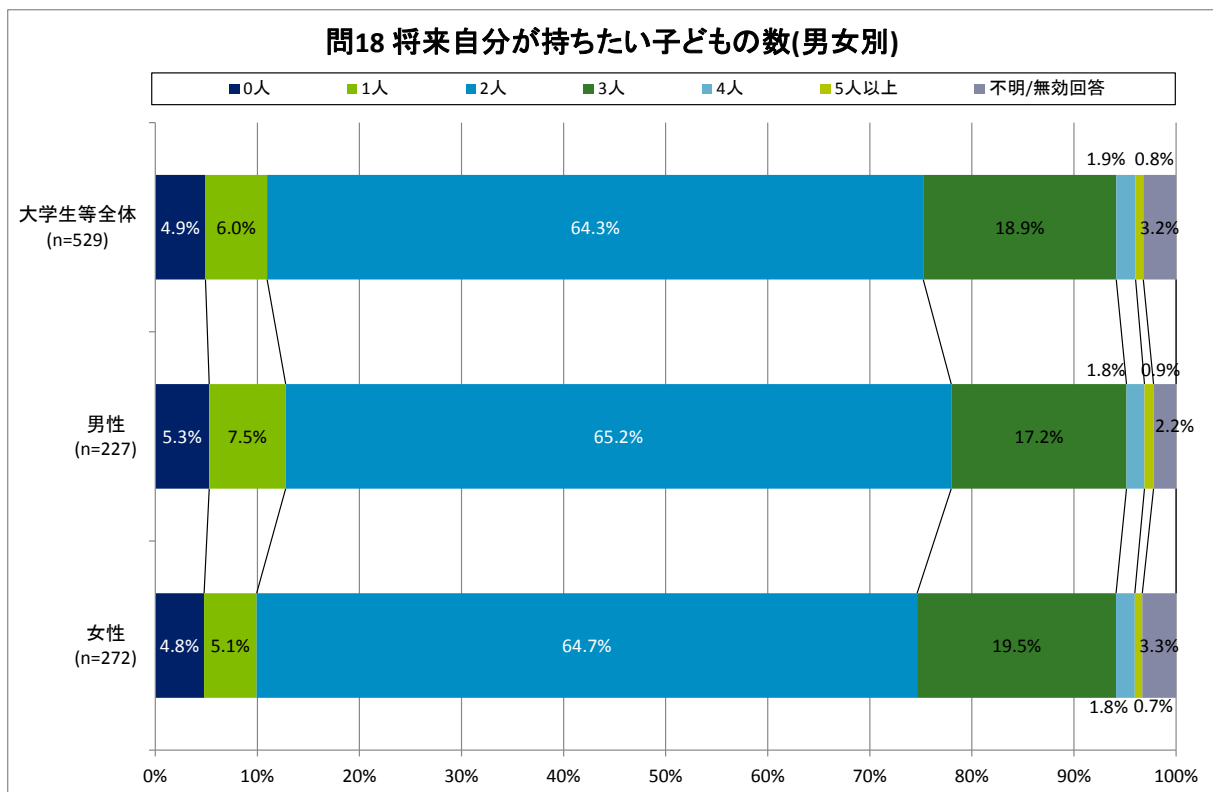


問17-1「新潟市が子育てする場として魅力的だと思う」理由



問17-2「新潟市が子育てする場として魅力的だと思わない」理由

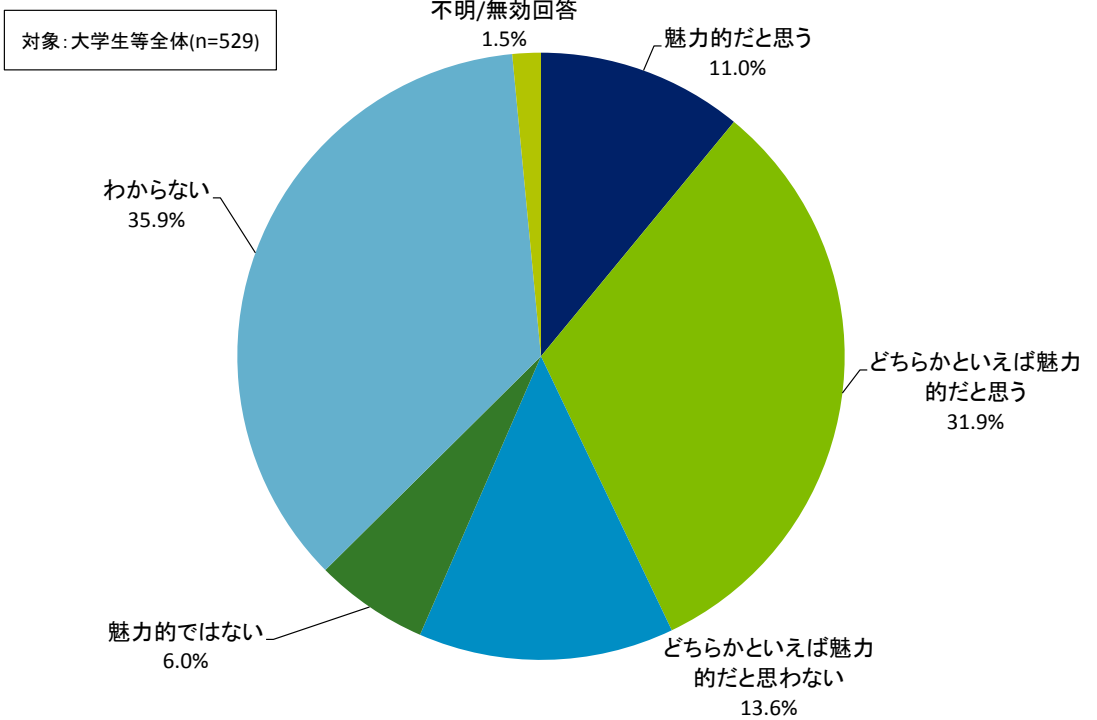




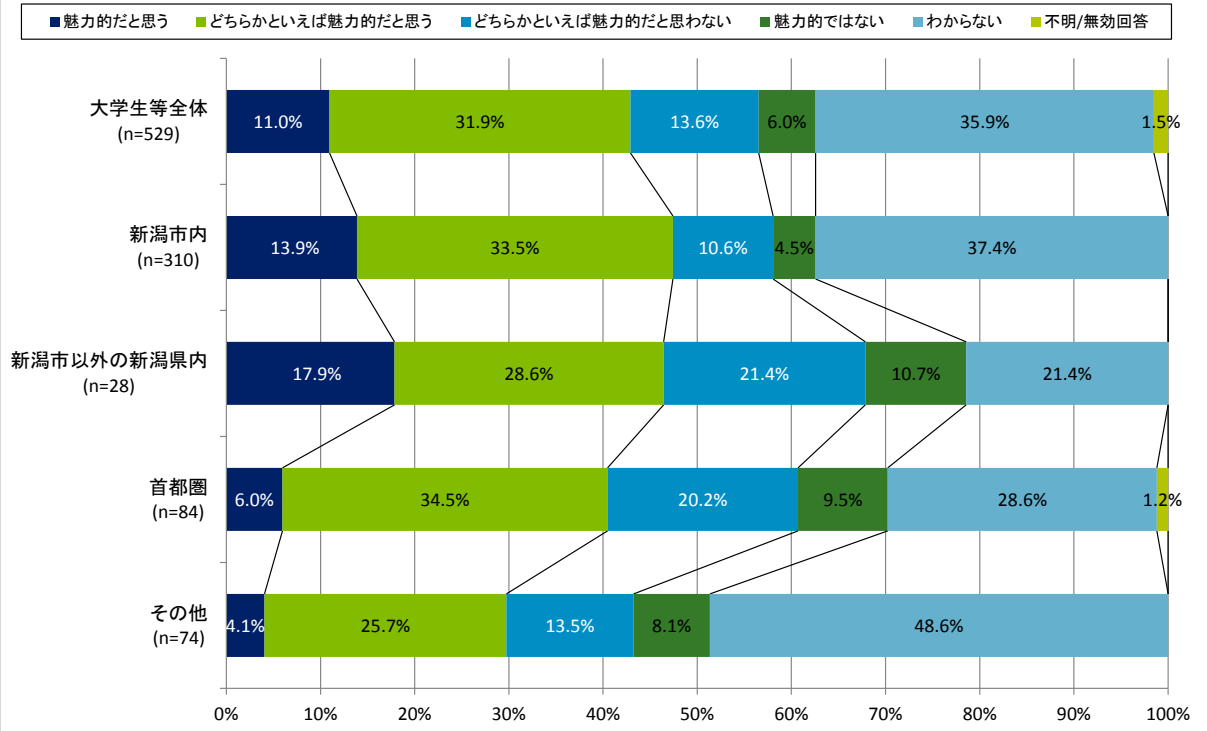
オ 働きやすさについて

- ・ 働く場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が42.9%（「魅力的だと思う（11.0%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（31.9%）」の合計）となっている。
- ・ 卒業後の居住予定地別でみると、魅力的ではないと思う者（「どちらかといえば魅力的だと思わない」「魅力的ではない」の合計）は、新潟市内居住予定者で15.1%であったのに対し、新潟市以外の新潟県内居住予定者では32.1%と倍以上になっている。
- ・ 新潟市の優良企業を思いつく者は、働く場として魅力的だと思う割合が53.6%（「魅力的だと思う（12.3%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（41.3%）」の合計）であるのに対し、新潟市の優良企業を思いつかない者は29.1%（「魅力的だと思う（9.9%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（19.2%）」の合計）にとどまった。
- ・ 魅力的だと思う理由は「実家に住める・近いから（46.3%）」、「職場と自宅の距離が近いから（31.3%）」、「地域貢献に積極的な企業が多いから（26.0%）」の順で高い。
- ・ 魅力的だと思わない理由は「優良な大手企業が少ないから（53.8%）」、「優良な中小企業が少ないから（37.5%）」、「採用に積極的な企業が少ないから（31.7%）」の順で高い。
- ・ 新潟市の優良企業として思いつく企業はあるかは「はい（58.6%）」、「いいえ（38.4%）」となっている。
- ・ 働きやすさのために行政が取り組むべきことは「企業誘致による雇用拡大（44.2%）」、「ブラック企業などへの注意喚起（41.4%）」、「育児・介護休業制度の啓発（31.6%）」の順で高い。（ただし、「育児・介護休業制度の啓発」は男女差が大きく、男性21.1%に対し、女性は41.5%であった。）
- ・ 企業が取り組むべきことは「給与・ボーナスを増やす（48.6%）」、「雇用機会の拡充（37.8%）」、「残業や休日出勤をなくす・減らす（37.4%）」の順で高い。
- ・ 男女差が大きい項目として、「出産後に復職しやすい職場環境づくり（男性：16.7%、女性：41.9%）」、「育児・介護休業制度の導入・充実（男性：28.6%、女性：45.2%）」は男性に比べ女性の割合が高い。一方で、「給与・ボーナスを増やす（男性：56.8%、女性：40.1%）」は女性に比べ男性の割合が高い。
- ・ 将来の最低希望年収については、「300万円代（23.3%）」「500万円代（16.1%）」「400万円代（14.4%）」の順で高い。

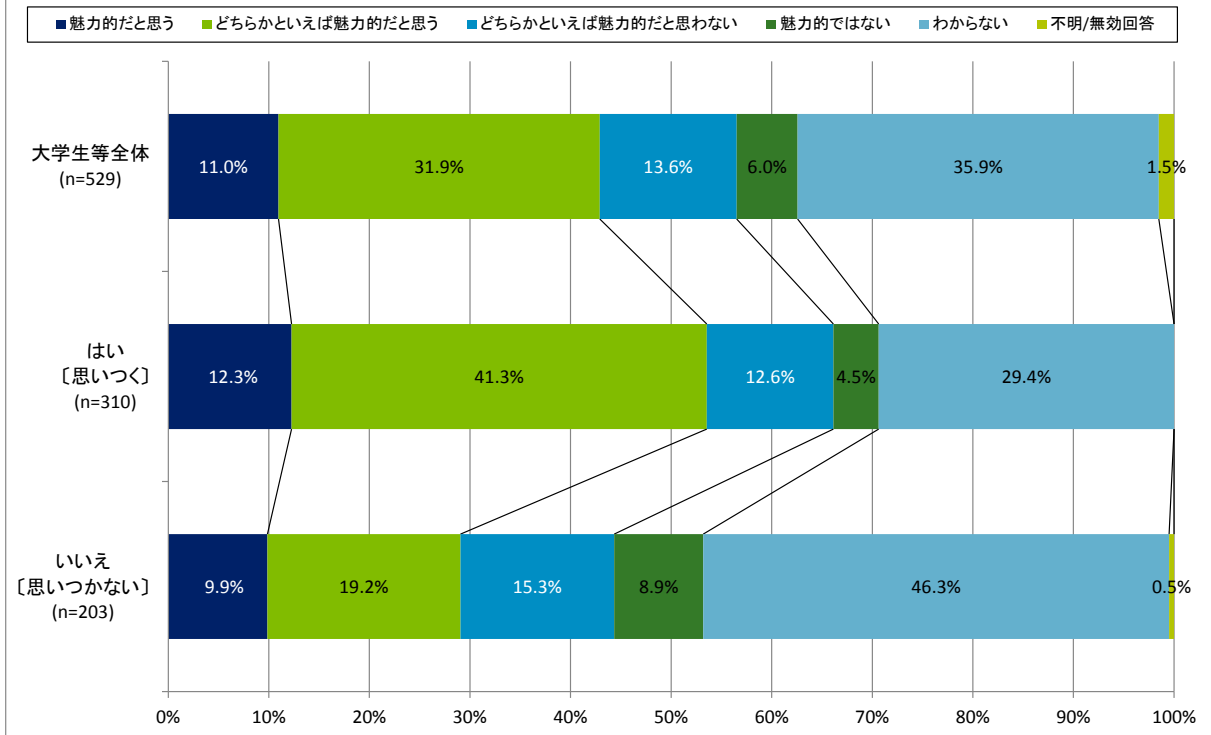
問20 働く場として新潟市は魅力的だと思うか



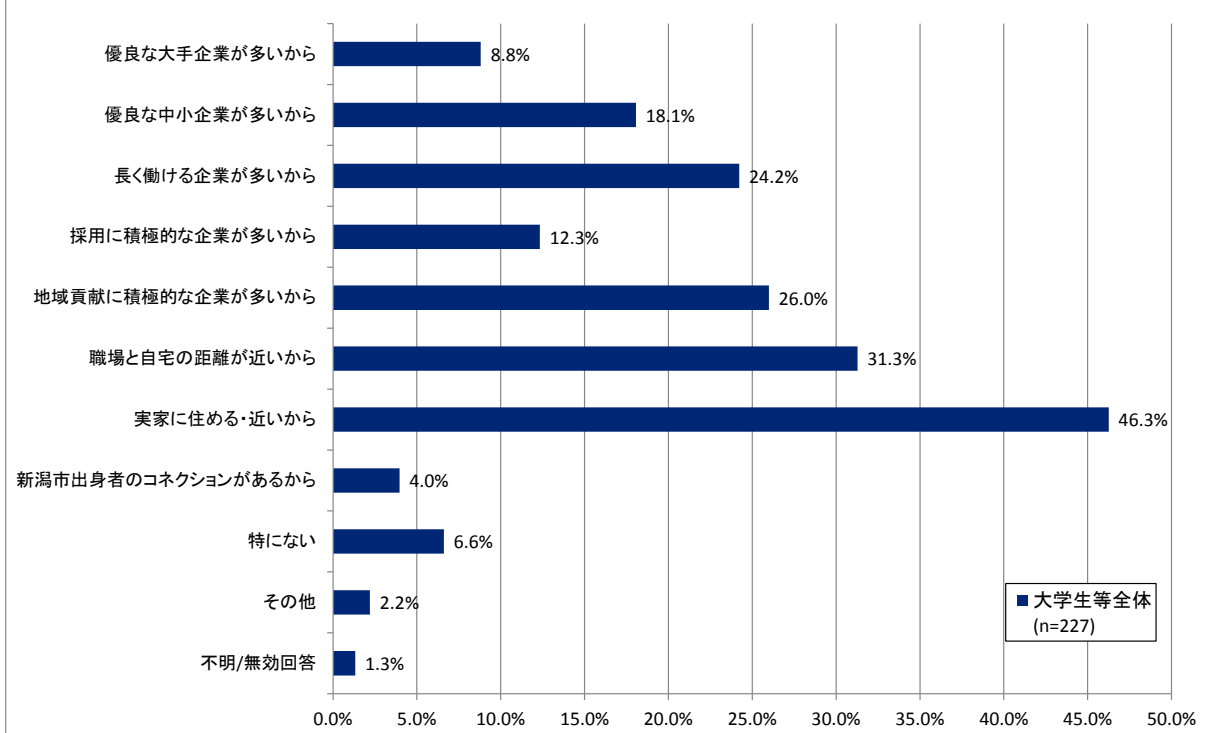
問20 働く場として新潟市は魅力的だと思うか(卒業後の居住予定地別)



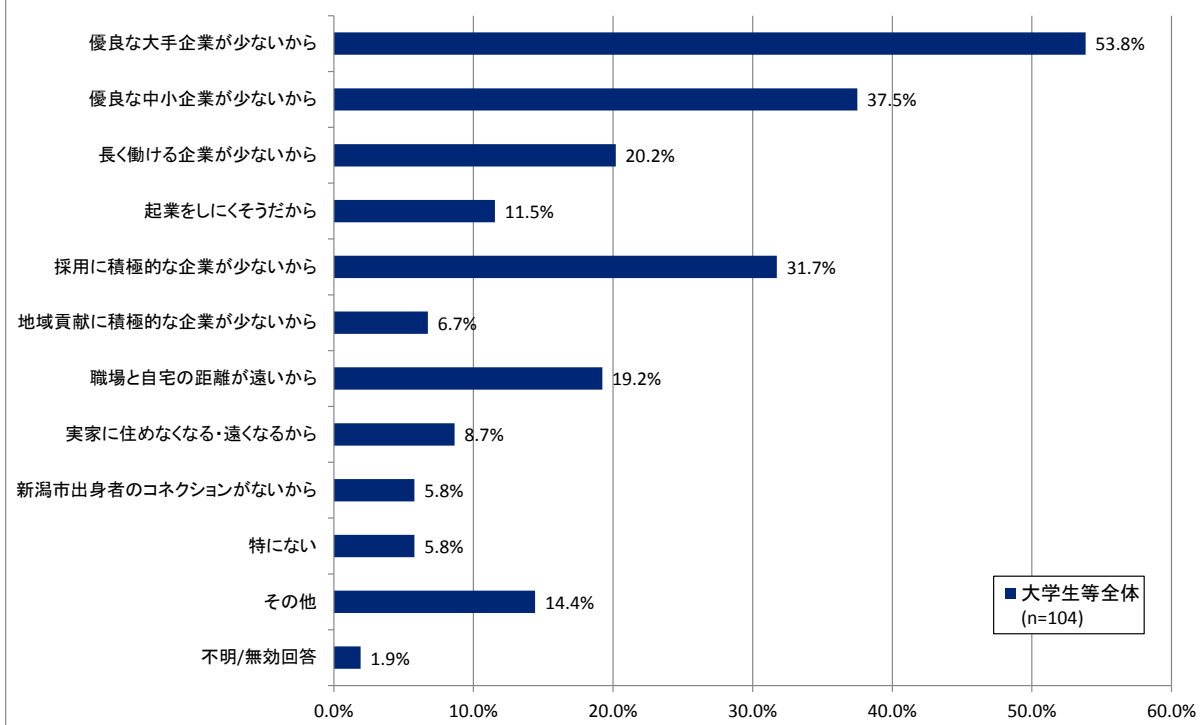
問20 働く場として新潟市は魅力的だと思うか(新潟市の優良企業認知度別)



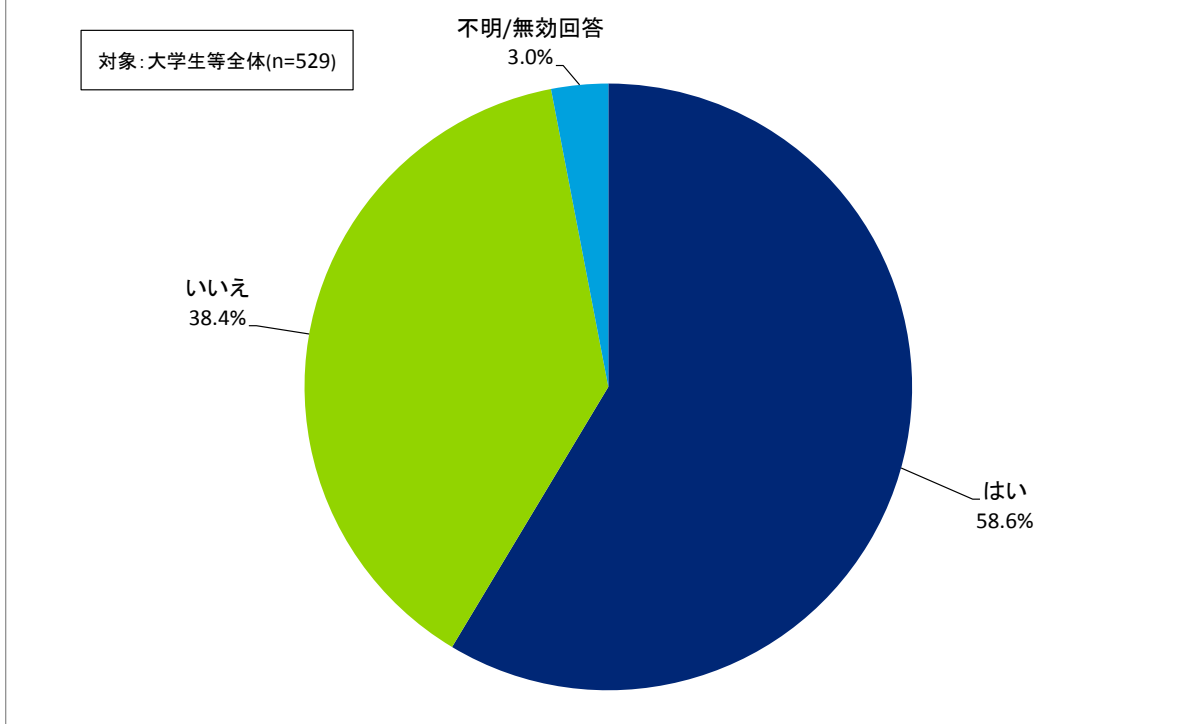
問20-1 「新潟市が働く場として魅力的だと思う」理由



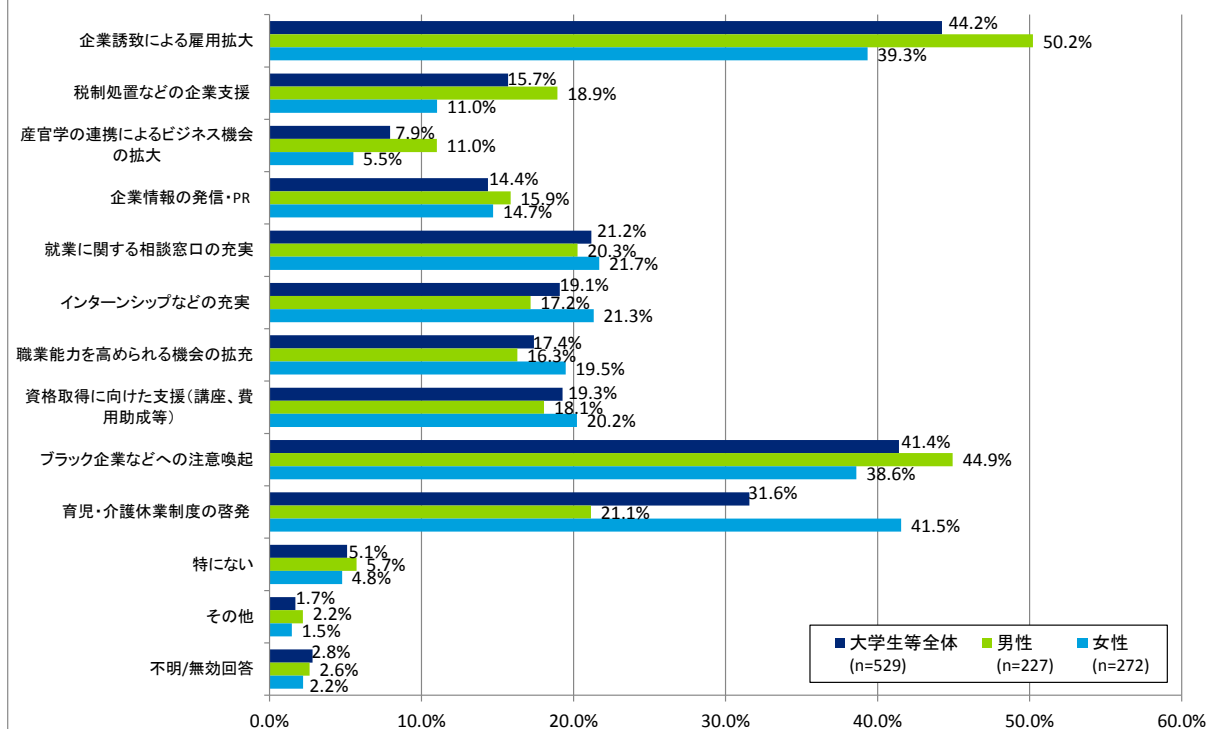
問20-2「新潟市が働く場として魅力的だと思わない」理由



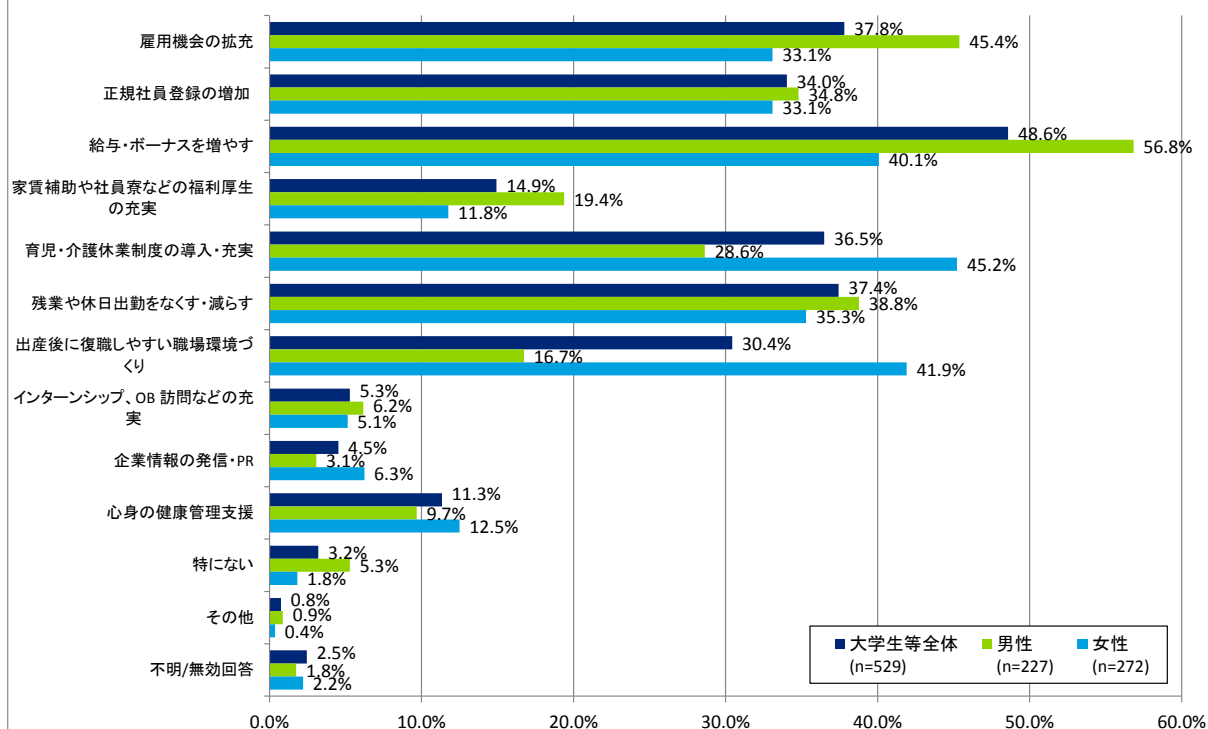
問21 新潟市の優良企業として思いつく企業はあるか



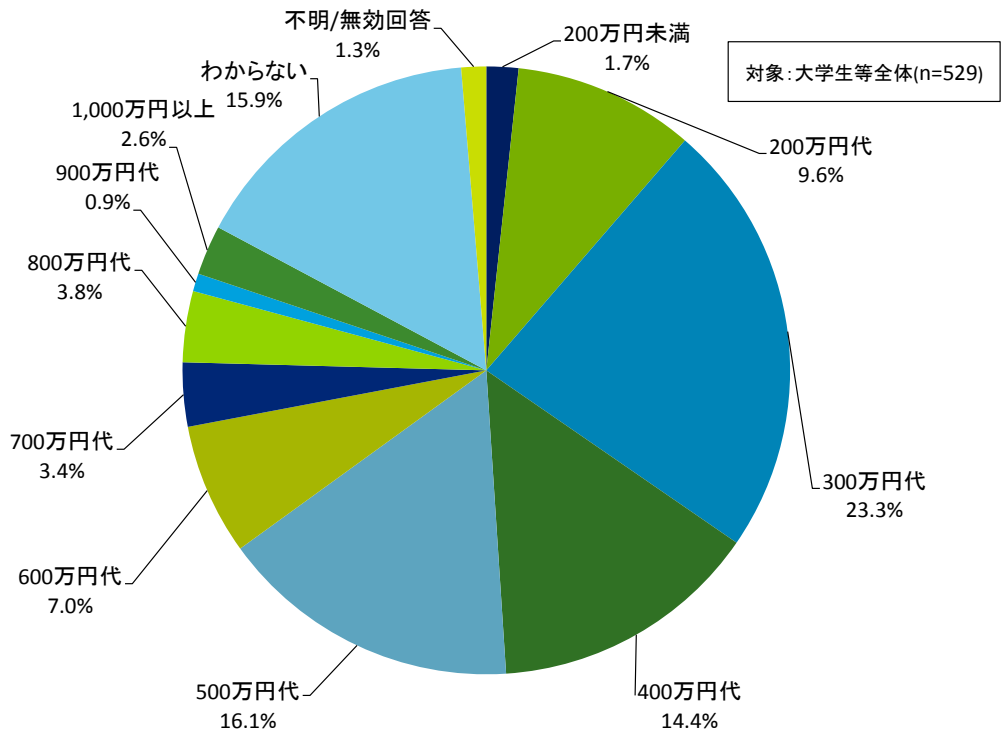
問22 働きやすさのために行政が取り組むべきこと(男女別)



問23 働きやすさのために企業が取り組むべきこと(男女別)



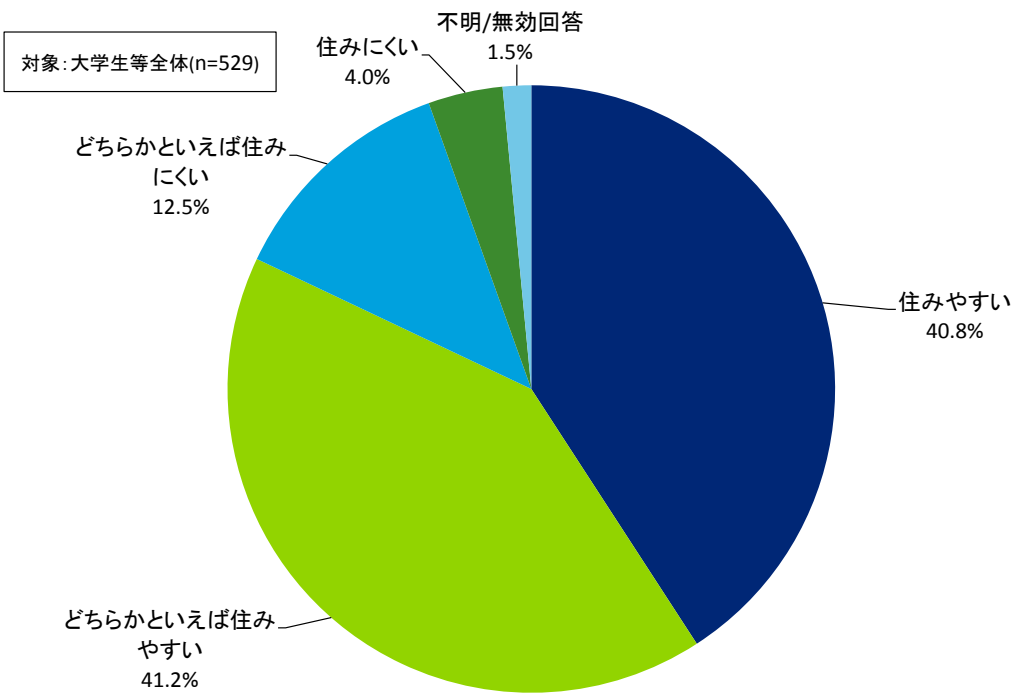
問24 将来の最低希望年収



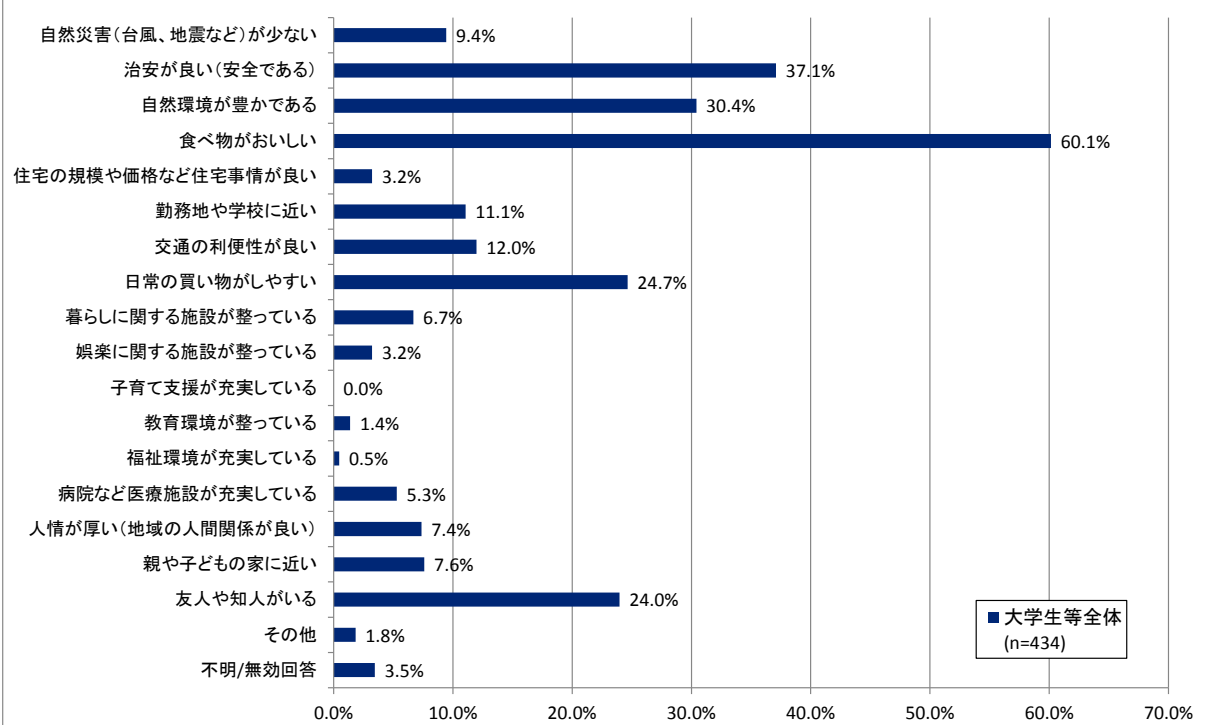
カ 住みやすさについて

- 新潟市が住みやすいまちだと思うかについては、住みやすいと思う者が82.0%（「住みやすい（40.8%）」、「どちらかといえば住みやすい（41.2%）」の合計）となっている。
- 住みやすい理由は「食べ物がおいしい（60.1%）」、「治安が良い（安全である）（37.1%）」、「自然環境が豊かである（30.4%）」の順で高い。
- 住みにくい理由は「交通の利便性が悪い（72.4%）」、「娯楽に関する施設が整っていない（37.9%）」、「勤務地や学校から遠い（19.5%）」、「日常の買い物がしにくい（19.5%）」の順で高い。
- 新潟市の定住意向は「住み続けたい（56.9%）」、「住み続けたくない（6.4%）」、「どちらともいえない（34.6%）」となっている。
- 新潟市の定住意向を、新潟市への愛着別にみると、新潟市に愛着があると答えた者は「住み続けたい（85.5%）」であるのに対し、新潟市に愛着がないと答えた者は「住み続けたい（11.5%）」となっている。
- 新潟市に住み続けるために必要なことは「働く場の充実（41.1%）」、「地域内の公共交通の充実（31.2%）」、「趣味や余暇活動の場の充実（28.9%）」の順で高い。
- 新潟市内で住みたい区は「中央区（41.2%）」、「どこでもよい（17.2%）」、「西区（13.2%）」の順で高い。
- 地域コミュニティ活動の参加状況は、参加していない者が71.7%（「参加していない（52.6%）」、「どちらかといえば参加していない（19.1%）」の合計）となっている。
- 地域コミュニティ活動参加状況について、居住区別にみると、参加している者（「参加している」、「どちらかといえば参加している」の合計）の割合が最も高いのが「北区（29.4%）」で、最も低いのが「東区（8.4%）」となっている。
- 参加している地域コミュニティ活動は「盆踊り・祭り（74.0%）」が最も高い。
- 休日に出かけるエリアは「新潟市内（92.4%）」、「新潟市外（4.9%）」となっている。
- 休日出かける場所について、出かけるエリア別でみると、新潟市内では「デパートや百貨店（53.0%）」が最も高く、新潟市外では「海や山（34.6%）」が最も高い。
- 新潟市のまちが好きかは、好きだと思う者が74.5%（「そう思う（30.1%）」、「どちらかといえばそう思う（44.4%）」の合計）となっている。
- 東京都を魅力的だと思うかについては、魅力的だと思う者が71.3%（「魅力的だと思う（33.5%）」、「どちらかといえば魅力的だと思う（37.8%）」の合計）となっている。
- 東京都を魅力的だと思う理由は、「レジャー・娯楽が充実している（61.5%）」、「公共交通の利便性が良い（54.9%）」、「おしゃれな店（飲食店、服飾店など）が多い（49.6%）」の順で高い。

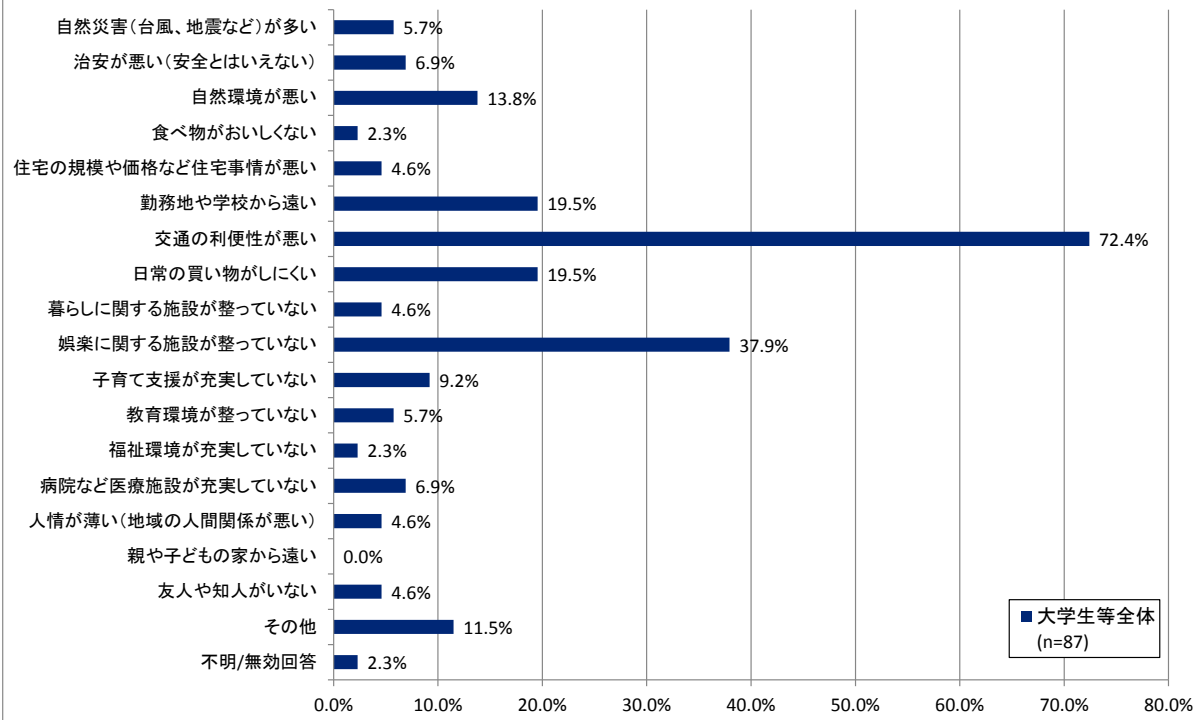
問25 新潟市が住みやすいまちだと思うか



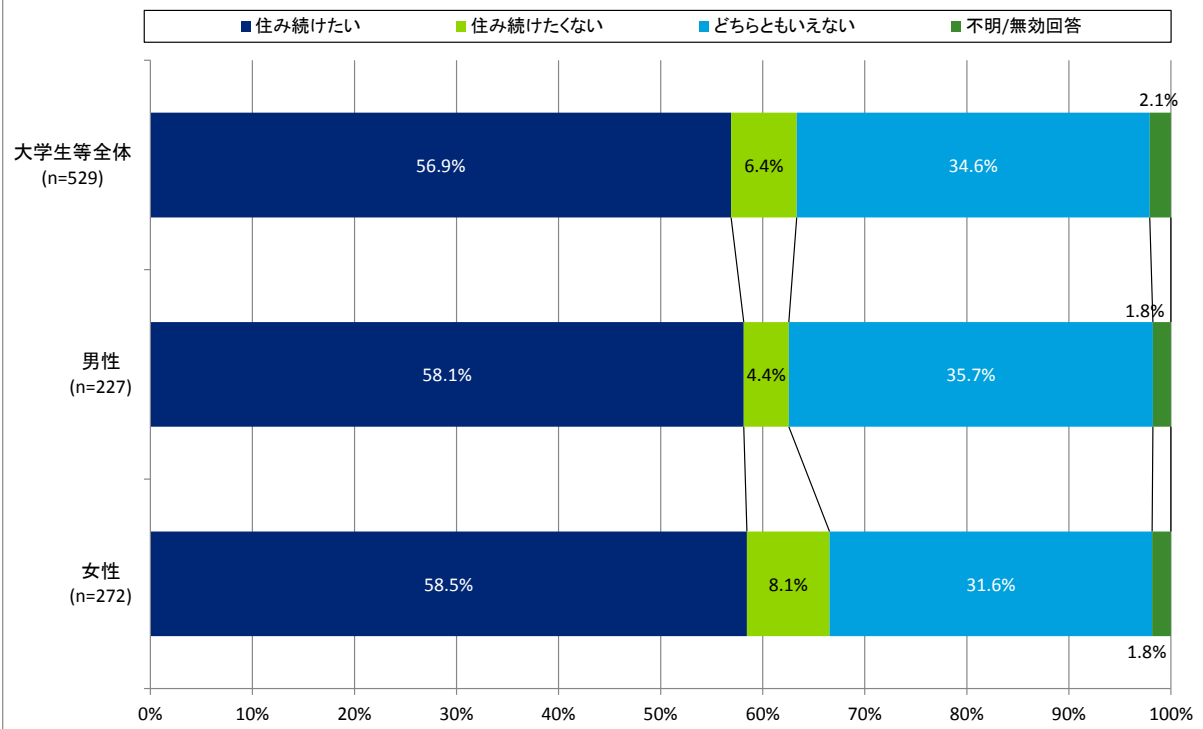
問25-1「新潟市が住みやすいとまちだと思う」理由



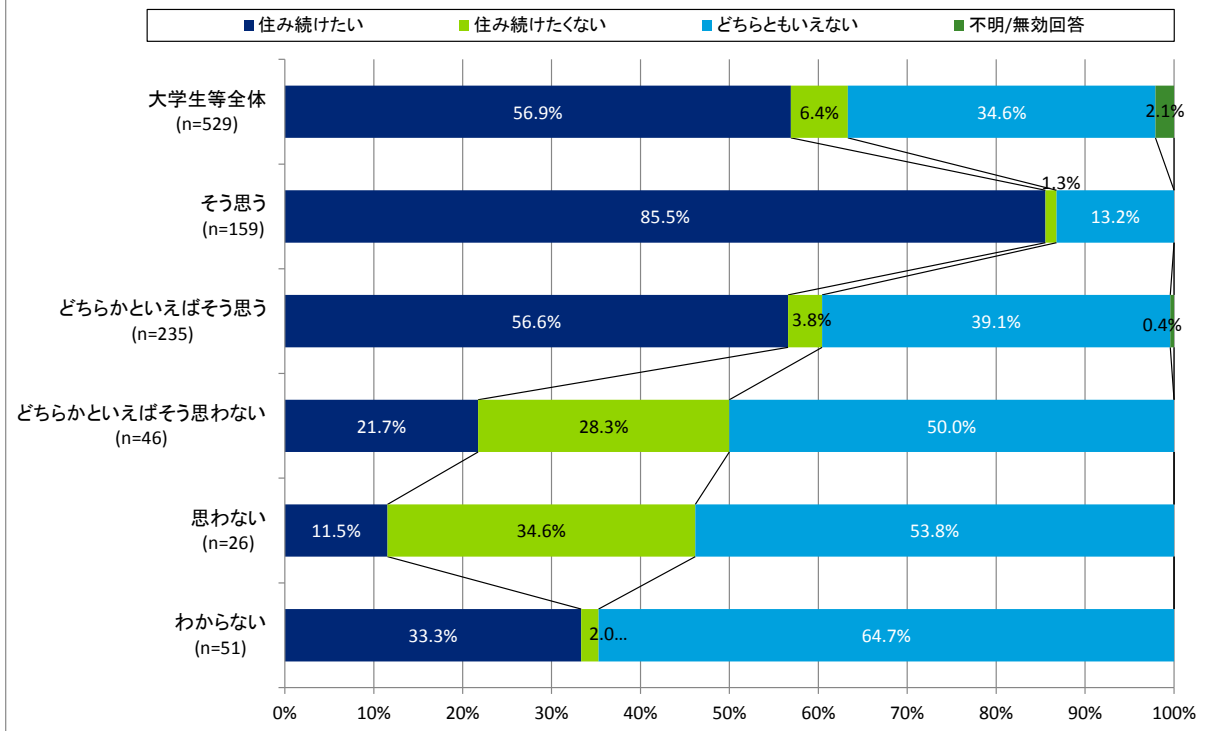
問25-2「新潟市が住みにくいとまちだと思う」理由



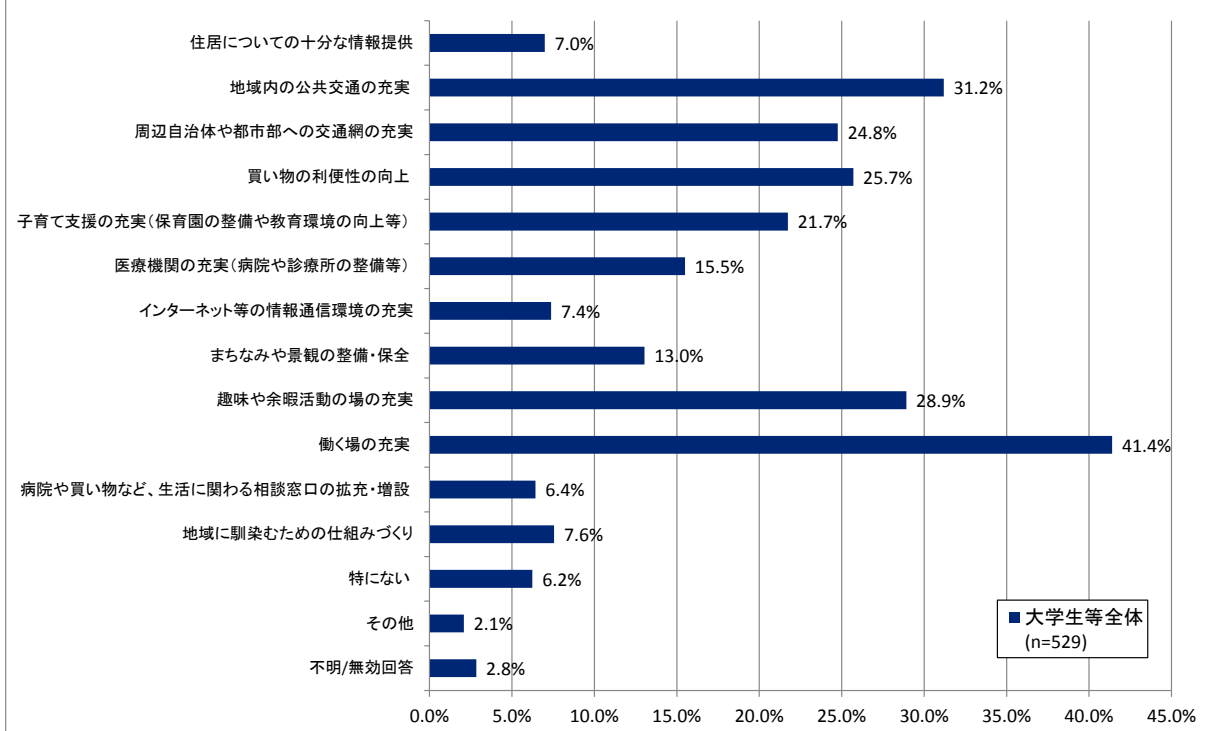
問26 新潟市の定住意向(男女別)

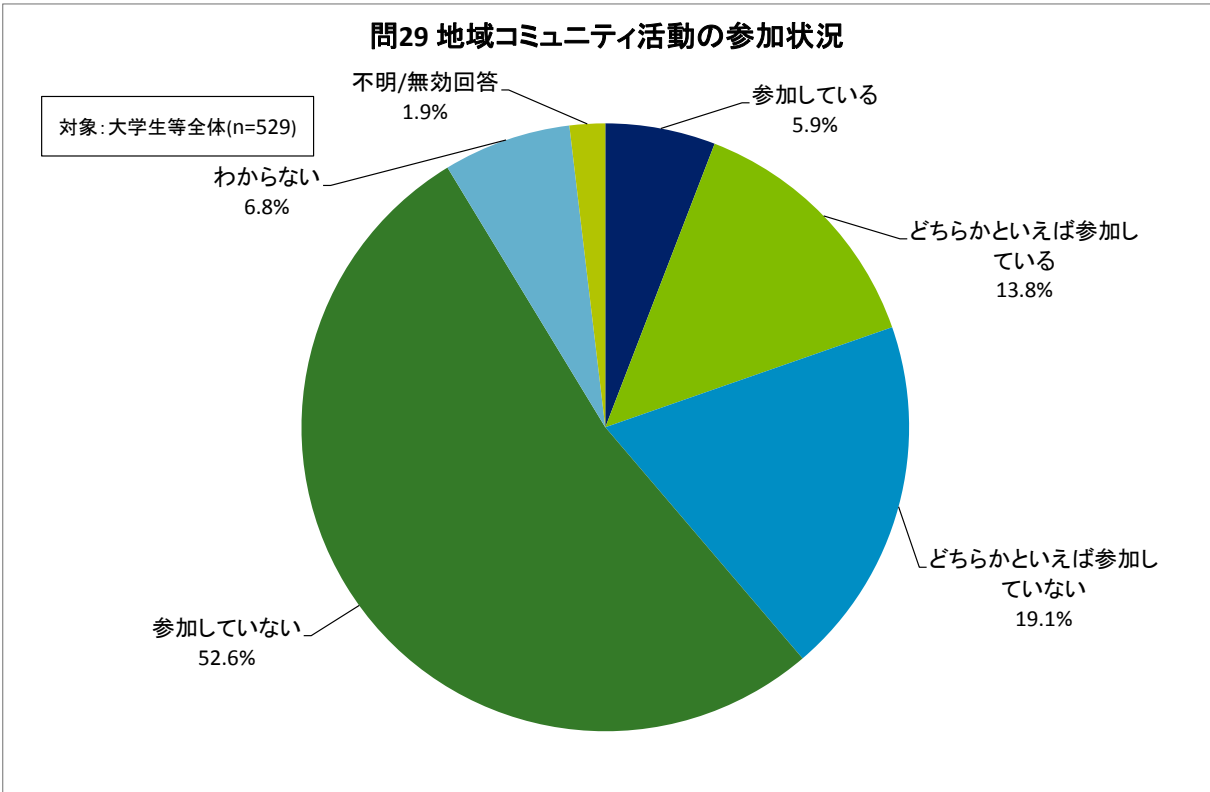
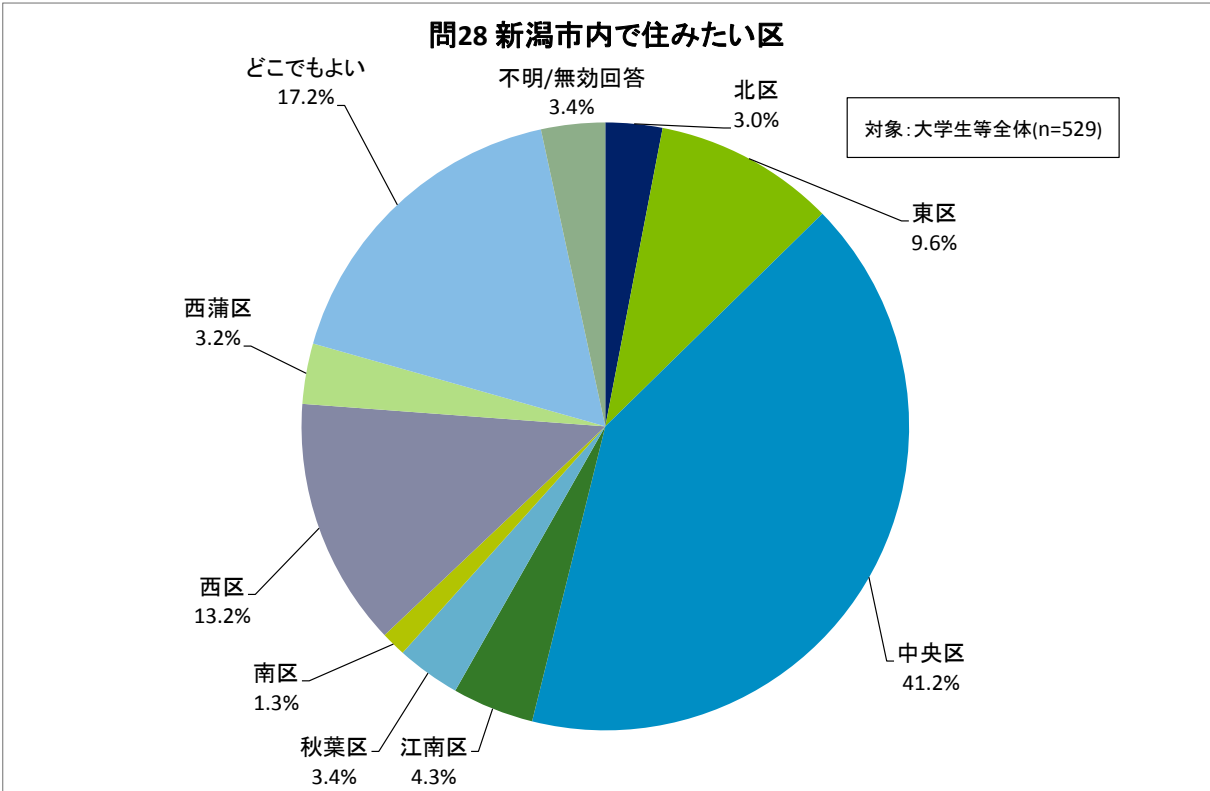


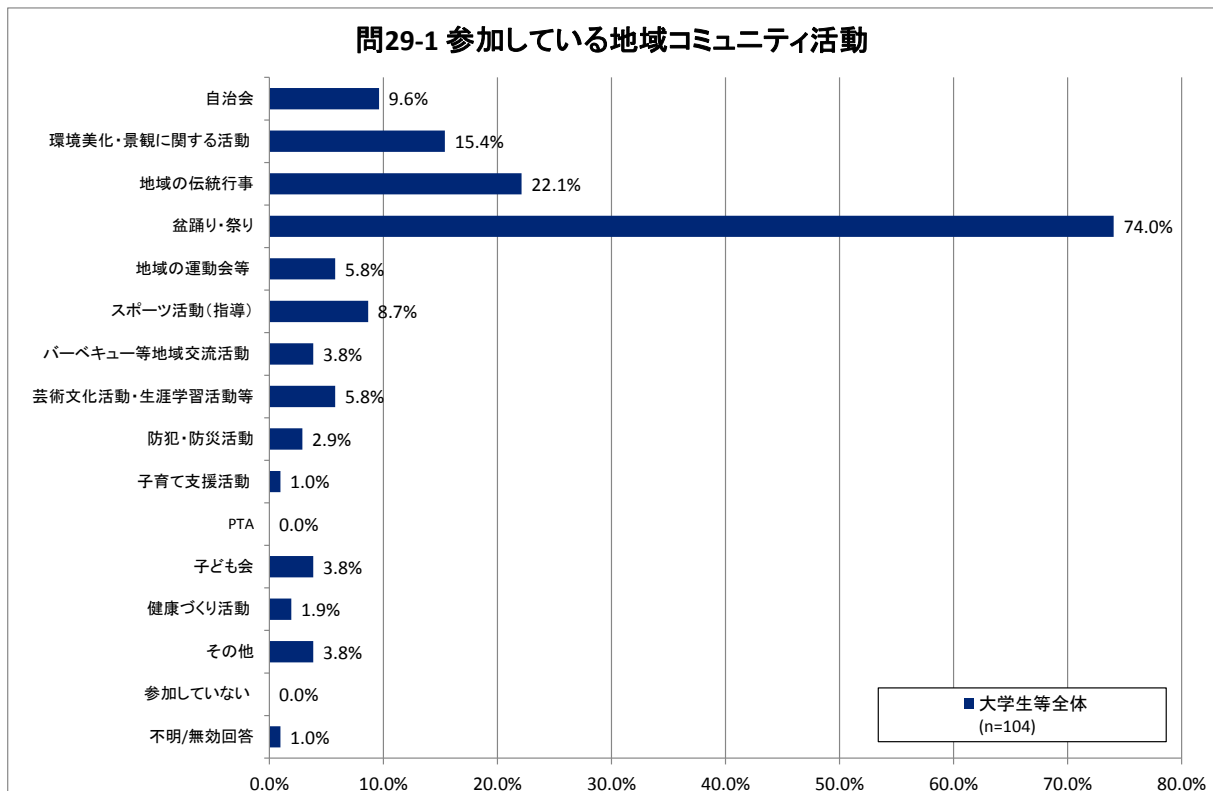
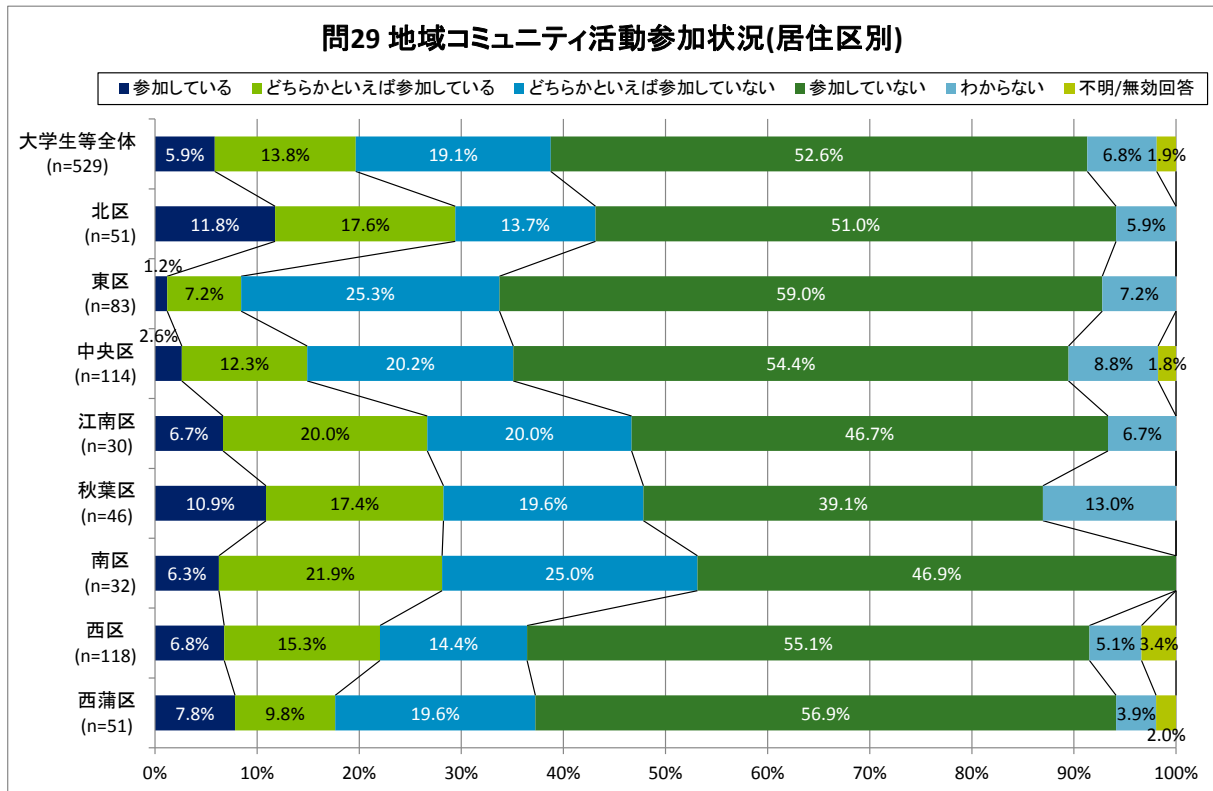
問26 新潟市の定住意向(新潟市への愛着別)



問27 新潟市に住み続けるために必要なこと

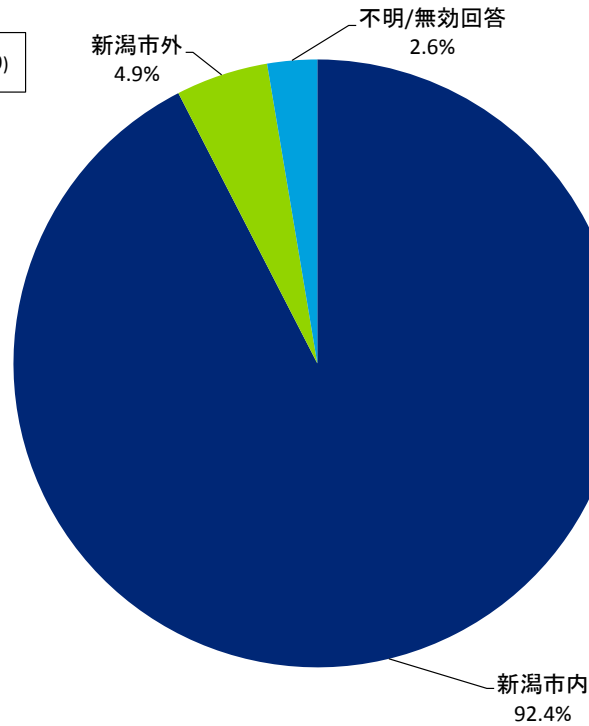




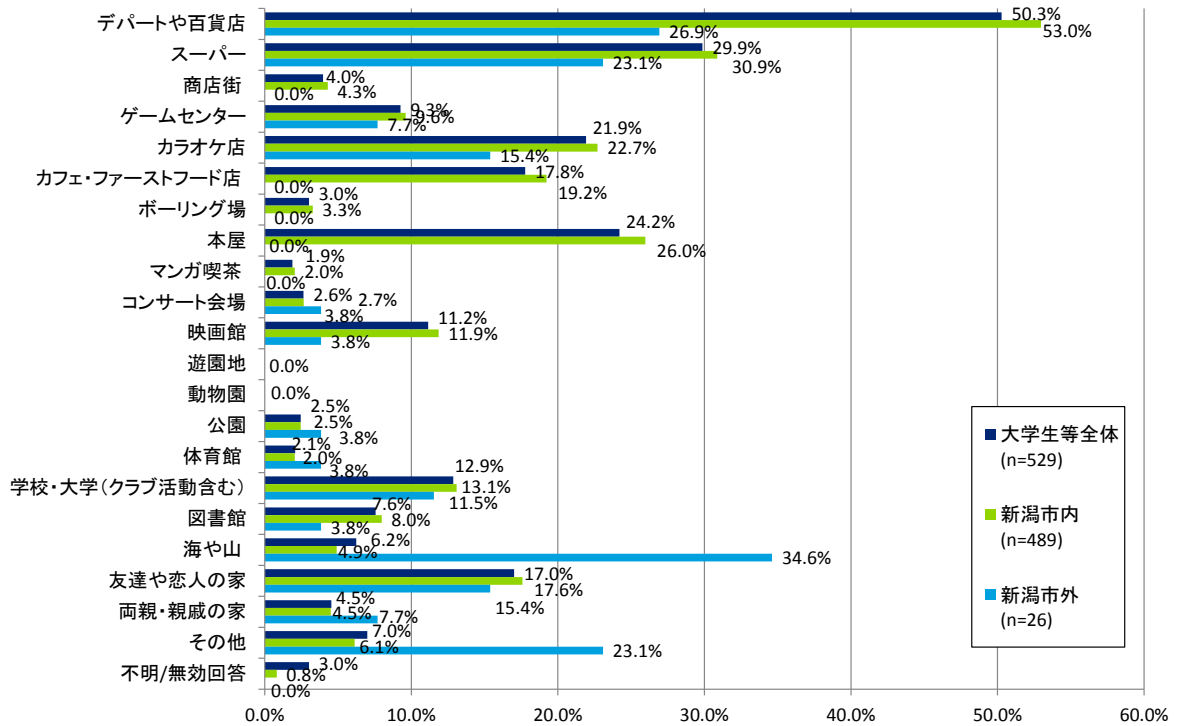


問30 休日に出かけるエリア

対象：大学生等全体(n=529)

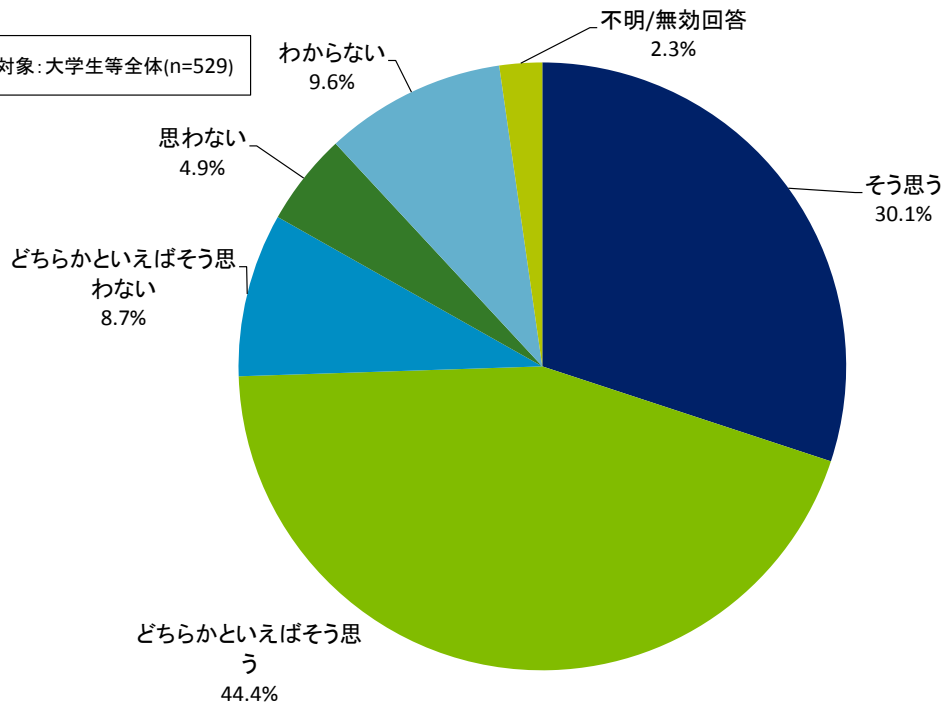


問31 休日出かける場所(休日に出かけるエリア別)



問32 新潟市のまちが好きか

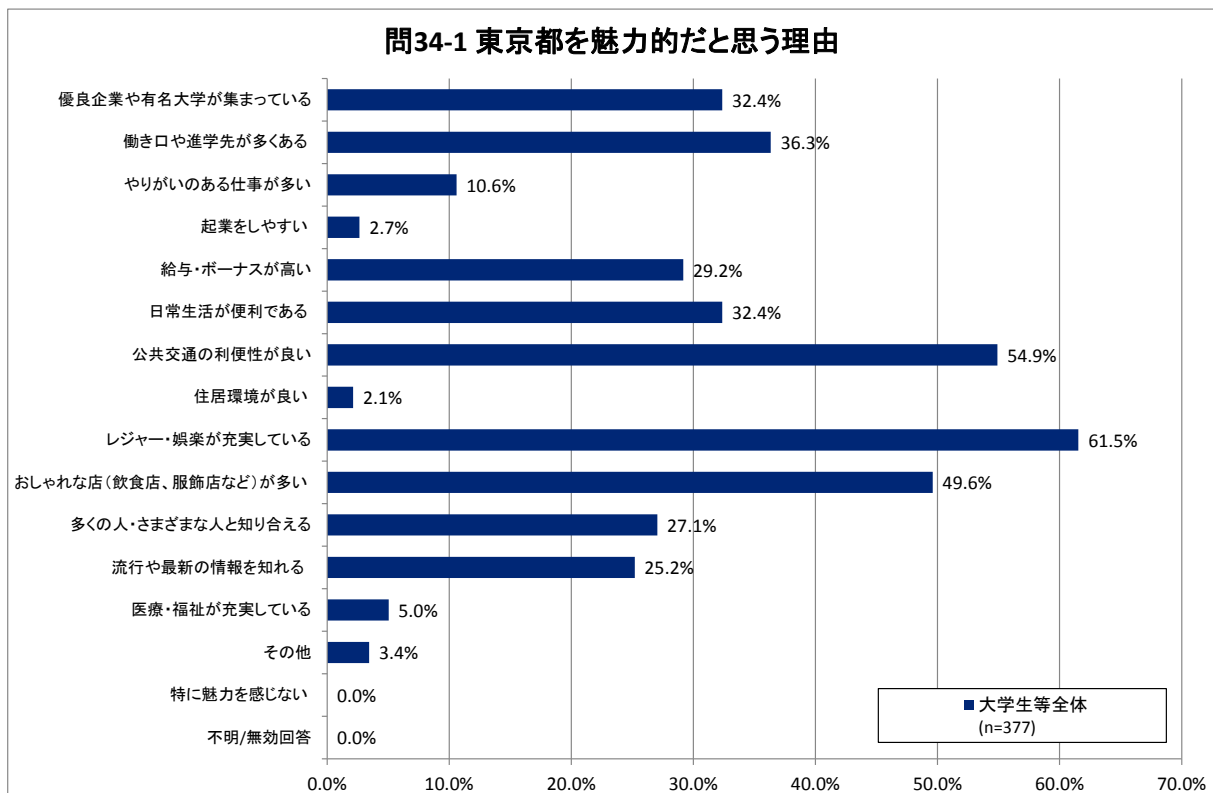
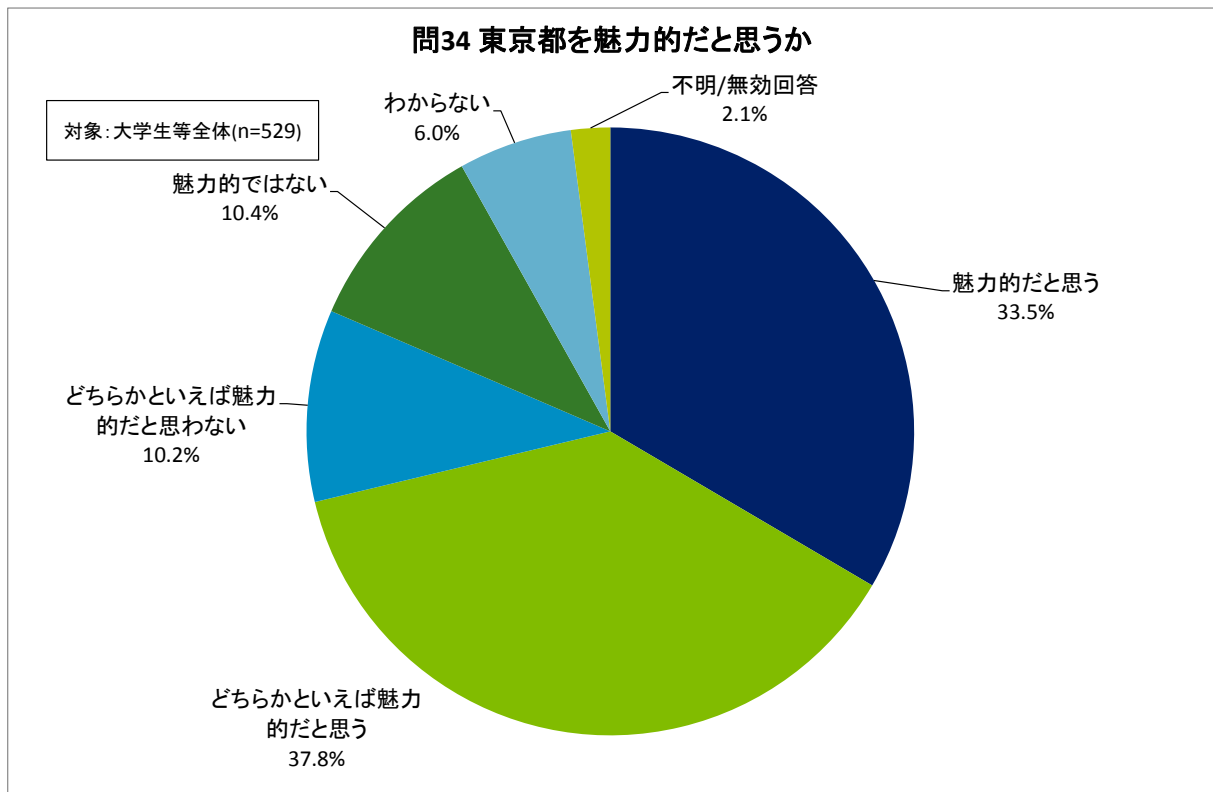
対象: 大学生等全体(n=529)



問 33 県外の人に勧める新潟市の紹介スポット Top10

(大学生等全体 n=529、総回答件数 780 件)

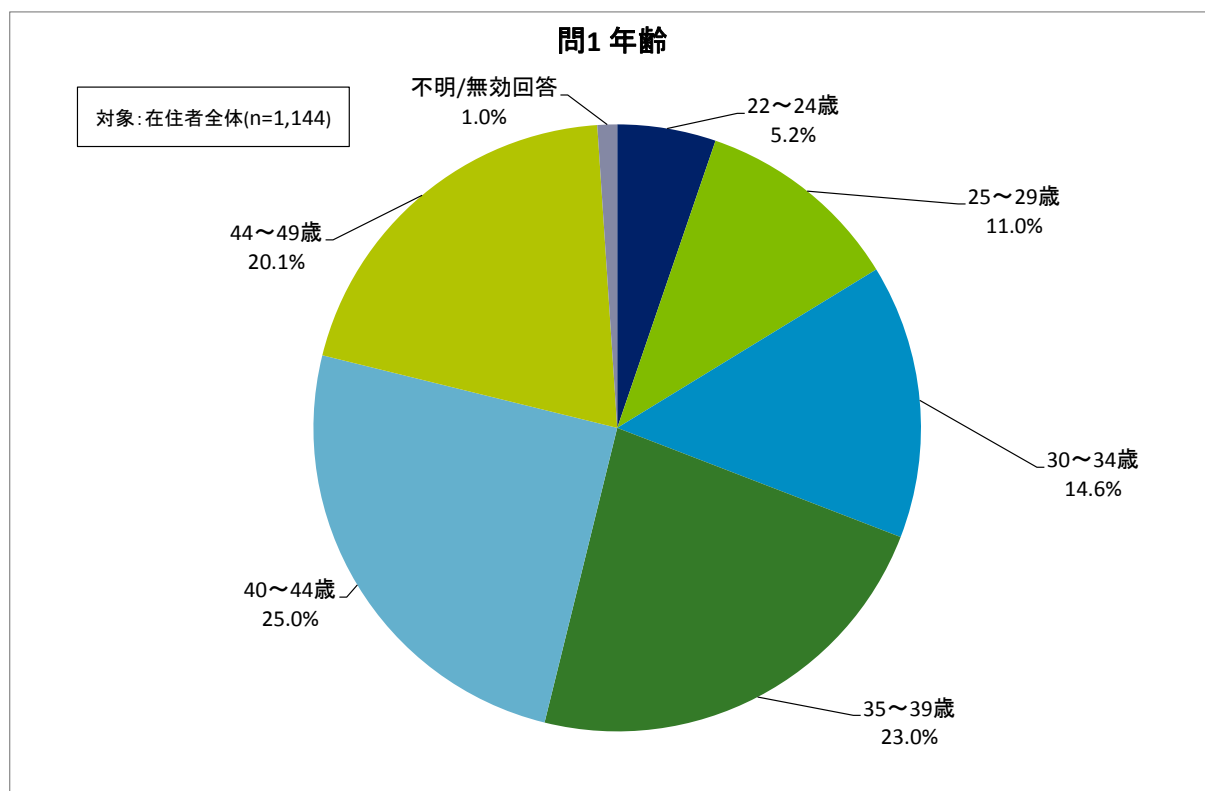
場所	件数	主な理由
万代(万代橋、万代シティ)	96	商業施設が充実しており、何でも買えるから 新潟市の中心街で、一番活気があるから メディアシップから綺麗な景色が見られるから
マリンピア日本海	72	誰と行っても楽しく過ごせるから 日本海側最大規模の水族館だから リニューアルオープンしたから
日本海(日本海夕日ライン、 笹川流れ、関屋浜など)	34	夕日が綺麗だから 新潟といえば海だと思うから
新潟ふるさと村	30	新潟の様々なお土産が売っているから 新潟の歴史を学べるから 子どもが遊ぶ場と大人が楽しめる場があるから
朱鷺メッセ	27	展望室から新潟を一望できるから
飲食店	27	ラーメンが美味しいから タレカツ丼を紹介したいから イタリアン(B級グルメ)を紹介したいから
古町(NEXT21、商店街)	24	新潟の歴史を感じられるから 多種多様なお店があるから 落ち着いた雰囲気だから
デンカビッグスワンスタジアム	18	日本最大級のスタジアムだから アルビレックス新潟の本拠地だから
やすらぎ堤	16	自然が豊かだから 信濃川を楽しめるから ゆっくり過ごせるから
新潟駅	16	新潟の有名なものが揃っているから 美味しい飲食店が多いから 商業施設が充実しており、何でも買えるから



(3) 在住者・転入者調査

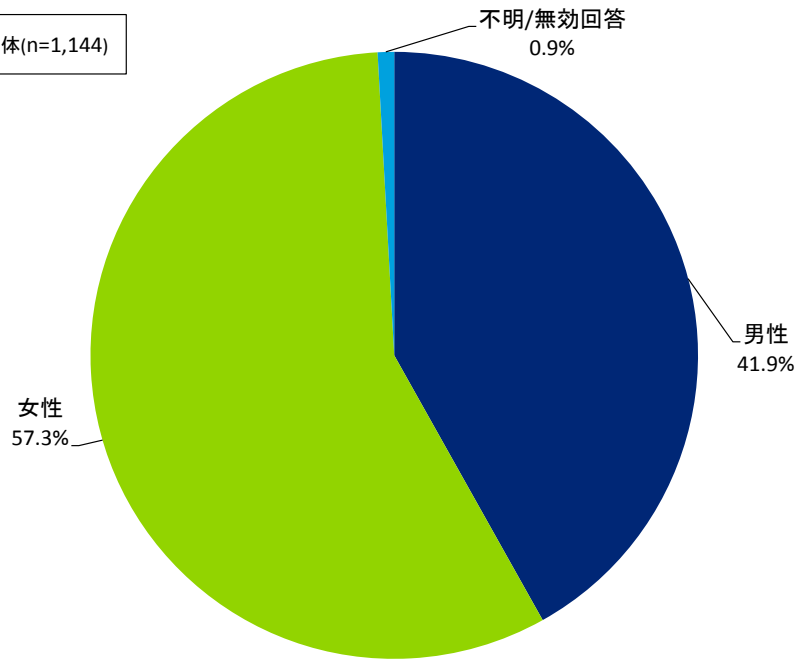
ア 属性について

- ・ 年齢は「22～24歳 (5.2%)」、「25～29歳 (11.0%)」、「30～34歳 (14.6%)」、「35～39歳 (23.0%)」、「40～44歳 (25.0%)」、「44～49歳 (20.1%)」となっている。
- ・ 性別は「男性 (41.9%)」、「女性 (57.3%)」となっている。
- ・ 職業は「正規の職員 (54.9%)」、「パート・アルバイト (17.7%)」、「家事専業 (9.4%)」の順で高い。
- ・ 居住区は「中央区 (29.6%)」、「西区 (18.8%)」、「東区 (17.1%)」の順で高い。
- ・ 居住年数は「15年以上 (65.9%)」、「10～14年 (8.7%)」、「6～9年 (9.1%)」の順で高い。
- ・ 家族形態は「夫婦と子ども (2世代) (47.3%)」、「夫婦と子どもと親 (3世代) (13.7%)」、「その他 (14.9%)」の順で高い。
- ・ 世帯年収は「300万円代 (13.8%)」、「500万円代 (13.5%)」、「400万円代 (13.0%)」の順で高い。
- ・ 住居の形態は「持ち家 (67.1%)」、「賃貸 (26.8%)」、「社宅・寮・官舎等 (3.1%)」、「公営住宅 (1.4%)」となっている。
- ・ 出身地は「新潟市内 (61.8%)」、「新潟市以外の新潟県内 (24.6%)」となっている。
- ・ 通勤・通学地は「新潟市内 (83.1%)」が最も高い。



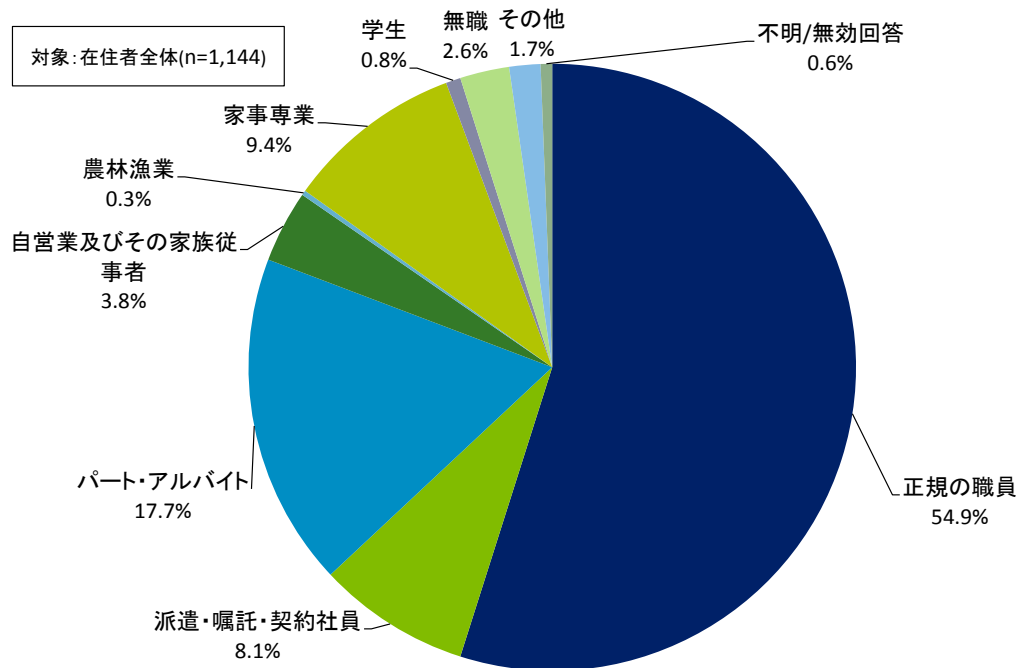
問1 性別

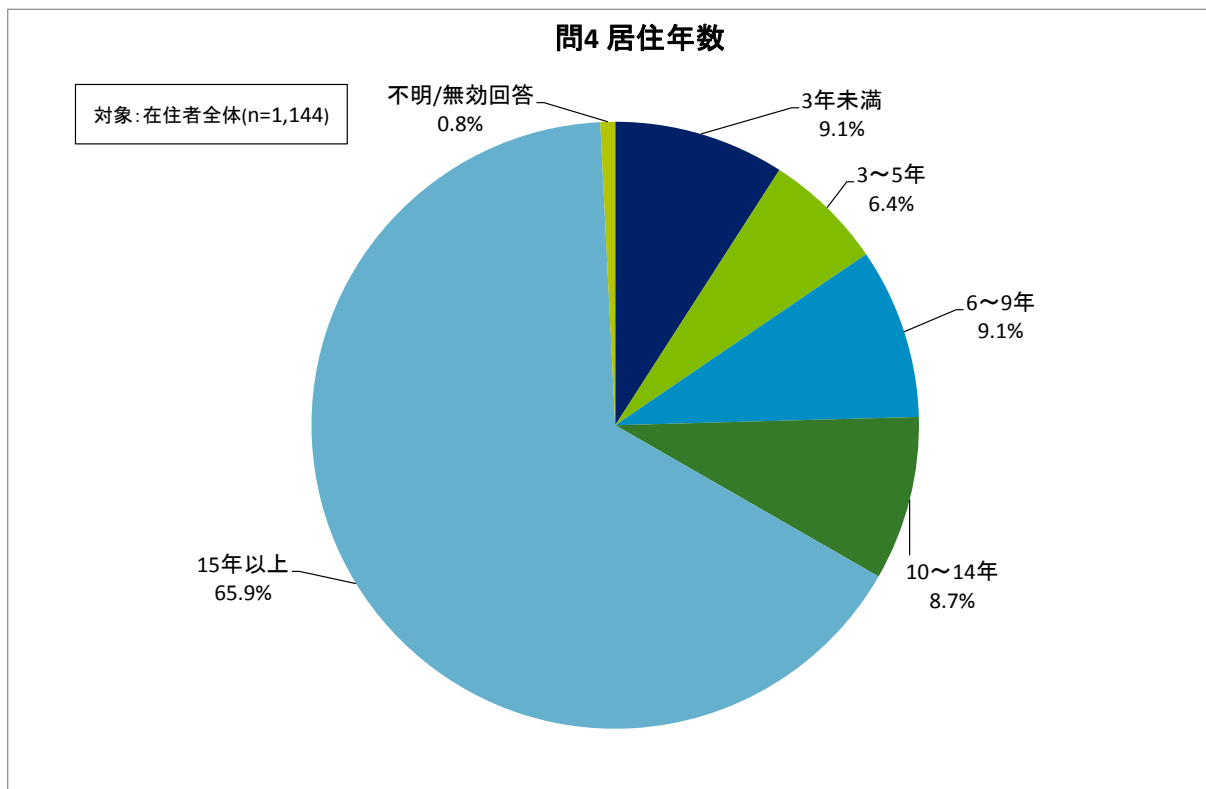
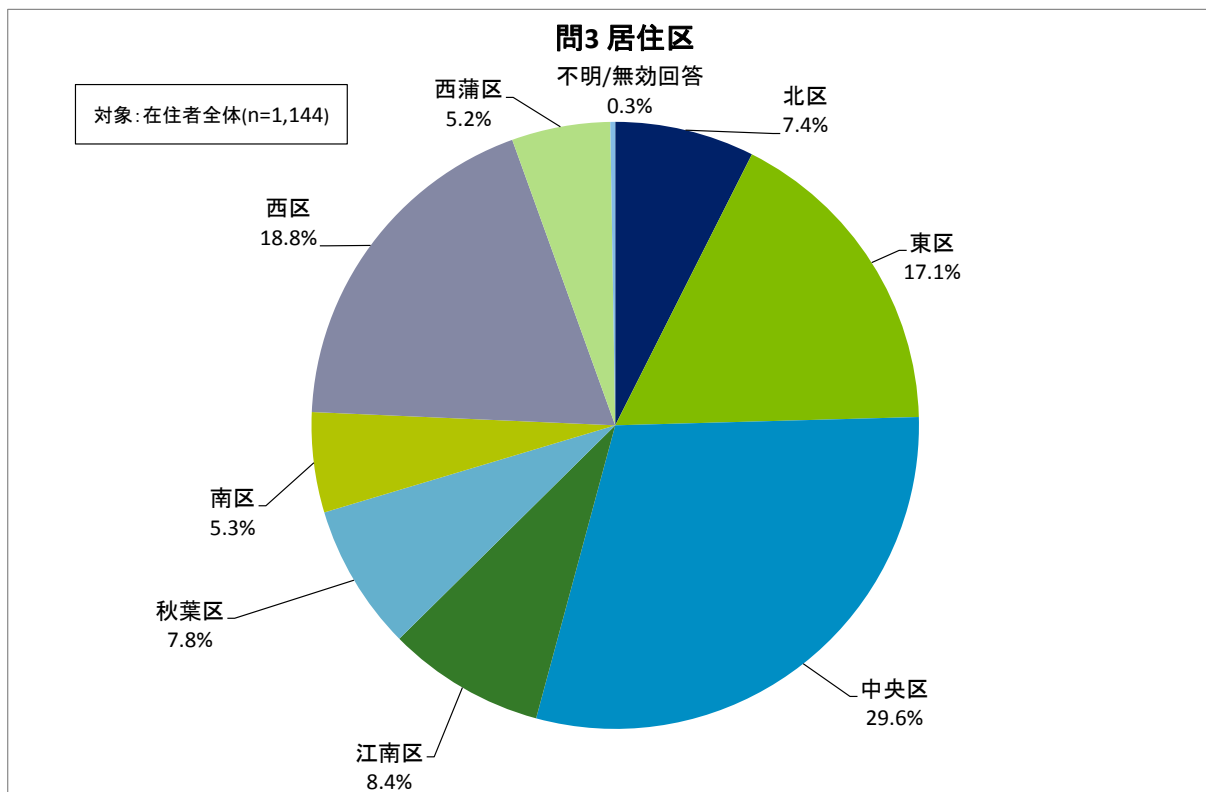
対象: 在住者全体(n=1,144)

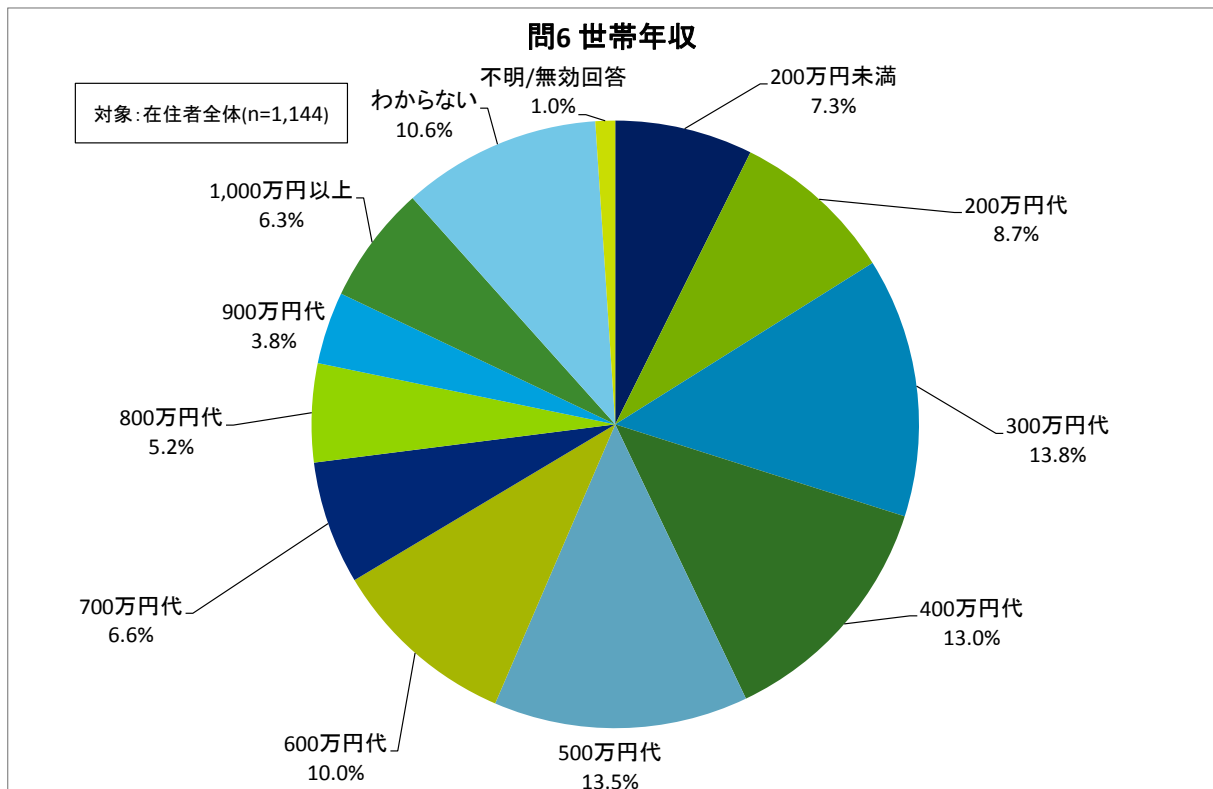
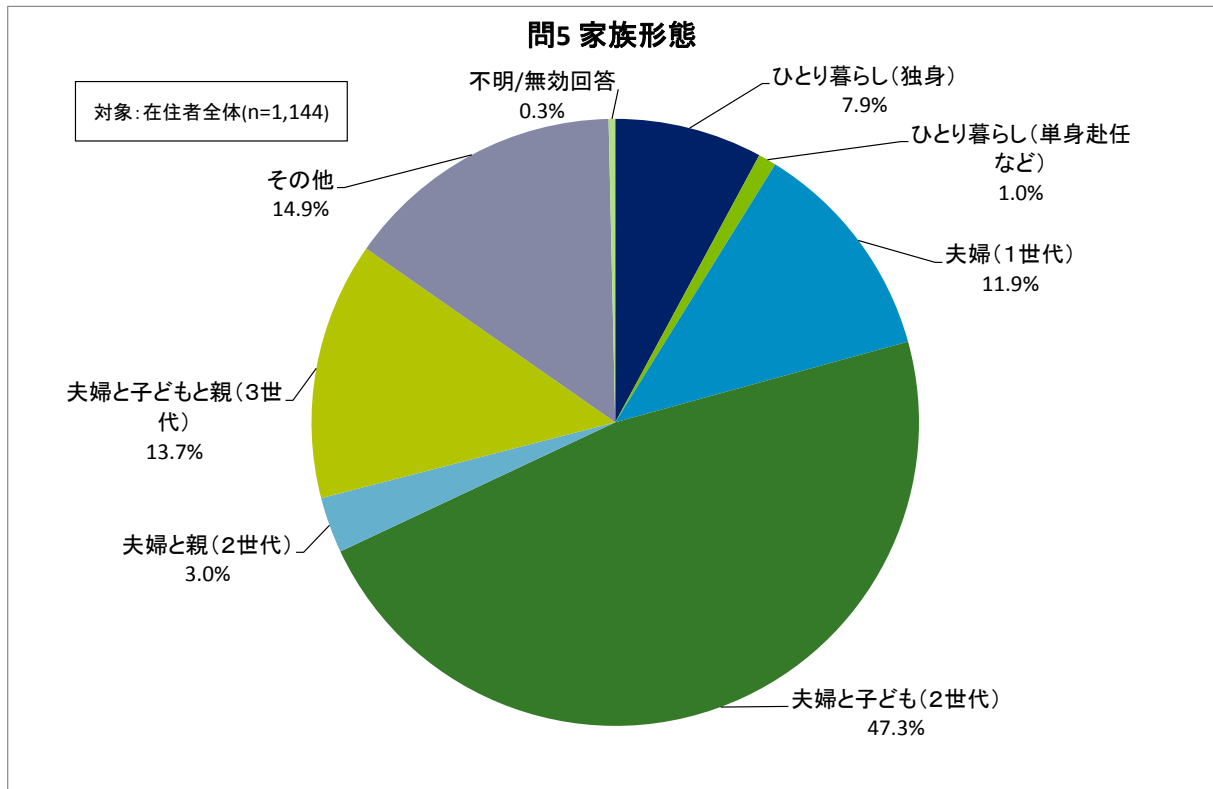


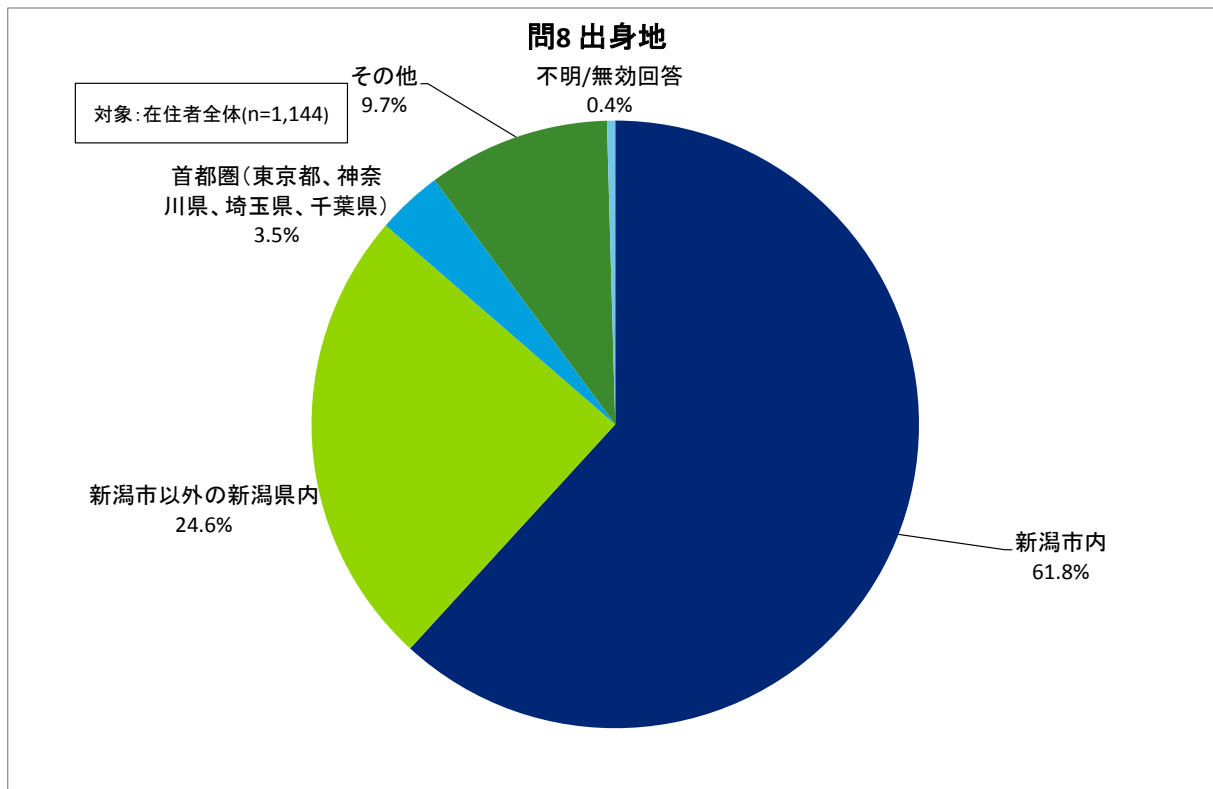
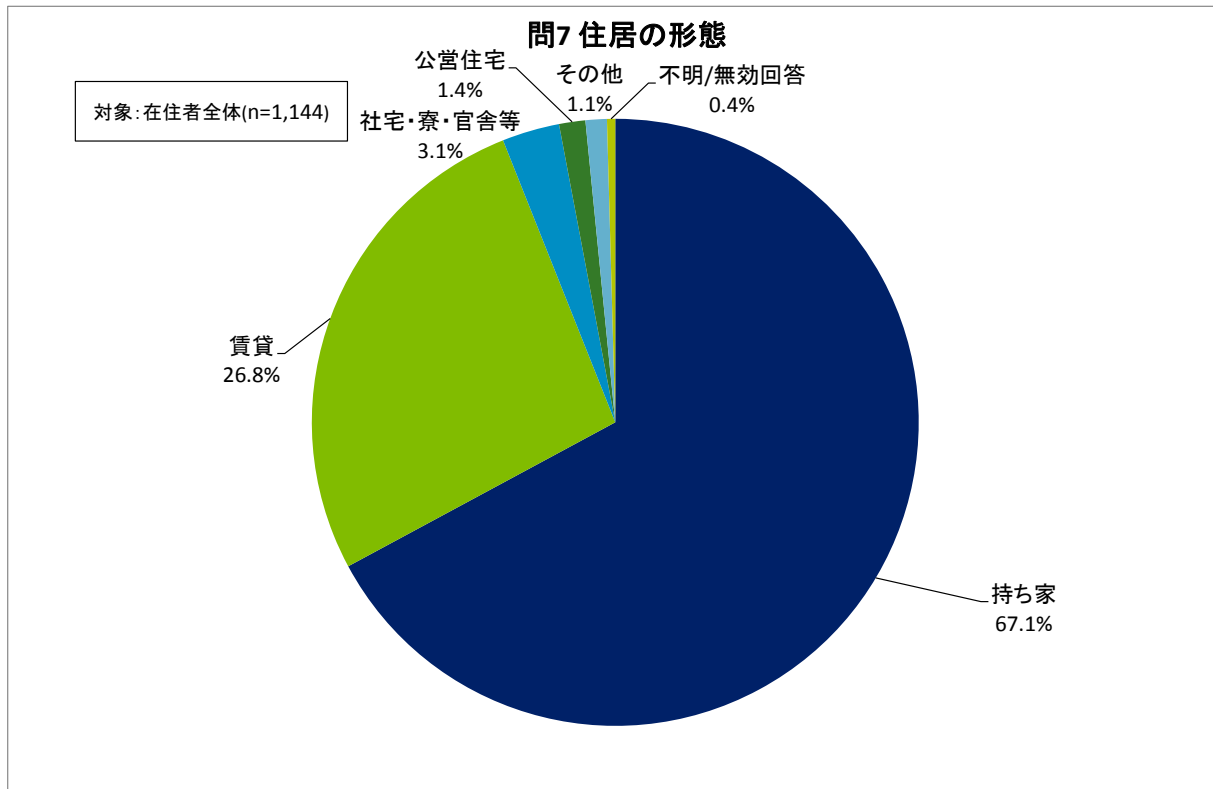
問2 職業

対象: 在住者全体(n=1,144)



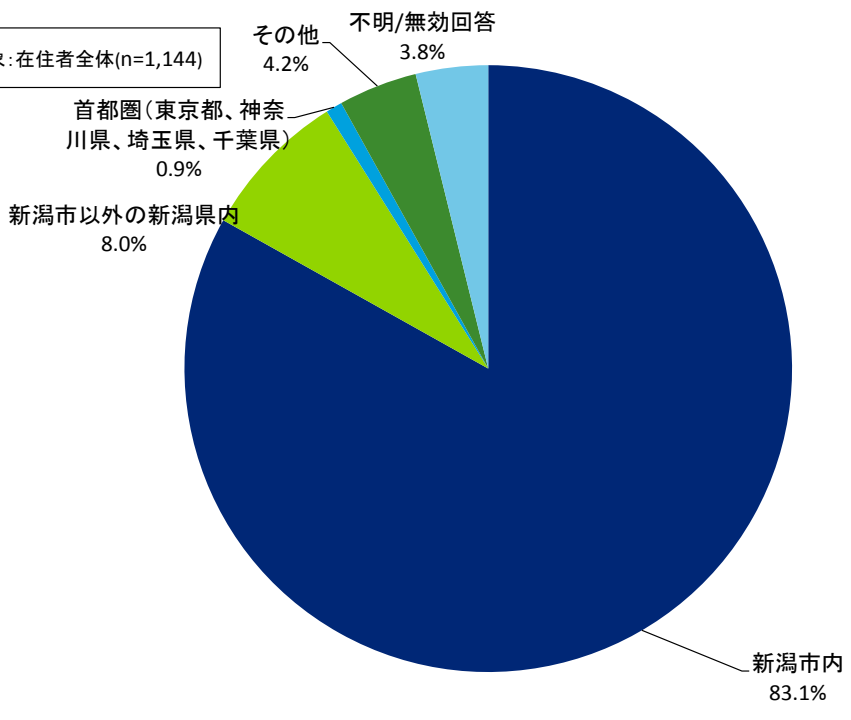






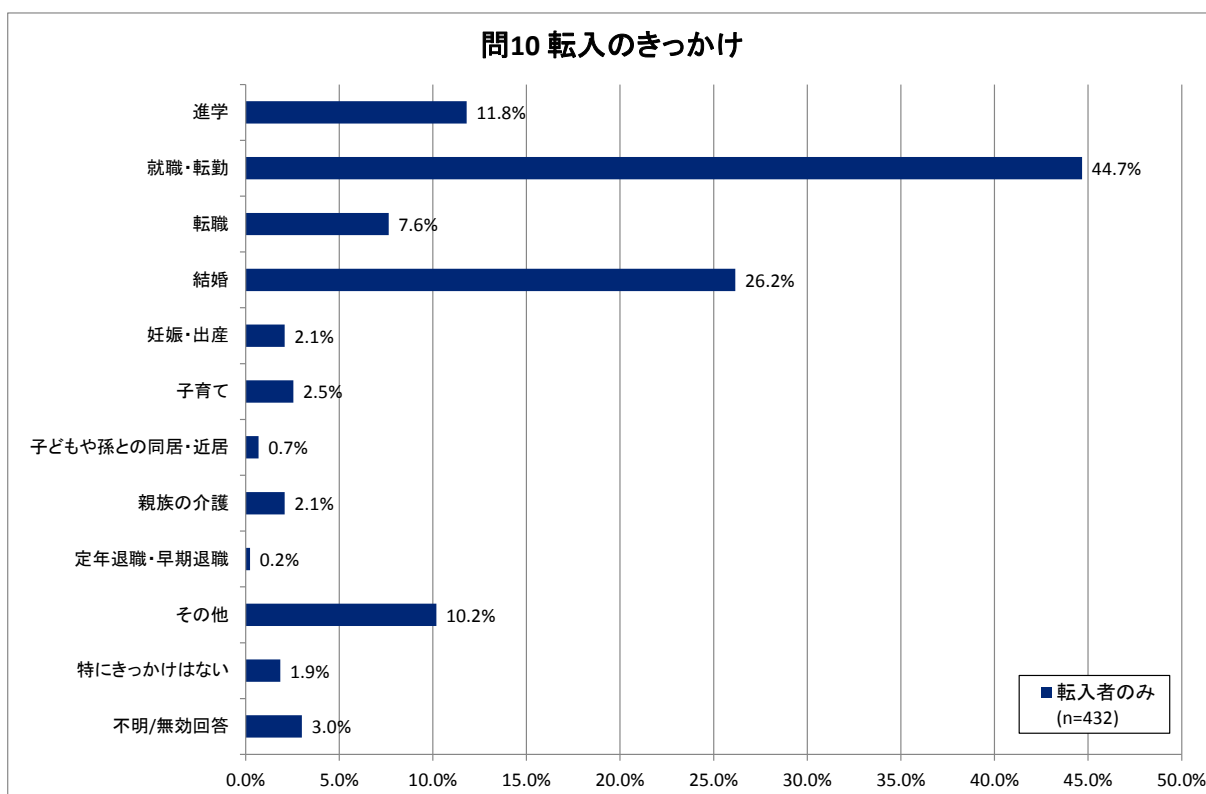
問9 通勤・通学地

対象: 在住者全体(n=1,144)

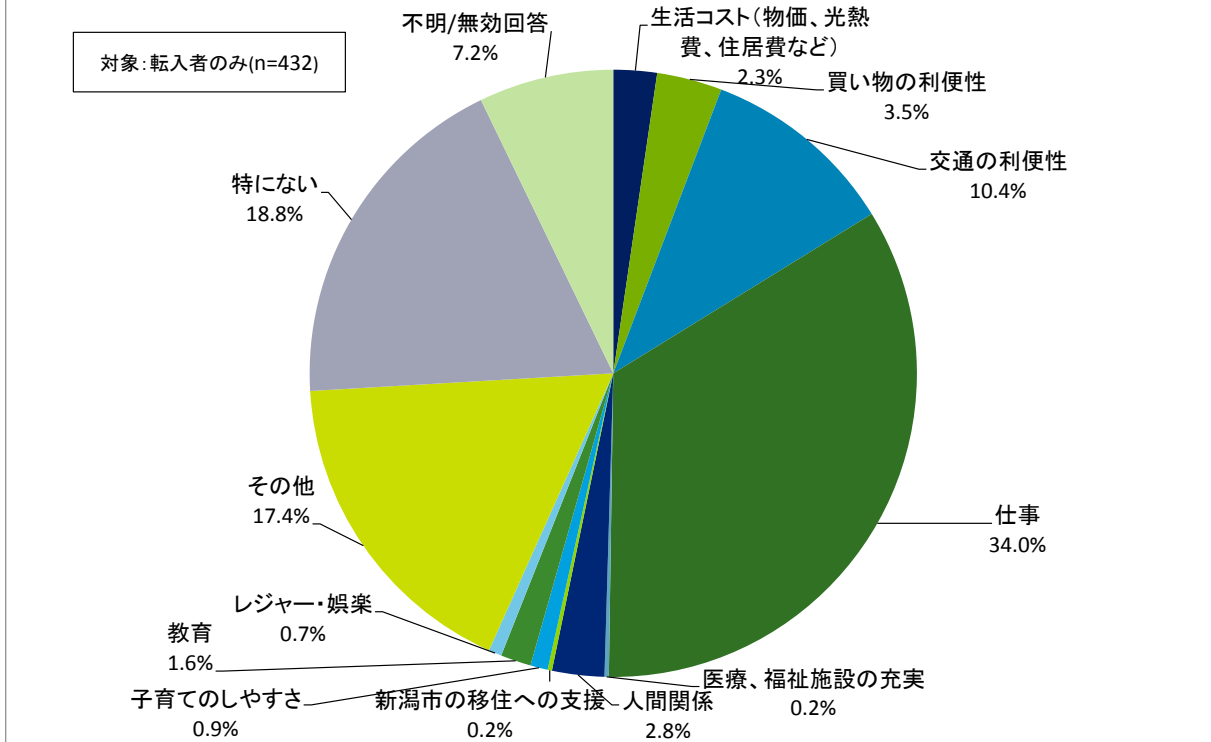


イ 転入について

- ・ 転入のきっかけは「就職・転勤 (44.7%)」、「結婚 (26.2%)」、「進学 (11.8%)」の順で高い。
- ・ 転入先として新潟市を選んだ理由は「仕事 (34.0%)」、「特になし (18.8%)」、「その他 (17.4)」の順で高い。
- ・ 新潟市以外で転入先を検討した市町村は「新潟市以外は検討していない(78.7%)」が最も高い。
- ・ 新潟市内で家を持ちたいかは「すでに持っている (50.5%)」、「持つ予定はない (24.5%)」、「今後、新潟市内で持ちたい (18.1%)」の順で高い。
- ・ 新潟市に家を持つ/持ちたい理由は「通勤・通学先へのアクセスが良いから (52.7%)」、「利便性 (買い物、病院、公共施設など) が良いから (41.6%)」、「実家がある、実家に近いから (34.5%)」の順で高い。
- ・ 今後の居住予定地をみると、「新潟市内 (65.3%)」、「首都圏 (6.0%)」、「新潟市以外の新潟県内 (5.3%)」となっている。
- ・ 男女別にみると、新潟市内に住み続ける予定の者の割合は「男性 (59.0%)」、「女性 (69.8%)」と女性の方が高い。
- ・ 居住予定地に住みたい理由は「希望する進学先や就職先があるから (32.9%)」、「通学・通勤などの面で、経済的に楽であるから (27.3%)」、「(自分の意志で) 両親や祖父母の近くで生活したいから (19.6%)」の順で高い。
- ・ 将来の新潟市へのUターン意向については、Uターン意向のある者が 14.7% (「思う (2.1%)」、「どちらかといえば思う (12.6%)」の合計) となっている。
- ・ 新潟市へいずれは戻りたい理由は「食べ物や水、空気がおいしいから (42.9%)」、「家族・親戚・知人など親しい人がいるから (42.9%)」、「生活コストが安いから (35.7%)」、「人が多すぎないから (35.7%)」の順で高い。
- ・ 新潟市に戻る時期は「わからない (57.1%)」、「就職・転職するとき (21.4%)」、「子どもが独立したとき (7.1%)」の順で高い。
- ・ 男女別にみると、「戻る時期がわからない」と回答した者は「男性 (37.5%)」、「女性 (83.3%)」と女性の方が高い。

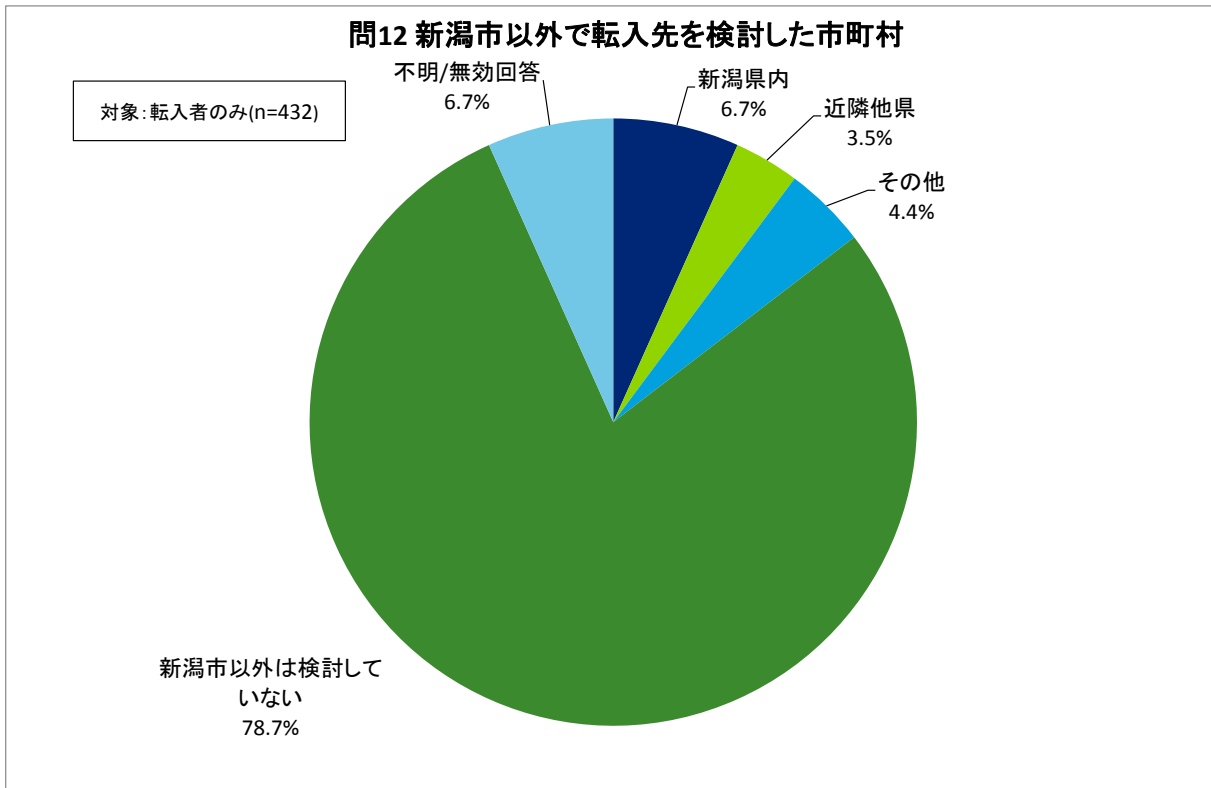


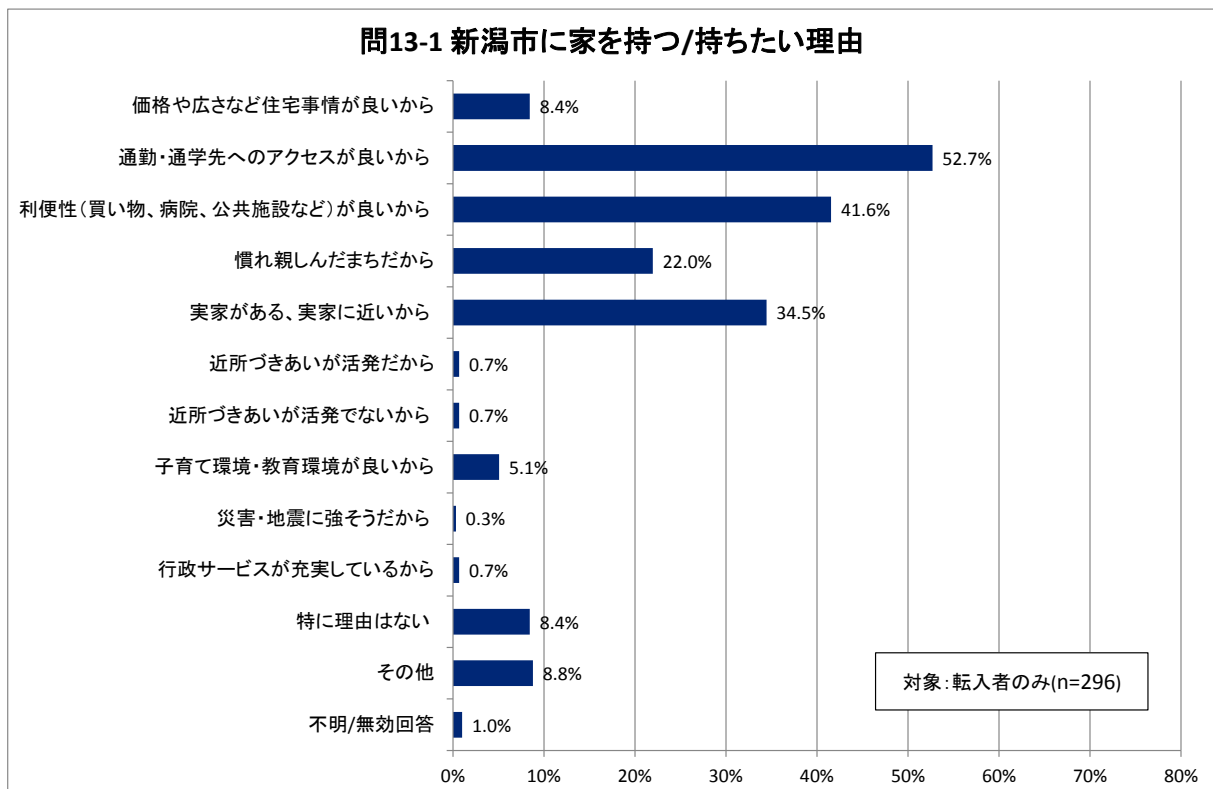
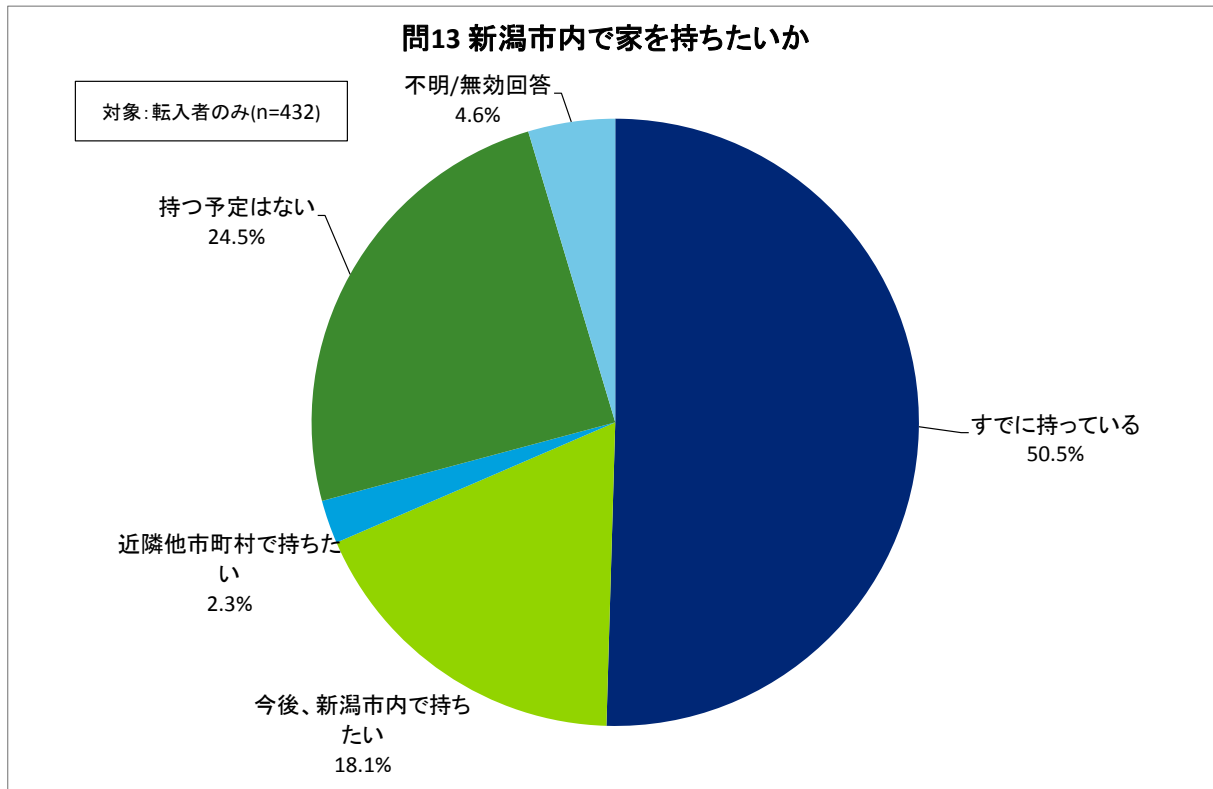
問11 転入先として新潟市を選んだ理由(重視した条件)

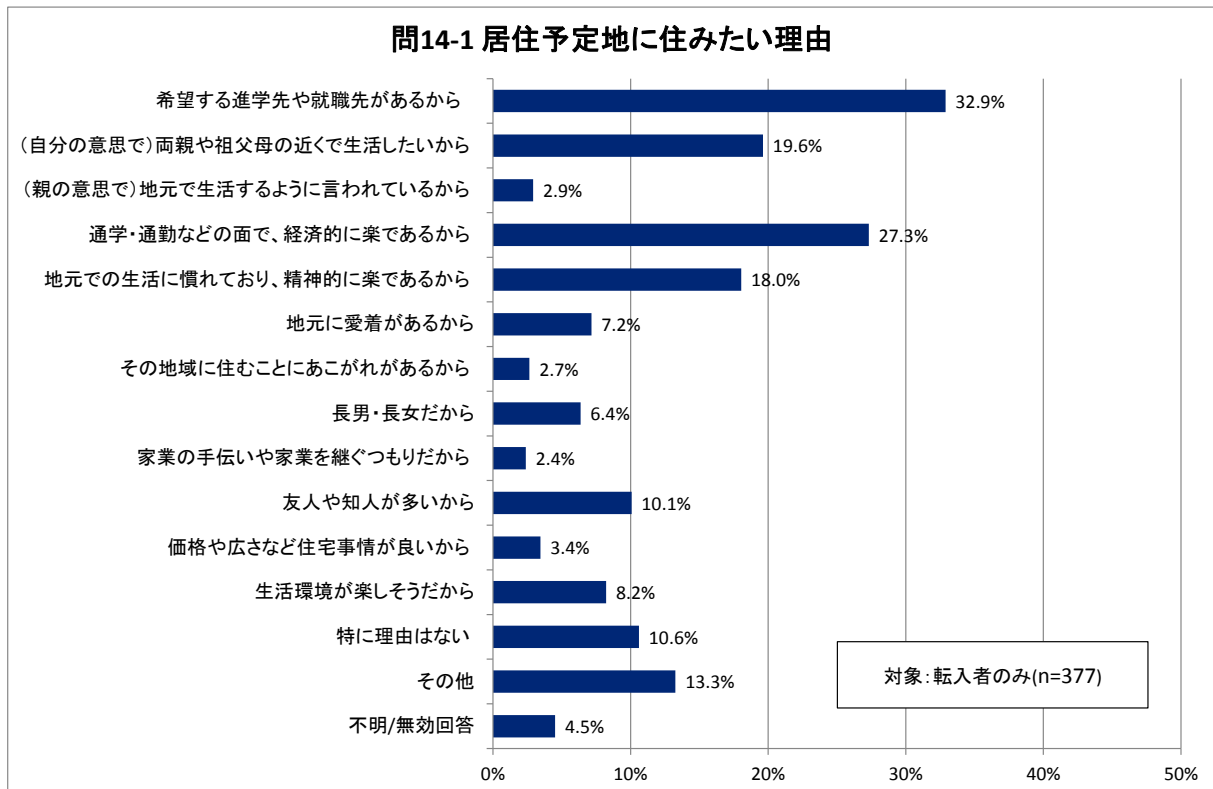
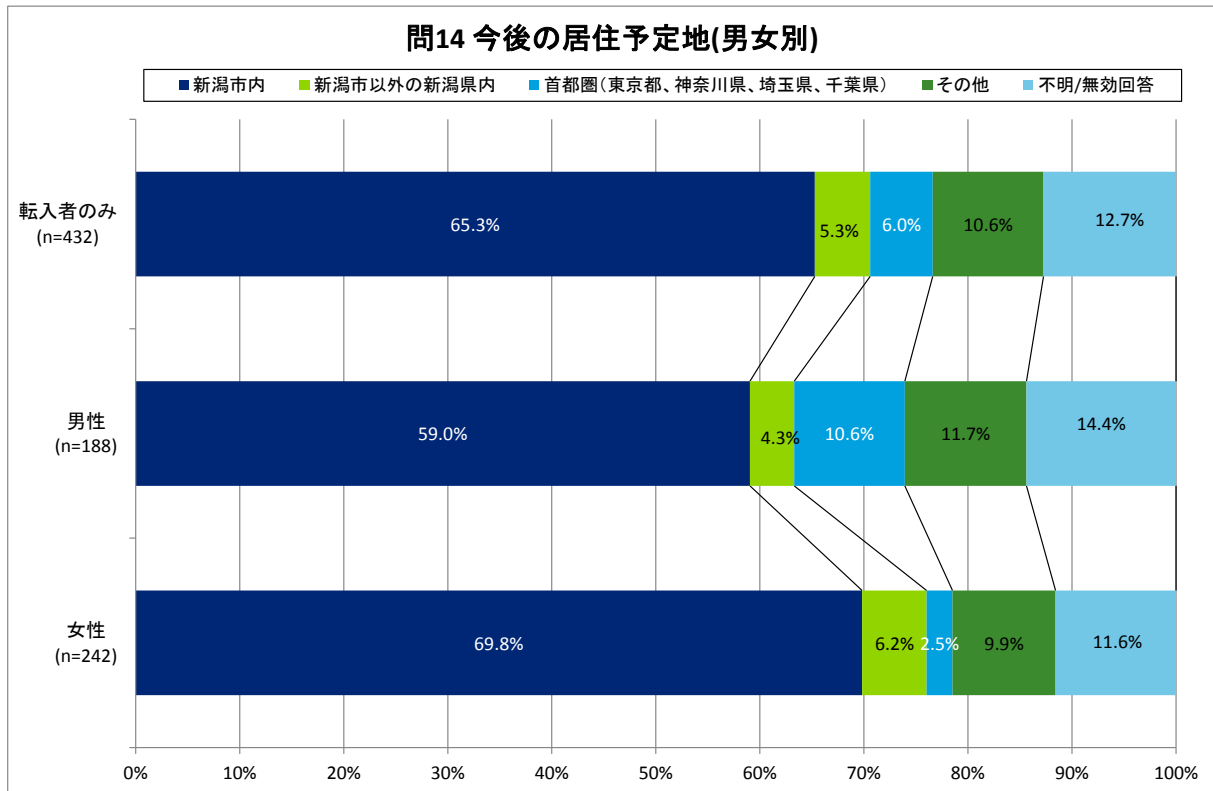


※「災害対策(治安含む)」は回答がなかったため、非表示にしています。

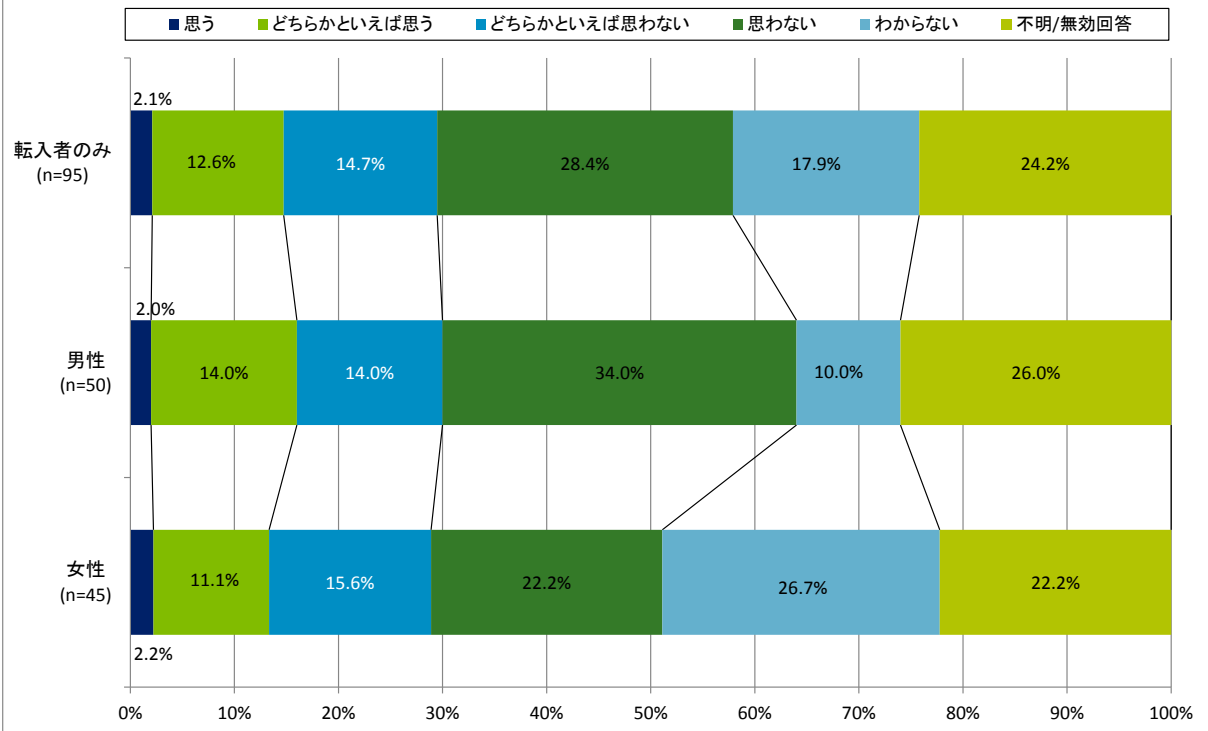
問12 新潟市以外で転入先を検討した市町村



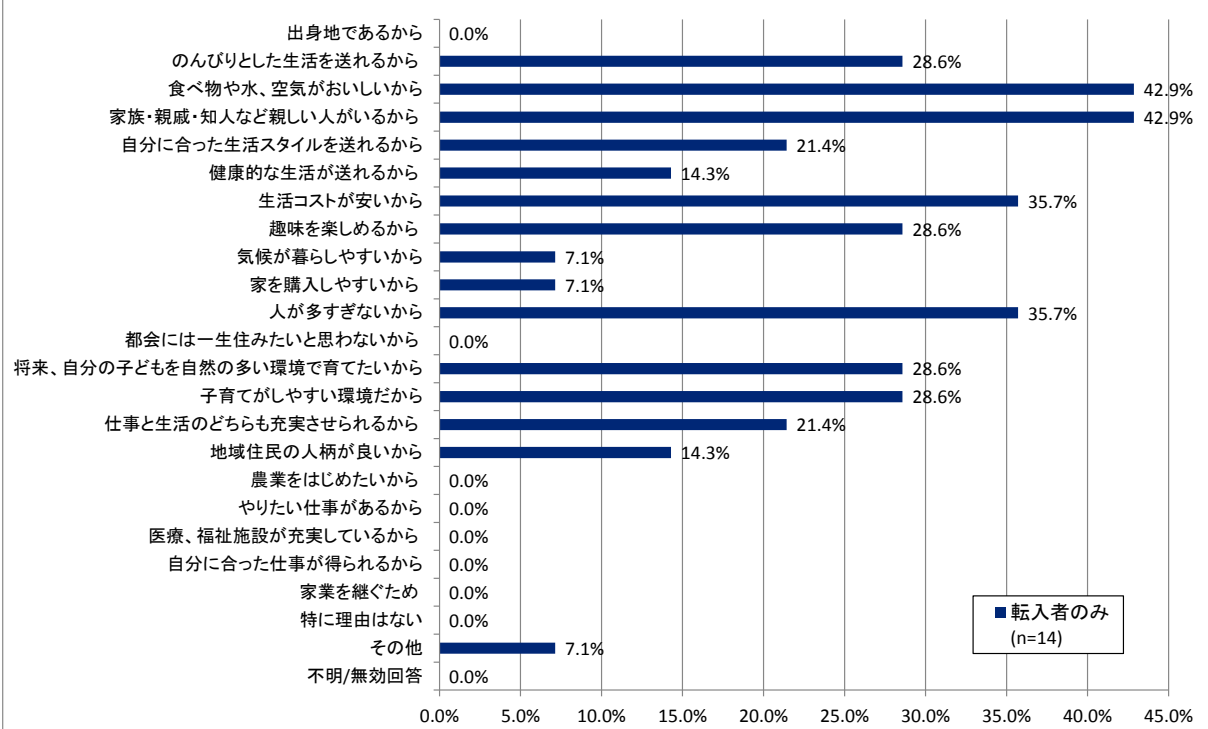


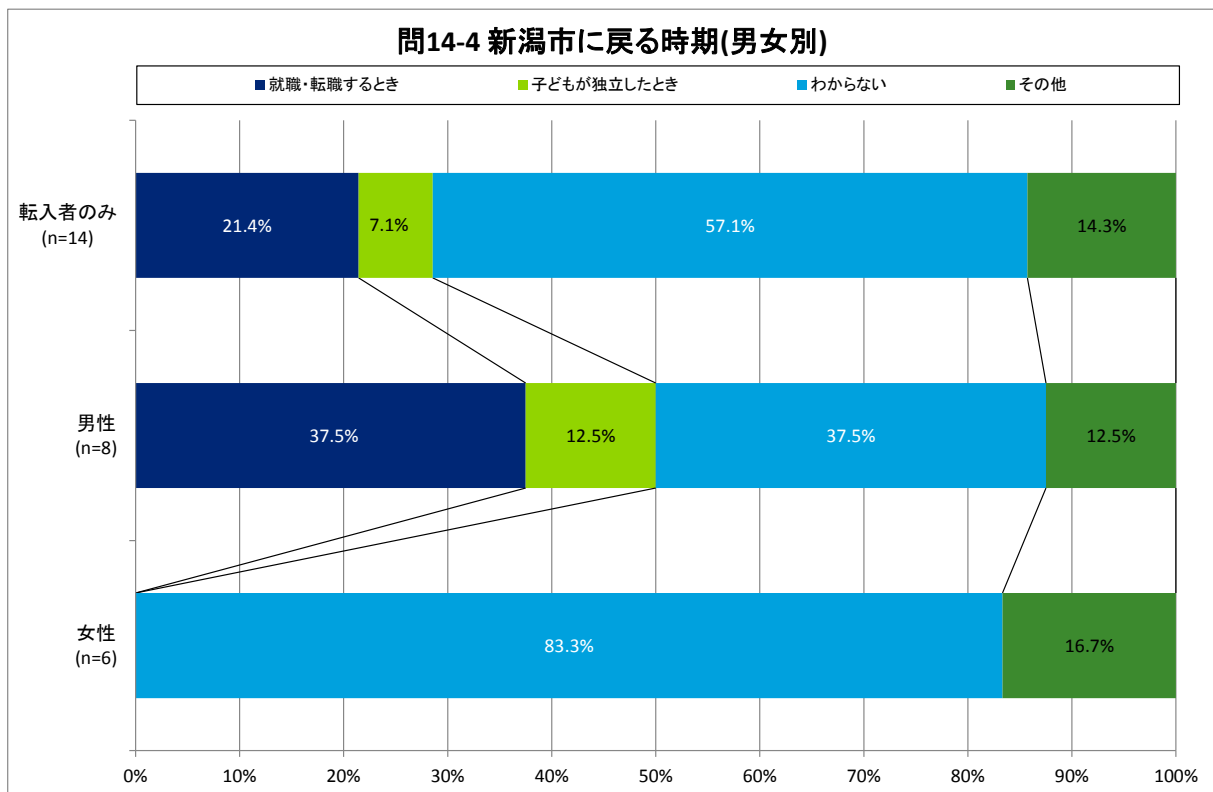


問14-2 将来の新潟市へのUターン意向(男女別)



問14-3 新潟市へいずれは戻りたいという理由

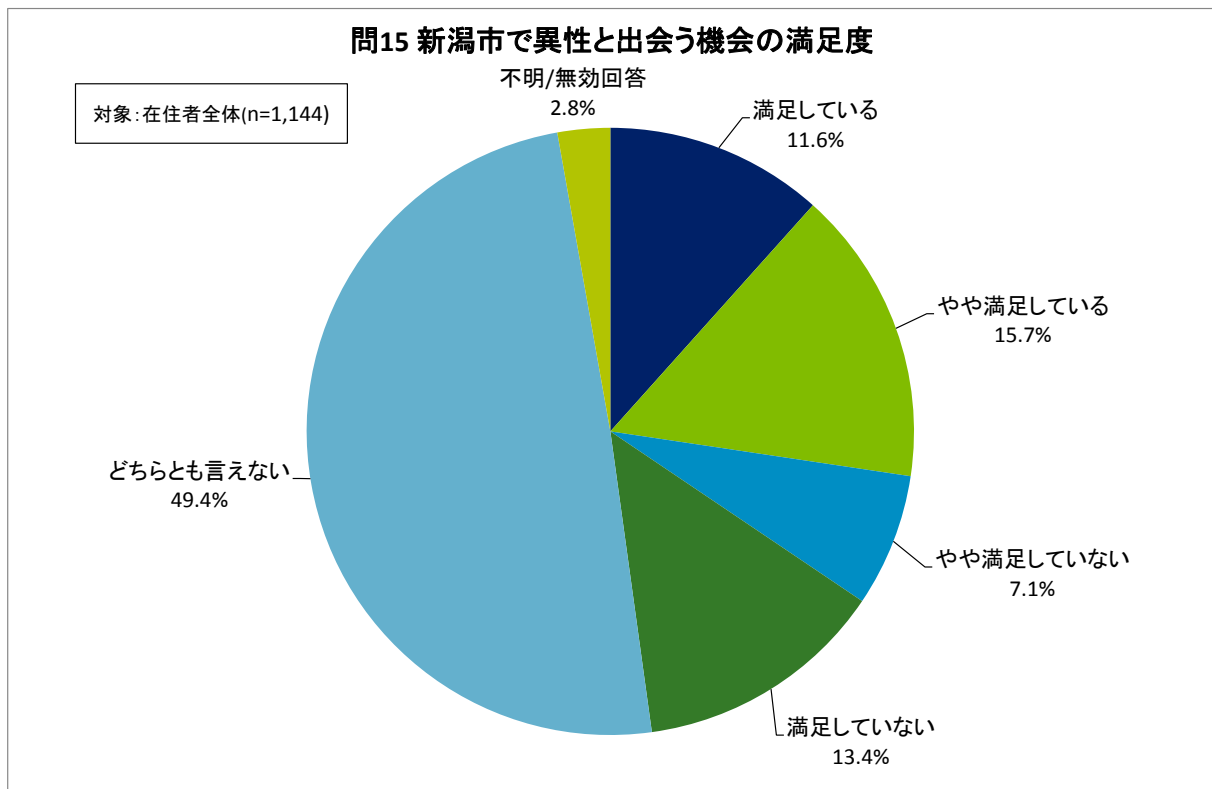


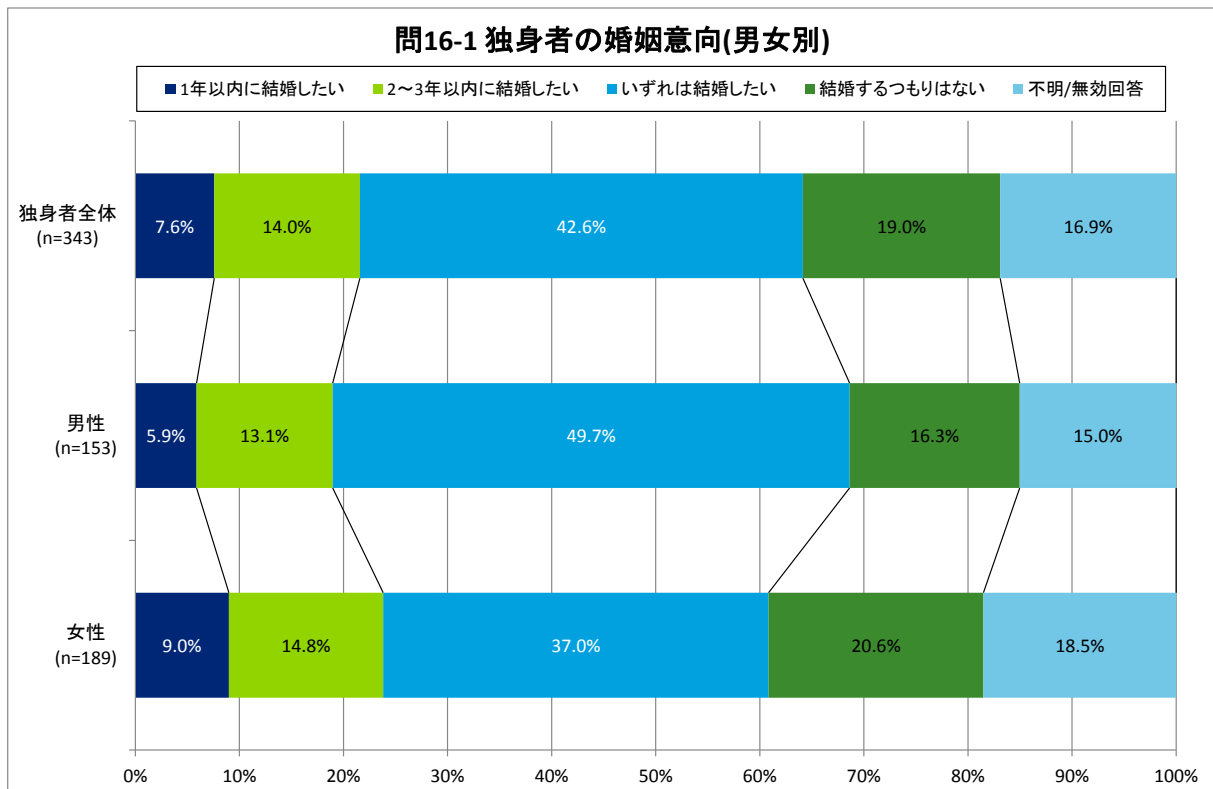
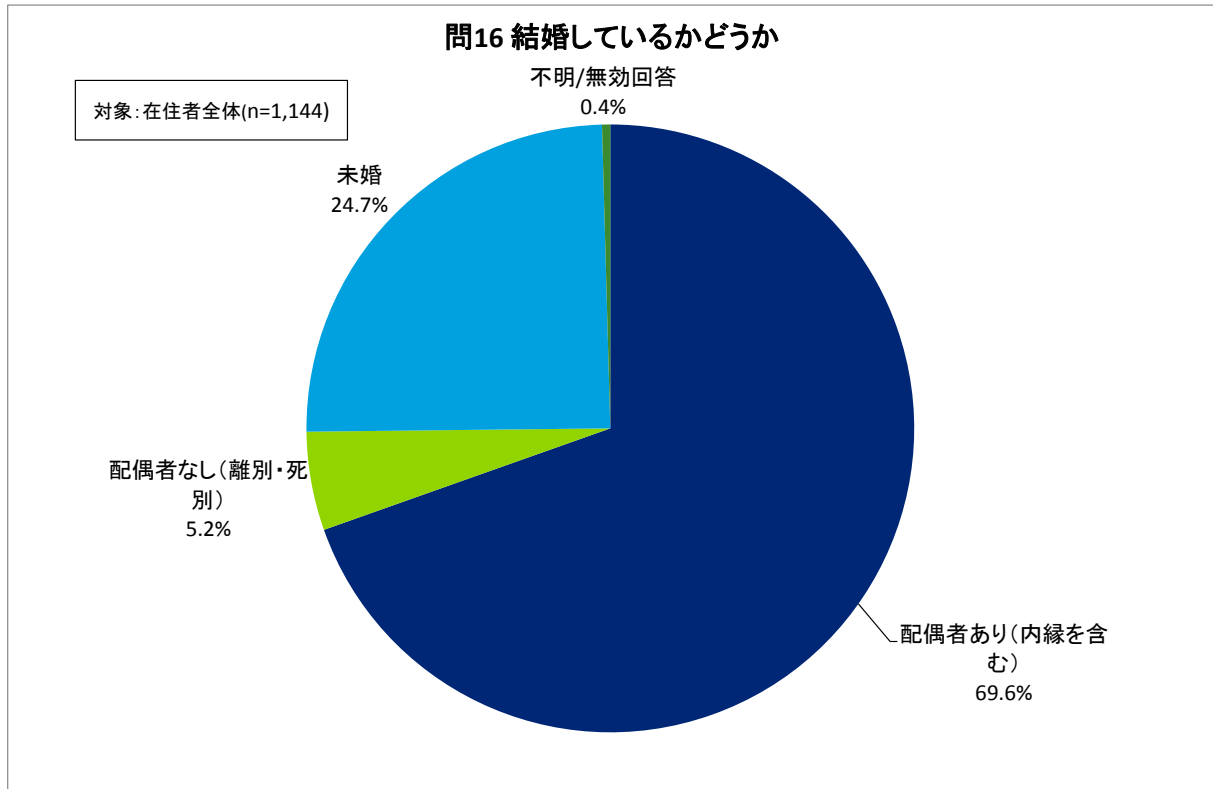


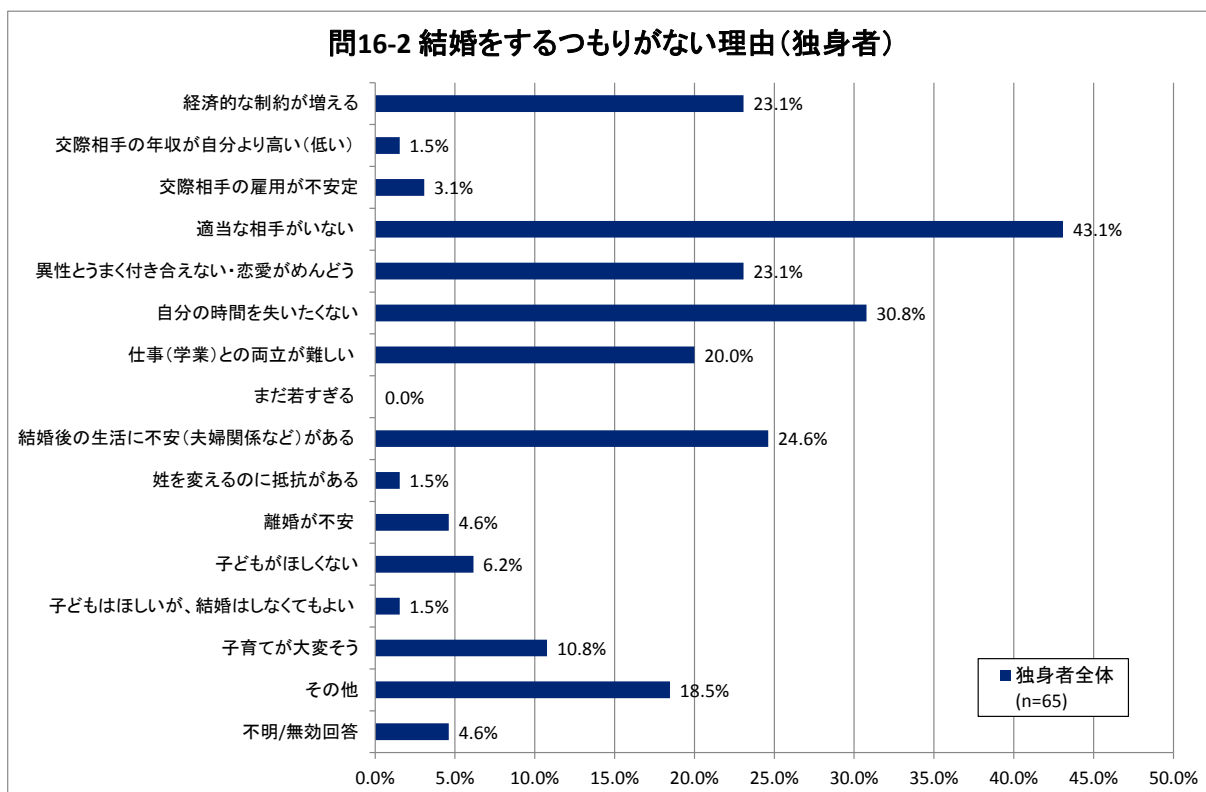
※「結婚するとき」、「子どもができた、増えたとき」、「親の介護をするとき」、「定年退職したとき」は回答がなかったため、非表示にしています。

ウ 結婚のしやすさについて

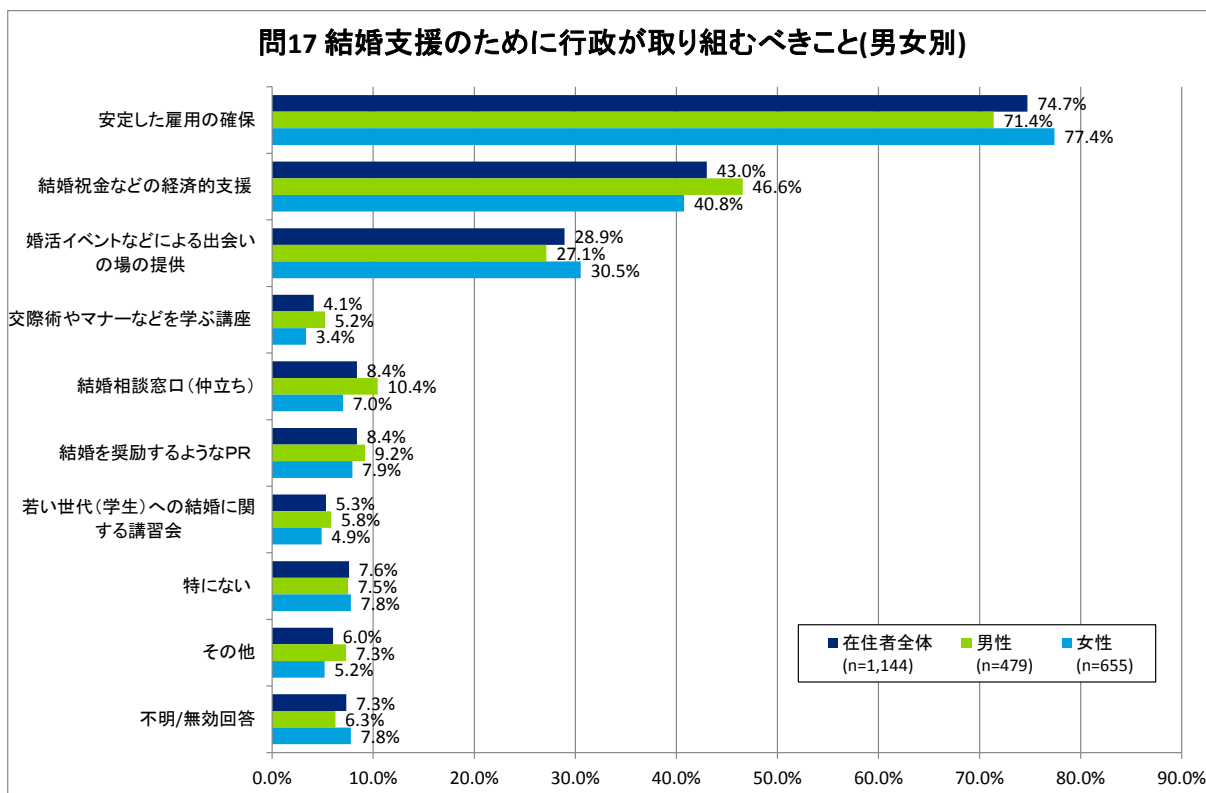
- ・ 異性と出会う機会の満足度は、満足している者が 27.3%（「満足している（11.6%）」、「やや満足している（15.7%）」の合計）となっている。
- ・ 結婚しているかどうかは「配偶者あり（内縁を含む）（69.6%）」、「配偶者なし（離別・死別）（5.2%）」、「未婚（24.7%）」となっている。
- ・ 独身者の婚姻意向は「いずれは結婚したい（42.6%）」、「結婚するつもりはない（19.0%）」、「2～3年以内に結婚したい（14.0%）」の順で高い。
- ・ 男女別にみると、「いずれは結婚したい」と回答した者は「男性（49.7%）」、「女性（37.0%）」と男性の方が高い。
- ・ 結婚をするつもりがない理由は「適切な相手がない（43.1%）」、「自分の時間を失いたくない（30.8%）」、「結婚後の生活に不安（夫婦関係など）がある（24.6%）」の順で高い。
- ・ 結婚支援のために行政が取り組むべきことは「安定した雇用の確保（74.7%）」、「結婚祝金などの経済的支援（43.0%）」の順で高い。
- ・ 企業が取り組むべきことは、男女別にみると、男性は「給与・ボーナスを増やす（54.9%）」、「正規社員登録の増加（33.4%）」、「出産後に復職しやすい職場環境づくり（31.7%）」の順で高く、女性は「出産後に復職しやすい職場環境づくり（48.1%）」、「給与・ボーナスを増やす（42.3%）」、「育児休業制度の導入・充実（36.9%）」の順で高い。



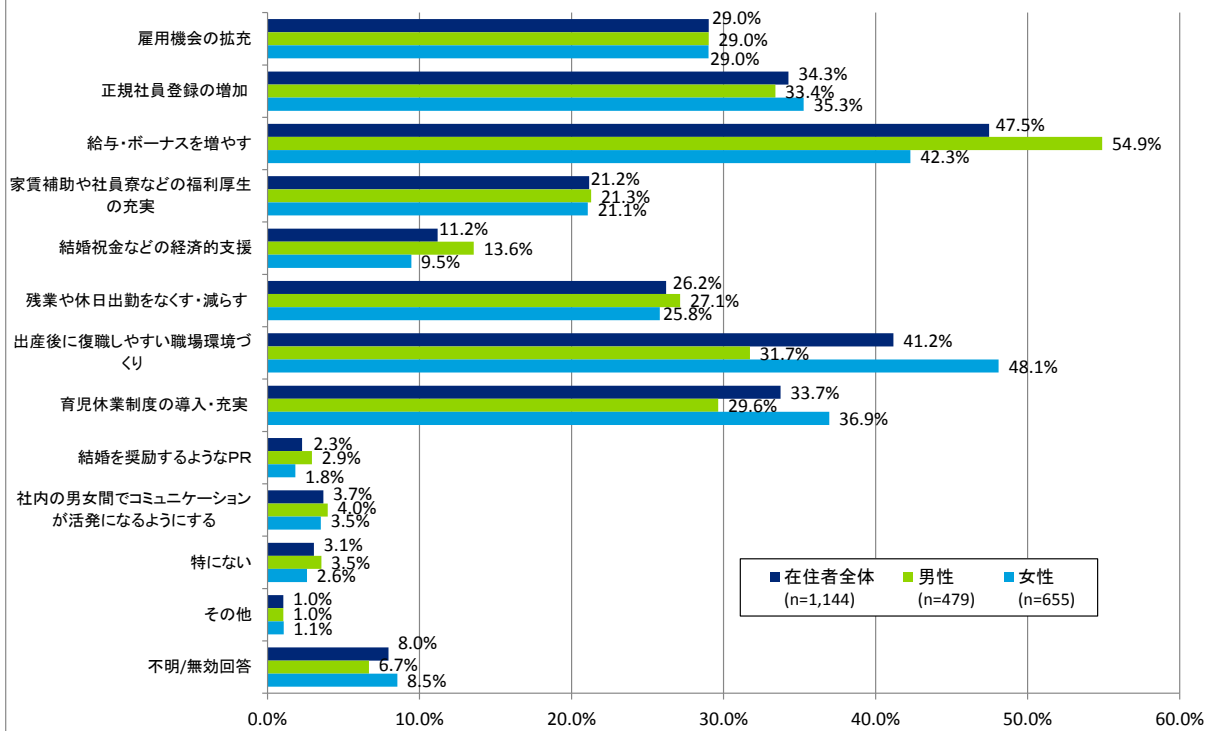




※「結婚後の生活に不安(夫婦関係など)がある」は、「親戚づきあいや結婚後の夫婦関係など結婚後の生活に(経済的なもの以外で)不安がある」の略式回答として表示しています。



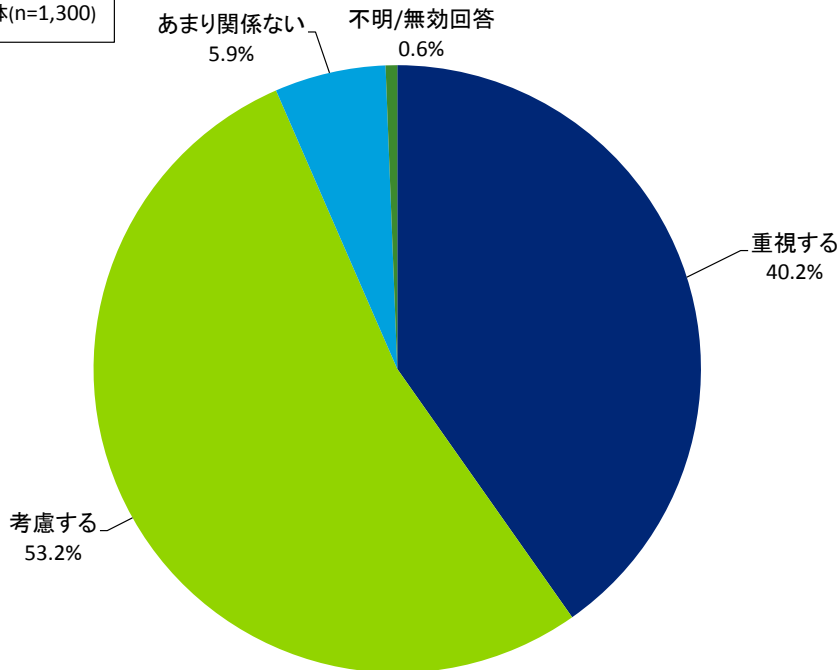
問18 結婚支援のために企業が取り組むべきこと(男女別)

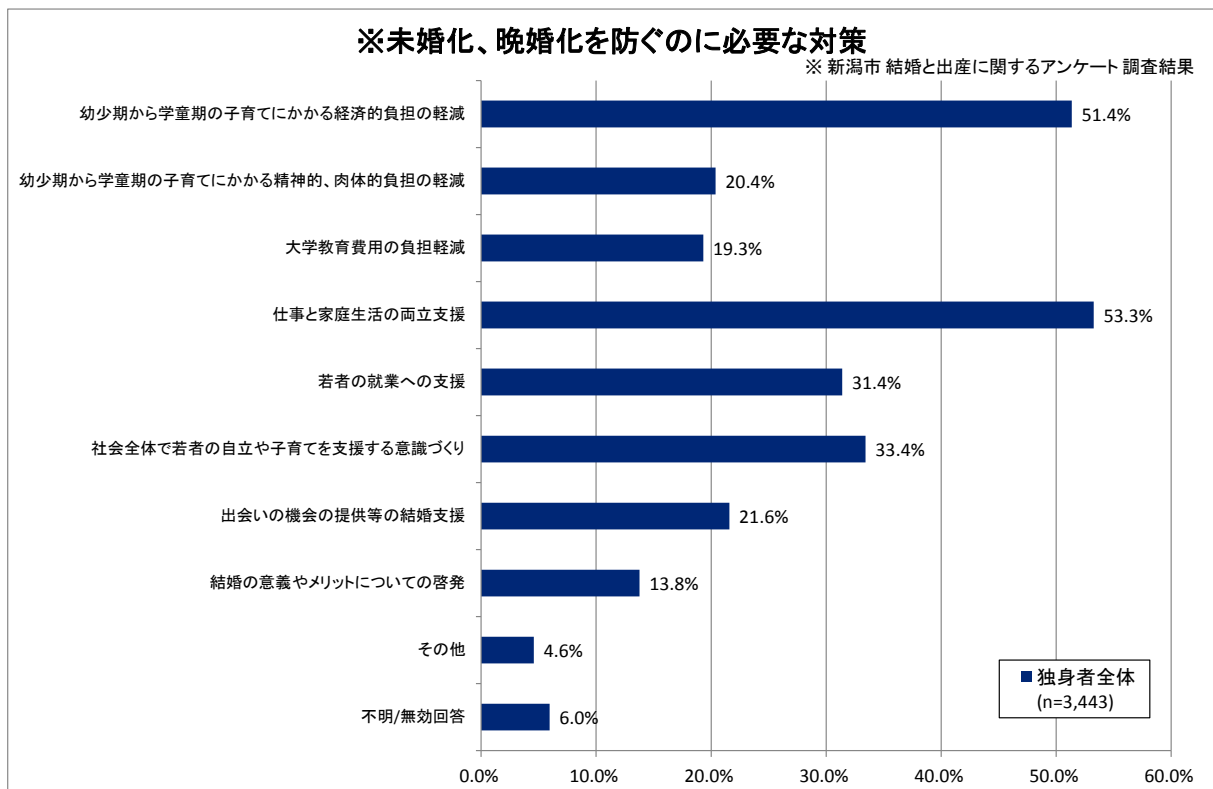
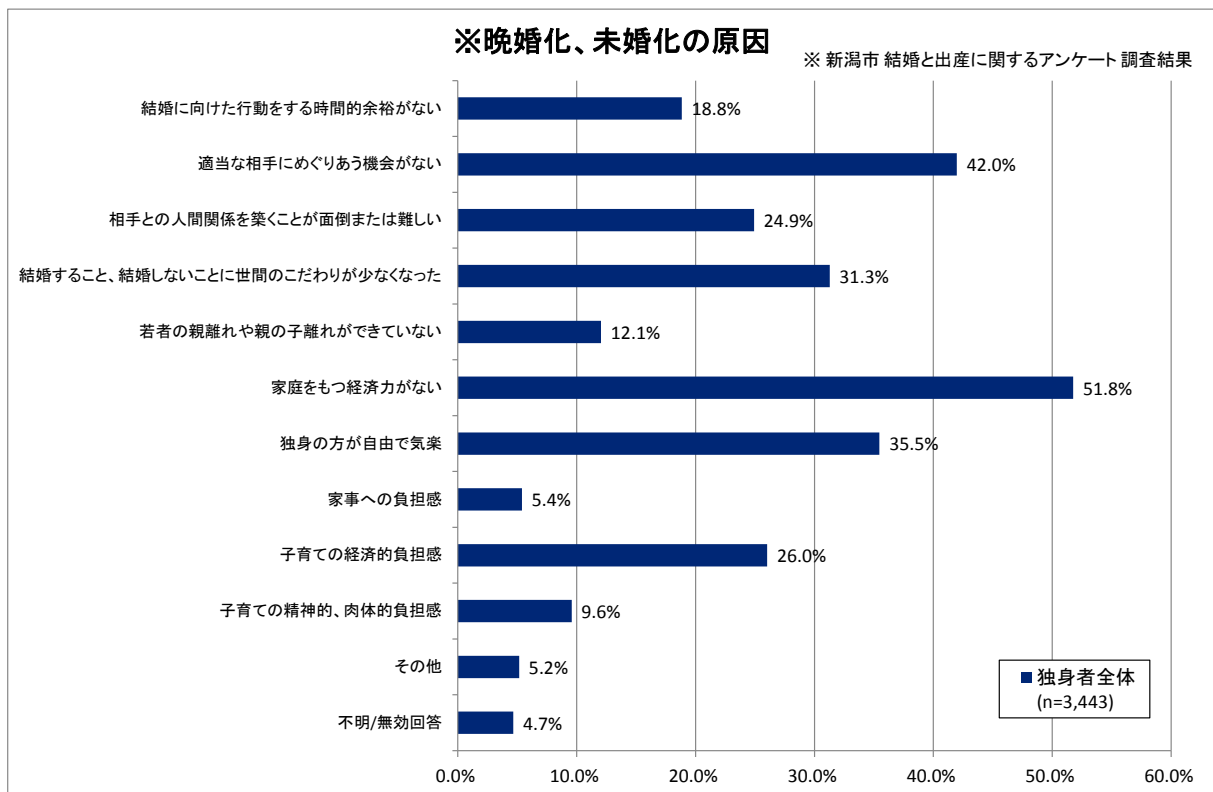


※結婚相手を決めるとき、相手の経済力を重視するか(女性)

※新潟市 結婚と出産に関するアンケート調査結果

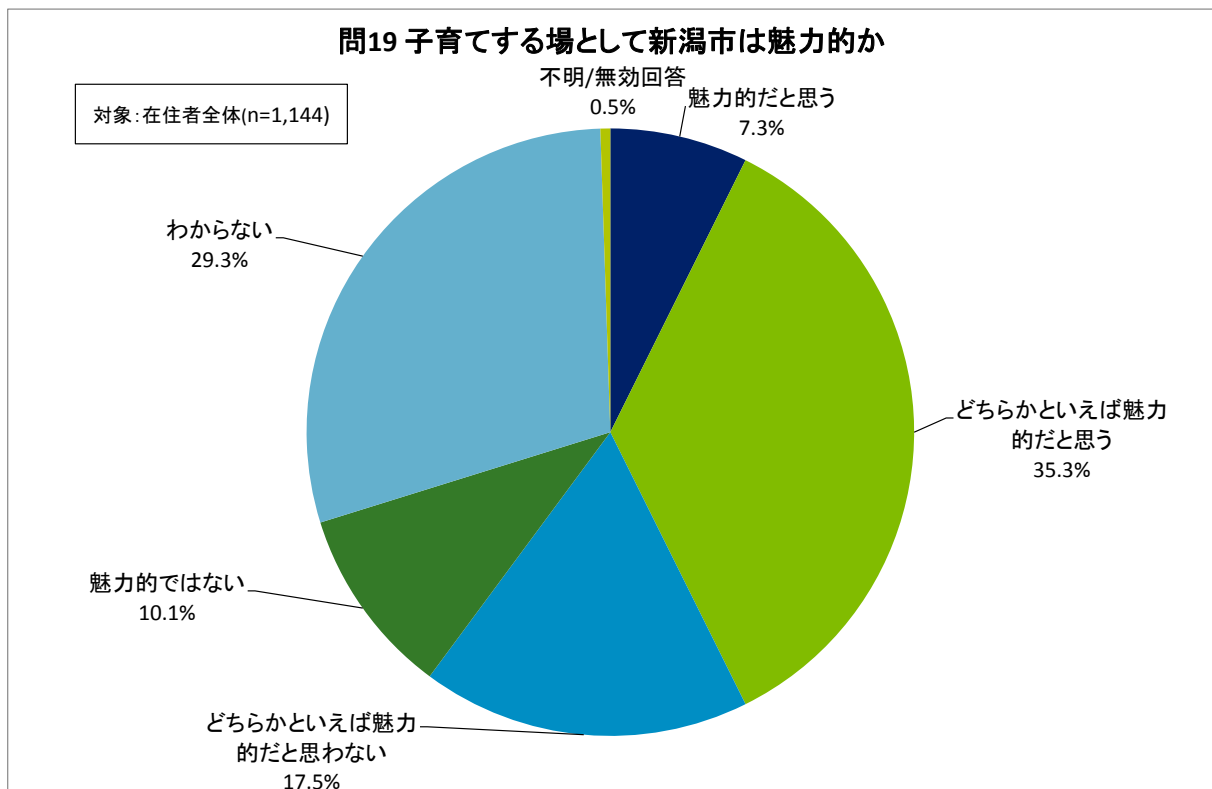
対象: 独身者全体(n=1,300)



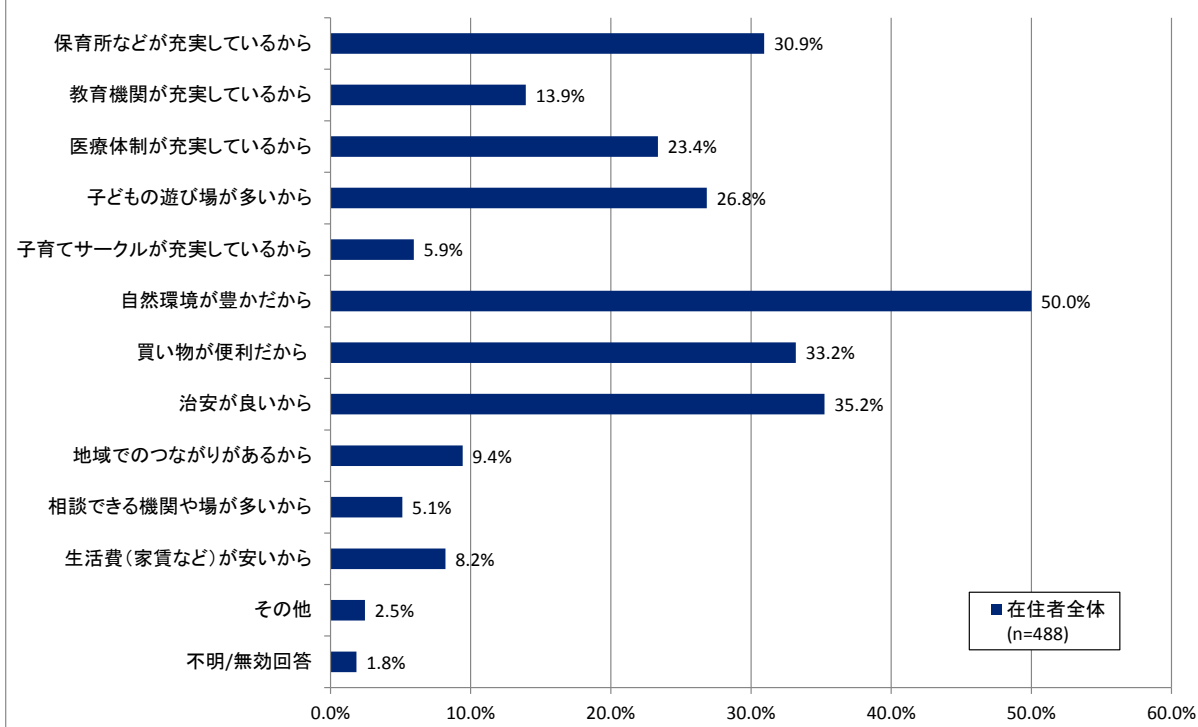


エ 子育てのしやすさについて

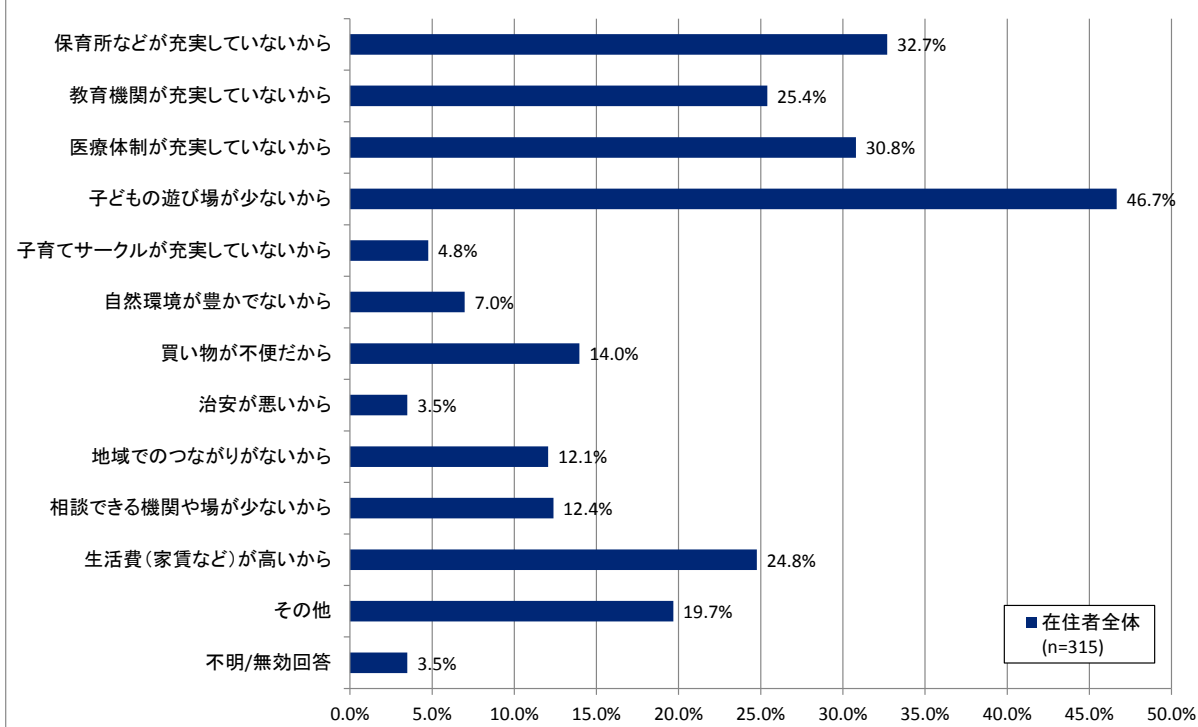
- 子育てする場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が42.6%（「魅力的だと思う（7.3%）」、「どちらかといえば魅力的だと思う（35.3%）」の合計）となっている。
- 魅力的だと思う理由は「自然環境が豊かだから（50.0%）」、「治安が良いから（35.2%）」、「買い物が便利だから（33.2%）」の順で高い。
- 魅力的だと思わない理由は「子どもの遊び場が少ないから（46.7%）」、「保育所などが充実していないから（32.7%）」、「医療体制が充実していないから（30.8%）」の順で高い。
- 現在の子どもの数については「0人（32.9%）」、「2人（30.0%）」、「1人（22.4%）」、「3人（8.7%）」の順で高い。
- 今後の子どもの予定数については「0人（54.2%）」、「2人（20.7%）」、「1人（12.0%）」、「3人（4.5%）」の順で高い。
- 理想的な子どもの数については「2人（48.1%）」、「3人（39.2%）」、「1人（3.8%）」、「0人（2.3%）」の順で高い。
- 子どもの数が増えるための支援・対策は「子育てに伴う経済的負担の軽減（52.8%）」、「安定した雇用の確保（50.4%）」、「子育てしやすい職場環境の整備（36.0%）」の順で高い。

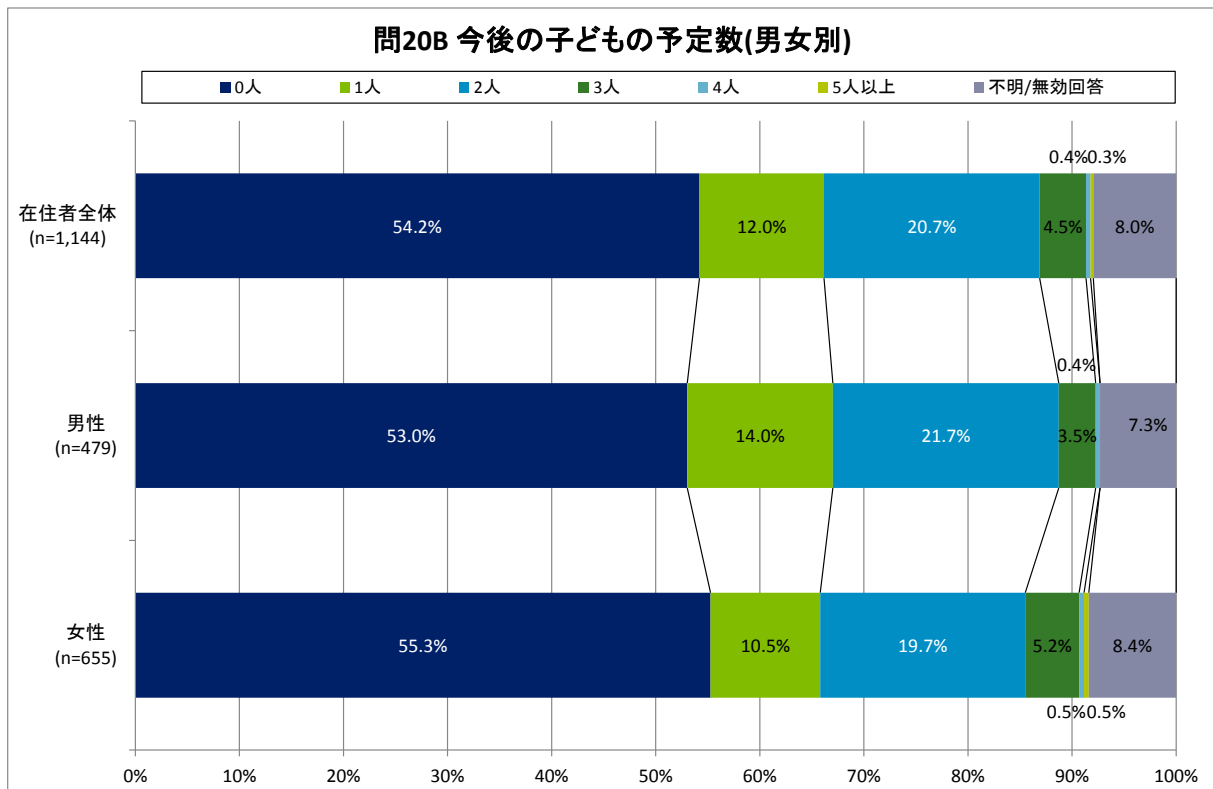
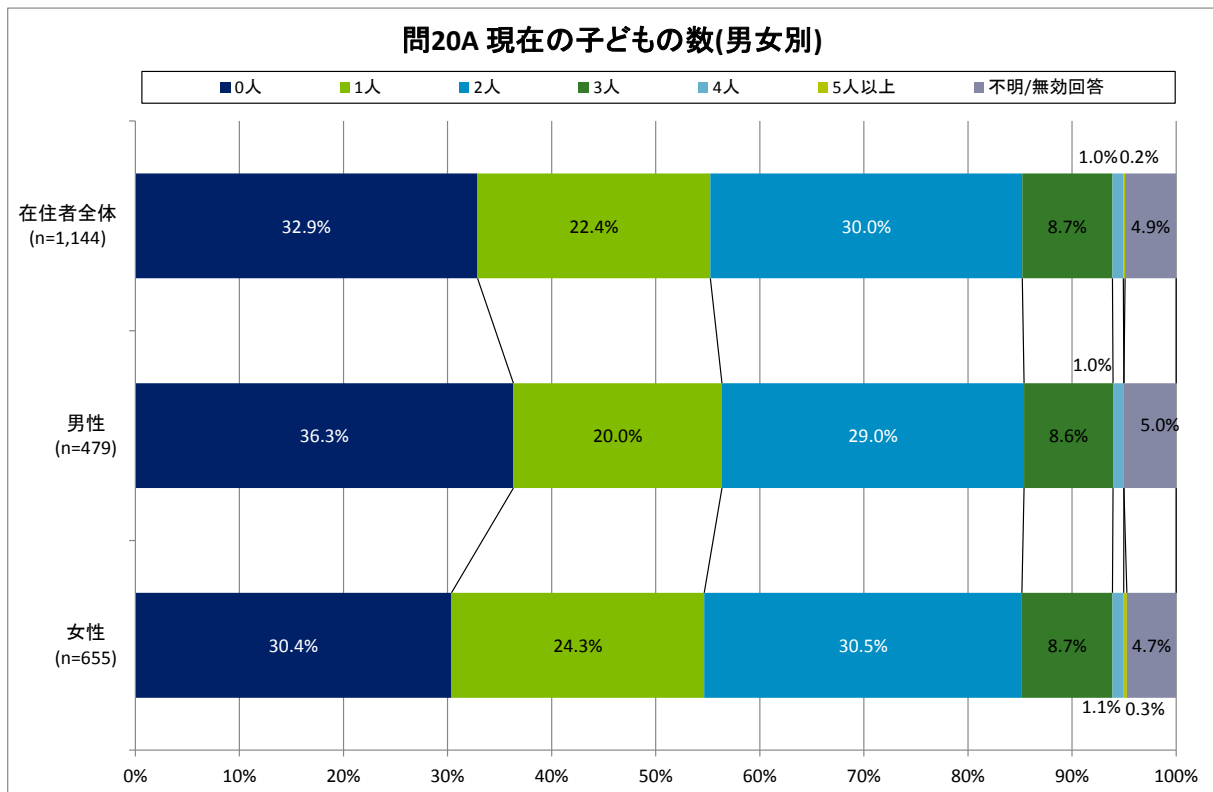


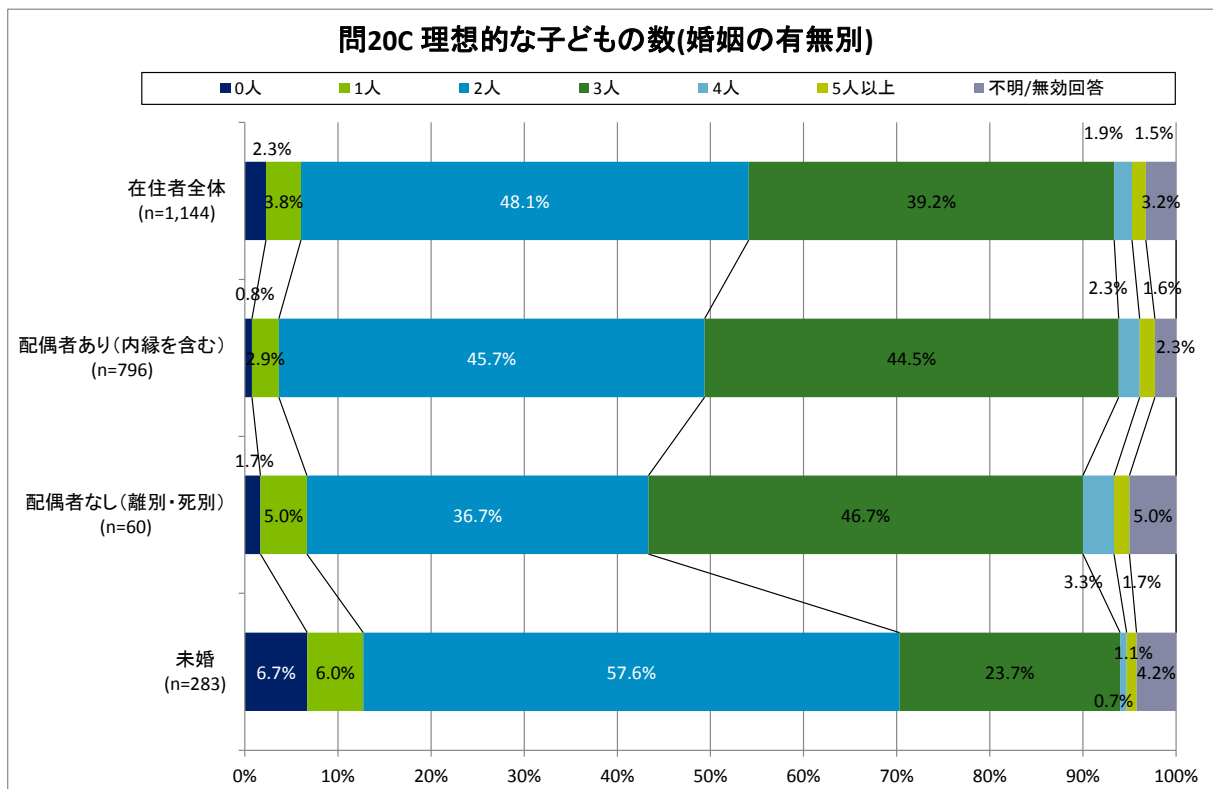
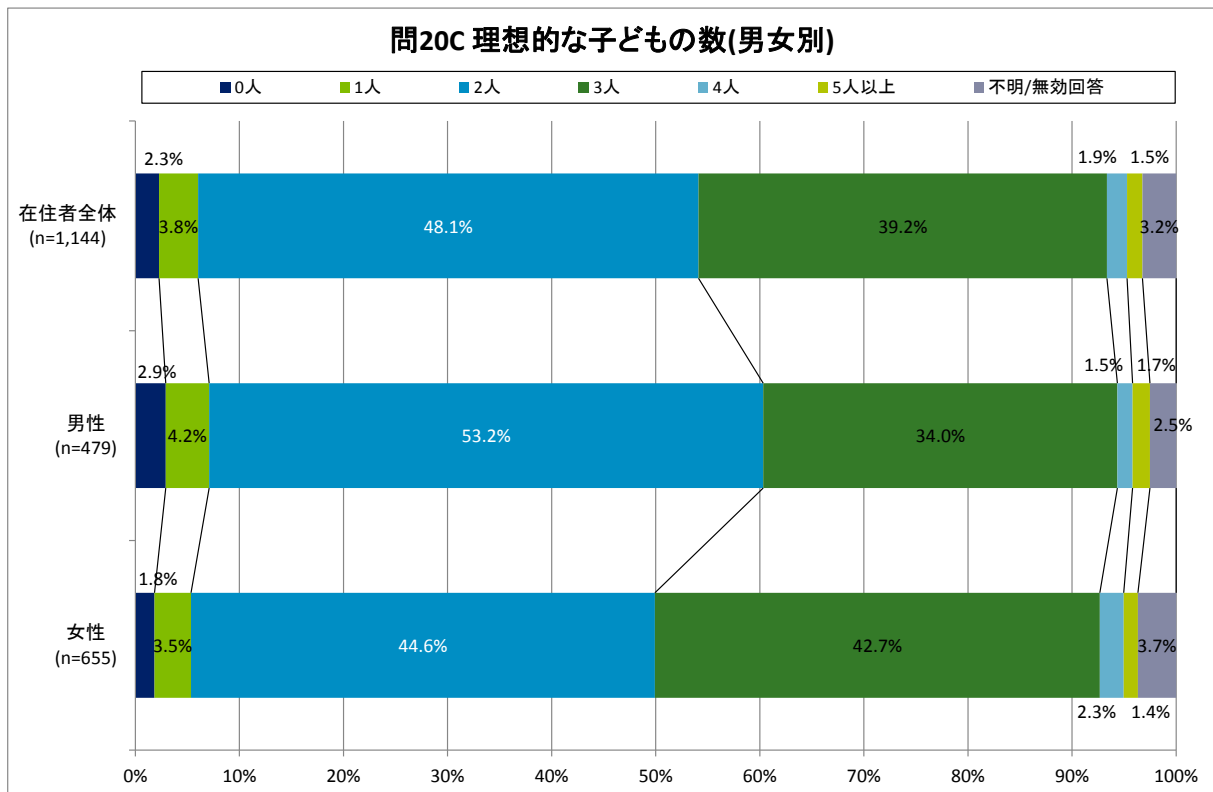
問19-1「新潟市が子育てする場として魅力的だと思う」理由



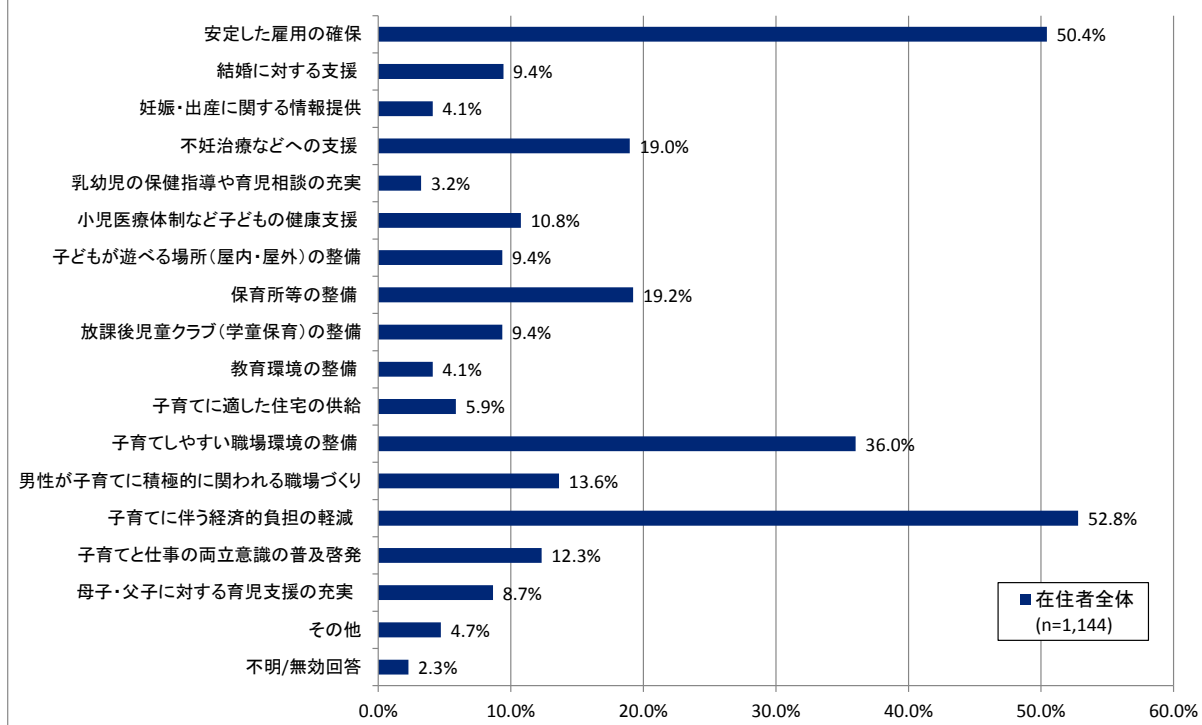
問19-2「新潟市が子育てする場として魅力的だと思わない」理由





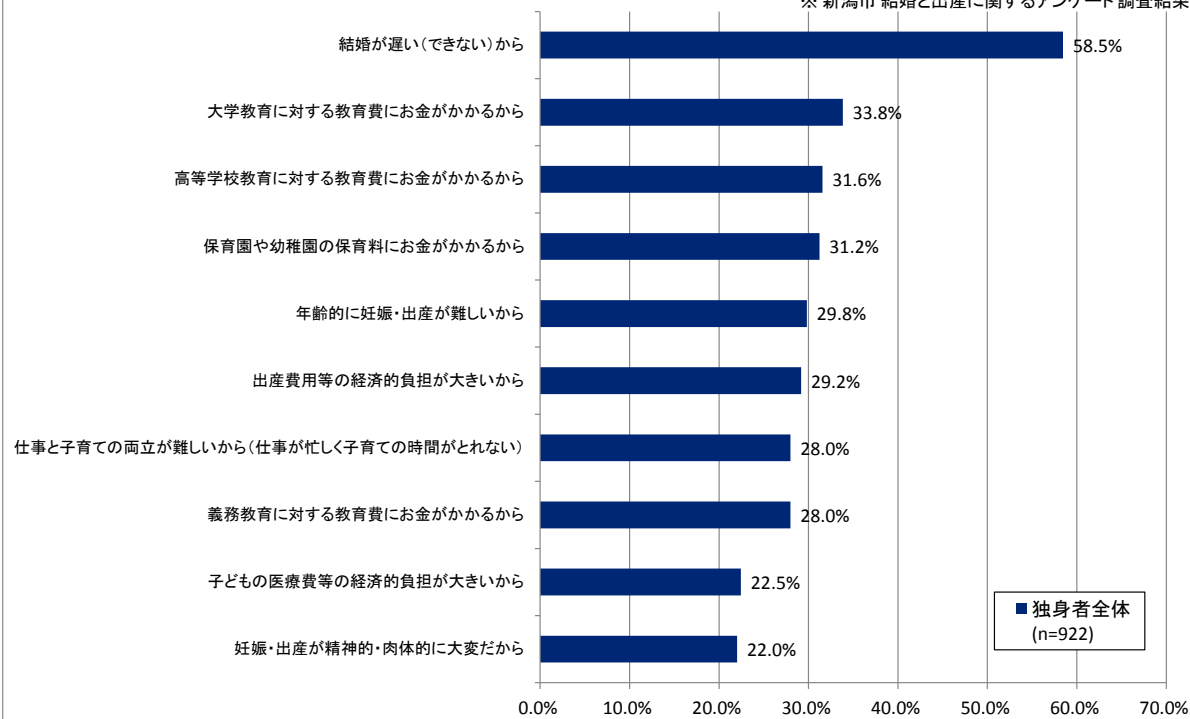


問21 子どもの数が増えるための支援・対策



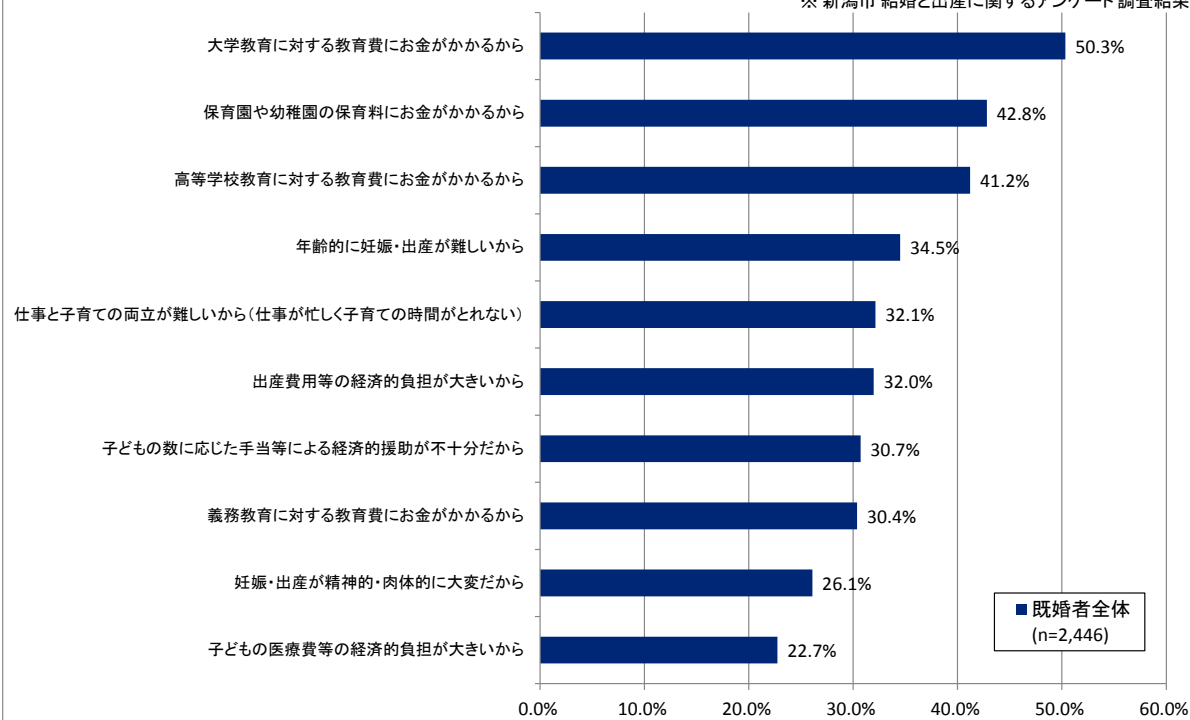
※子どもの予定数が理想の子どもの数より少ない理由(独身者:上位10項目)

※新潟市 結婚と出産に関するアンケート 調査結果



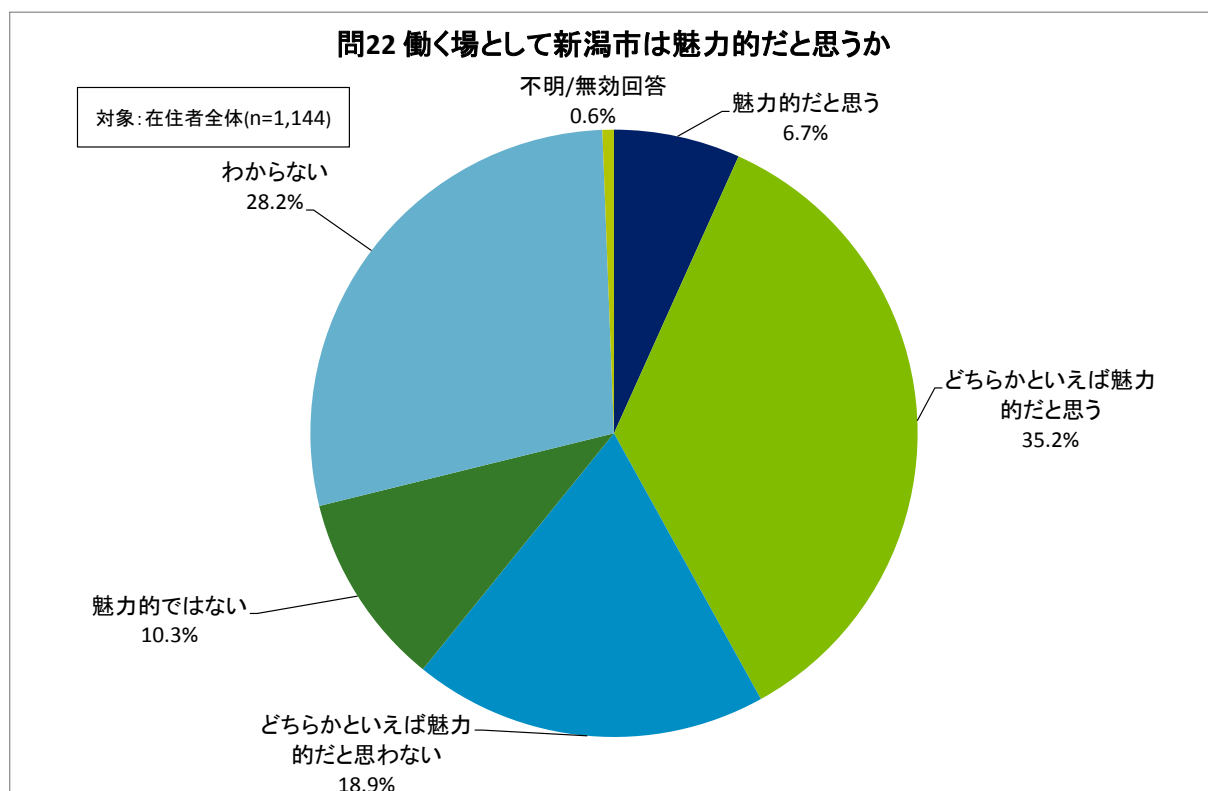
※子どもの予定数が理想の子どもの数より少ない理由(既婚者:上位10項目)

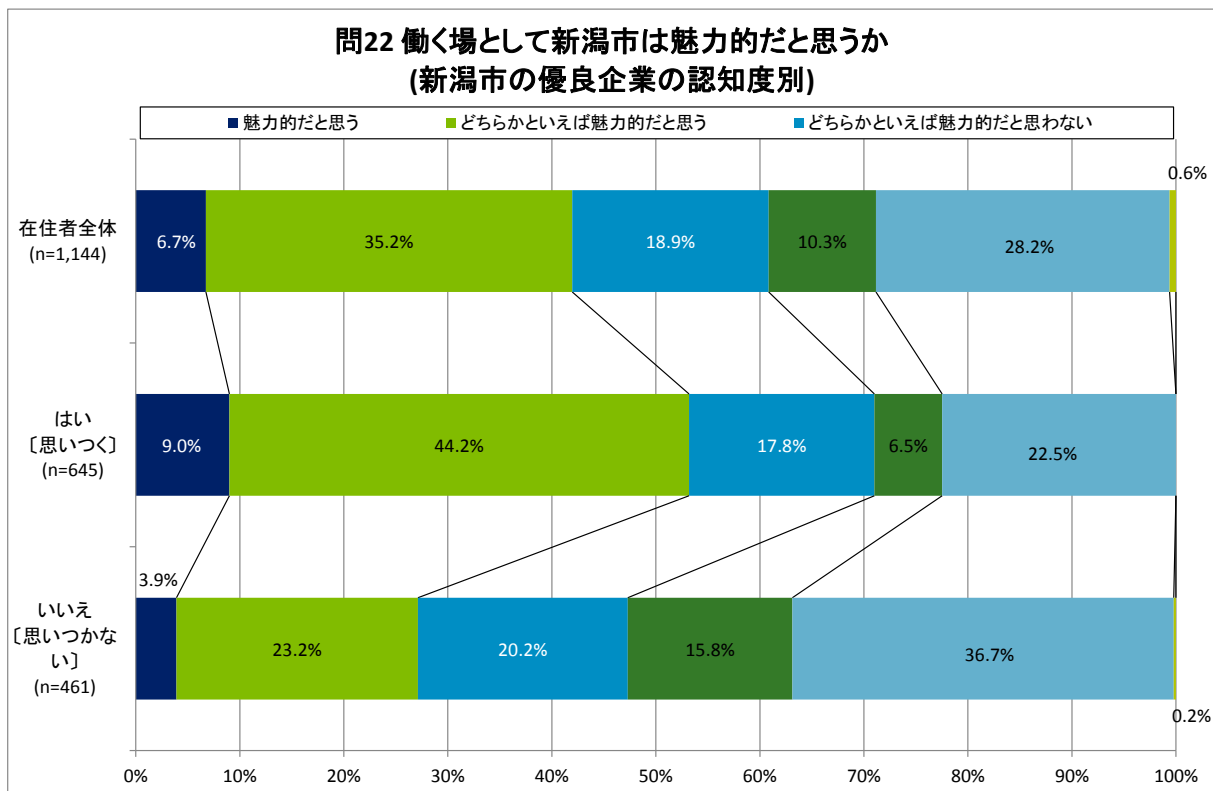
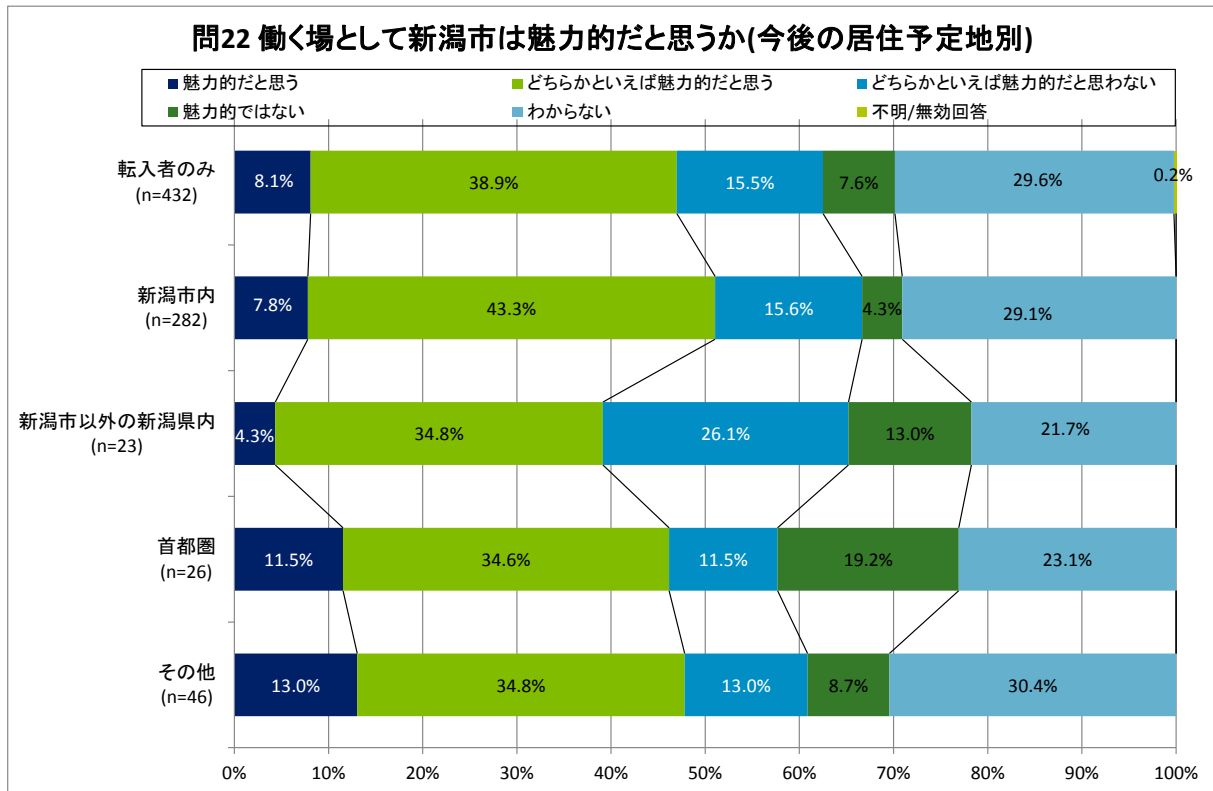
※新潟市 結婚と出産に関するアンケート 調査結果



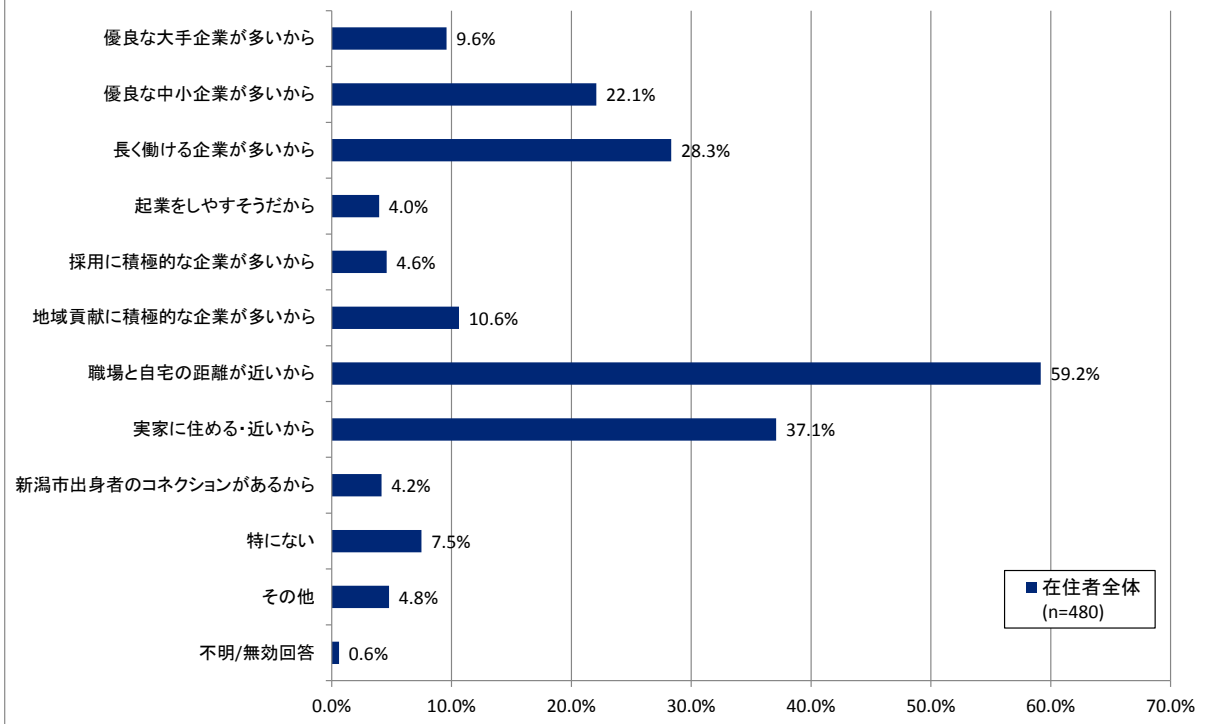
オ 働きやすさについて

- 働く場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が41.9%（「魅力的だと思う（6.7%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（35.2%）」の合計）となっている。
- 今後の居住予定地別にみると、魅力的ではないと思う者（「どちらかといえば魅力的だと思わない」「魅力的ではない」の合計）は、新潟市内居住予定者で19.9%であったのに対し、新潟市以外の新潟県内居住予定者では39.1%と倍近くになっている。
- 新潟市の優良企業を思いつく者は、働く場として魅力的だと思う割合が53.2%（「魅力的だと思う（9.0%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（44.2%）」の合計）であるのに対し、新潟市の優良企業を思いつかない者は27.1%（「魅力的だと思う（3.9%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（23.2%）」の合計）にとどまった。
- 魅力的だと思う理由は「職場と自宅の距離が近いから（59.2%）」、「実家に住める・近いから（37.1%）」、「長く働ける企業が多いから（28.3%）」の順で高い。
- 魅力的だと思わない理由は「優良な大手企業が少ないから（48.5%）」、「優良な中小企業が少ないから（38.9%）」、「採用に積極的な企業が少ないから（31.7%）」の順で高い。
- 新潟市の優良企業として思いつく企業があるかは「はい（56.4%）」、「いいえ（40.3%）」となっている。
- 行政が取り組むべきことは「企業誘致による雇用拡大（48.9%）」、「育児・介護休業制度の啓発（41.3%）」、「ブラック企業などへの注意喚起（33.6%）」の順で高い。（ただし、「育児・介護休業制度の啓発」は男女差が大きく、男性30.7%に対し、女性は49.2%であった。）
- 企業が取り組むべきことは「給与・ボーナスを増やす（61.5%）」、「正規社員登録の増加（38.9%）」、「雇用機会の拡充（35.8%）」の順で高い。
- 男女差が大きい項目として、「出産後に復職しやすい職場環境づくり（男性：20.3%、女性：38.6%）」、「育児・介護休業制度の導入・充実（男性：21.3%、女性：38.5%）」は男性に比べ女性の割合が高い。

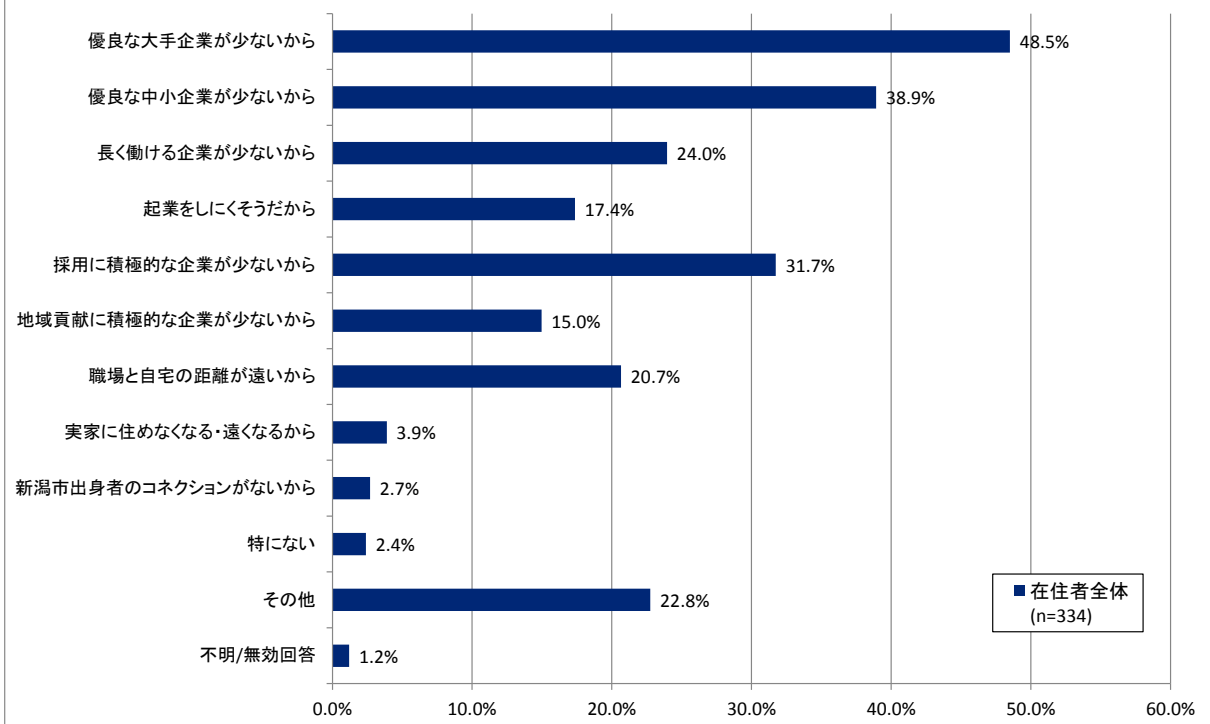




問22-1「新潟市が働く場として魅力的だと思う」理由

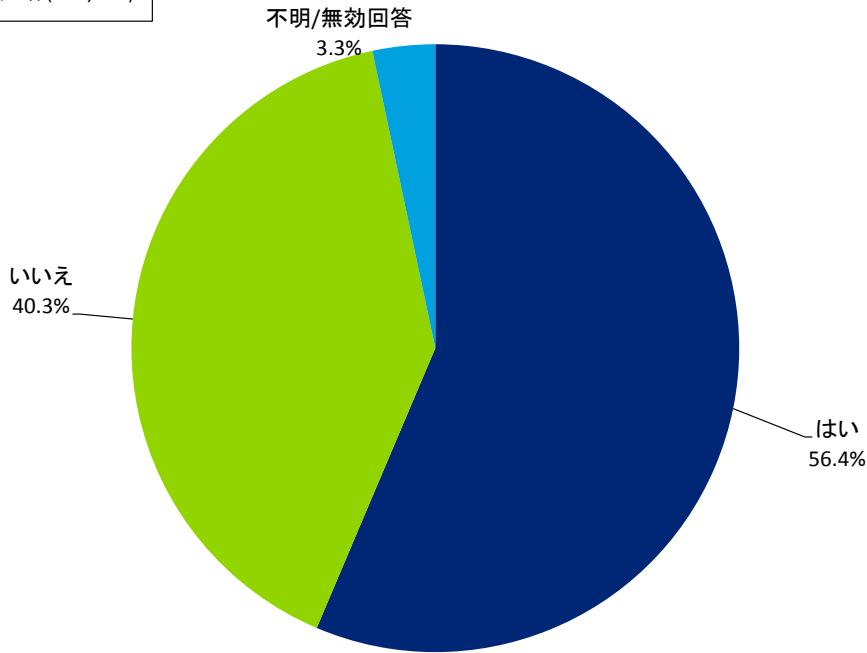


問22-2「新潟市が働く場として魅力的だと思わない」理由

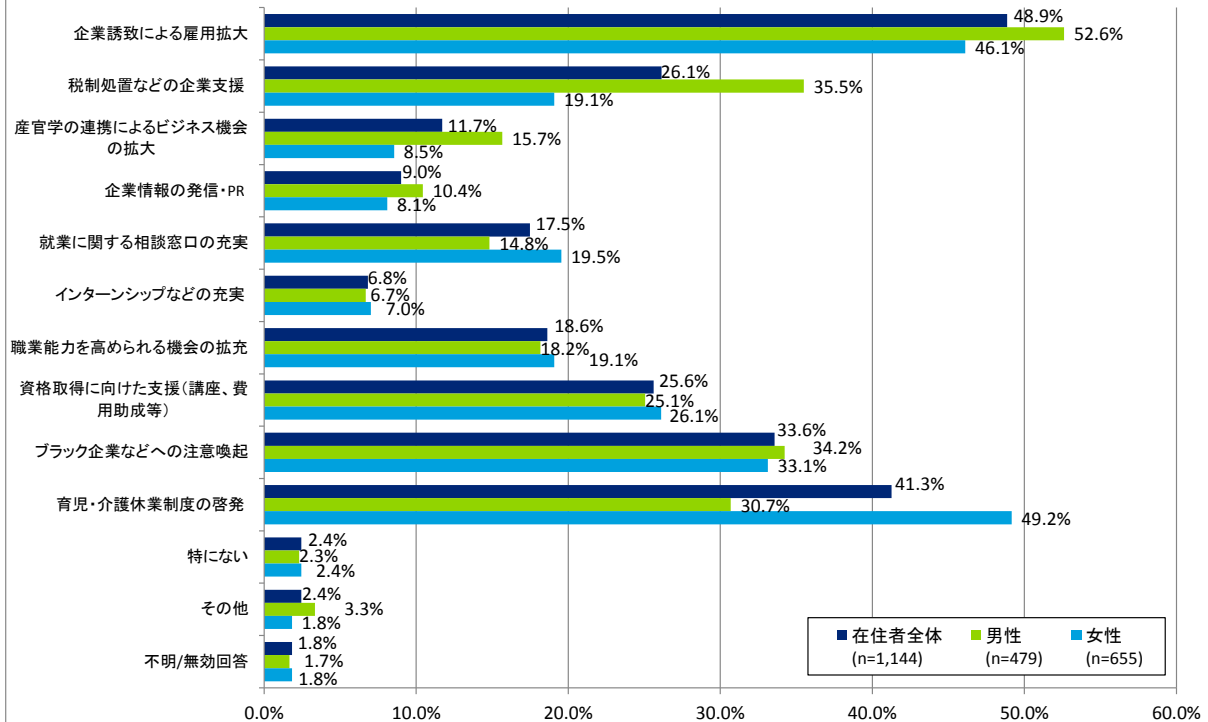


問23 新潟市の優良企業として思いつく企業はあるか

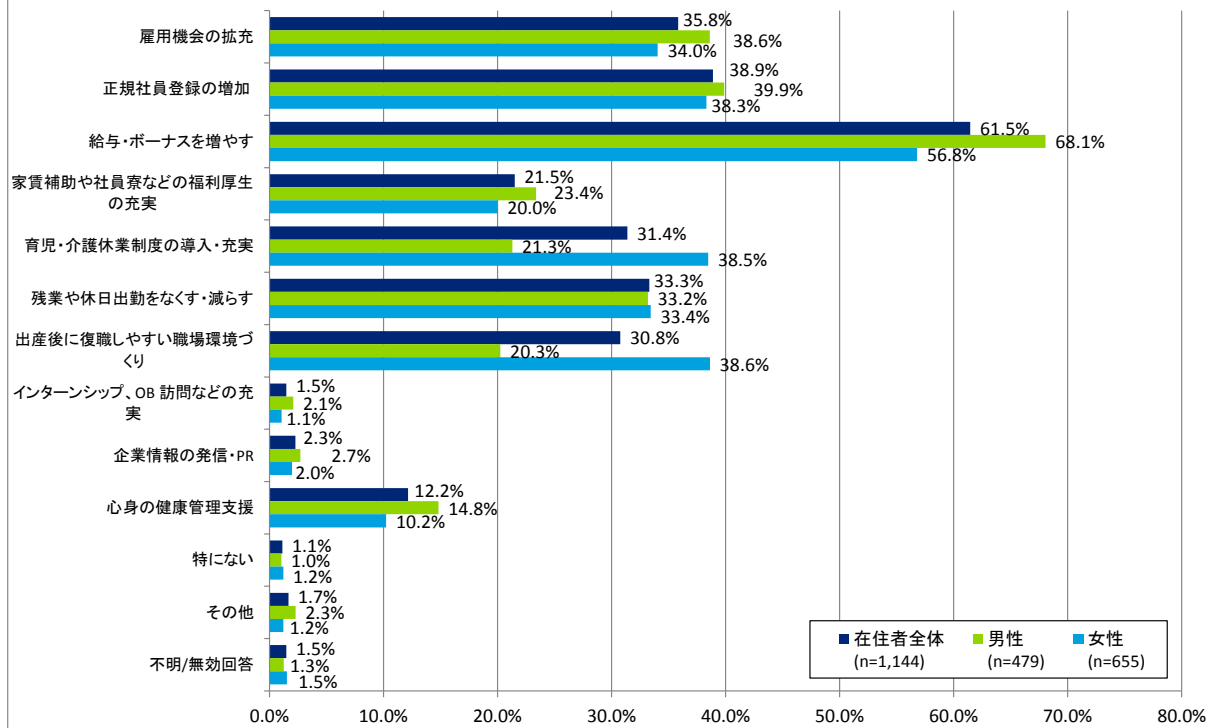
対象: 在住者全体(n=1,144)



問24 働きやすさのために行政が取り組むべきこと(男女別)



問25 働きやすさのために企業が取り組むべきこと(男女別)

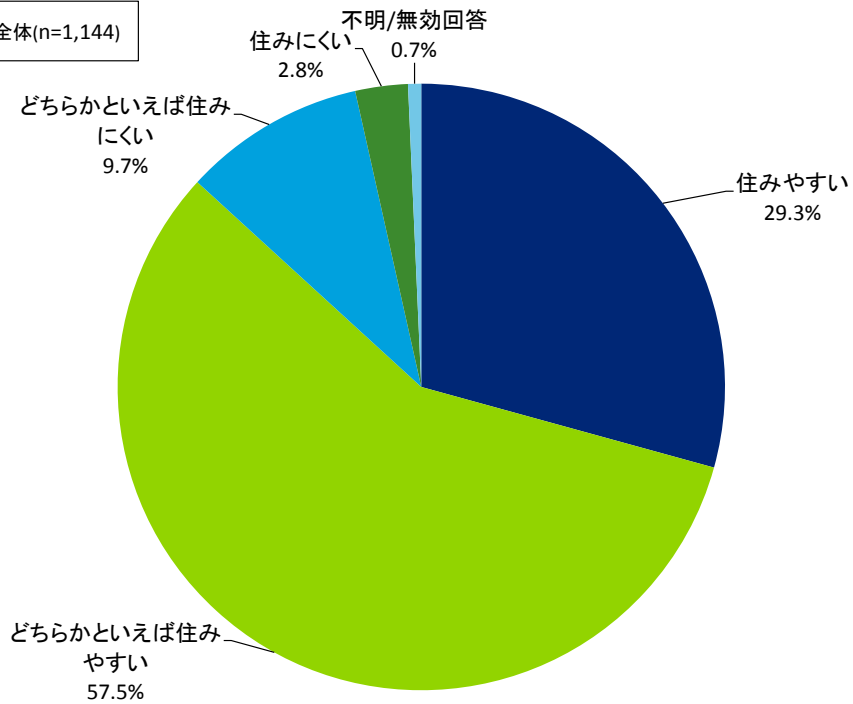


カ 住みやすさについて

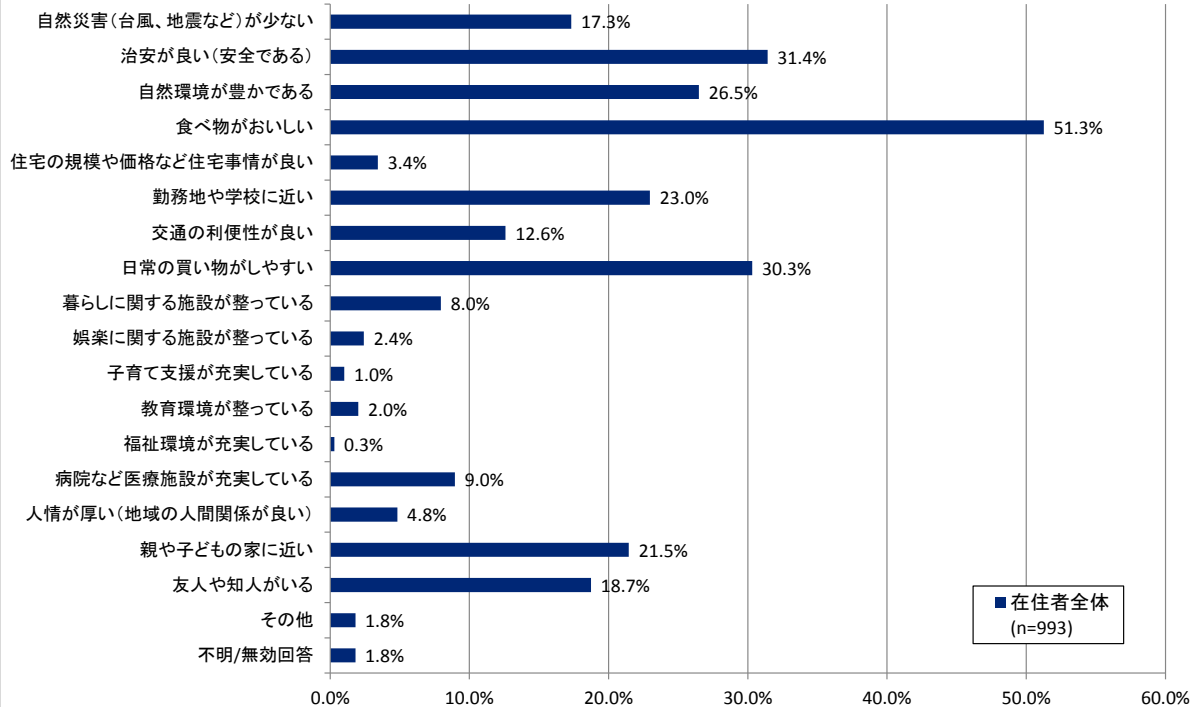
- 新潟市が住みやすいまちだと思うかについては、住みやすいと思う者が86.8%（「住みやすい（29.3%）」、「どちらかといえば住みやすい（57.5%）」の合計）となっている。
- 住みやすい理由は「食べ物がおいしい（51.3%）」、「治安が良い（安全である）（31.4%）」、「日常の買い物がしやすい（30.3%）」の順で高い。
- 住みにくい理由は「交通の利便性が悪い（63.6%）」、「娯楽に関する施設が整っていない（31.5%）」、「子育て支援が充実していない（21.7%）」の順で高い。
- 新潟市の定住意向は「住み続けたい（68.1%）」、「住み続けたくない（5.8%）」、「どちらともいえない（25.2%）」となっている。
- 新潟市に住み続けるために必要なことは「働く場の充実（41.1%）」、「子育て支援の充実（保育園の整備や教育環境の向上等）（35.5%）」、「地域内の公共交通の充実（34.5%）」の順で高い。
- 地域コミュニティ活動への参加状況は、参加していない者が60.1%（「どちらかといえば参加していない（20.5%）」、「参加していない（39.6%）」の合計）となっている。
- 参加している地域コミュニティ活動は「盆踊り・祭り（57.0%）」、「自治会（52.9%）」、「PTA（33.1%）」の順で高い。
- 休日に出かけるエリアは「新潟市内（88.6%）」、「新潟市外（9.6%）」となっている。
- 休日にかける場所は「スーパー（65.9%）」、「デパートや百貨店（42.8%）」、「公園（22.7%）」の順で高い。
- 新潟市のまちのことが好きかは、好きだと思う者が67.9%（「そう思う（19.7%）」、「どちらかといえばそう思う（48.2%）」の合計）となっている。
- 東京都を魅力的だと思うかについては、魅力的だと思う者が69.9%（「魅力的だと思う（32.6%）」、「どちらかといえば魅力的だと思う（37.3%）」の合計）となっている。
- 東京都を魅力的だと思う理由は「レジャー・娯楽が充実している（66.6%）」、「公共交通の利便性が良い（60.3%）」、「おしゃれな店（飲食店、服飾店など）が多い（48.9%）」の順で高い。

問26 新潟市が住みやすいまちだと思うか

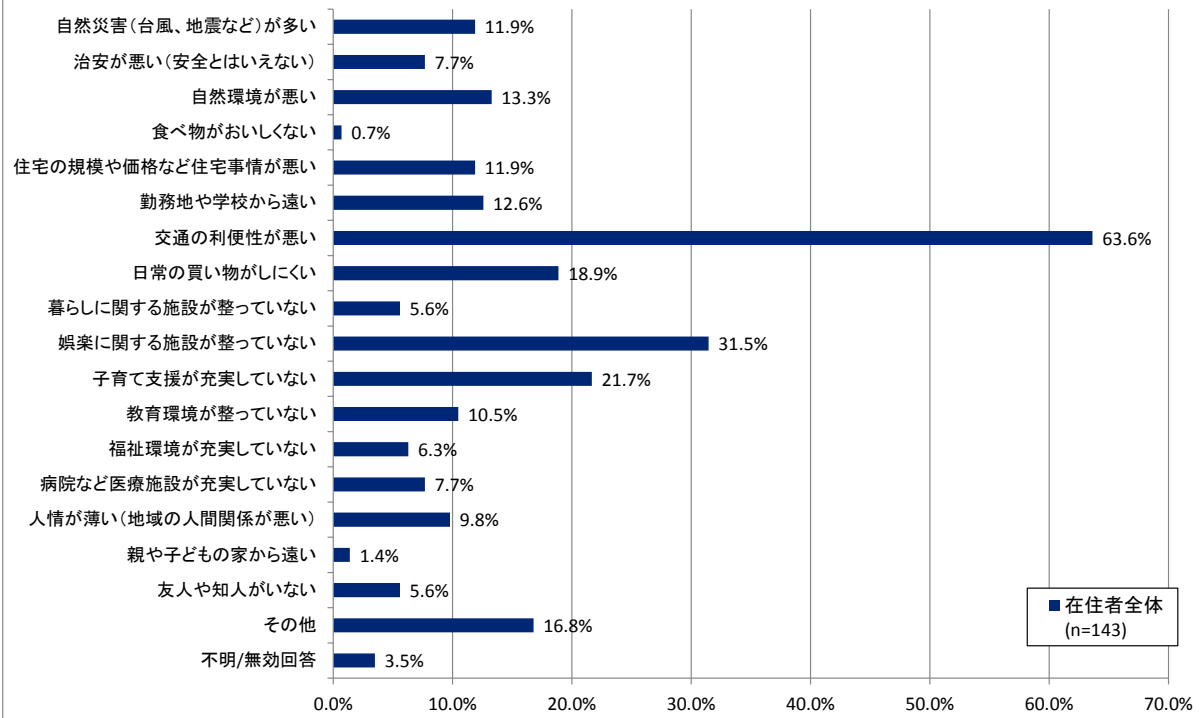
対象: 在住者全体(n=1,144)



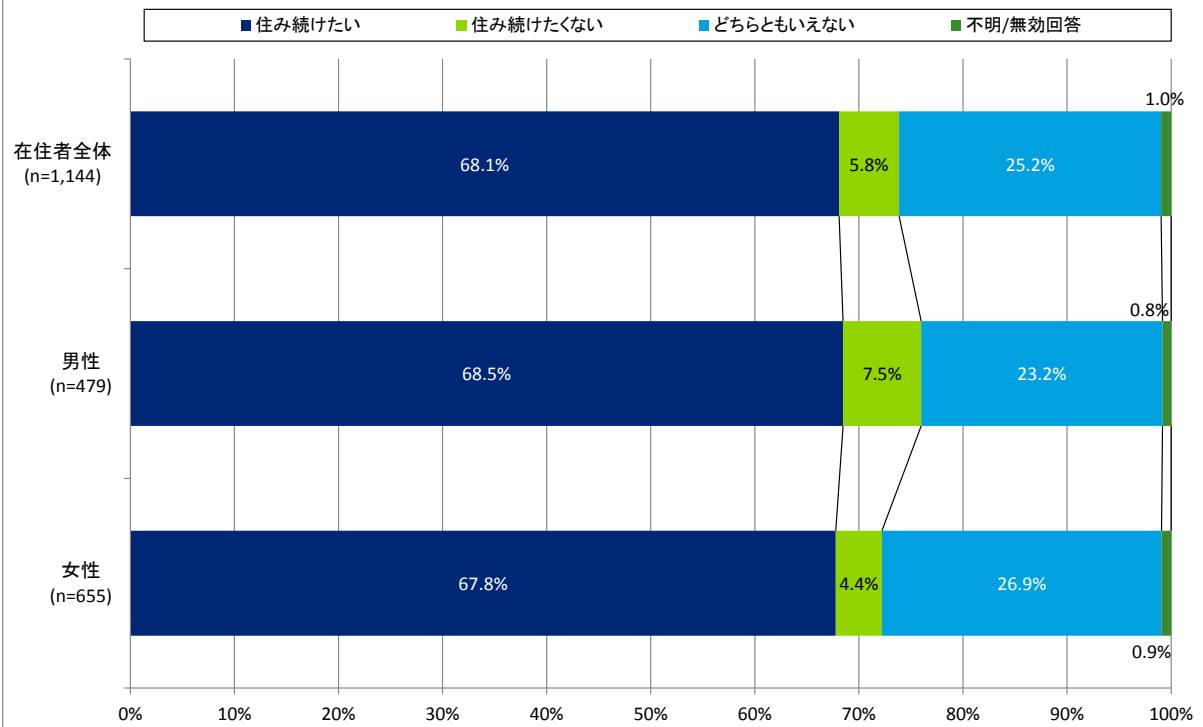
問26-1「新潟市が住みやすいとまちだと思う」理由



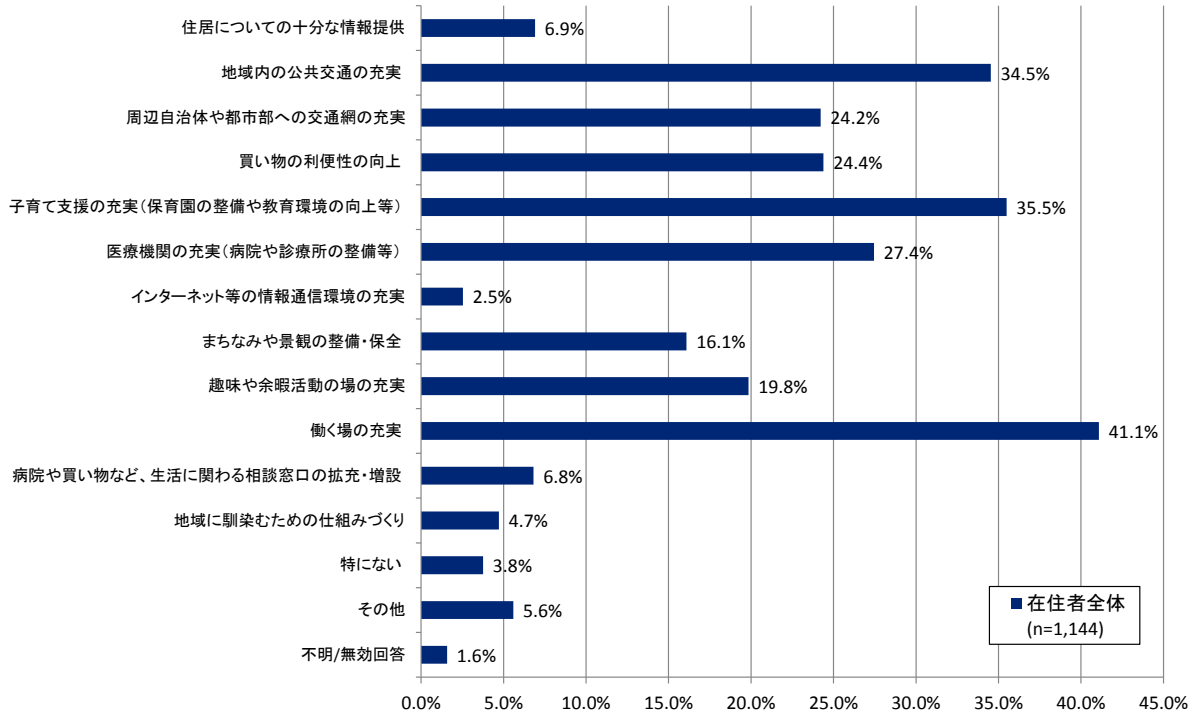
問26-2「新潟市が住みにくいとまちだと思ふ」理由



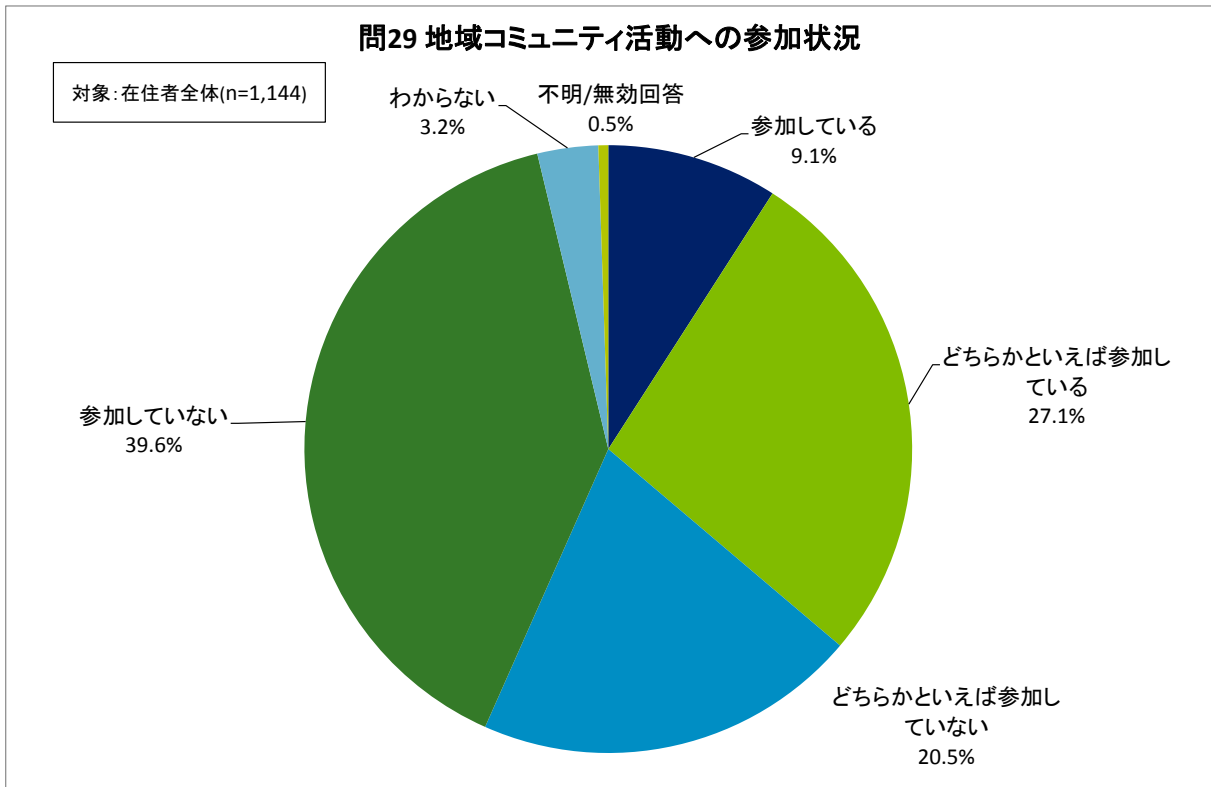
問27 新潟市の定住意向(男女別)



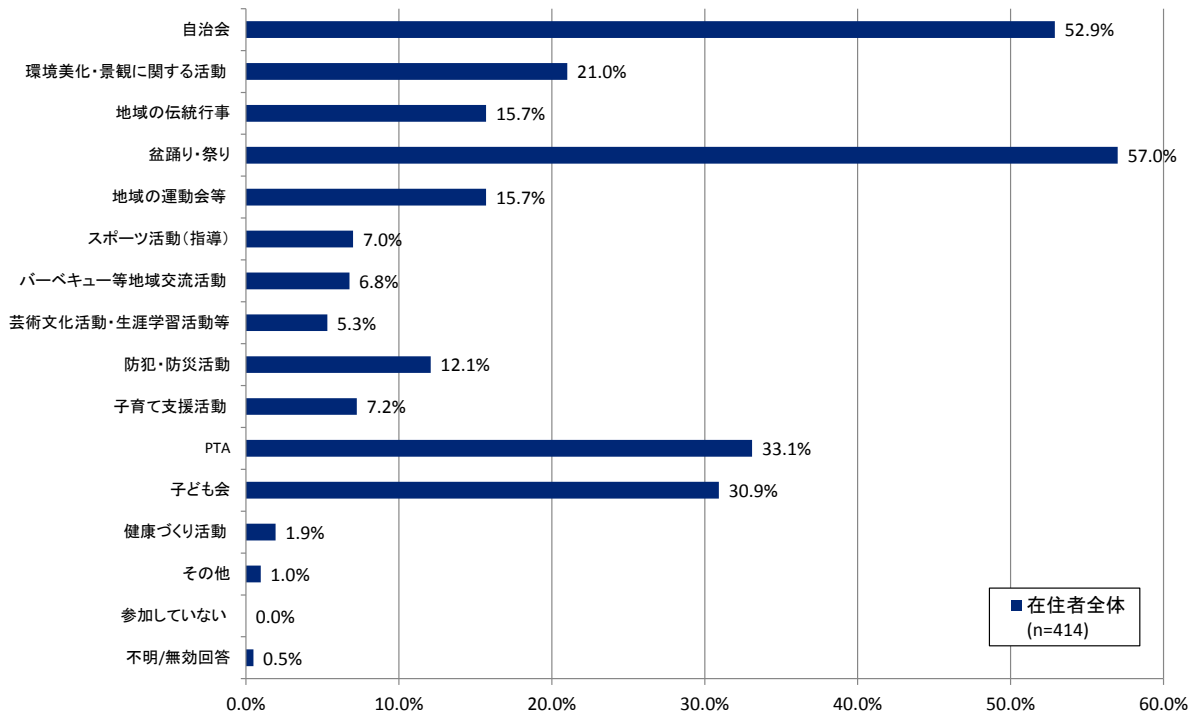
問28 新潟市に住み続けるために必要なこと



問29 地域コミュニティ活動への参加状況

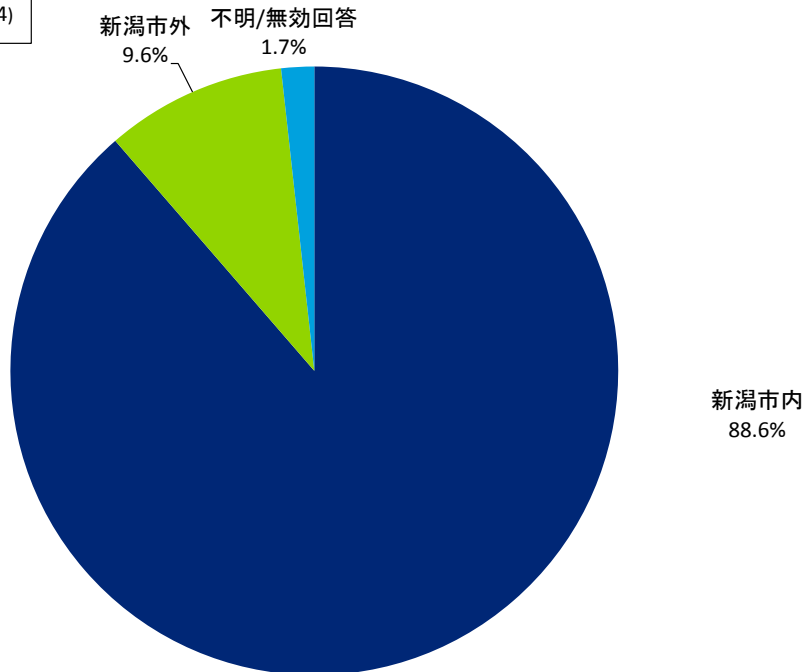


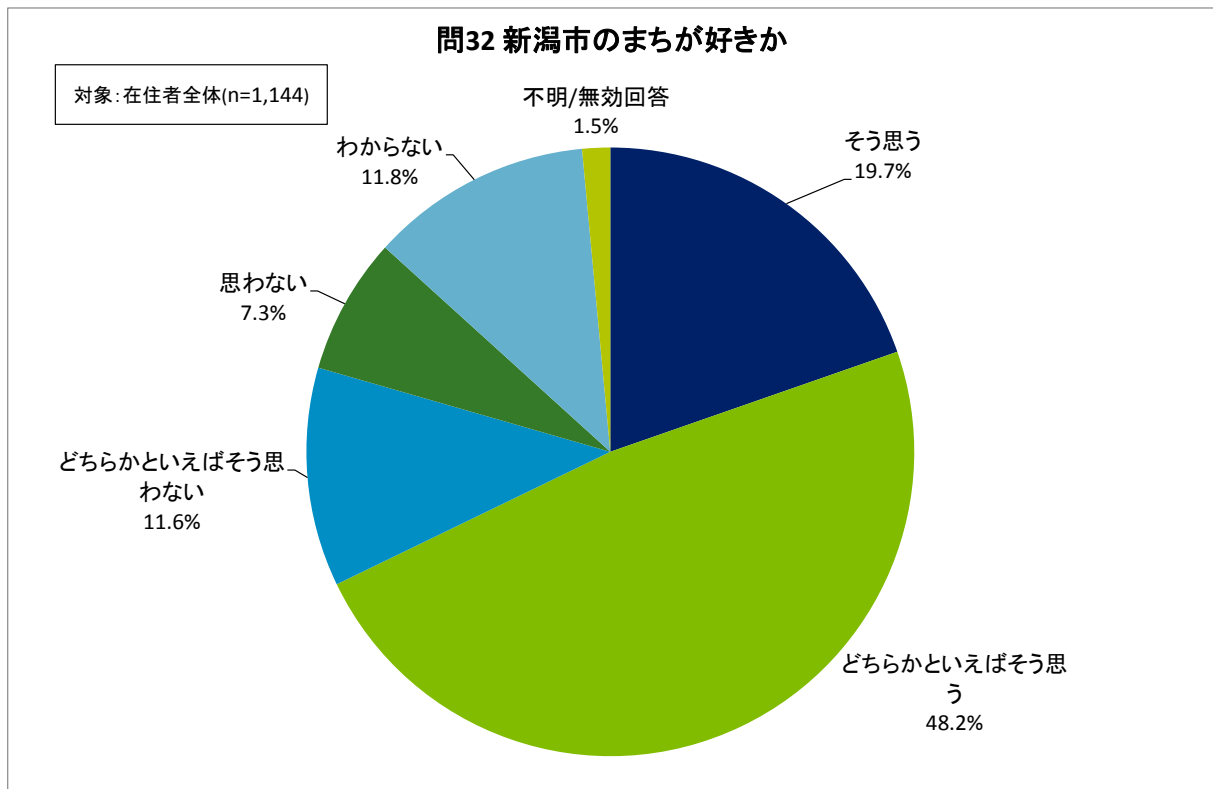
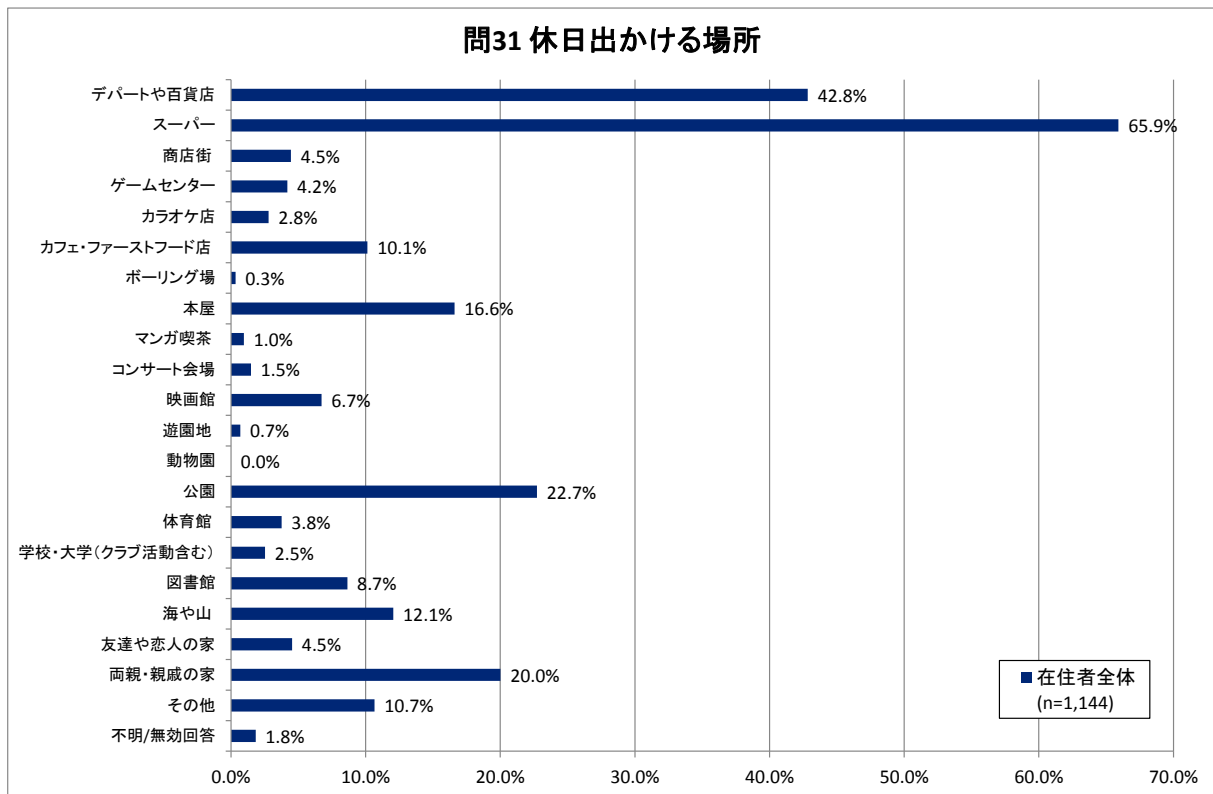
問29-1 参加している地域コミュニティ活動



問30 休日に出かけるエリア

対象: 在住者全体(n=1,144)





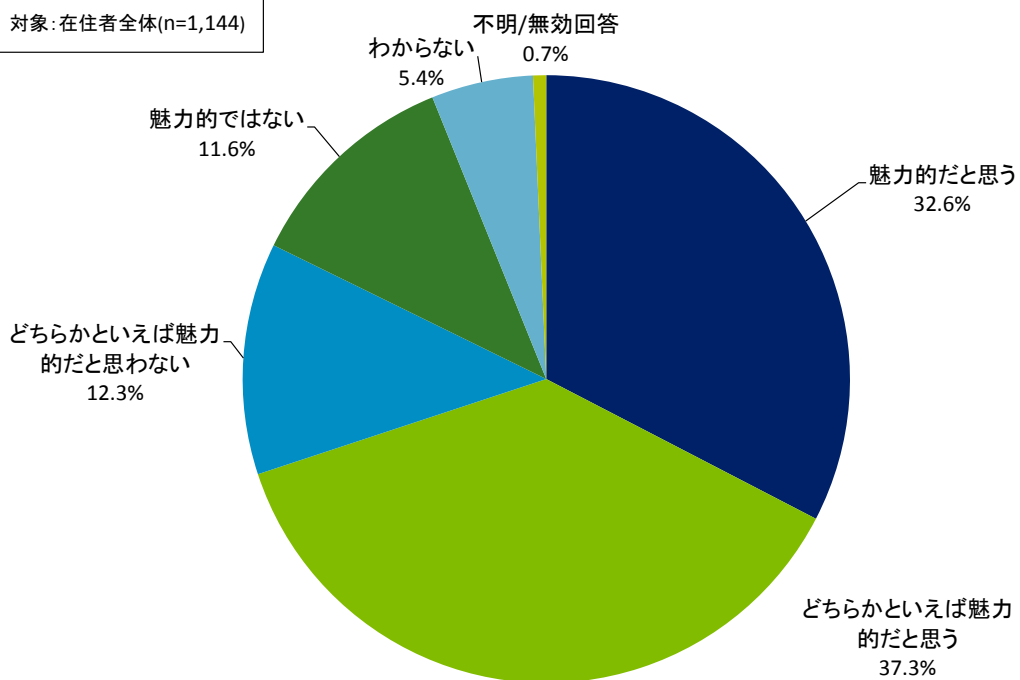
問 33 県外の人に勧める新潟市の紹介スポット Top10

(在住者全体 n=1,144、総回答件数 1,535 件)

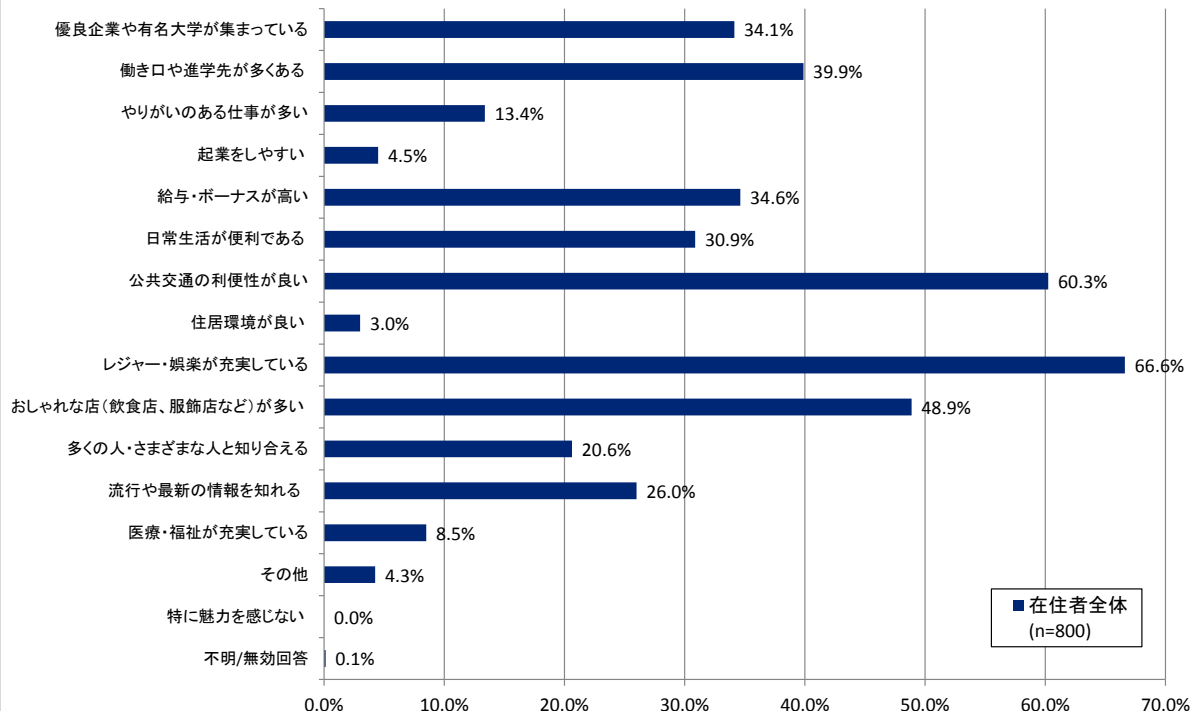
場所	件数	主な理由
日本海(日本海夕日ライン、 笹川流れ、関屋浜など)	153	夕日が綺麗だから 自然が豊かだから 景色が綺麗だから
マリンピア日本海	113	子どもから大人まで楽しめるから イルカショーが素晴らしいから リニューアルオープンしたから
新潟ふるさと村	84	新潟の様々なお土産が売っているから 新潟を知ることが出来るから
万代(万代橋、万代シティ)	81	商業施設が充実しており、何でも買えるから 新潟市の中心街で、一番活気があるから メディアシップから綺麗な景色が見られるから
飲食店	71	魚が美味しいから 米が美味しいから ラーメンが美味しいから
朱鷺メッセ	61	展望室から新潟を一望できるから
温泉(岩室温泉、月岡温泉な ど)	37	良い温泉がたくさんあるから
ピア Bandai	34	鮮魚が美味しいから 新潟の美味しいものが楽しめるから 新潟の様々なお土産が売っているから
弥彦村(彌彦神社、弥彦山)	34	パワースポットとして有名だから 自然が豊かだから ドライブが楽しいから
いくとぴあ食花(こども創造セ ンター)	33	子連れで遊ぶのに適しているから 花が多く、自然が豊かだから 夕日が綺麗だから

問34 東京都を魅力的だと思うか

対象: 在住者全体(n=1,144)



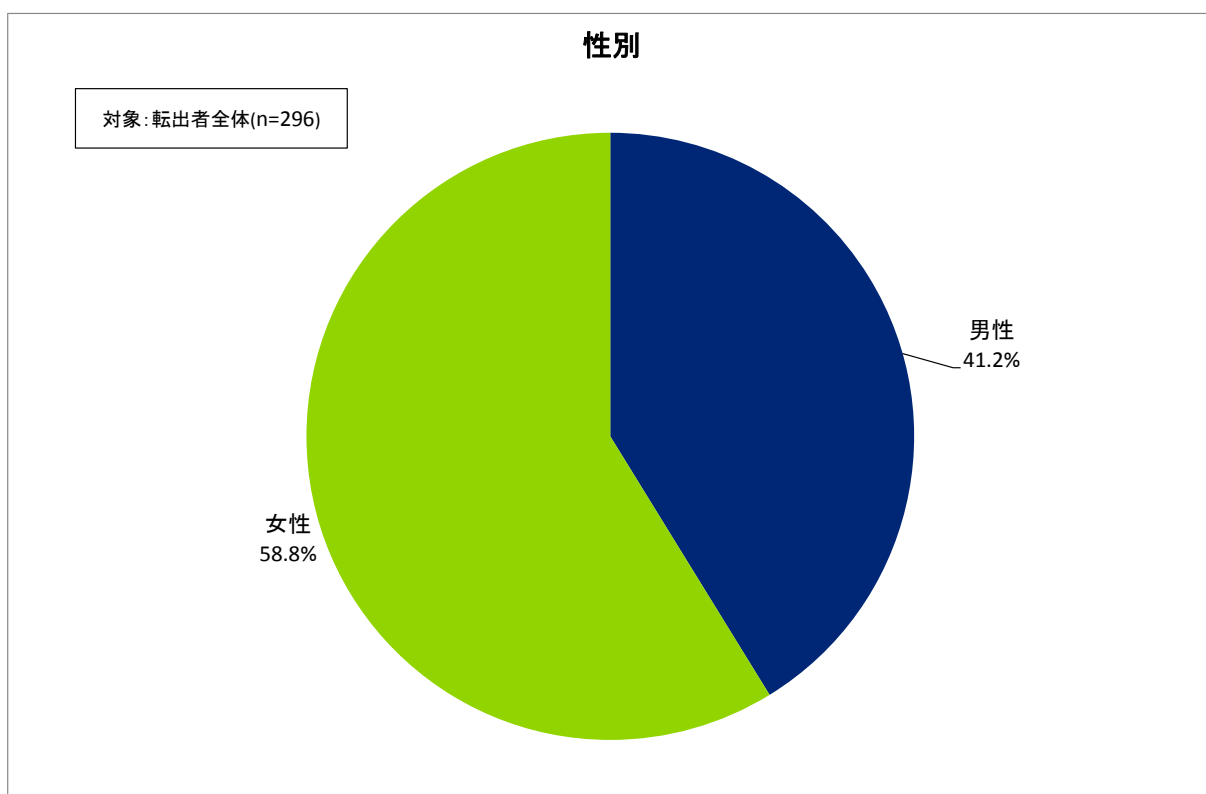
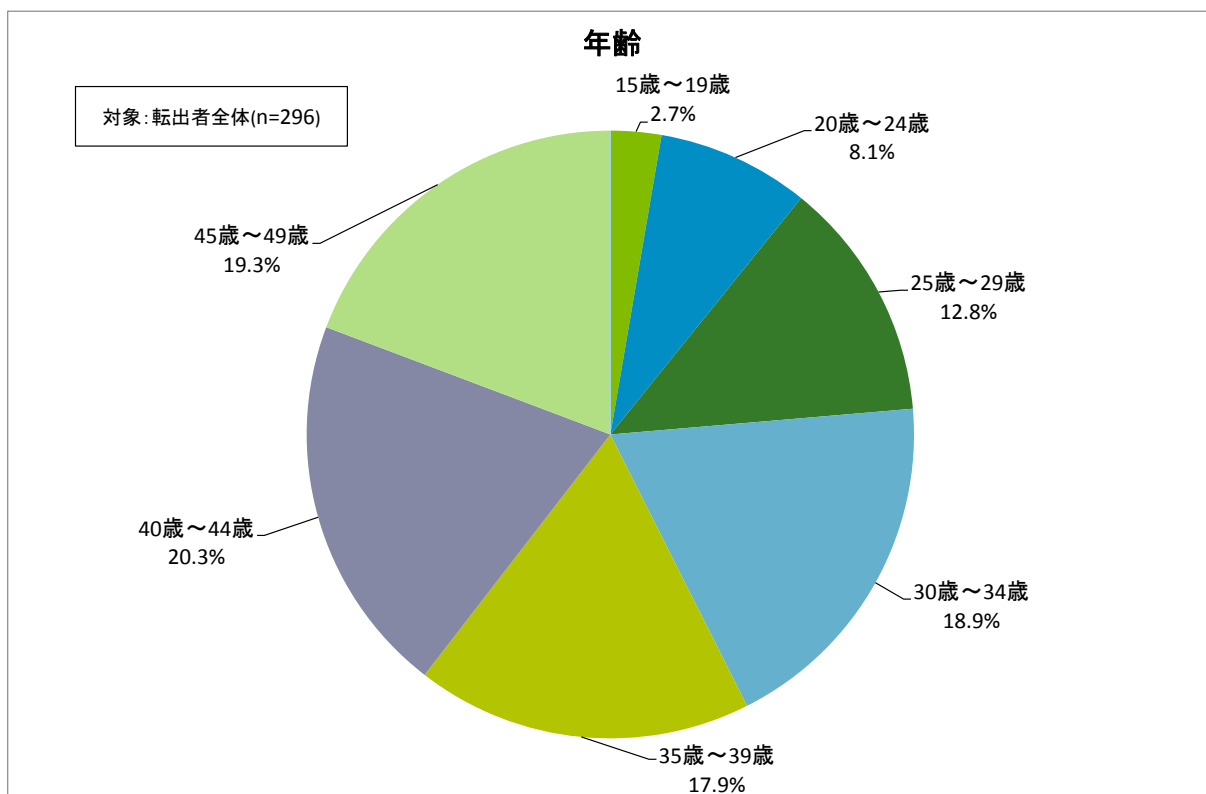
問34-1 東京都を魅力的だと思う理由

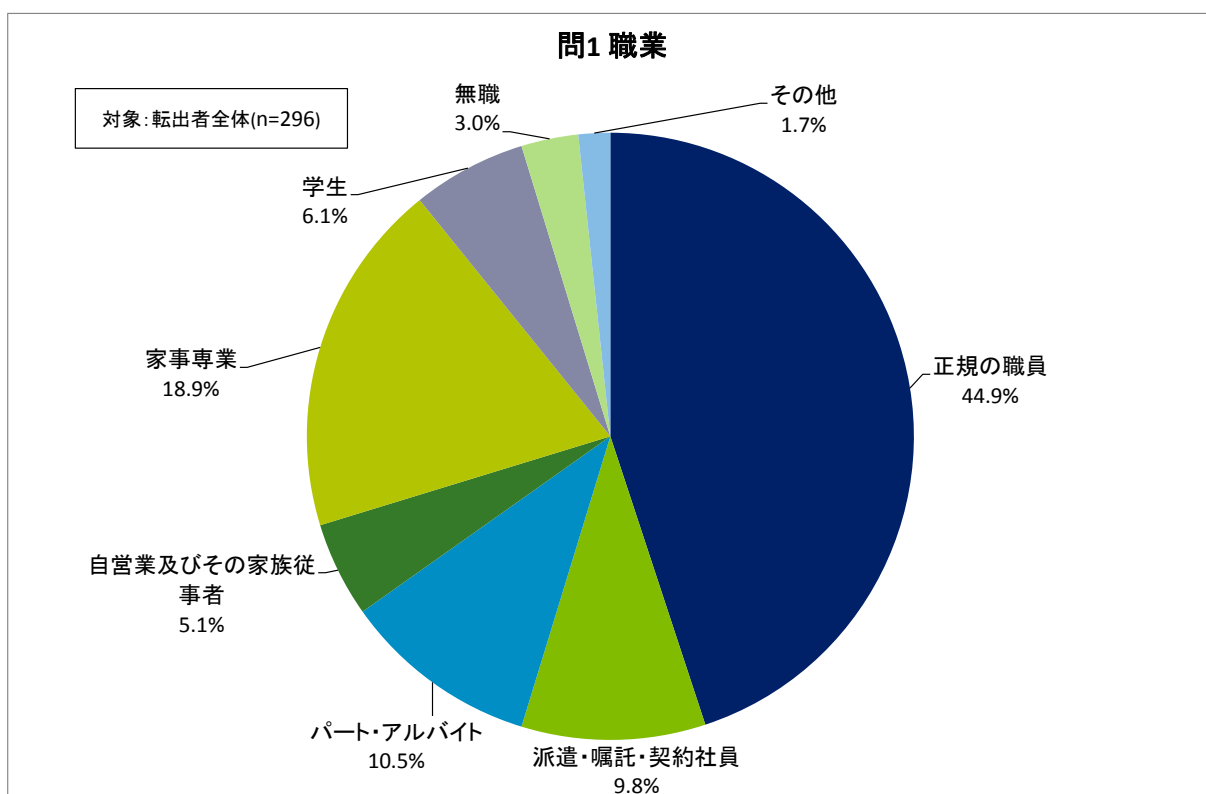
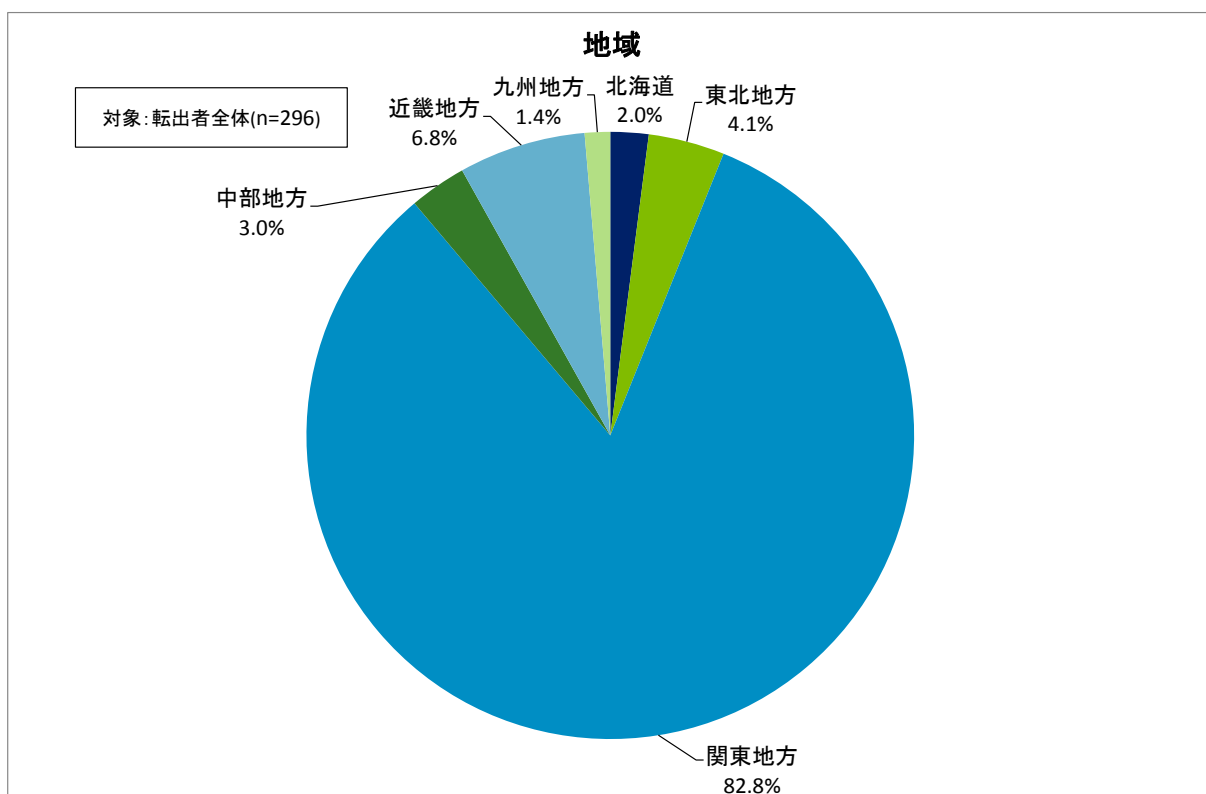


(4) 転出者調査

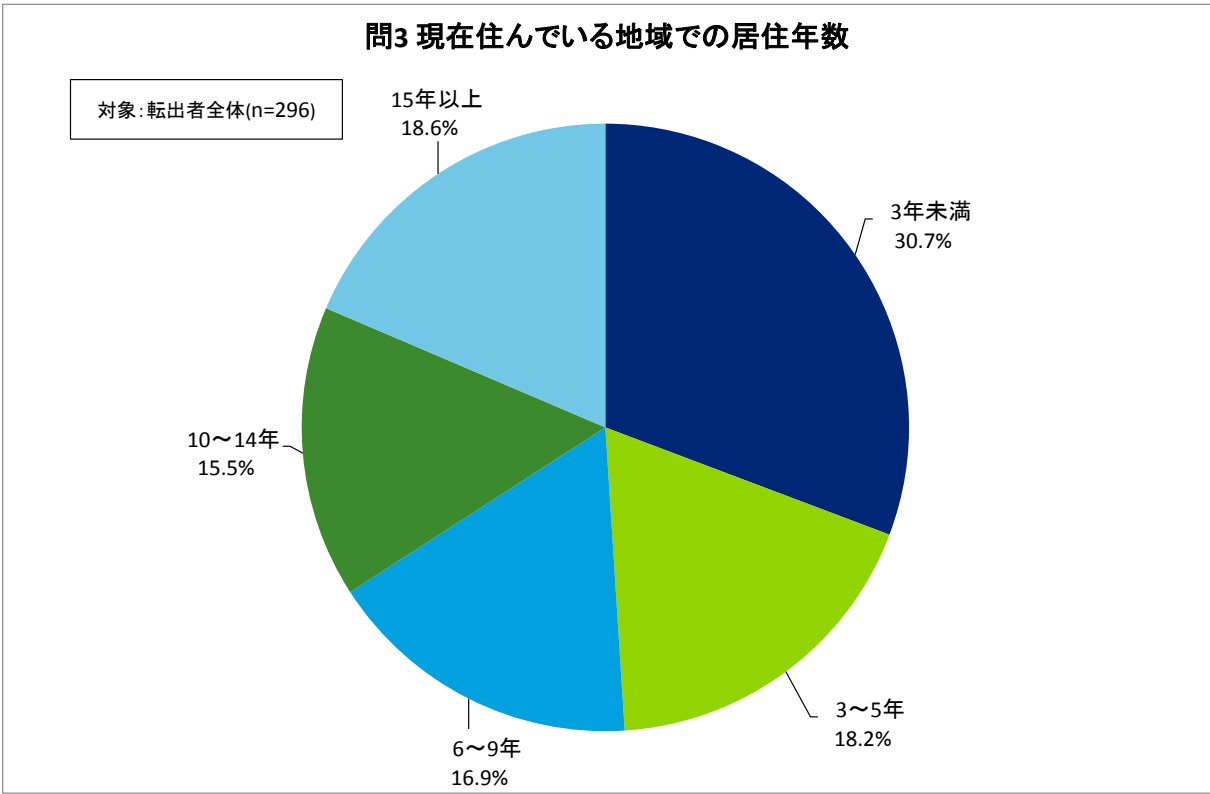
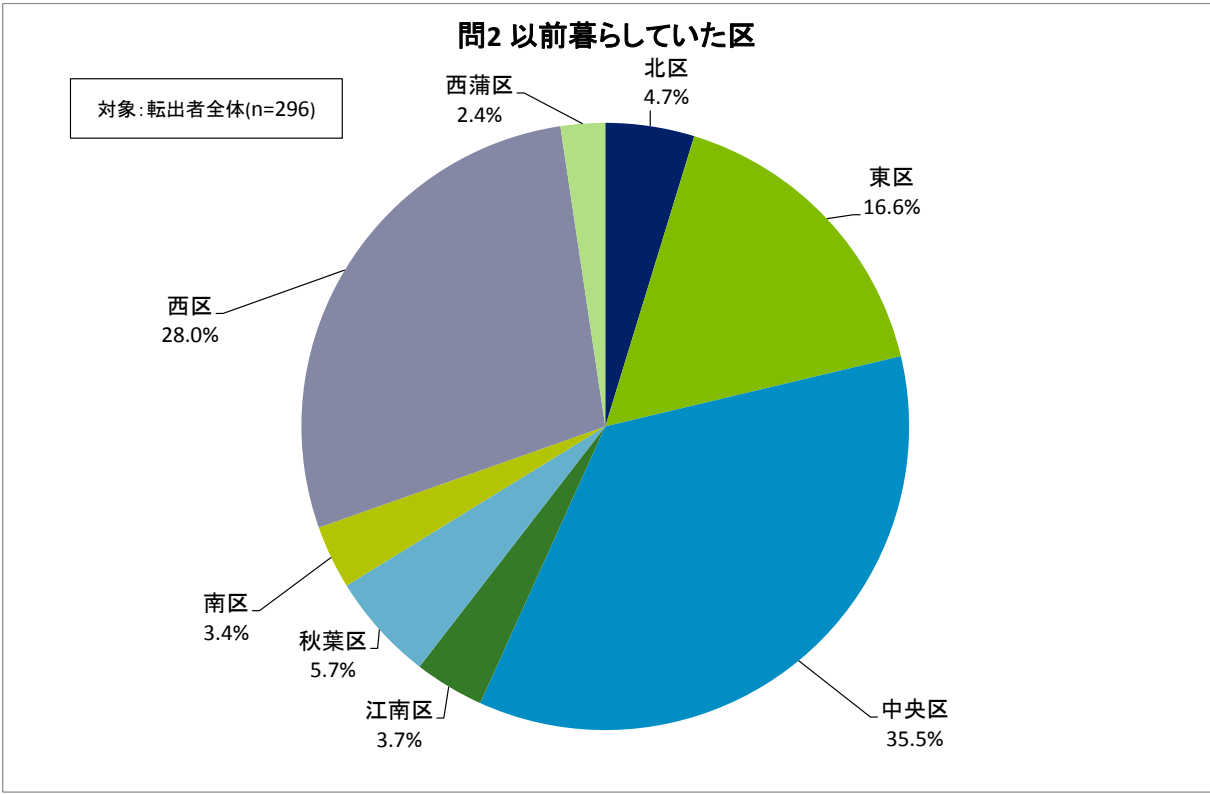
ア 属性について

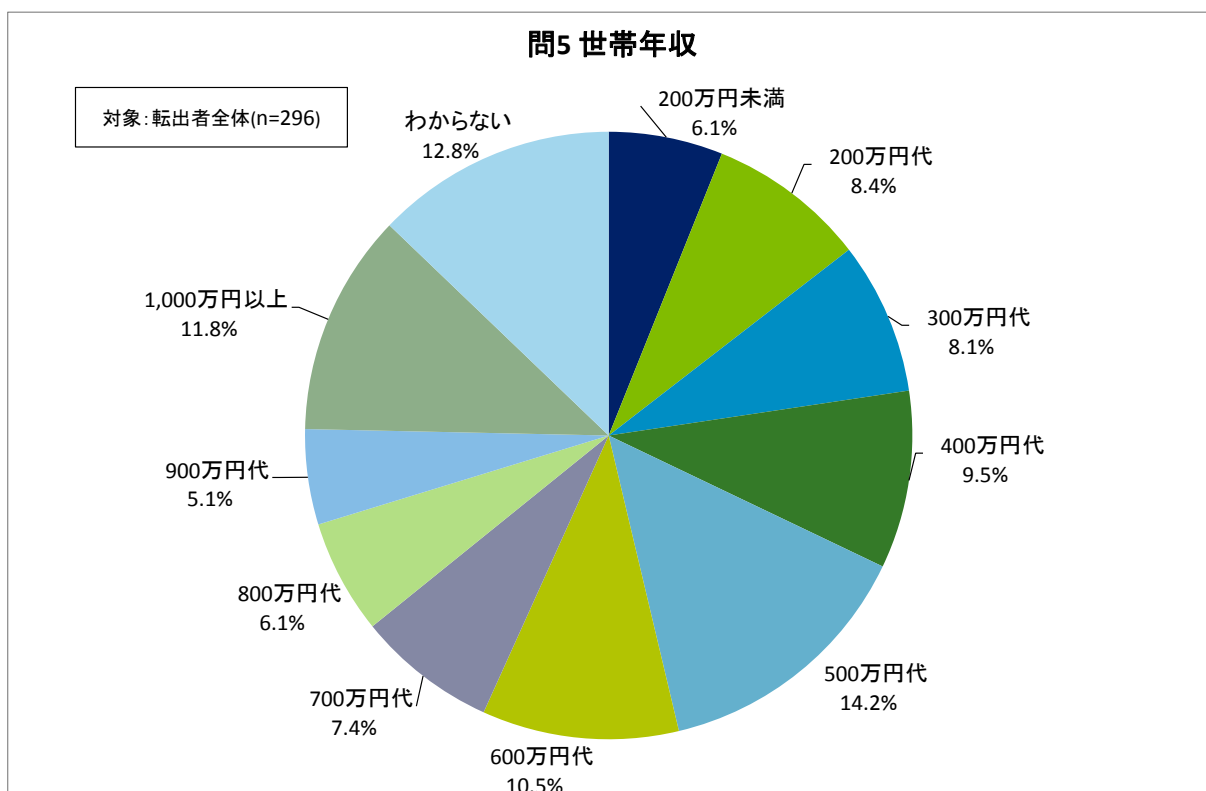
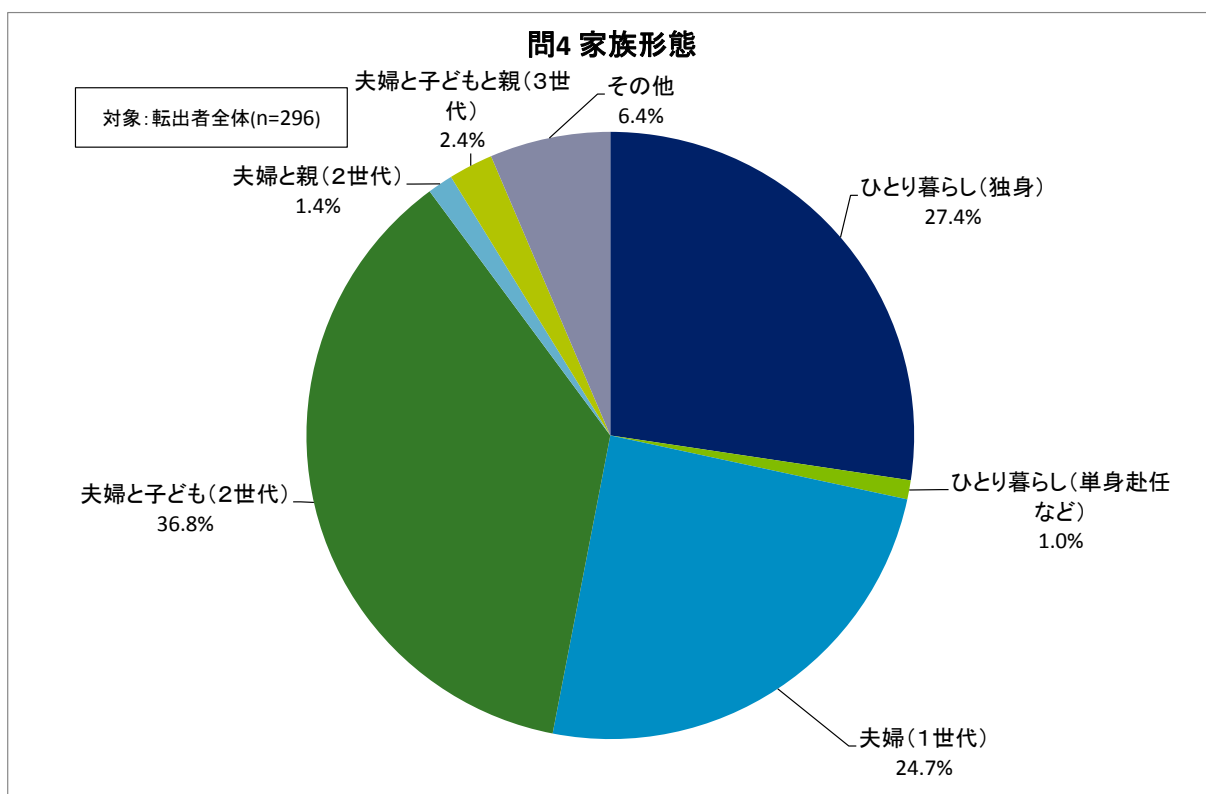
- ・ 年齢は「40～44 歳 (20.3%)」、「45～49 歳 (19.3%)」、「30～34 歳 (18.9%)」の順で高い。
- ・ 性別は「男性 (41.2%)」、「女性 (58.8%)」となっている。
- ・ 転出先の地域は「関東地方 (82.8%)」が最も高い。
- ・ 職業は「正規の職員 (44.9%)」、「家事専業 (18.9%)」、「パート・アルバイト (10.5%)」の順で高い。
- ・ 以前暮らしていた区は「中央区 (35.5%)」、「西区 (28.0%)」、「東区 (16.6%)」の順で高い。
- ・ 現在住んでいる地域での居住年数は「3 年未満 (30.7%)」、「15 年以上 (18.6%)」、「3～5 年 (18.2%)」の順で高い。
- ・ 家族形態は「夫婦と子ども (2 世帯) (36.8%)」、「ひとり暮らし (独身) (27.4%)」、「夫婦 (1 世代) (24.7%)」の順で高い。
- ・ 世帯年収は「500 万円代 (14.2%)」、「1,000 円以上 (11.8%)」、「600 万円代 (10.5%)」の順で高い。
- ・ 住居形態は「持ち家 (42.2%)」、「賃貸 (47.3%)」、「社宅・寮・官舎等 (8.4%)」、「公営住宅 (1.4%)」となっている。
- ・ 現在の居住地に来る前の居住地は「新潟市内 (30.4%)」、「新潟市以外の新潟県内 (2.0%)」、「首都圏 (東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県) (51.4%)」、「その他 (16.2%)」となっている。
- ・ 現在の通勤・通学地は「東京 23 区 (44.6%)」が最も高い。

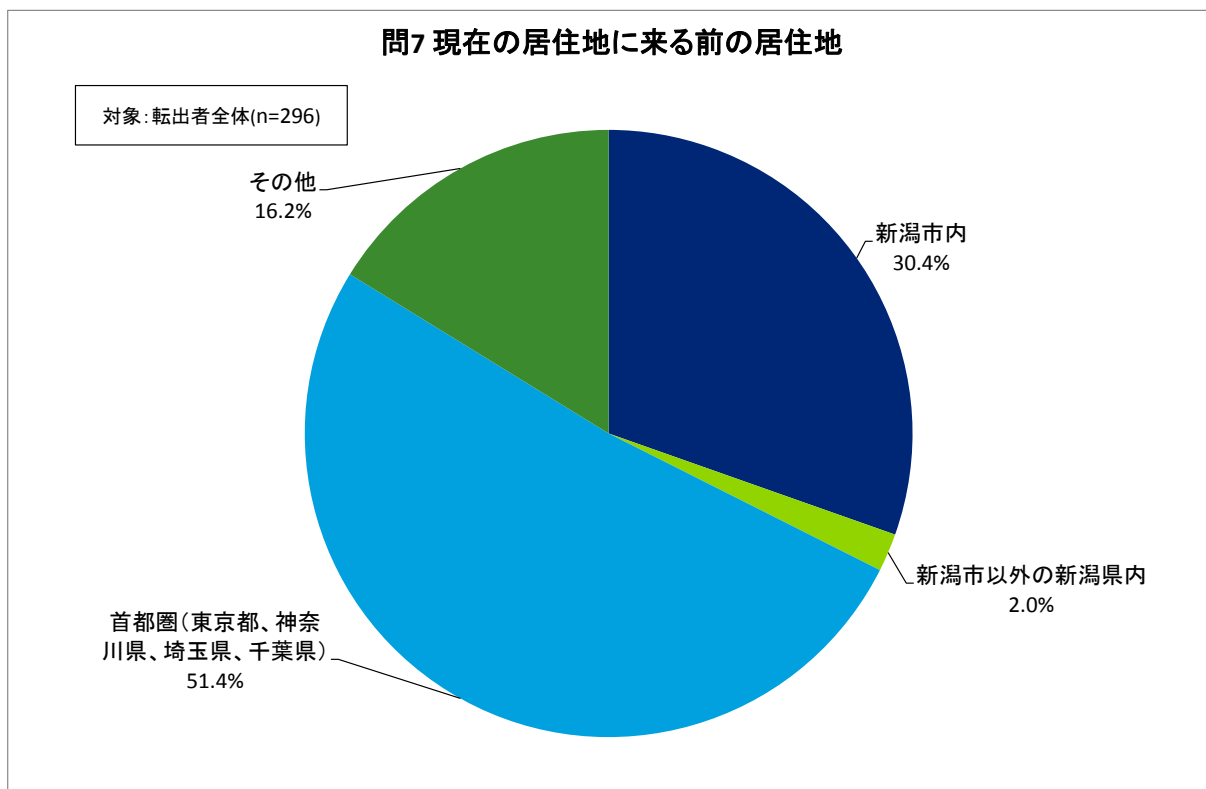
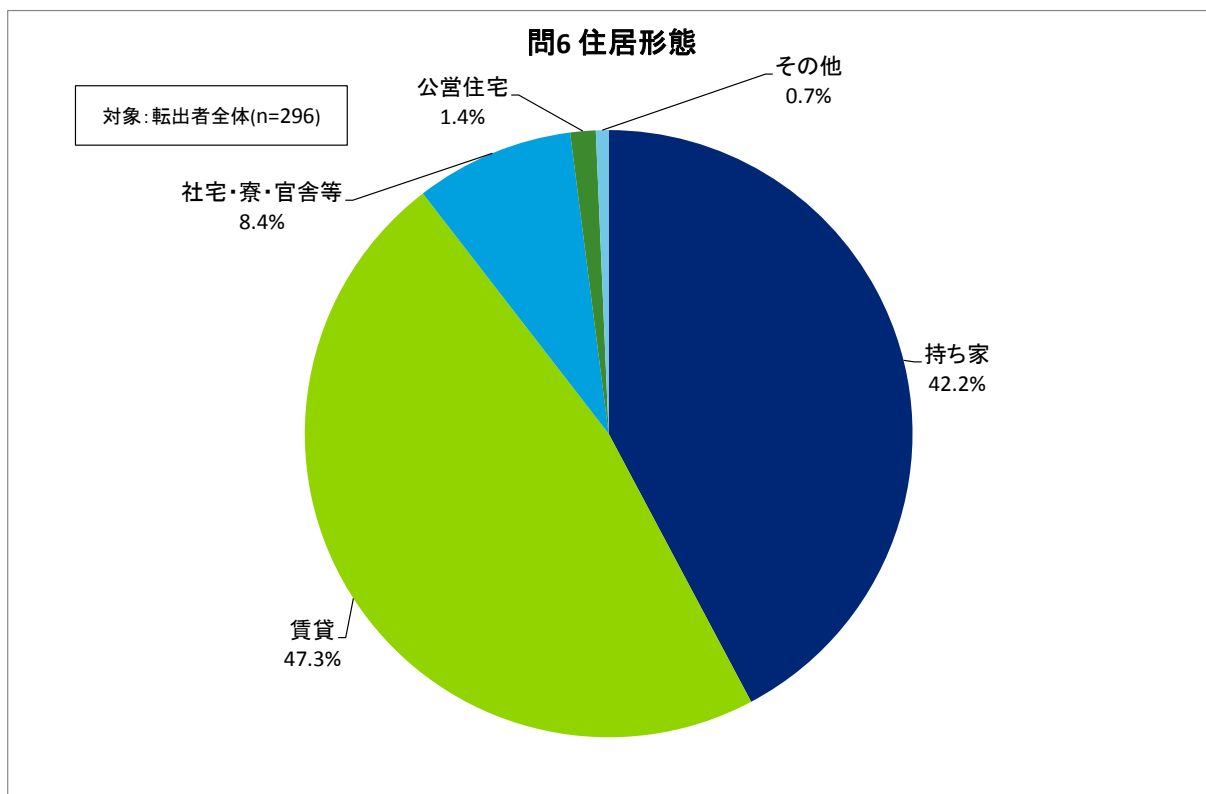




※「農林漁業」は回答がなかったため、非表示にしています。

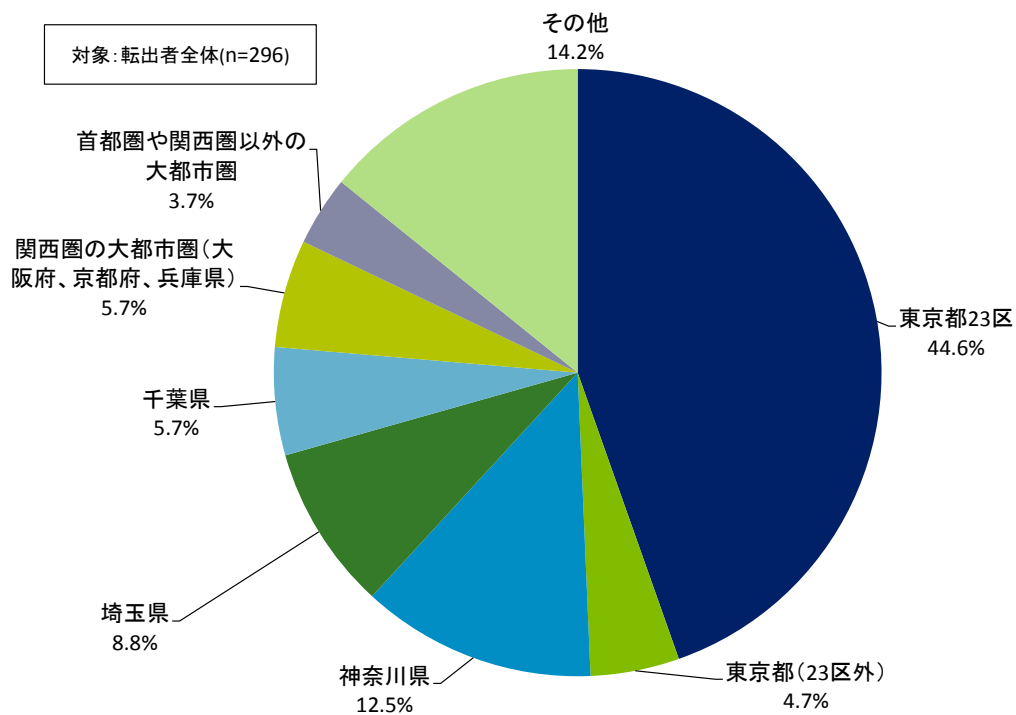






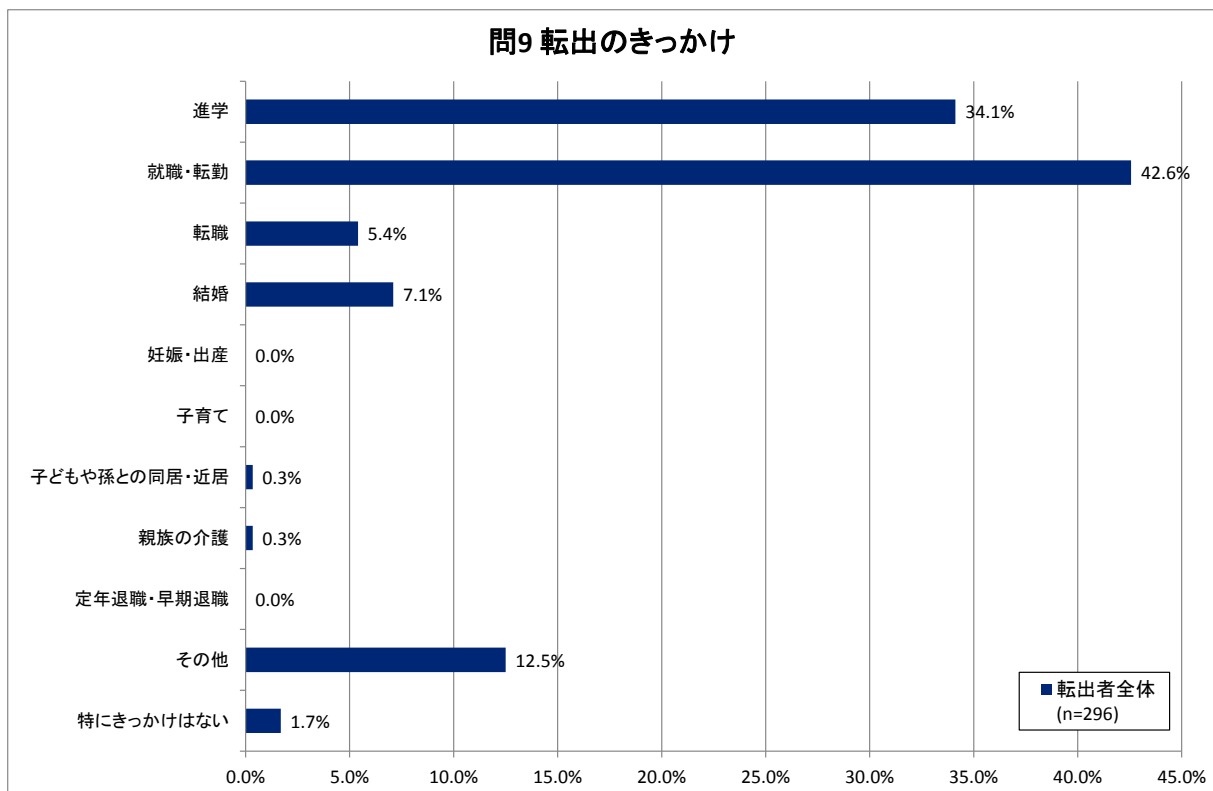
問8 現在の通勤・通学地

対象: 転出者全体(n=296)

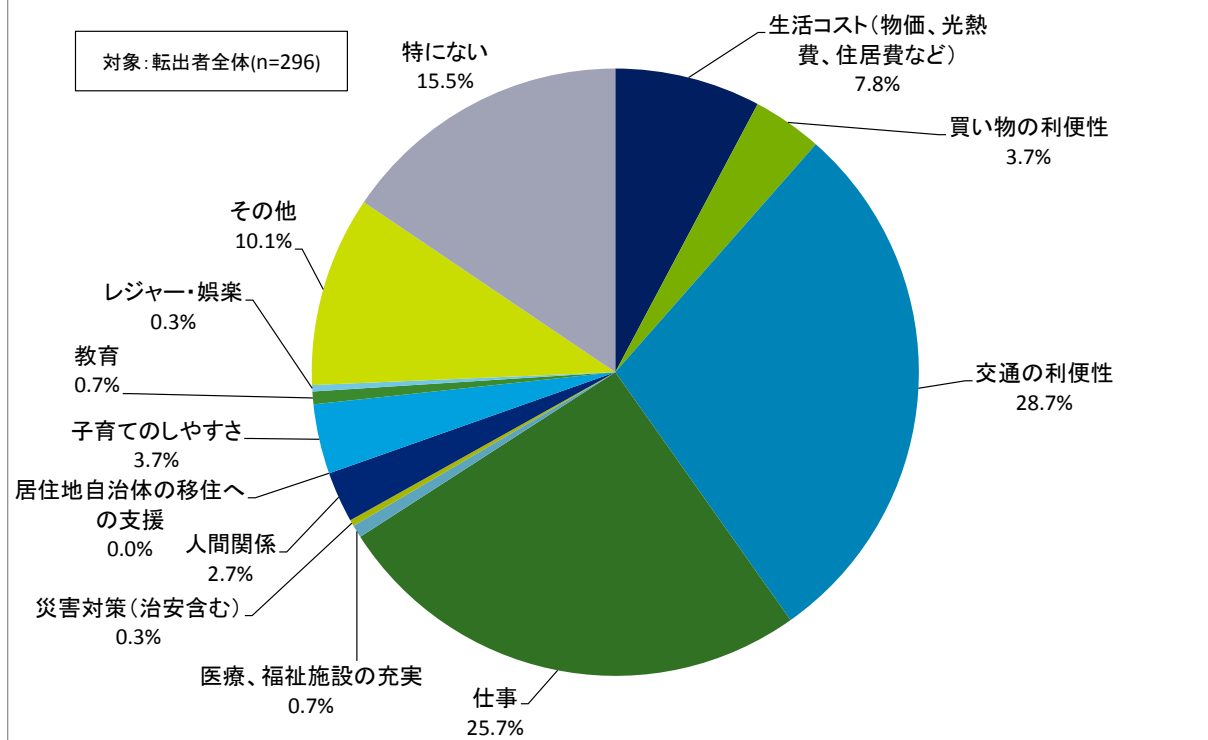


イ 転出について

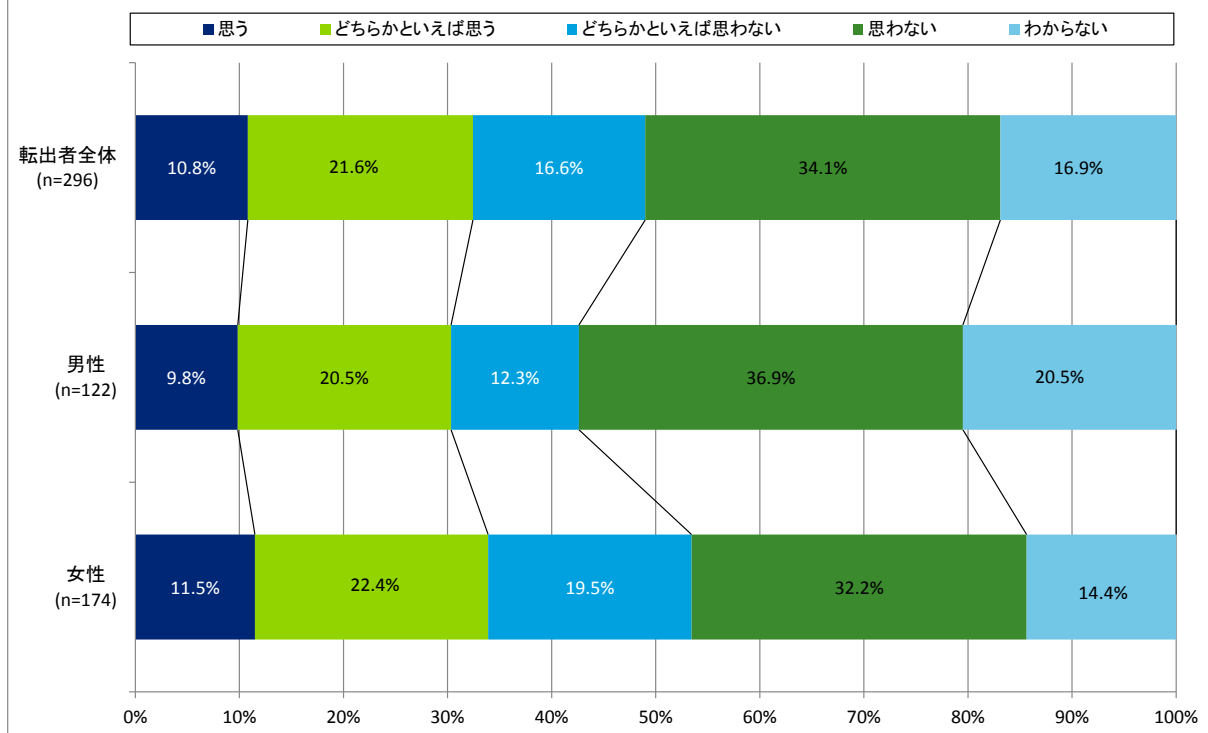
- 転出のきっかけは「就職・転勤（42.6%）」、「進学（34.1%）」、「その他（12.5%）」の順で高い。
- 転出先を選んだ理由は「交通の利便性（28.7%）」、「仕事（25.7%）」、「特にない（15.5%）」の順で高い。
- 将来の新潟市へのUターン意向については、Uターン意向のある者が32.4%（「思う（10.8%）」、「どちらかといえば思う（21.6%）」の合計）となっている。
- 新潟市へいずれは戻りたい理由は「食べ物や水、空気がおいしいから（72.9%）」、「出身地であるから（68.8%）」、「家族・親戚・知人など親しい人がいるから（61.5%）」の順で高い。
- 新潟市に戻る時期については「わからない（40.6%）」、「定年退職したとき（14.6%）」、「就職・転職するとき（13.5%）」の順で高い。
- 男女差が大きい項目として、「定年退職したとき（男性：24.3%、女性：8.5%）」、「就職・転職するとき（男性：18.9%、女性：10.2%）」は女性に比べ男性の割合が高い。
- 新潟市に住み続ける、将来戻ってくるために必要なことは「働く場の充実（50.7%）」、「買い物の利便性の向上（26.0%）」、「地域内の公共交通の充実（25.3%）」の順で高い。



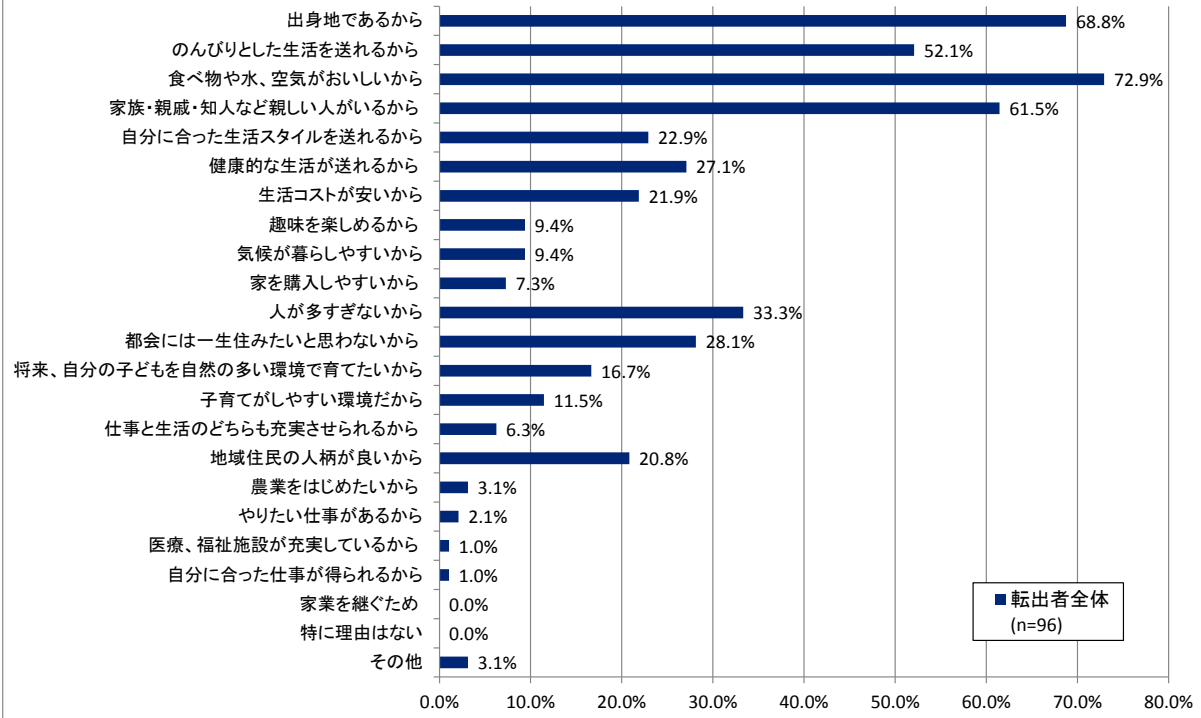
問10 転出先を選んだ理由(重視した条件)



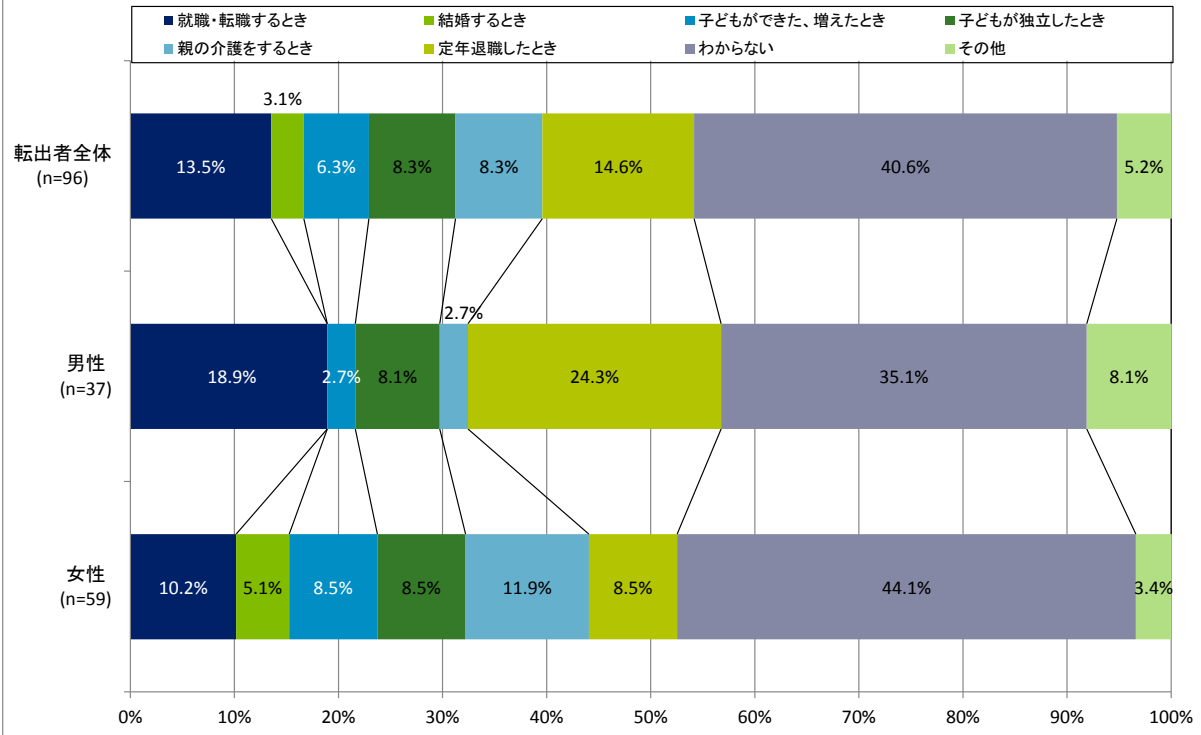
問11 将来の新潟市へのUターン意向(男女別)



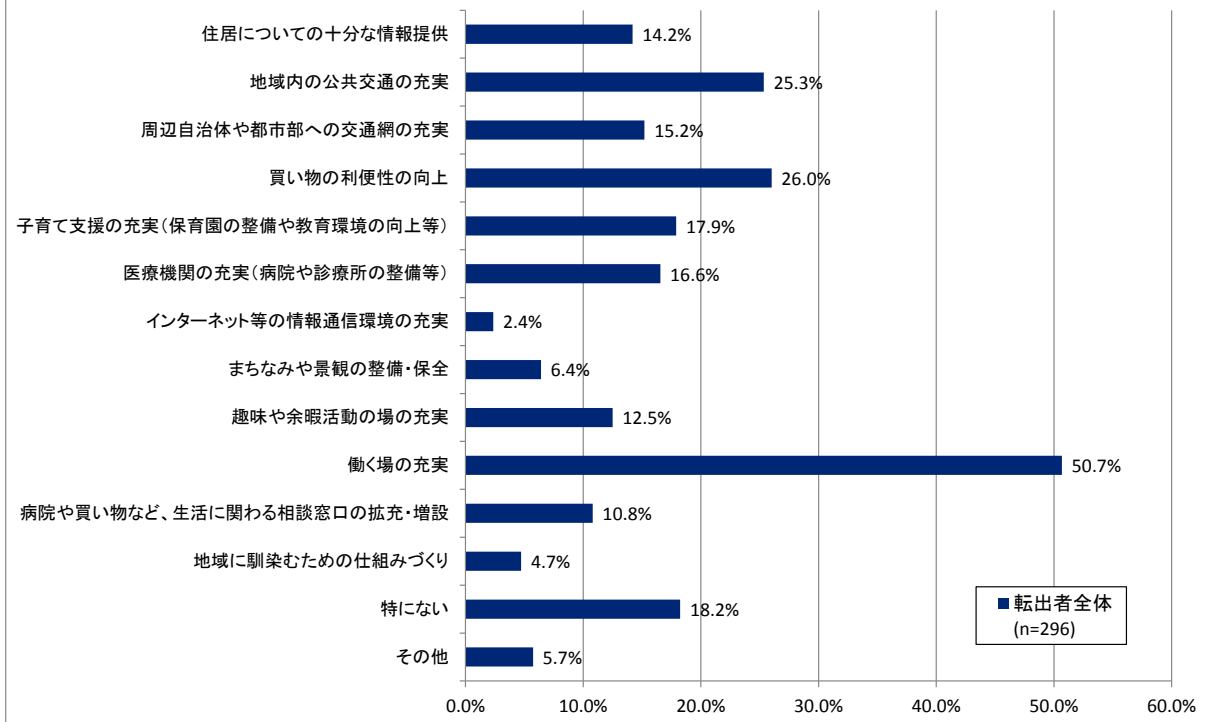
問11-1 新潟市へいずれは戻りたいという理由



問11-2 新潟市に戻る時期(男女別)

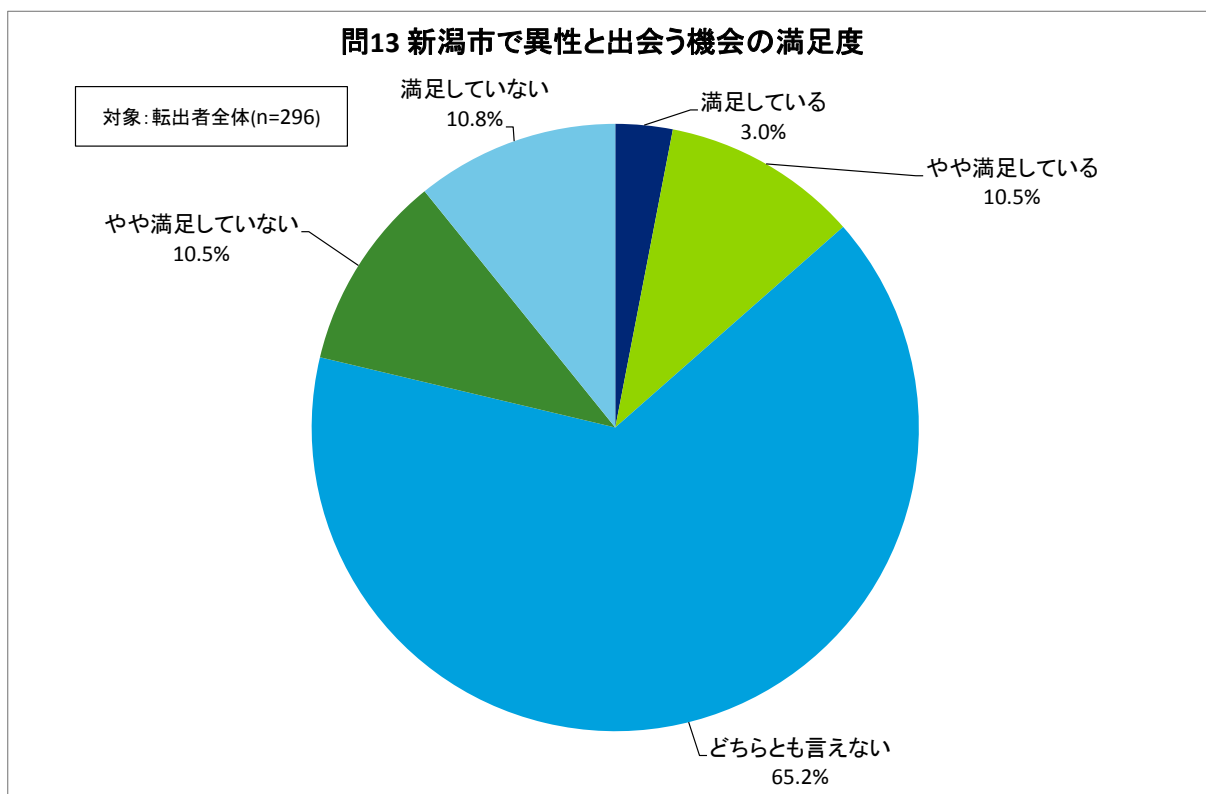


問12 新潟市に住み続ける、将来戻ってくるために必要なこと



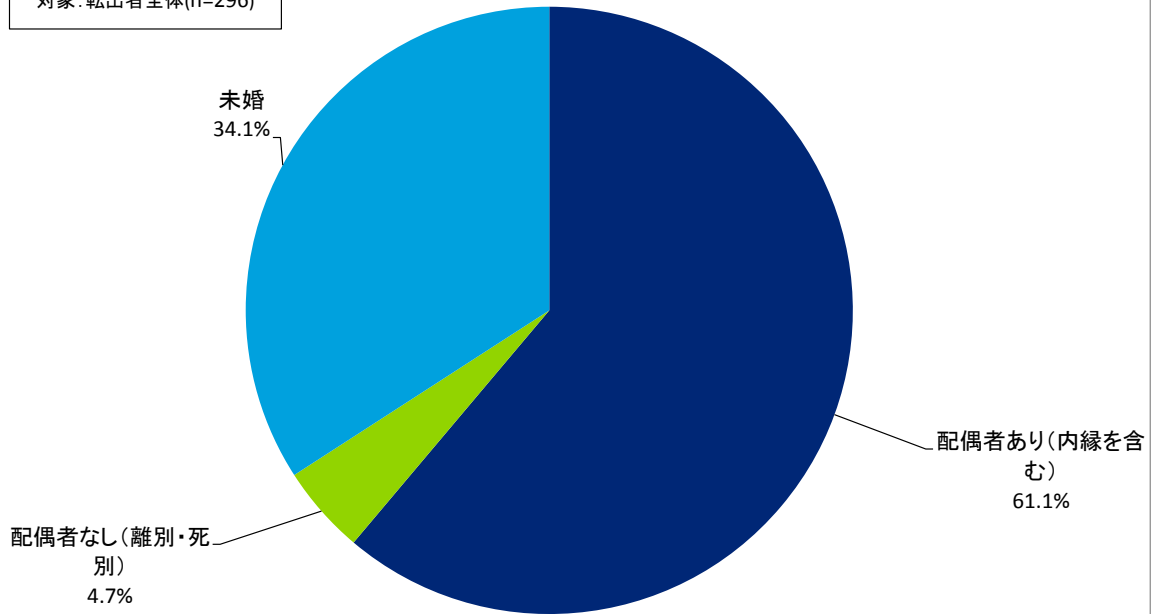
ウ 結婚のしやすさについて

- ・ 異性と出会う機会の満足度は、満足していない者が 21.3%（「満足していない（10.8%）」、「やや満足していない（10.5%）」の合計）、「どちらともいえない（65.2%）」となっている。
- ・ 結婚しているかどうかは「配偶者あり（内縁を含む）（61.1%）」、「配偶者なし（離別・死別）（4.7%）」、「未婚（34.1%）」となっている。
- ・ 独身者の婚姻意向は「いずれは結婚したい（47.0%）」、「結婚するつもりはない（30.4%）」、「2～3年以内に結婚したい（18.3%）」の順で高い。
- ・ 男女別にみると、「2～3年以内に結婚したい」と回答した者は、「男性（5.7%）」、「女性は（29.0%）」と女性の方が高い。
- ・ 結婚するつもりがない理由は「適当な相手がいない（45.7%）」、「異性とうまく付き合えない・恋愛がめんどろ（42.9%）」、「自分の時間を失いたくない（40.0%）」の順で高い。
- ・ 結婚支援のために行政が取り組むべきことは「安定した雇用の確保（83.1%）」、「結婚祝金などの経済的支援（37.2%）」、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供（24.3%）」の順で高い。
- ・ 企業が取り組むべきことは「雇用機会の拡充（52.4%）」、「給与・ボーナスを増やす（51.4%）」、「正規社員登録の増加（41.6%）」の順で高い。

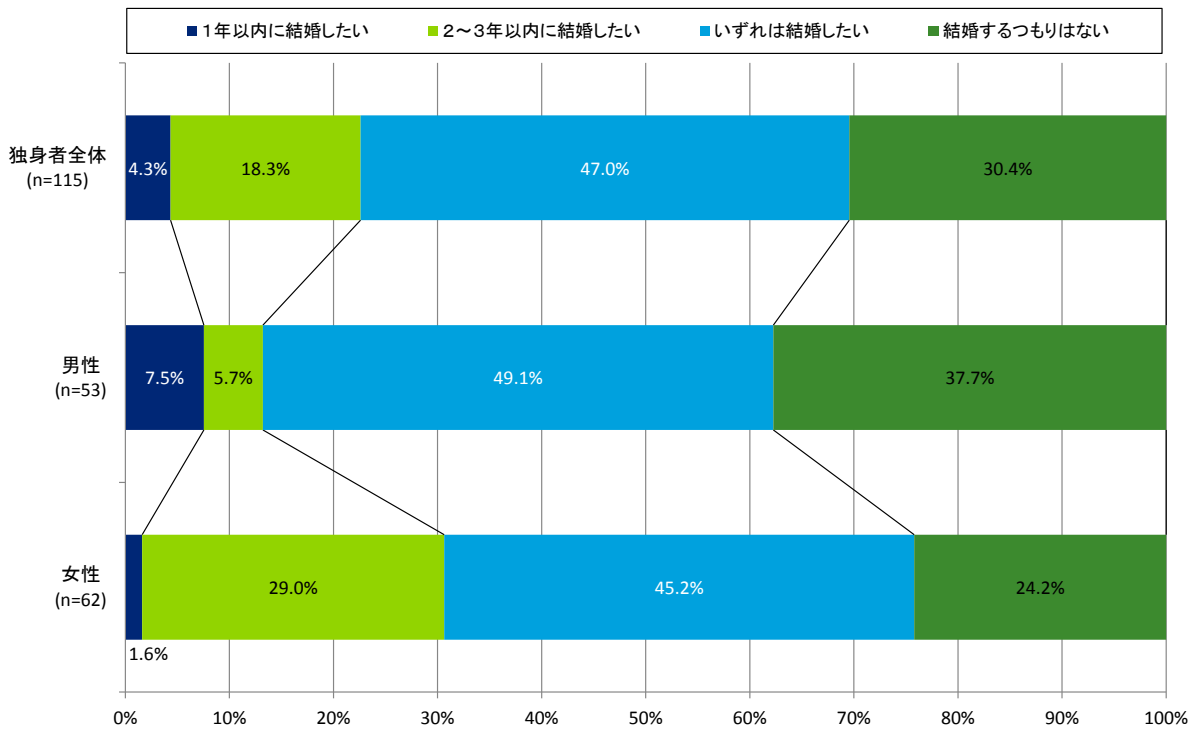


問14 結婚しているかどうか

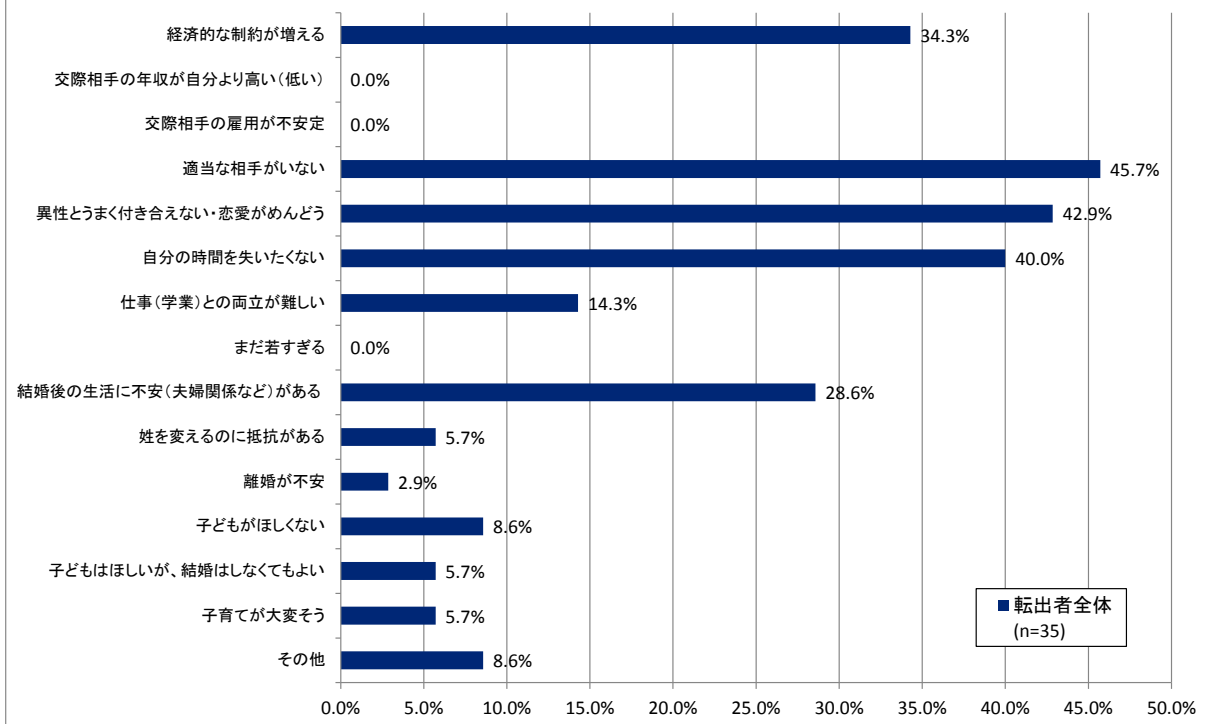
対象: 転出者全体(n=296)



問14-1 独身者の婚姻意向(男女別)

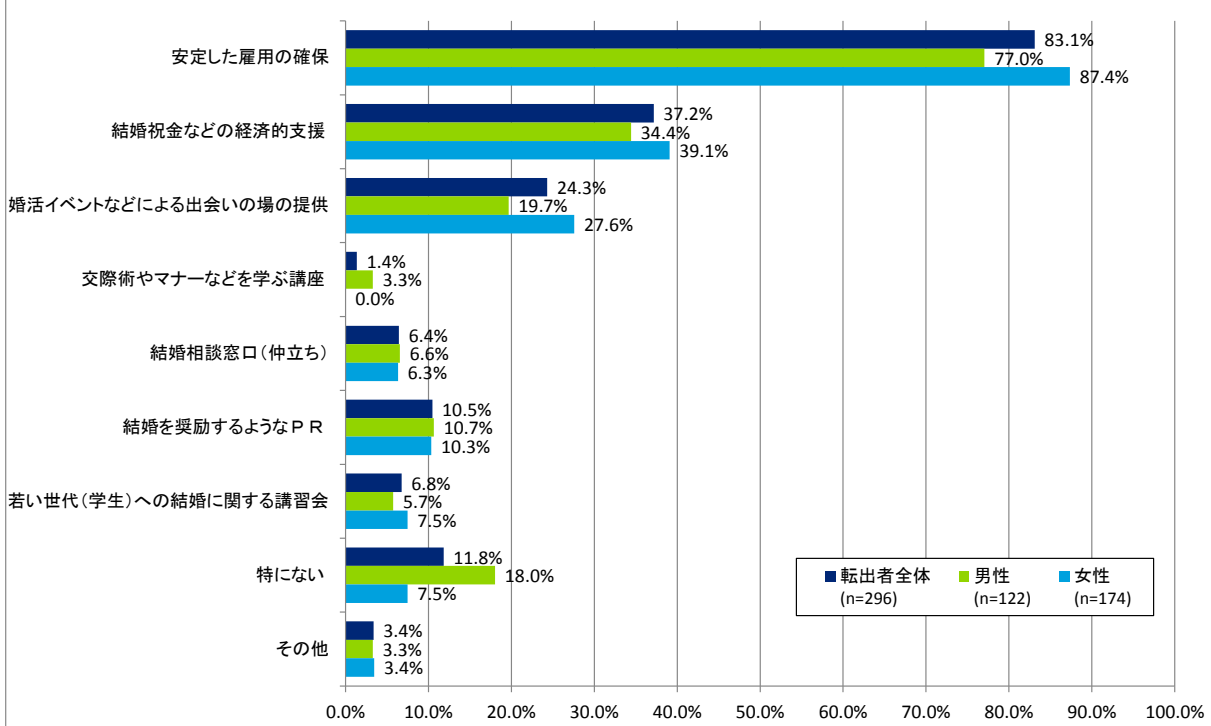


問14-2 結婚をするつもりがない理由(独身者)

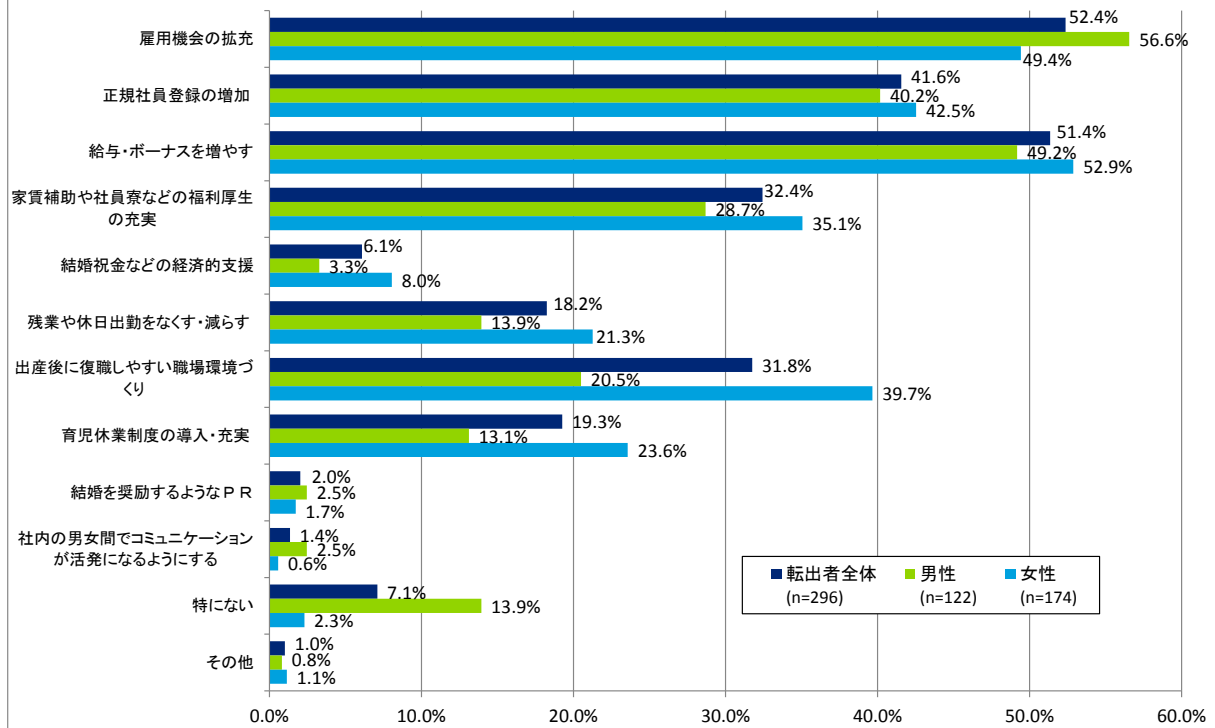


※「結婚後の生活に不安(夫婦関係など)がある」は、「親戚づきあいや結婚後の夫婦関係など結婚後の生活に(経済的なもの以外で)不安がある」の略式回答として表示しています。

問15 結婚支援のために行政が取り組むべきこと(男女別)

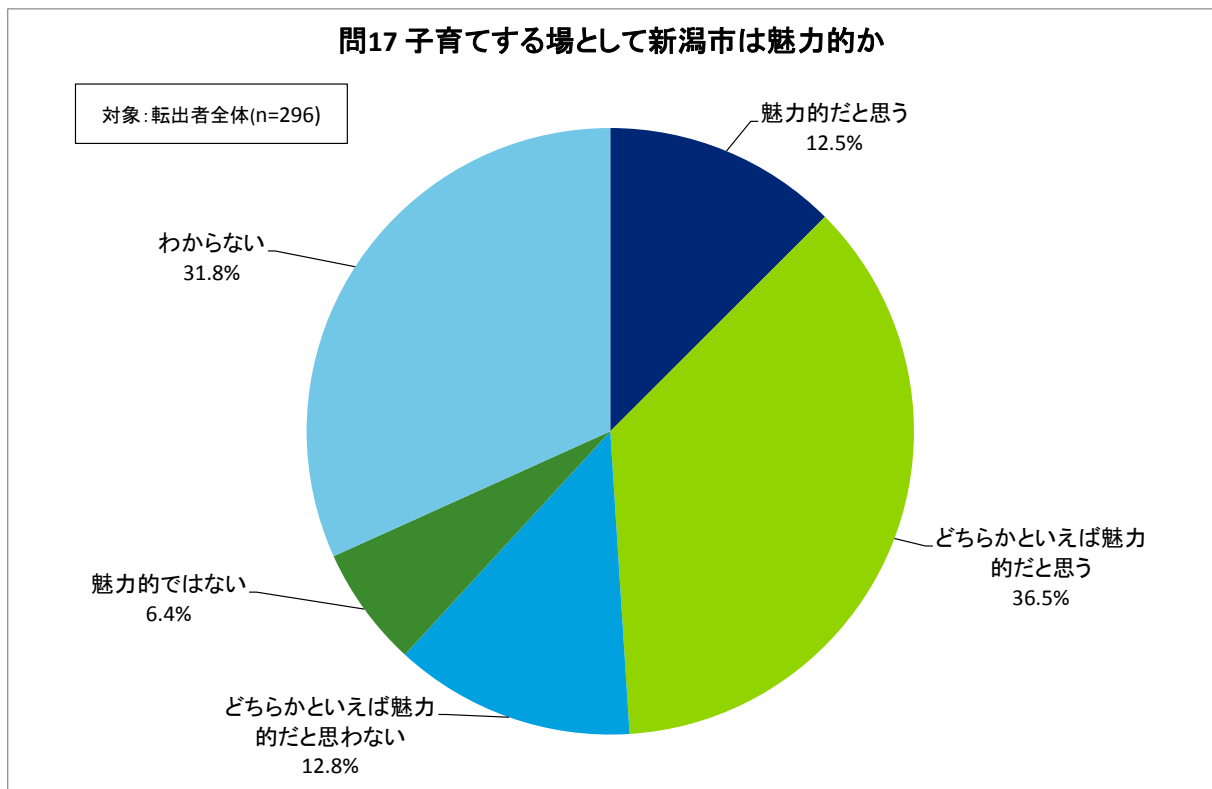


問16 結婚支援のために企業が取り組むべきこと(男女別)

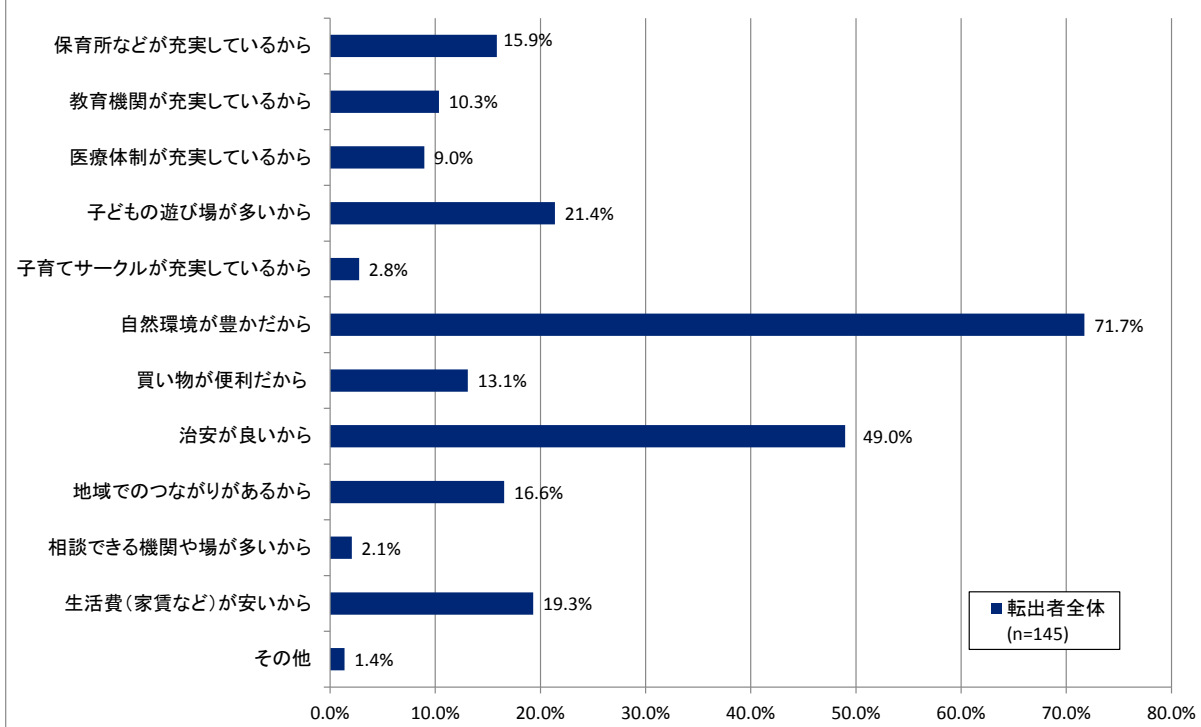


エ 子育てのしやすさについて

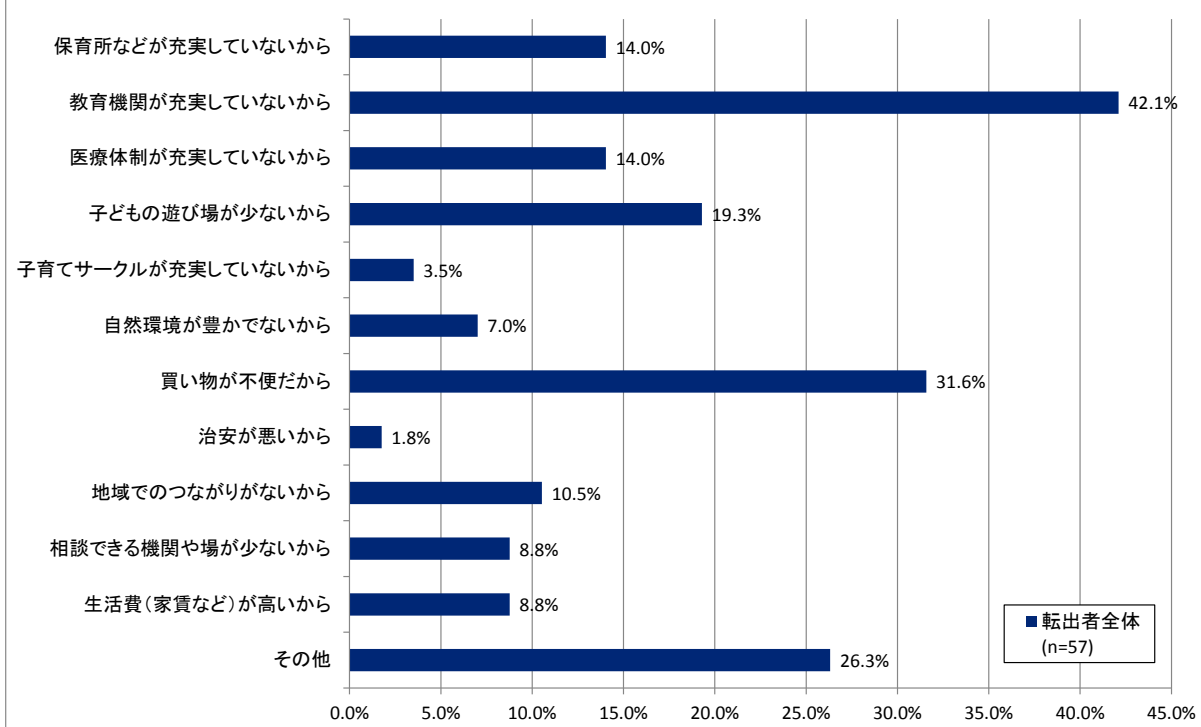
- ・ 子育てする場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が49.0%（「魅力的だと思う（12.5%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（36.5%）」の合計）となっている。
- ・ 魅力的だと思う理由は「自然環境が豊かだから（71.7%）」、「治安が良いから（49.0%）」、「子どもの遊び場が多いから（21.4%）」の順で高い。
- ・ 魅力的だと思わない理由は「教育機関が充実していないから（42.1%）」、「買い物不便だから（31.6%）」、「子どもの遊び場が少ないから（19.3%）」の順で高い。
- ・ 現在の子どもの数については「0人（65.2%）」、「2人（18.6%）」、「1人（12.5%）」、「3人（3.7%）」の順で高い。
- ・ 今後の子どもの予定数については「0人（58.4%）」、「2人（20.9%）」、「1人（15.5%）」、「3人（5.1%）」の順で高い。
- ・ 理想的な子どもの数については「2人（52.4%）」、「3人（23.3%）」、「0人（15.9%）」、「1人（7.1%）」の順で高い。
- ・ 子どもが増えるための支援・対策は「安定した雇用の確保（65.9%）」、「子育てしやすい職場環境の整備（32.4%）」、「子育てに伴う経済的負担の軽減（32.1%）」の順で高い。

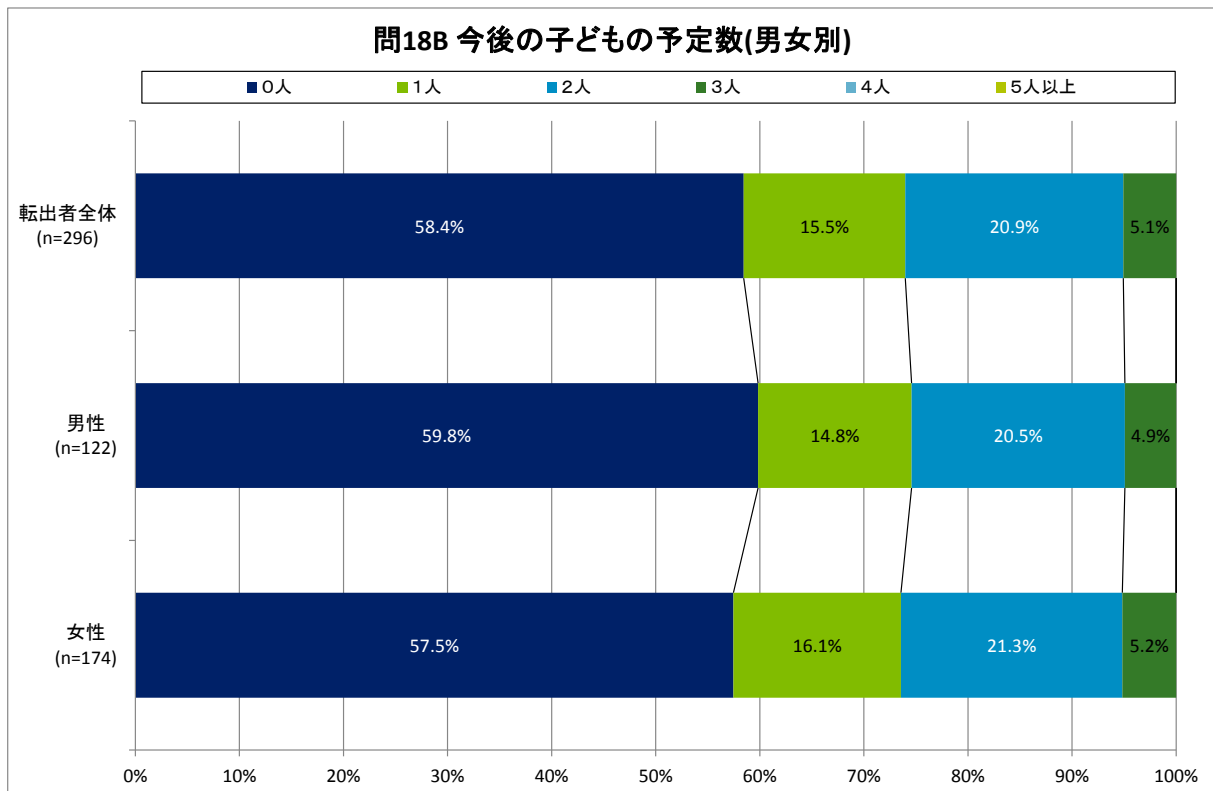
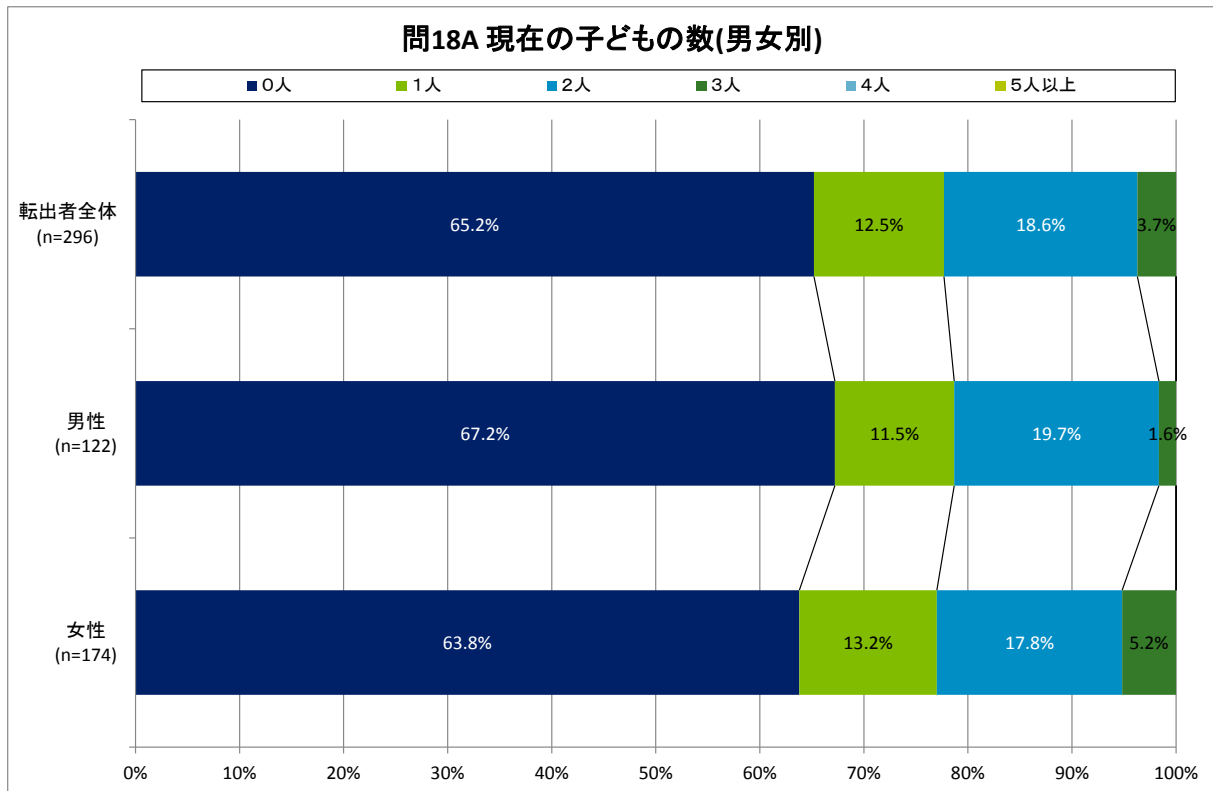


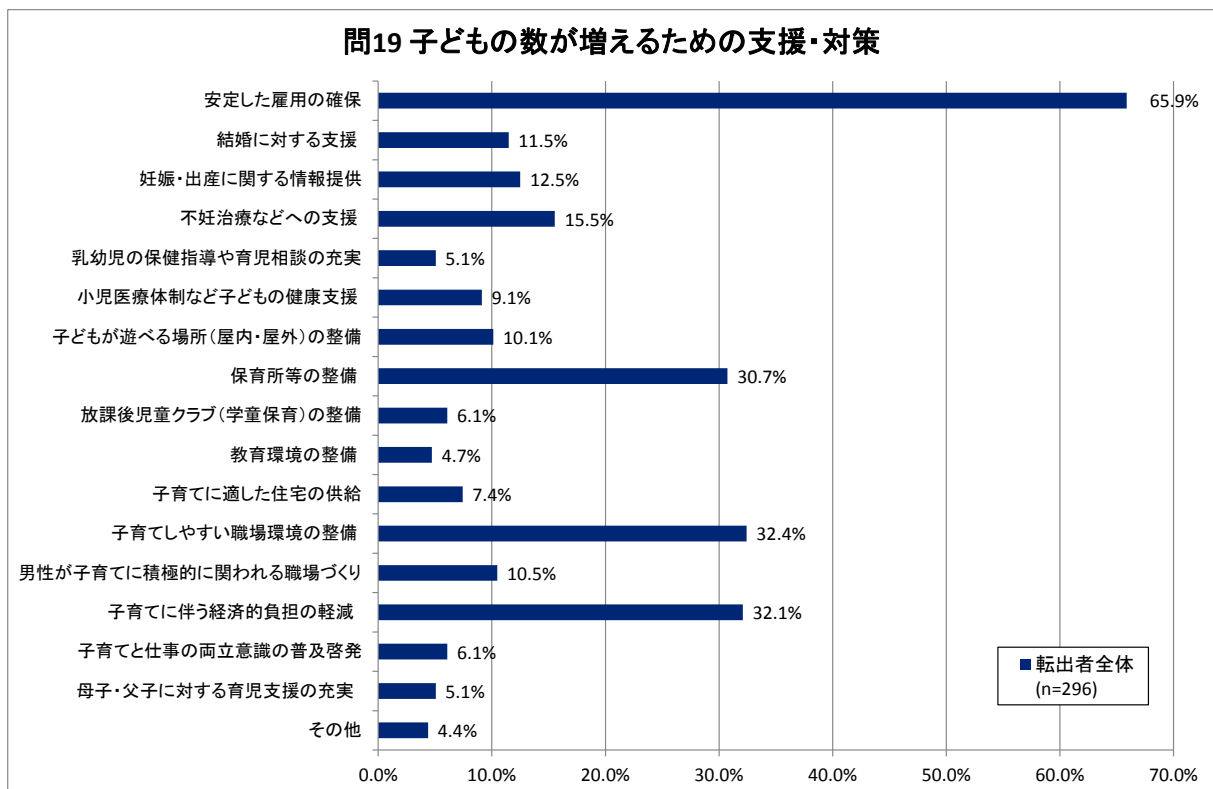
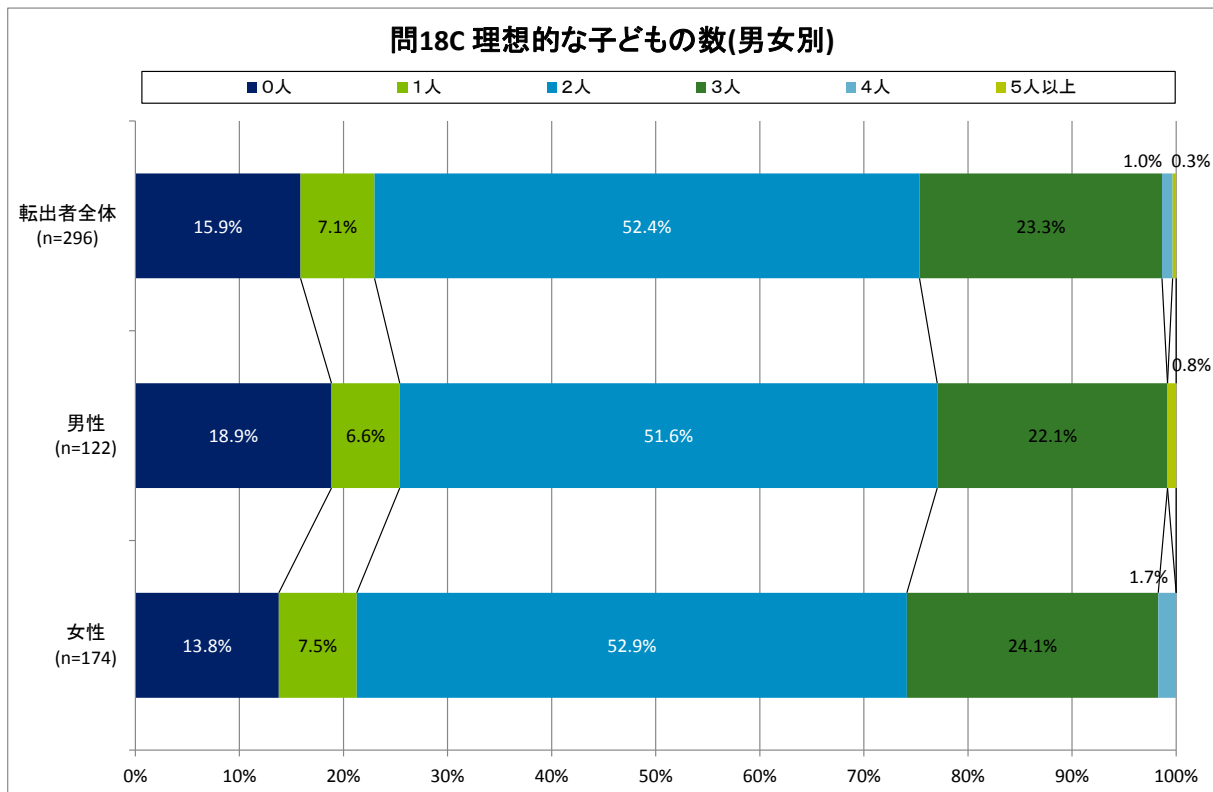
問17-1「新潟市が子育てする場として魅力的だと思う」理由



問17-2「新潟市が子育てする場として魅力的だと思わない」理由

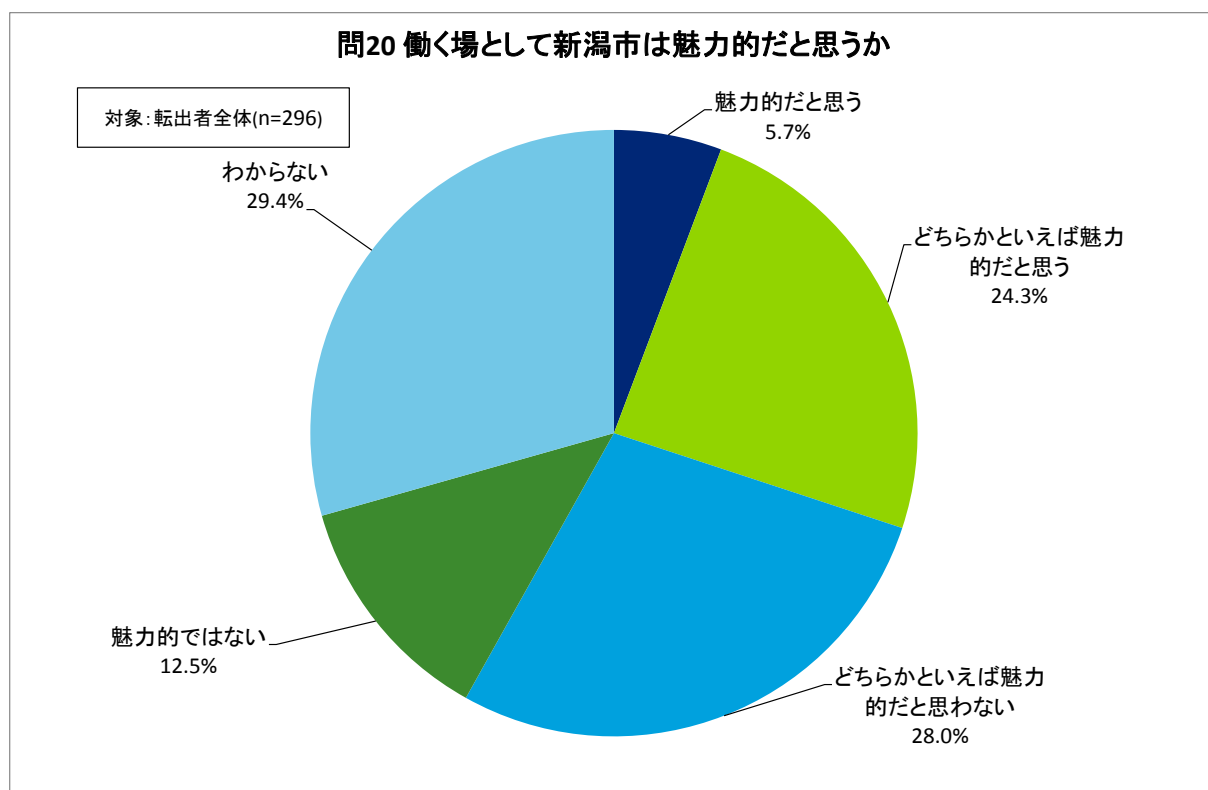




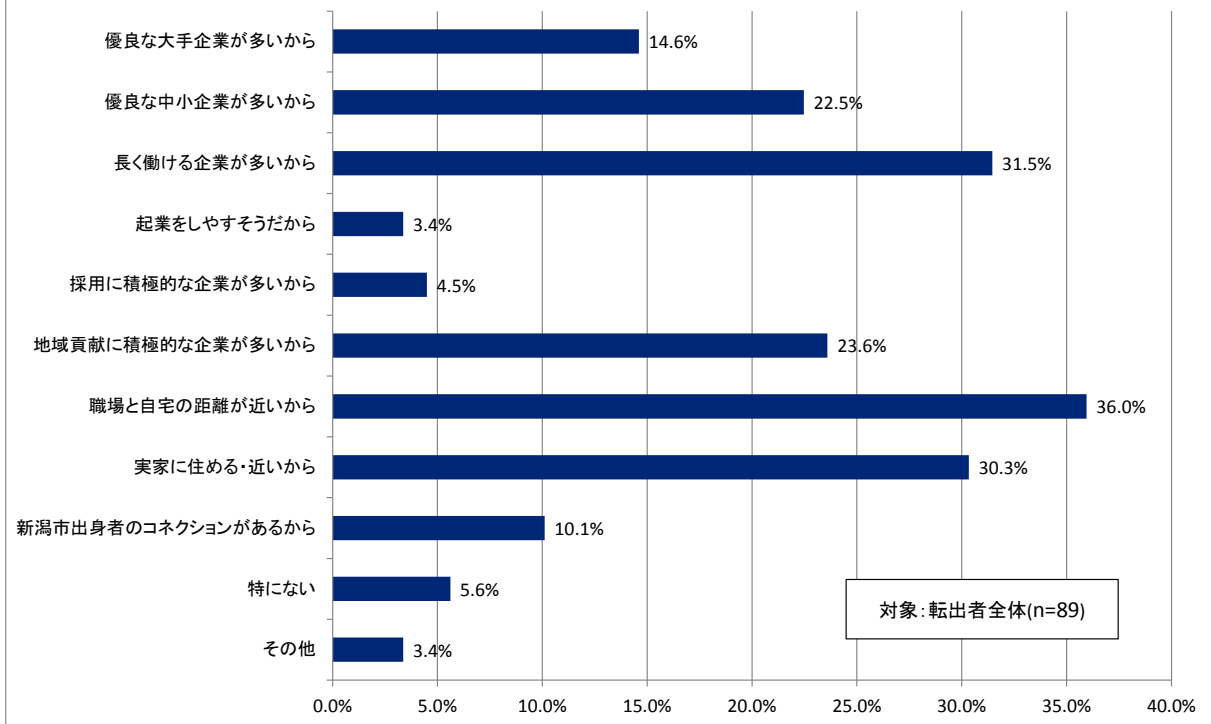


オ 働きやすさについて

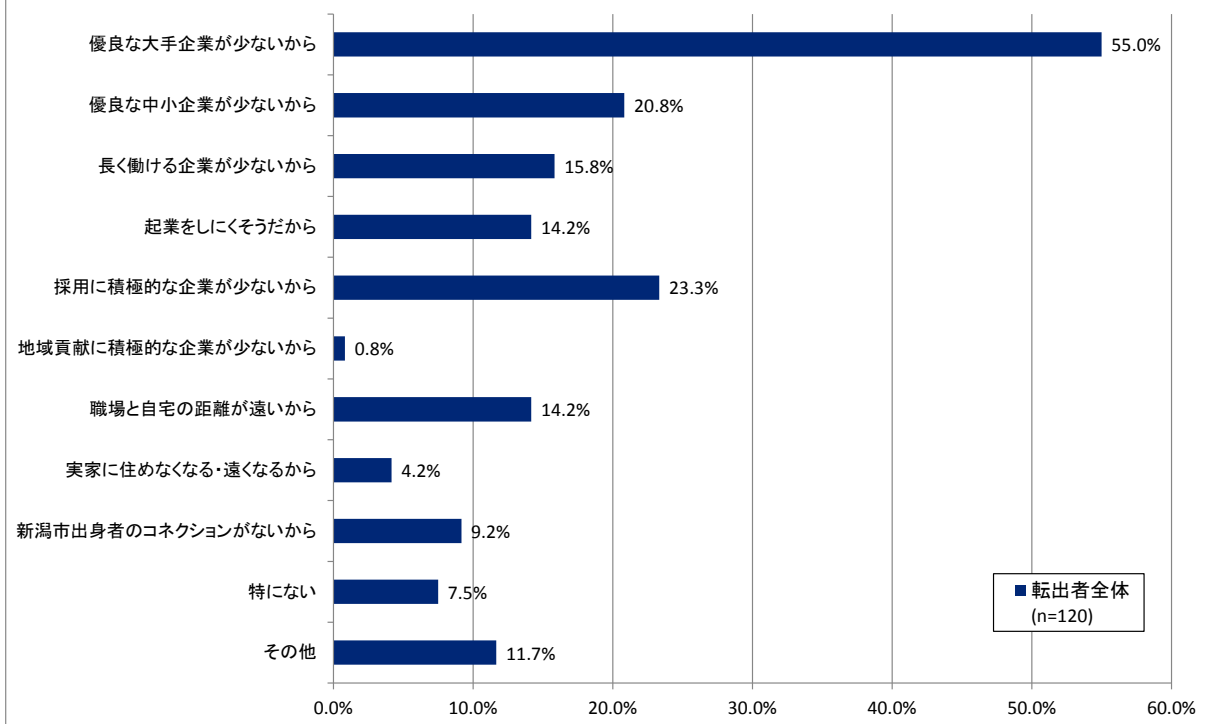
- ・ 働く場として新潟市は魅力的かについては、魅力的だと思う者が30.0%（「魅力的だと思う（5.7%）」「どちらかといえば魅力的だと思う（24.3%）」の合計）となっている。
- ・ 魅力的だと思う理由は「職場と自宅の距離が近いから（36.0%）」、「長く働ける企業が多いから（31.5%）」、「実家に住める・近いから（30.3%）」の順で高い。
- ・ 魅力的だと思わない理由は「優良な大手企業が少ないから（55.0%）」、「採用に積極的な企業が少ないから（23.3%）」、「優良な中小企業が少ないから（20.8%）」の順で高い。
- ・ 新潟市の優良企業として思いつく企業があるかは「はい（59.1%）」、「いいえ（40.9%）」となっている。
- ・ 働きやすさのために行政が取り組むべきことは「企業誘致による雇用拡大（59.1%）」、「育児・介護休業制度の啓発（34.5%）」、「ブラック企業などへの注意喚起（24.3%）」の順で高い。（ただし、「育児・介護休業制度の啓発」は男女差が大きく、男性21.3%に対し、女性は43.7%であった。）
- ・ 企業が取り組むべきことは「雇用機会の拡充（56.8%）」、「給与・ボーナスを増やす（53.7%）」、「正規社員登録の増加（42.9%）」の順に高い。
- ・ 男女差が大きい項目として、「育児・介護休業制度の導入・充実（男性：12.3%、女性：37.4%）」、「残業や休日出勤をなくす・減らす（男性：17.2%、女性：28.2%）」、「出産後に復職しやすい職場環境づくり（男性：18.9%、女性：29.9%）」は男性に比べ女性の割合が高い。



問20-1「新潟市が働く場として魅力的だと思う」理由

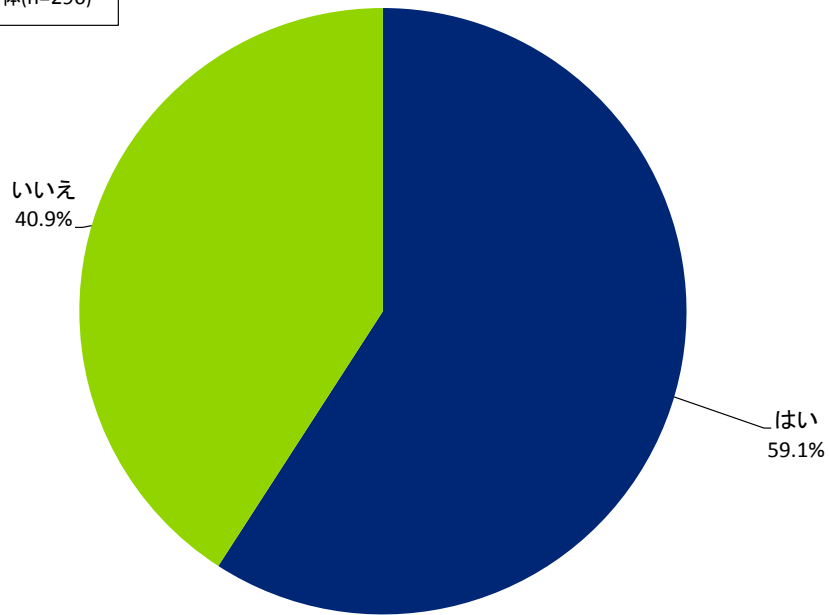


問20-2「新潟市が働く場として魅力的だと思わない」理由

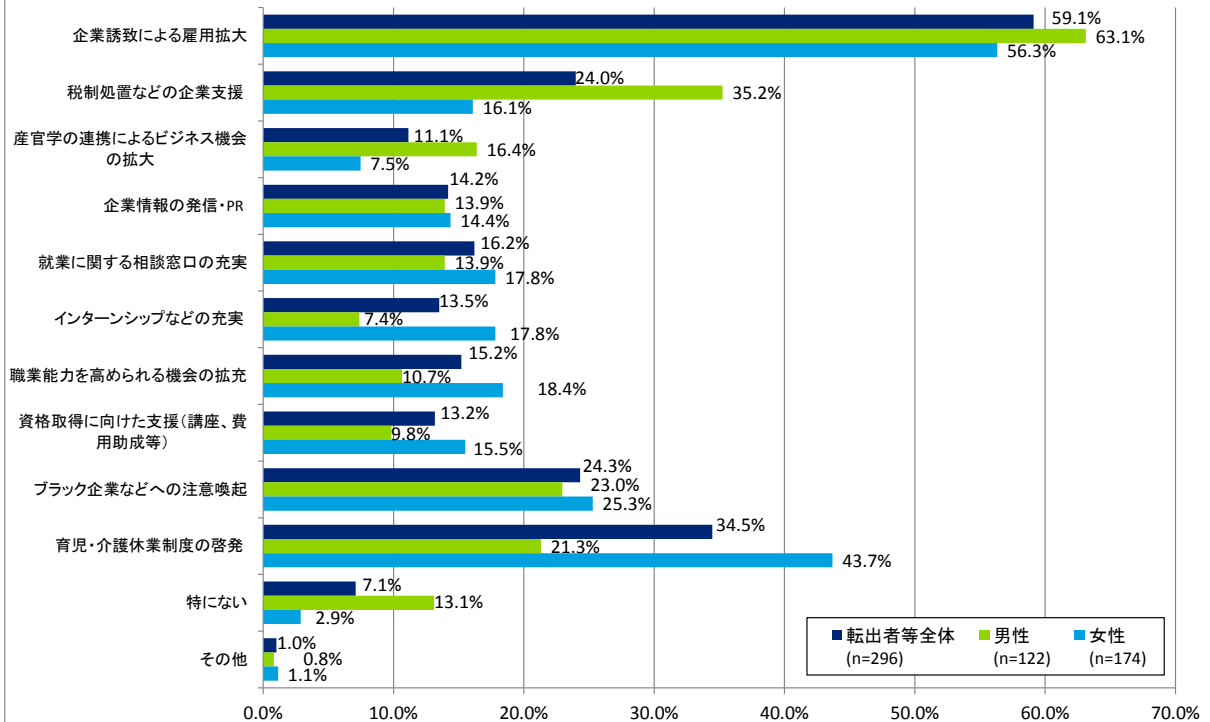


問21 新潟市の優良企業として思いつく企業はあるか

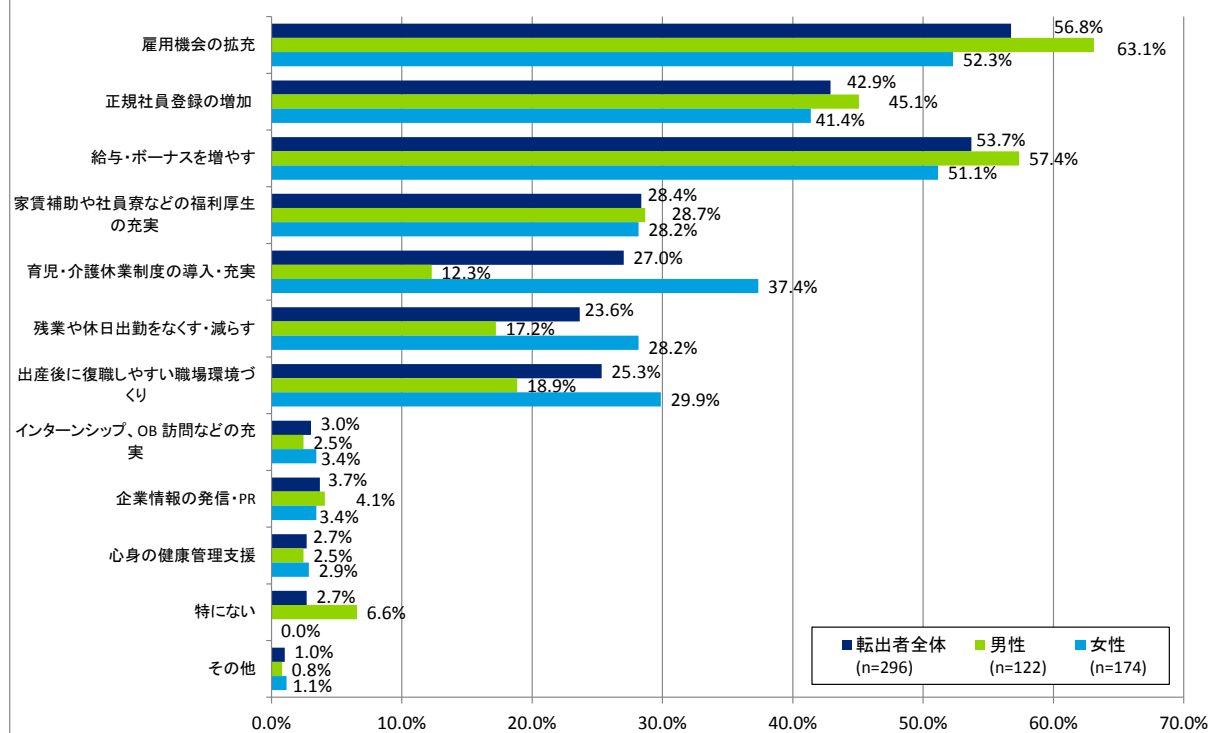
対象: 転出者全体(n=296)



問22 働きやすさのために行政が取り組むべきこと(男女別)

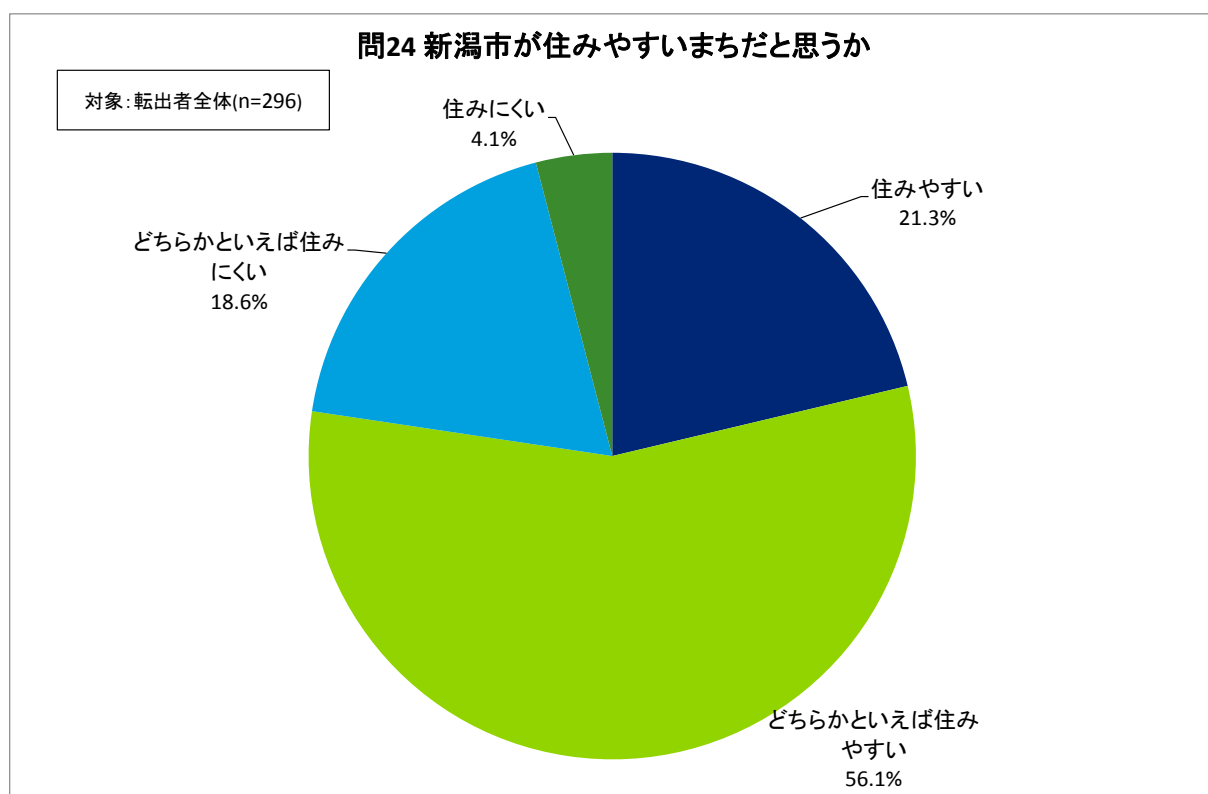


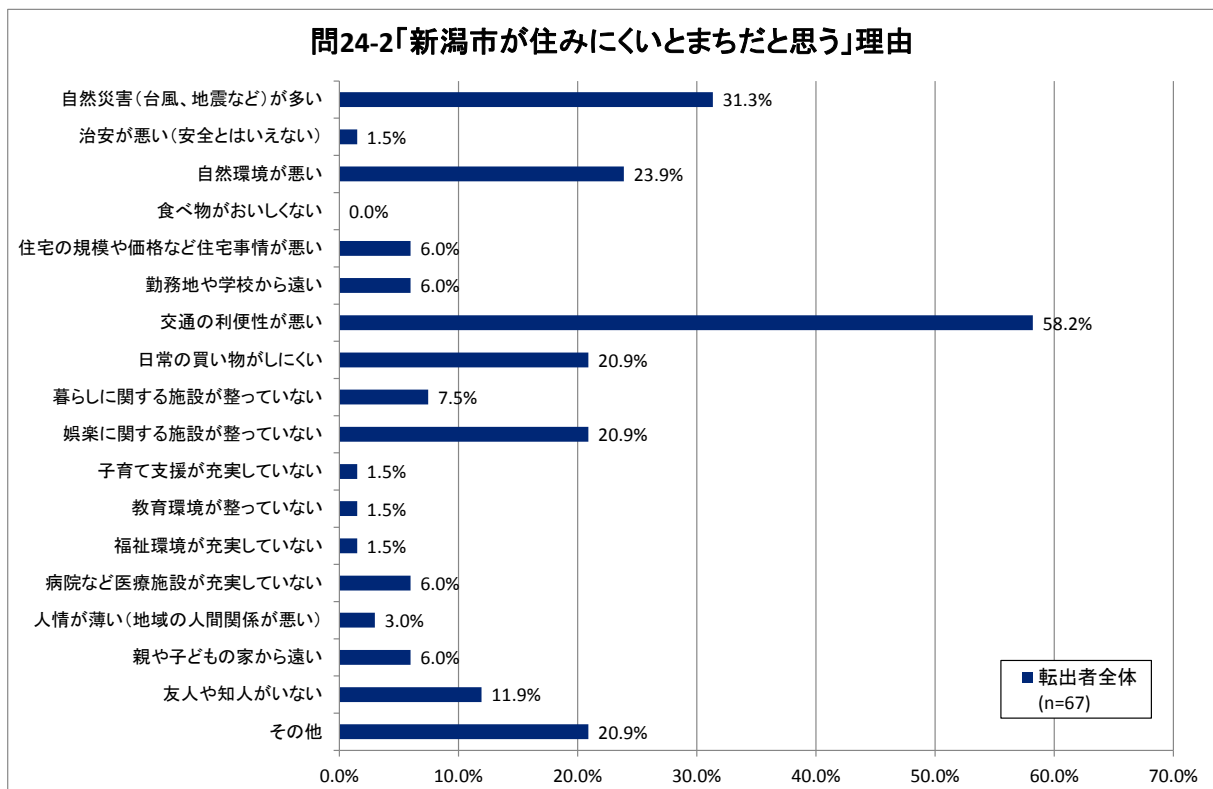
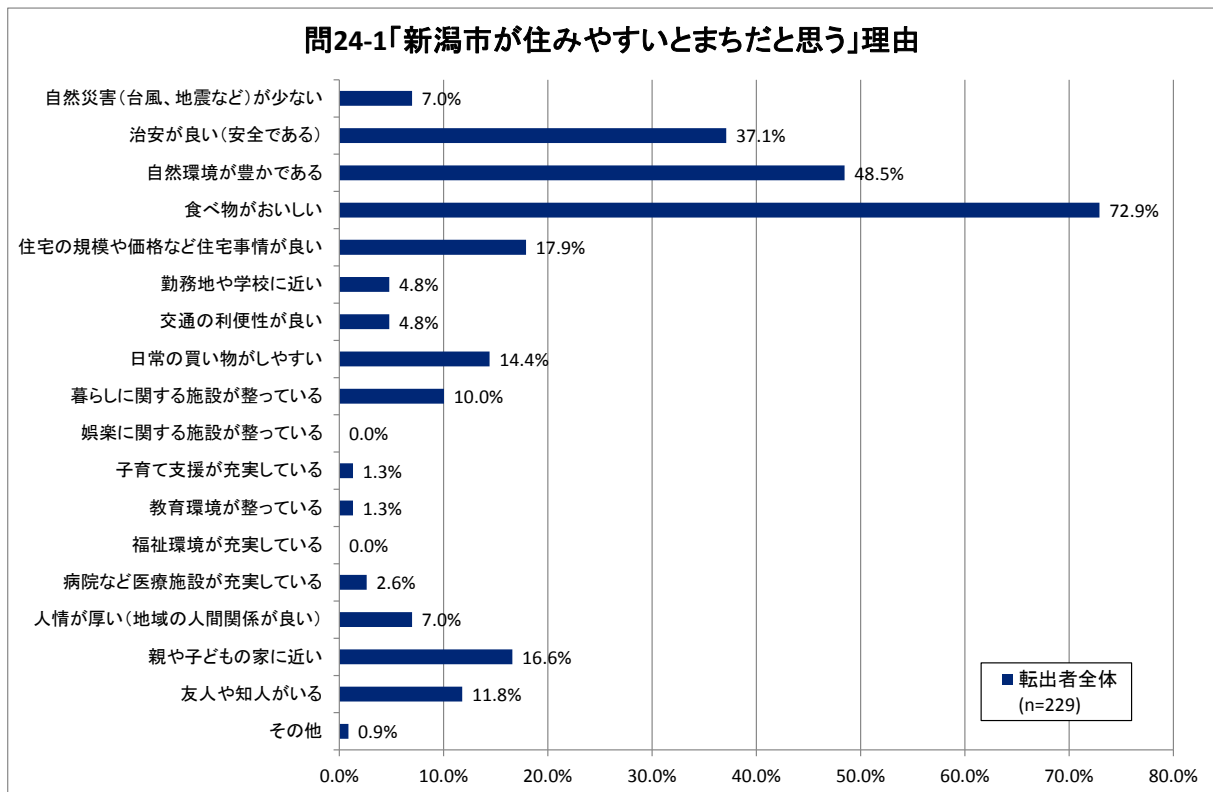
問23 働きやすさのために企業が取り組むべきこと(男女別)

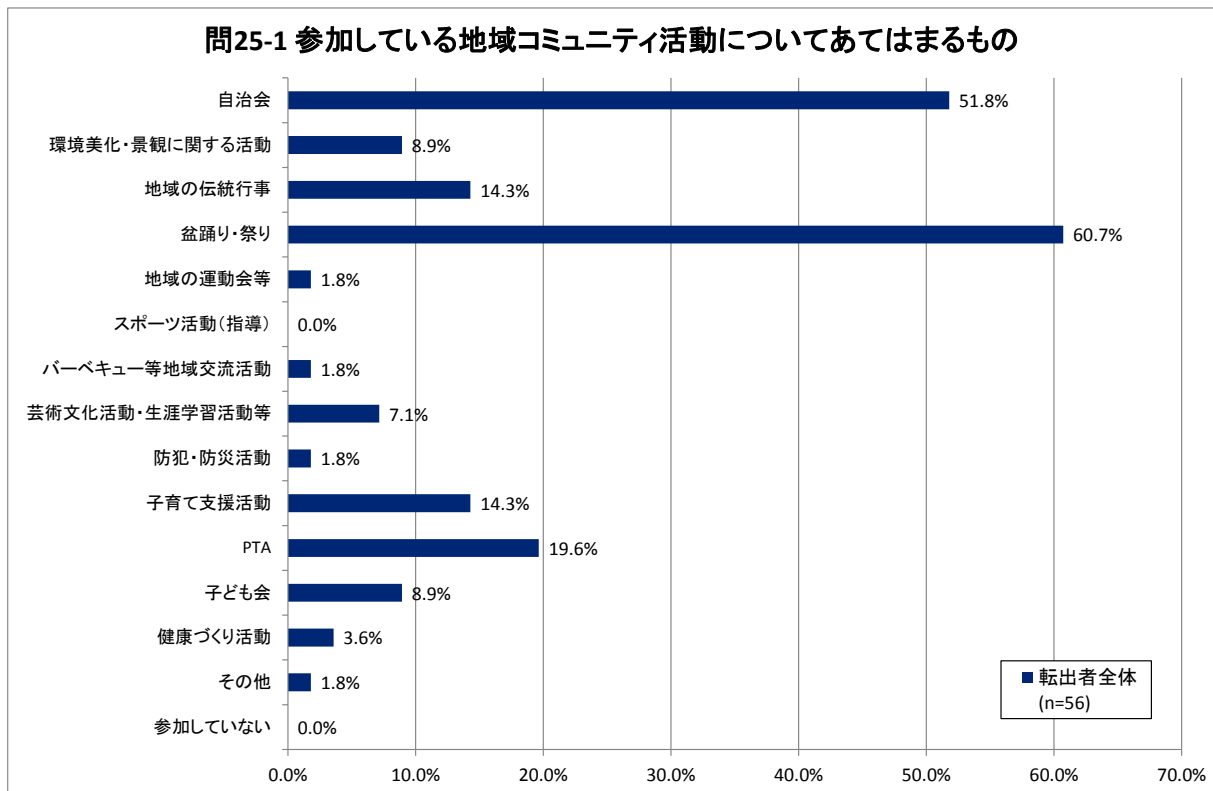
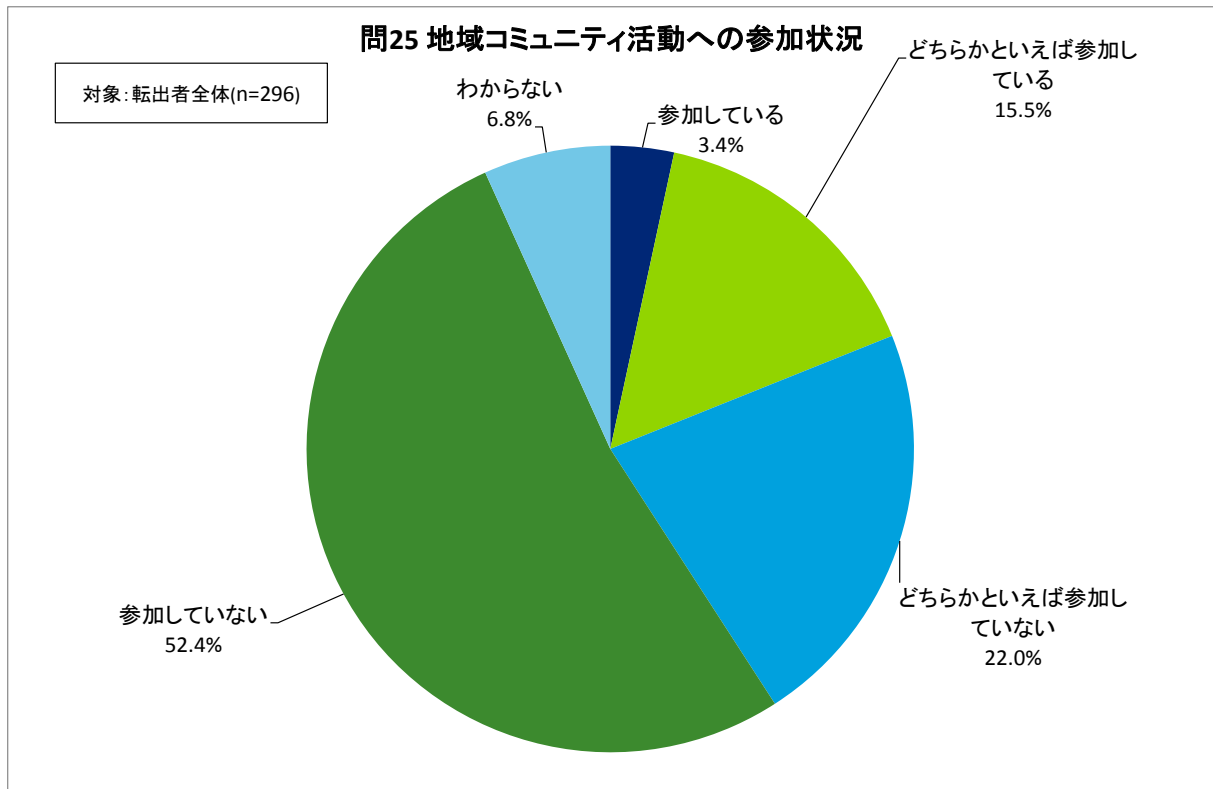


カ 住みやすさについて

- 新潟市が住みやすいまちだと思うかについては、住みやすいと思う者が77.4%（「住みやすい（21.3%）」、「どちらかといえば住みやすい（56.1%）」の合計）となっている。
- 住みやすい理由は「食べ物がおいしい（72.9%）」、「自然環境が豊かである（48.5%）」、「治安が良い（安全である）（37.1%）」の順で高い。
- 住みにくい理由は「交通の利便性が悪い（58.2%）」、「自然災害（台風、地震など）が多い（31.3%）」、「自然環境が悪い（23.9%）」の順で高い。
- 地域コミュニティ活動の参加状況については、参加していない者が74.4%（「参加していない（52.4%）」、「どちらかといえば参加していない（22.0%）」の合計）となっている。
- 参加している地域コミュニティ活動は「盆踊り・祭り（60.7%）」、「自治会（51.8%）」、「PTA（19.6%）」の順で高い。
- 新潟のまちが好きかについては、好きだと思う者が66.6%（「そう思う（22.3%）」、「どちらかといえばそう思う（44.3%）」の合計）となっている。







問26 新潟市のまちが好きか

対象: 転出者全体(n=296)

